

基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン トウホウダイガク 学校法人 東邦大学								
フリガナ大学の名称	トウホウダイガク 東邦大学 (Toho University)								
大学本部の位置	東京都大田区大森西五丁目21番16号								
大学の目的	医学、看護学、薬学及び理学に関する学術の理解および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与するとともに有為の人材を育成する。								
新設学部等の目的	看護師の地域偏在の解消のため、看護師不足が指摘されている地域からの入学者を増やすことを目的とし、本学健康科学部看護学科の入学定員を60名から80名に、収容定員を240名から320名にそれぞれ変更する申請を行う。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	医学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	
	医学科	6	110	-	660	学士（医学）	医学関係	令和6年4月 第1年次	東京都大田区大森西 五丁目21番16号
	薬学部								
	薬学科	6	245	-	1,470	学士（薬学）	薬学関係	令和6年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号
	理学部								
	生物学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	昭和25年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号
	化学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	昭和25年4月 第1年次	同上
	生物分子科学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上
	物理学科	4	70	-	280	学士（理学）	理学関係	昭和57年4月 第1年次	同上
	情報科学科	4	100	-	400	学士（理学）	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上
	生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士（理学）	理学関係	平成17年4月 第1年次	同上
	看護学部								
	看護学科	4	102	-	408	学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	平成23年4月 第1年次	東京都大田区大森西 五丁目21番16号
	健康科学部								
看護学科	4	80	-	320	学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	令和7年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
計		1,007 (987)		4,738 (4,658)					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	-								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		- 科目	- 科目	- 科目	- 科目	- 単位			

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	医学部 医学科	人	人	人	人	人	人	人	
		88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)	0 (0)	1025 (1025)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 105人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	88 (88)	68 (68)	4 (4)	1 (1)	161 (161)			
	薬学部 薬学科	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)	0 (0)	2 (2)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 27人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	23 (23)	13 (13)	26 (26)	8 (8)	70 (70)			
	理学部 生物学科	4 (4)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	1 (1)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
	小計（a～b）	4 (4)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
	理学部 化学科	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8 (8)	7 (7)	1 (0)	0 (0)	16 (16)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8 (8)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)			

設	理学部 生物分子科学科	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	1 (1)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)			
	理学部 物理学科	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定め る基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	理学部 情報科学科	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定め る基幹教員数の四分の三の数 7人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)				
理学部 生命圏環境科学科	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一イに定め る基幹教員数の四分の三の数 6人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)				

分	看護学部 看護学科	12 (12)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	24 (24)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の四分の三の数 10人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	20 (20)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)			
	小計（a～b）	12 (12)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	23 (23)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	12 (12)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	23 (23)			
	健康科学部 看護学科	6 (7)	6 (6)	5 (3)	6 (6)	23 (22)	2 (3)	6 (6)	大学設置基準別表第一イに定め る基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (7)	6 (6)	5 (3)	6 (6)	23 (22)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (7)	6 (6)	5 (3)	6 (6)	23 (22)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (7)	6 (6)	5 (3)	6 (6)	23 (22)			
	計	174 (175)	130 (130)	50 (48)	15 (15)	370 (369)	2 (3)	— (—)	
既 設 分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	大学設置基準別表第一イに定め る基幹教員数の四分の三の数 —人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			— (—)
合 計	174 (175)	130 (130)	50 (48)	15 (15)	370 (369)	2 (3)	— (—)		
職 種	専 属		そ の 他			計			
事 務 職 員	329 (329)		97 (97)			426 (426)			
技 術 職 員	2,711 (2,711)		97 (97)			2,808 (2,808)			
図 書 館 職 員	16 (16)		10 (10)			26 (26)			
そ の 他 の 職 員	23 (23)		62 (62)			85 (85)			
指 導 補 助 者	0 (0)		10 (10)			10 (10)			
計	3,079 (3,079)		276 (276)			3,355 (3,355)			

校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地 (借用) 須佐知行 1,014.87㎡ S47.3.1～		
	校 舎 敷 地		134,638.98 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	134,638.98 ㎡			
	そ の 他		108,624.83 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	108,624.83 ㎡			
	合 計		243,263.81 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	243,263.81 ㎡			
校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
			124,655.74 ㎡ (124,655.74 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	124,655.74 ㎡ (124,655.74 ㎡)			
教室・教員研究室			教 室	191 室	教 員 研 究 室	512 室	大学全体		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	大学全体	
	大学全体	427,271 [150,781] (427,271 [150,781])	3,499 [559] (3,499 [559])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,389 [8,580] (10,389 [8,580])	25,257 (25,257)	0 (0)		
	計	427,271 [150,781] (427,271 [150,781])	3,499 [559] (3,499 [559])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,389 [8,580] (10,389 [8,580])	25,257 (25,257)	0 (0)		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			大学全体	
		0 ㎡		8,315.58 ㎡	11,453.29 ㎡				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費（運 用コスト含む）を 含む。
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	
		共同研究費等	72,070千円	72,070千円	72,070千円	72,070千円	72,070千円	72,070千円	
		図書購入費	259,389千円	259,389千円	259,389千円	259,389千円	259,389千円	259,389千円	
		設備購入費	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	1,472,648千円	
		学生1人当り 納付金		第1年次 4,800千円	第2年次 4,200千円	第3年次 4,200千円	第4年次 4,200千円	第5年次 4,200千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等							

既設大学等の状況	大学等の名称		東邦大学						所在地	[医学部医学科] 平成27年度 医学部医学科入学定員増(5人) (地域枠:令和3年度まで) 令和4年度 医学部医学科入学定員増(10人) (地域枠:令和4年度まで) 令和5年度 医学部医学科入学定員増(12人) (地域枠:令和5年度まで) 令和6年度 医学部医学科入学定員増(13人) (地域枠:令和6年度まで)																											
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度																													
	医学部	年	人	年次人	人		倍																														
	医学科	6	122	-	702	学士(医学)	0.99	昭和27年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号																												
	薬学部	6	220	-	1,320	学士(薬学)	1.06	平成18年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	理学部						(1.02)																														
	生物学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.06	昭和25年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	化学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.03	昭和25年度	同上																												
	生物分子科学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.01	平成元年度	同上																												
	物理学科	4	70	-	280	学士(理学)	0.93	昭和58年度	同上																												
	情報科学科	4	100	-	400	学士(理学)	1.04	平成元年度	同上																												
	生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士(理学)	1.06	平成17年度	同上																												
	看護学部																																				
	看護学科	4	102	-	408	学士(看護学)	1.07	平成23年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号																												
	健康科学部																																				
	看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	1.10	平成29年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
										<table border="1"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和5年度</td><td>122</td><td>702</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>123</td><td>710</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>110</td><td>705</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>110</td><td>700</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>110</td><td>695</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>110</td><td>685</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>110</td><td>673</td></tr> <tr><td>令和12年度</td><td>110</td><td>660</td></tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和5年度	122	702	令和6年度	123	710	令和7年度	110	705	令和8年度	110	700	令和9年度	110	695	令和10年度	110	685	令和11年度	110	673	令和12年度	110	660
(人)	入学定員	収容定員																																			
令和5年度	122	702																																			
令和6年度	123	710																																			
令和7年度	110	705																																			
令和8年度	110	700																																			
令和9年度	110	695																																			
令和10年度	110	685																																			
令和11年度	110	673																																			
令和12年度	110	660																																			
										<table border="1"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和5年度</td><td>220</td><td>1,320</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>245</td><td>1,345</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>245</td><td>1,370</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>245</td><td>1,395</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>245</td><td>1,420</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>245</td><td>1,445</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>245</td><td>1,470</td></tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和5年度	220	1,320	令和6年度	245	1,345	令和7年度	245	1,370	令和8年度	245	1,395	令和9年度	245	1,420	令和10年度	245	1,445	令和11年度	245	1,470			
(人)	入学定員	収容定員																																			
令和5年度	220	1,320																																			
令和6年度	245	1,345																																			
令和7年度	245	1,370																																			
令和8年度	245	1,395																																			
令和9年度	245	1,420																																			
令和10年度	245	1,445																																			
令和11年度	245	1,470																																			
	附属施設の概要	<p>名称: 医療センター大森病院 目的: 付属病院 所在地: 東京都大田区大森西6丁目11-1 設置年月: 大正14年12月 規模等: 土地 22,818.89 m² 延べ床面積 73,579.62 m² 概要: ベッド数 916床</p> <p>名称: 医療センター大橋病院 目的: 付属病院 所在地: 東京都目黒区大橋2丁目22-36 設置年月: 昭和39年7月6日開設(平成30年6月20日移転) 規模等: 土地 20,548.56 m² 延べ床面積 32,337.17 m² 概要: ベッド数 320床</p> <p>名称: 医療センター佐倉病院 目的: 付属病院 所在地: 千葉県佐倉市下志津564番地1 設置年月: 平成3年9月2日開設 規模等: 土地 45,279.00 m² 延べ床面積 53,994.03 m² 概要: ベッド数 405床</p> <p>名称: 薬学部付属薬用植物園造園 目的: 薬用植物園(薬草園) 所在地: 千葉県船橋市三山2丁目2番1号 設置年月: 昭和44年3月 規模等: 1,587 m²</p>																																			

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」, 「新設学部等の目的」, 「新設学部等の概要」, 「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」, 「教室・教員研究室」, 「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」, 「校地等」, 「校舎」, 「教室・教員研究室」, 「図書・設備」, 「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人東邦大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
東邦大学			東邦大学			
医学部			医学部			
医学科	123	710	医学科	<u>110</u>	<u>705</u>	令和5年度までの医学部臨時定員増からの減少(△5)
薬学部			薬学部			
薬学科(6年制)	245	1,470	薬学科(6年制)	245	1,470	
理学部			理学部			
生物学科	80	320	生物学科	80	320	
化学科	80	320	化学科	80	320	
物理学科	70	280	物理学科	70	280	
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320	
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400	
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240	
看護学部			看護学部			
看護学科	102	408	看護学科	102	408	
健康科学部			健康科学部			
看護学科	60	240	看護学科	<u>80</u>	<u>320</u>	定員変更(80)
計	1,000	4,708	計	<u>1,007</u>	<u>4,783</u>	
東邦大学大学院			東邦大学大学院			
医学研究科			医学研究科			
医科学専攻(M)	5	10	医科学専攻(M)	5	10	
医学専攻(D)	35	140	医学専攻(D)	35	140	
薬学研究科			薬学研究科			
薬科学専攻(M)	10	20	薬科学専攻(M)	10	20	
医療薬学専攻(D)	5	20	医療薬学専攻(D)	5	20	
理学研究科			理学研究科			
化学専攻(M)	16	32	化学専攻(M)	16	32	
化学専攻(D)	3	9	化学専攻(D)	3	9	
生物学専攻(M)	15	30	生物学専攻(M)	15	30	
生物学専攻(D)	3	9	生物学専攻(D)	3	9	
物理学専攻(M)	18	36	物理学専攻(M)	18	36	
物理学専攻(D)	3	9	物理学専攻(D)	3	9	
生物分子科学専攻(M)	18	36	生物分子科学専攻(M)	18	36	
生物分子科学専攻(D)	3	9	生物分子科学専攻(D)	3	9	
情報科学専攻(M)	18	36	情報科学専攻(M)	18	36	
情報科学専攻(D)	3	9	情報科学専攻(D)	3	9	
環境科学専攻(M)	6	12	環境科学専攻(M)	6	12	
環境科学専攻(D)	2	6	環境科学専攻(D)	2	6	
看護学研究科			看護学研究科			
看護学専攻(M)	15	30	看護学専攻(M)	15	30	
看護学専攻(D)	5	15	看護学専攻(D)	5	15	
計	183	468	計	183	468	

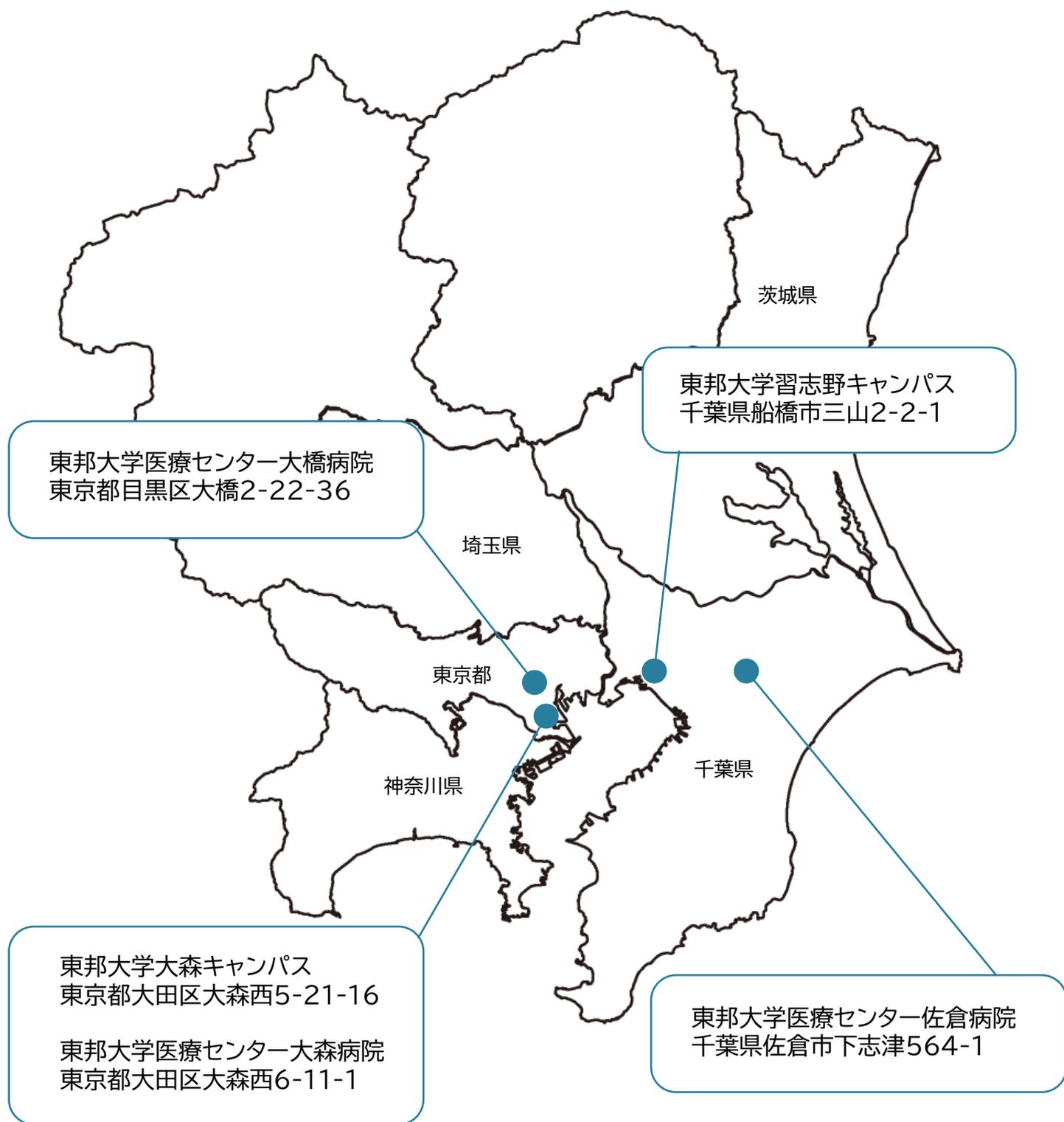
教育課程等の概要																	
(健康科学部看護学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員		
総合教育科目	自然科学	自然科学概論	1前		1			○							1	兼1	オムニバス
		データサイエンス	1前		1				○						1	兼1	
		化学	1前		1				○						1	兼1	
		生物学	1前		1				○						2	兼2	
		看護のための物理学	1前		1				○						1	兼1	
	語学	実用英語ⅠA	1前			1				○					1	兼1	オムニバス・共同
		実用英語ⅠB	1後			1				○					1	兼1	
		実用英語Ⅱ	2前	1						○					2	兼2	
		医療英語A	1前			1				○					1	兼1	
		医療英語B	1後			1				○					1	兼1	
		実用英語Ⅲ	2前			1				○					1	兼1	
		実用英語Ⅳ	4前			1				○					1	兼1	
		実用医療英語	2前			1				○					1	兼1	
		ドイツ語入門	1前			1				○					1	兼1	
	フランス語入門	1前			1				○					1	兼1		
	中国語入門	1前			1				○					1	兼1		
	健康科学	健康科学概論	1前	○	1				○			1			1	兼1	オムニバス 共同 オムニバス・共同
		コミュニケーション論	1前		1				○						1	兼1	
		プレゼンテーション論	1前		1				○						1	兼1	
		人間と生命	1前			1			○						4	兼4	
		千葉県の地域医療	1前			1			○			3		1			
		スポーツ健康科学	1前			1			○						1	兼1	
	スポーツ健康科学実技	1前			1				○					4	兼4		
	人文科学	心理学	1前		1				○						1	兼1	オムニバス
		社会学	1前		1				○						1	兼1	
		倫理学	1後		1				○						1	兼1	
		教育学	1前			1			○						1	兼1	
		組織論	1前			1			○						1	兼1	
		経済学	1前			1			○						1	兼1	
		法学（日本国憲法を含む）	2前			2			○						4	兼4	
		文学	1前			1			○						1	兼1	
		人類学	1前			1			○						1	兼1	
		哲学	1前			1			○						1	兼1	
合計（33科目）		—		12	22	0		—			4	0	1	0	0	39	兼39
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前		2			○							1	兼1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
		人体の構造と機能Ⅱ	1前		2			○							1	兼1	
		人体の構造と機能Ⅲ	1後		2			○							1	兼1	
		生化学	1後		1			○							1	兼1	
		臨床栄養学	2前		1			○							1	兼1	
		微生物学	1後		1				○						3	兼3	
		疾病と治療Ⅰ	1後		2			○		○					3	兼3	
		疾病と治療Ⅱ	1後		2			○		○					8	兼8	
		疾病と治療Ⅲ	2前		2			○		○					7	兼7	
		疾病と治療Ⅳ	2後		2			○		○					6	兼6	
		疾病と治療Ⅴ	2後		2			○		○					16	兼16	
		薬理学	1後		2			○		○					2	兼2	
		薬剤学	2前		1			○		○					2	兼2	
		リハビリテーション論	2前		1			○		○					1	兼1	
	臨床遺伝学	1後			1			○						1	兼1		
	臨床心理学	1後			1			○						4	兼4		
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2後		2			○							2	兼2	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
		社会保障制度	2前		2			○							2	兼2	
		保健統計	2後		1			○							1	兼1	
		公衆衛生	2前		1			○							4	兼4	
疫学Ⅰ（基礎編）		2前			1		○							1	兼1		
疫学Ⅱ（応用編）		2後			1		○							2	兼2		
健康生活支援論	4前			1			○						1	兼1			
政策形成過程論	3前			1			○						1	兼1			
合計（24科目）		—		29	6	0		—			1	1	0	0	0	66	兼64

教 育 課 程 等 の 概 要

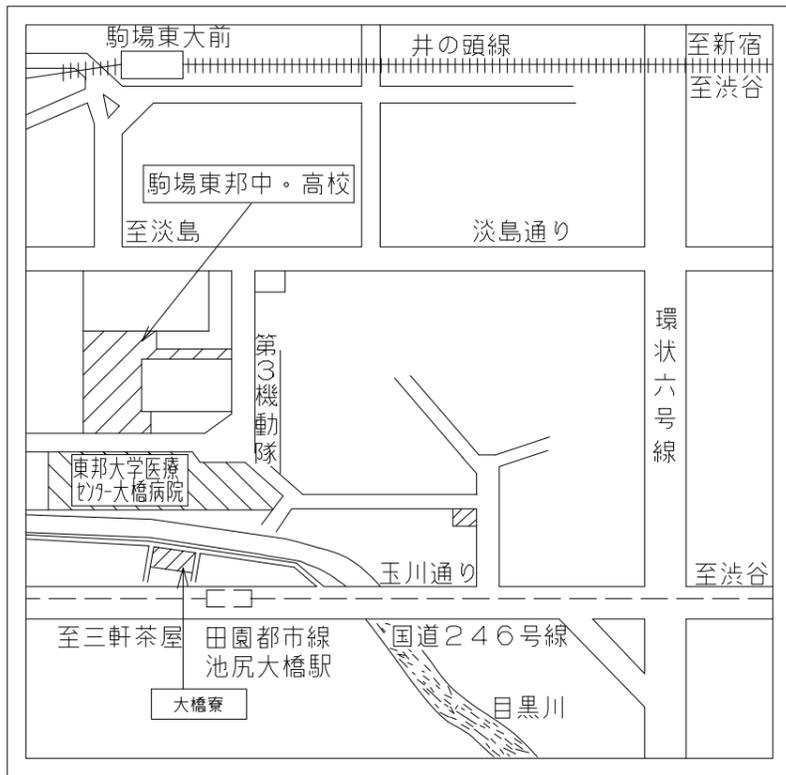
(健康科学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(の教員)		
トランスレーショナル看護領域	看護学概論	1前	○	1			○			1								
	臨床看護学概論	1後	○	1			○			1								
	看護倫理学	2前	○	1			○			1					2			オムニバス・共同
	看護理論	1後	○	1			○			1					1			オムニバス
	看護展開論	2前	○	0.5				○			2				3			オムニバス・共同
	機能障害のある患者の看護	2前	○	2				○			1				2			オムニバス
	がん看護	2後	○	2				○			1				1			オムニバス
	周手術期看護・急性重症患者看護	3前	○	2				○			1				2			共同
	感染看護	2後	○	0.5					○						2			オムニバス
	看護の基本技術1(療養環境の整備技術)	1前	○	1					○		1	2			3			オムニバス・共同
	看護の基本技術2(ヘルスアセスメント)	1後	○	1					○			2			3			共同
	看護の基本技術3(日常生活援助技術)	2前	○	1.5					○			2			3			共同
	看護の基本技術4(診療の補助技術)	2後	○	1.5					○			2			3			オムニバス・共同
	看護の基本技術5(慢性期看護技術)	2後	○	1					○			1			4			共同
	看護の基本技術6(急性期看護技術)	3前	○	1					○			1			4			共同
	看護入門実習Ⅰ	1後	○	1					○		1	2			2			共同
	臨床看護学実習Ⅰ	2前	○	3					○		2	4			6			共同
	臨床看護学実習Ⅱ	3秋	○	3					○		1	1			2			共同
	臨床看護学実習Ⅲ	3秋	○	2					○		1	1			2			共同
小計(19科目)	—			26	0	0		—		2	4	0	0	0	7			兼1
専門教育科目	発達看護論	2前	○	1			○			3	1							オムニバス
	ファミリーヘルス看護論	3前	○	1				○		3		1			3			オムニバス・共同
	援助人間関係論	2前	○	1			○			1					1			オムニバス・共同
	小児看護学概論	2前	○	1			○			1								オムニバス
	小児看護学方法論	2後	○	1			○			1					1			共同
	看護の基本技術7(小児看護技術)	3前	○	1				○		1					1			オムニバス
	母性看護学概論	2前	○	1			○			1								オムニバス
	母性看護学方法論	2後	○	1			○			1		1			1			共同
	看護の基本技術8(母性看護技術)	3前	○	1				○		1					1			オムニバス
	精神看護学概論	1後	○	1			○			1								共同
	精神看護学方法論	2後	○	1			○			1								共同
	看護の基本技術9(精神看護技術)	3前	○	1				○		1					1			共同
	小児看護学実習	3秋	○	2					○		1				1			共同
	母性看護学実習	3秋	○	2					○		1		1		1			共同
精神看護学実習	3秋	○	2					○		1				1			共同	
小計(15科目)	—			18	0	0		—		4	1	1	0	0	3			
コミュニティヘルス看護領域	コミュニティヘルス看護概論	1後	○	1			○			6								オムニバス
	コミュニティヘルス看護展開論	4前	○	1				○		3	1	3			3			共同
	老年看護学概論	1後	○	1			○			1								オムニバス
	老年看護学方法論	2後	○	2			○			1	1	1			2			オムニバス・共同
	看護の基本技術10(老年看護技術)	2後	○	1				○		1	1	1			2			オムニバス
	地域・在宅看護概論	1前	○	1			○			1		1						オムニバス
	地域・在宅看護方法論	2後	○	1			○			1		1						オムニバス
	看護の基本技術11(在宅看護技術)	3前	○	1				○		1	1	1			2			オムニバス・共同
	公衆衛生看護学概論	2後	○	1			○			1		2						オムニバス
	看護の基本技術12(地区診断)	2後	○	0.5				○		1		2						共同
老年看護学実習	3前	○	3					○	1	1	1			2			共同	
看護入門実習Ⅱ	1後	○	1					○	2	1	3			2			共同	
在宅看護実習	3後	○	1					○	1	1	1			2			共同	
コミュニティヘルス看護実習	3後	○	1					○	2	1	3			2			共同	
小計(14科目)	—			16.5	0	0		—		6	1	3	0	0	3			

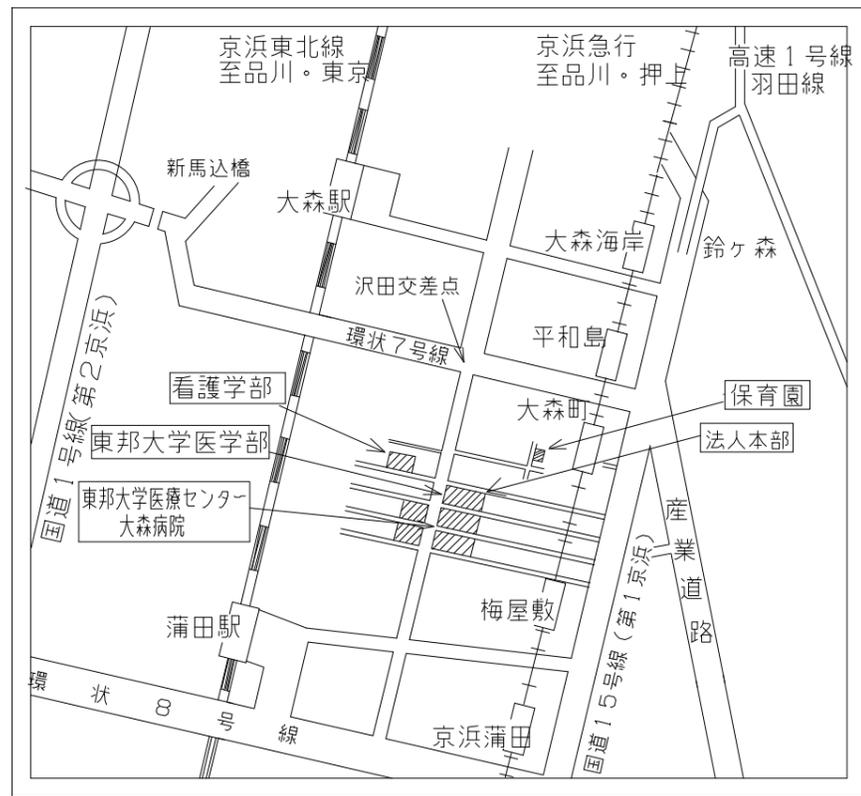
都道府県内における位置関係の図面



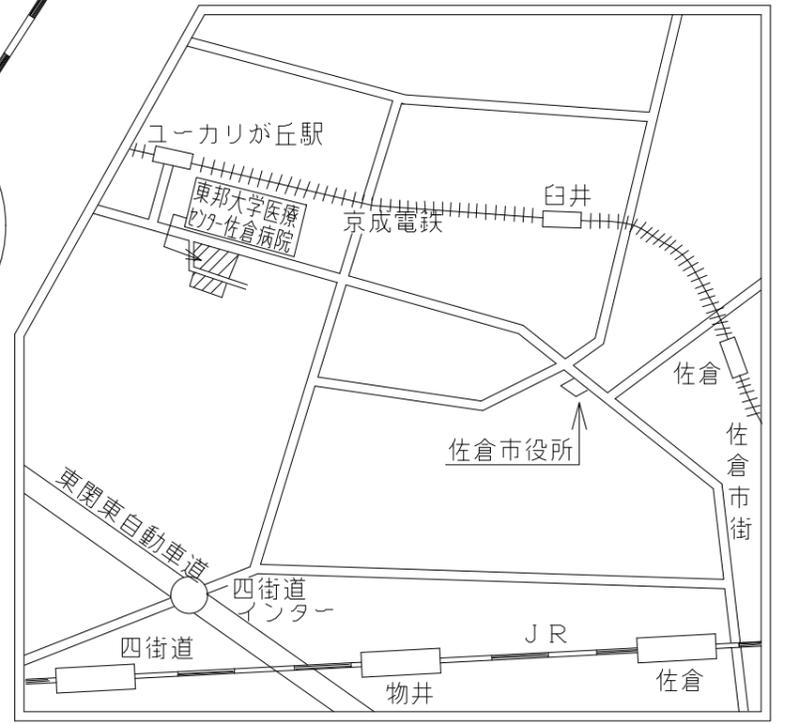
東邦大学キャンパス案内図



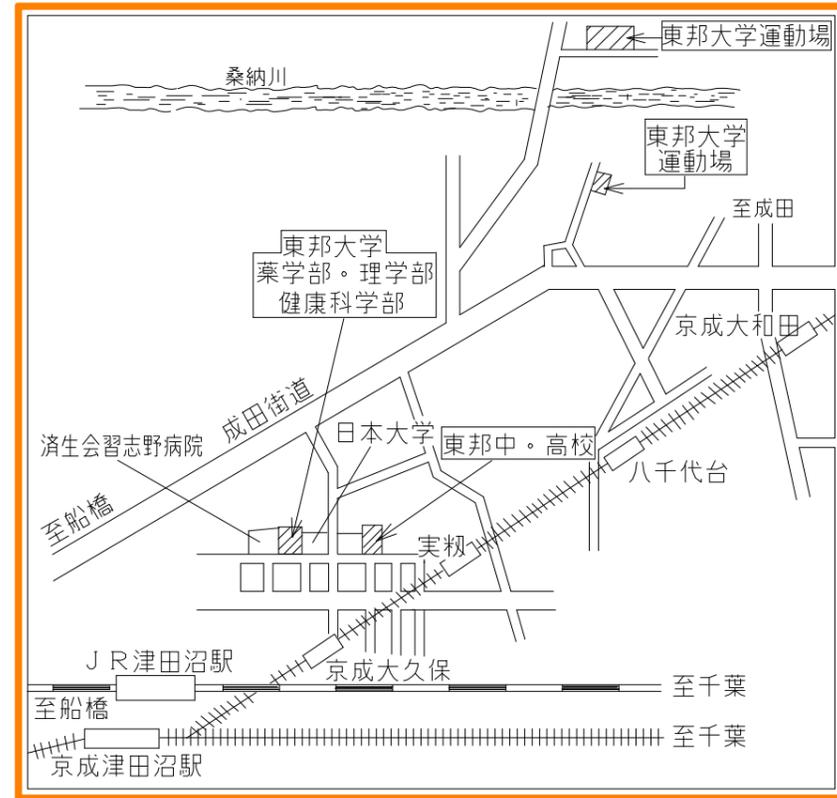
駒場・大橋地区



大森地区



佐倉地区



習志野・八千代地区

備考

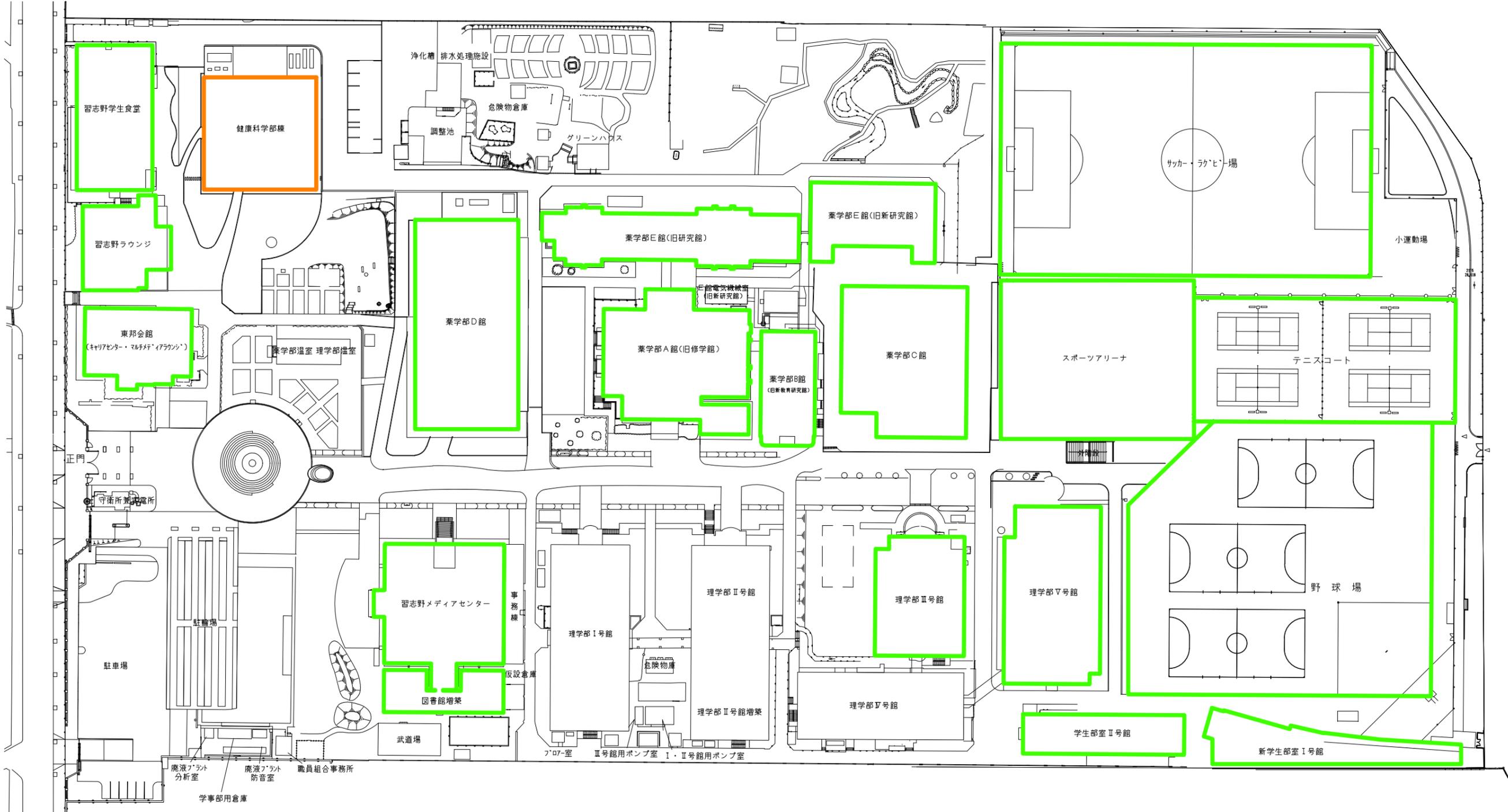
図面名称 キャンパス案内図

SCALE

令和 6年 3月

学校法人 東邦大学 法人本部施設部

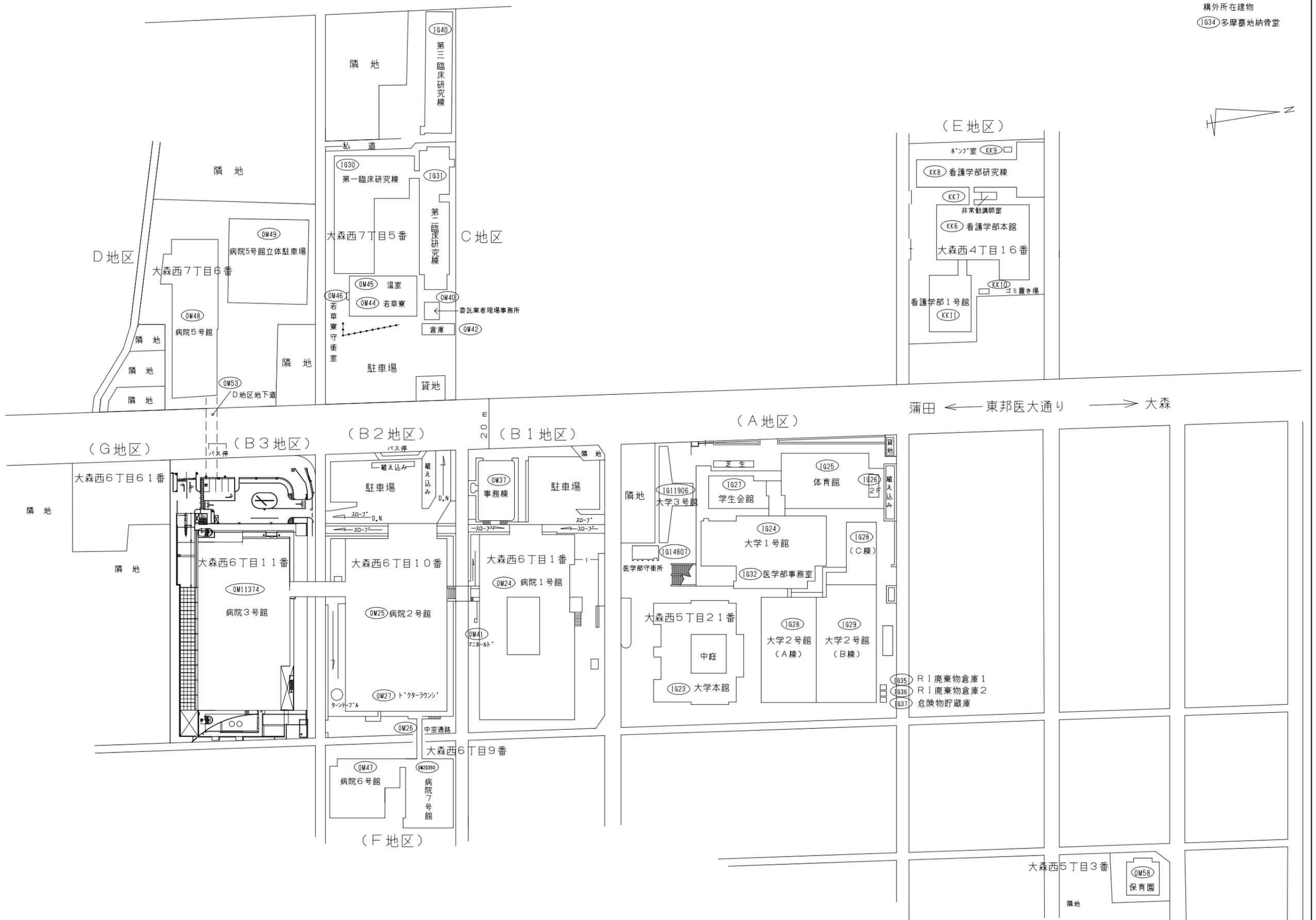
健康科学部専用
 健康科学部・薬学部・理学部共用



図面名称 習志野三山地区 建物配置図

SCALE A1 1/600 A3 1/1200 令和 6年 3月

学校法人 東邦大学 法人本部施設部



備考	図面名称 大森地区建物配置図	
	SCALE	Not to Scale
	令和 6年 3月	
	学校法人 東邦大学 法人本部施設部	



駒場東邦中学校・高等学校

旧大橋病院

救急車・サービス車
出入口

一般車・歩行者
出入口

自転車及び
歩行者

自走式駐車場
(TCS所有物件)

目黒区
提供公園

救急
□-タリ

スロープ

庇

メイン
□-タリ

庇

サービスヤード

OH100003

マニホールド棟(物置1)

液断カク
マニホールド棟

マニホールド棟(物置2)

OH100004

エネルギー
センター棟

OH100002

新大橋病院棟

OH100001

屋根

庇

世田谷区提供公園

目黒川緑道

歩行者

大橋病院 臨床研究棟
(旧 大橋寮)

OH28

OH30

ギヤポンプ室

OH30

ポンプ室

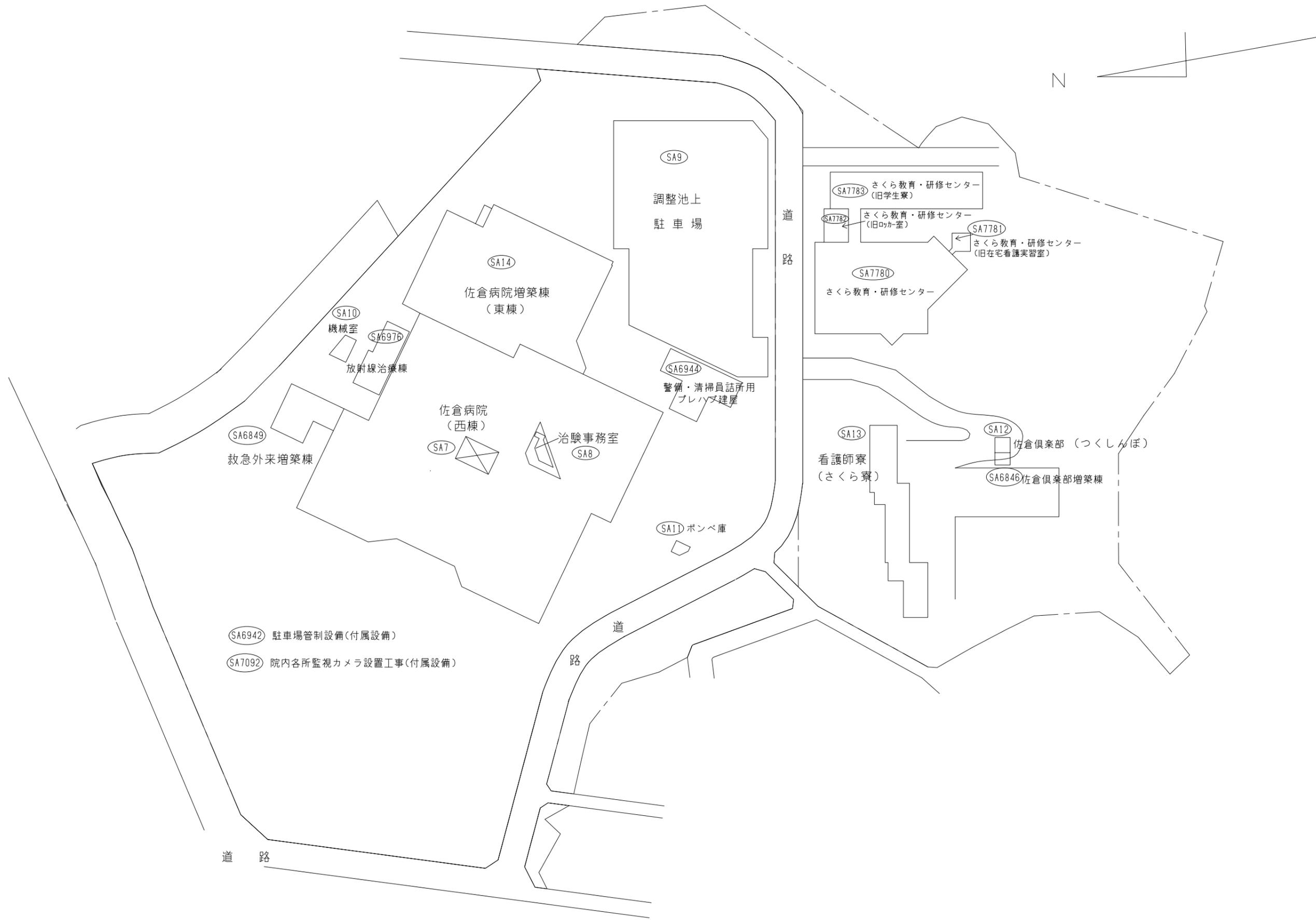
備考

図面名称 新大橋病院・臨床研究棟建物配置図

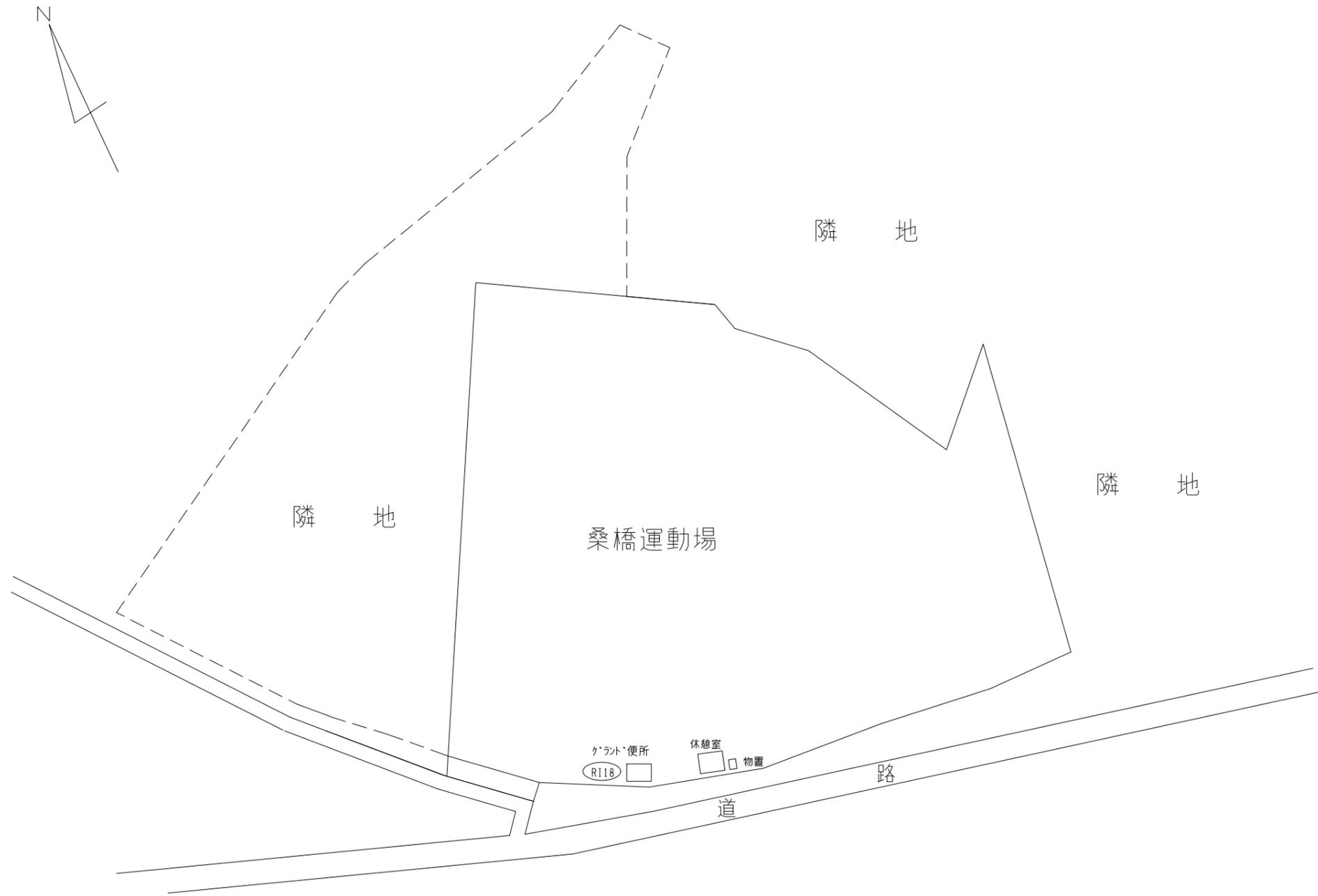
SCALE A1 1/800
A3 1/1600

令和 6年 3月

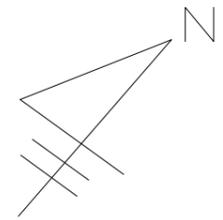
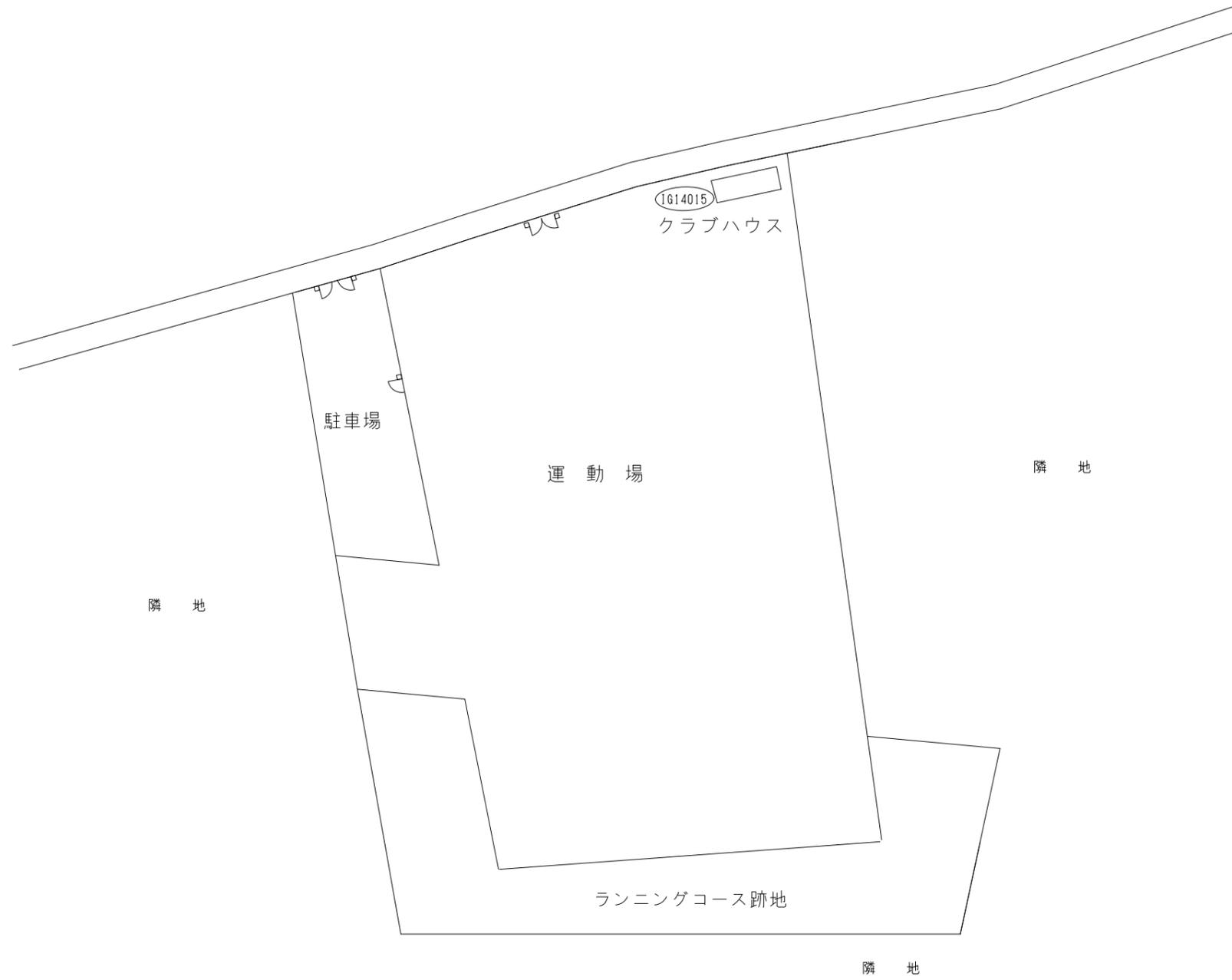
学校法人 東邦大学 法人本部施設部



備考	図面名称 佐倉地区建物配置図		
	SCALE	A1 1/600 A3 1/1200	令和 6年 3月
		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	



備考	図面名称 桑橋地区建物配置図		
	SCALE	A1 1/500 A3 1/1000	令和 6年 3月
		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	



備考	図面名称 八千代地区建物配置図		
	SCALE	A1 1/600 A3 1/1200	令和 6年 3月
		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	

東邦大学学則（案）

第1章 総則

（目的及び使命）

第1条 東邦大学（以下「本学」という。）は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、各々専門の学術の理論と応用とを教授し且つ研究を行い併せて一般教養に資する学科を学ばしめることを目的とし以て教養ある有能な人材を養成し文化の発展に寄与することを使命とする。

2 学部学科ごとの人材の育成に関する目的及びその他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する規程は別にこれを定める。

（認証評価）

第3条 本学は、前条に規定する措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（学部及び学科）

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

医学部	医学科		
薬学部	薬学科		
理学部	生物学科	化学科	生物分子科学科
	物理学科	情報科学科	生命圏環境科学科
看護学部	看護学科		
健康科学部	看護学科		

（学生定員）

第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

	（学部・学科）	（入学定員）	（収容定員）
医学部			
	医学科	110	660
	（計）	（110）	（660）
薬学部			
	薬学科	245	1,470
	（計）	（245）	（1,470）
理学部			
	生物学科	80	320

化学科	80	320
生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280
情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)
看護学部		
看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)
健康科学部		
看護学科	80	320
(計)	(80)	(320)
(総計)	(1,007)	(4,738)

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規程は別にこれを定める。

第2章 職員組織

(学長)

第7条 本学に学長を置く。

2 学長は本学を代表し、教育理念に基づいて校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 学長が不在または欠けたときは学長代行者を置き、新しく学長が就任するまでの間、学長代行者が学長の職務を行う。

(副学長)

第8条 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

(学部長)

第9条 本学の学部に学部長を置く。

2 学部長は、学長指示のもとに当該学部の校務をつかさどり所属職員を統率し教育及び研究の責に任ずる。

(教職員)

第10条 本学に学長統督のもとに教育及び研究のため教授、准教授、講師、助教、助手を置きその定員は別にこれを定める。ただし、助手は教育職員としない。

2 本学に事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

3 本学の職員を専任、兼担、兼任に区別しその勤務規程は別にこれを定める。

(大学協議会)

第11条 本学に学長の諮問機関として大学協議会を置き、大学全般にわたる学事の重要事項として、次の各号の一に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究に係る中長期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 学則その他の教育研究に係る重要な規程等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育研究活動等の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (4) その他学長が必要と認める事項

2 大学協議会に関する規程は別にこれを定める。

(学長・学部長会議)

第12条 本学に学長・学部長会議を置き、各学部及び大学院各研究科間の調整を図るべく、次の各号の一に掲げる事項を企画、検討し、大学協議会に提言する。

- (1) 全学的な諸活動に係る計画、方針
- (2) 各学部及び大学院各研究科に共通する事項
- (3) その他学長が必要と認める事項

2 学長・学部長会議に関する規程は別にこれを定める。

(教授会の設置)

第13条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に所属する教授をもって組織する。但し、学部の定めるところにより、准教授、講師、助教を加えることができる。

3 教授会の規程は、別にこれを定める。

(教授会の審議事項)

第14条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、これについて意見を述べる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別にこれを定める事項
- (4) その他、学則に定める事項

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長、学部長の求めに応じ、教育研究に関する事項について審議し、意見を述べることができる。

3 教授会は第1項及び第2項に規定する事項のほか、教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長へ意見を述べるすることができる。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第15条 本学の学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することができる。

(学期)

第16条 1学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更することができる。

(休業日)

第 17 条 休業日を次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日（6月10日）
- (4) 夏期、冬期及び春期休業日については別に定める

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第 4 章 入学、転入学、編入学、転学部・転学科及び再入学

(入学)

第 18 条 本学の入学は学年の始めとする。ただし、学長が教育上有益と認めるときは、第 16 条の秋学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第 19 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(出願手続)

第 20 条 入学志願者は入学志願票に所定の入学検定料及び必要書類を添えて願い出なければならない。

(入学者選考)

第 21 条 前条の入学志願者については、別にこれを定めるところにより選考する。

(入学手続・入学許可)

第 22 条 選考の結果、合格の通知を受けた者は保証人を定め所定の在学誓書に入学金を添えて提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第 23 条 保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。なお、その身分及び住所に変更があったとき、あるいは保証人を変更したいときは速やかに届け出なければならない。

(転入学)

第 24 条 他の大学に在学している者が現に在学する大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。

2 転入学に関する規程は別にこれを定める。

(編入学)

第 25 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。ただし、編入学定員を定めている場合は、審査を経て相当年次に入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 法令により編入学を認められた者
- (5) その他前各号と同等以上の学力があると認められた者

2 編入学に関する規程は別にこれを定める。

(転学部・転学科)

第 26 条 本学の学生が転学部または転学科を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て許可することがある。

2 転学部、転学科に関する規程は別にこれを定める。

(再入学)

第 27 条 退学者が再入学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。その規程は別にこれを定める。

第 5 章 休学及び退学

(休学)

第 28 条 病気その他止むを得ない事由で引き続き 2 カ月以上授業に出席することができない者は、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、休学することができる。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる者に対しては、学長は学校医又は専門家及び教授会の意見を参酌し、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第 29 条 休学できる期間は、第 15 条に規定する学年末までとする。ただし、正当な事由と認められた時は、当初の休学期間を含めて 2 年間を上限とし、期間延長を許可することがある。

2 通算して休学できる期間は、医学部及び薬学部においては 3 年間、理学部、看護学部及び健康科学部においては 2 年間とする。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者の休学の扱いについては別にこれを定める。

4 休学期間は第 34 条各項に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第 30 条 休学者は、休学事由が消滅した場合、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、復学することができる。

(任意退学)

第 31 条 任意に退学しようとする者は、保証人連署で届け出て学長の許可を受けなければならない。

(措置退学)

第 32 条 次の各号の一に該当する者に対しては退学の措置をとるものとする。

- (1) 在学年限を越えた者
- (2) 休学期間を超えて復学できない者
- (3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者
- (4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者
- (5) 死亡した者

2 措置退学の日付は、次に掲げるとおりとする。

(1) 在学年限を超えた者	在学年限の最終日
(2) 休学期間を超えて復学できない者	休学期間の終了日
(3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者	学費を完納している期の最終日
(4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者	教授会の議を経て学長が決定する日
(5) 死亡した者	死亡日

(懲戒退学)

第 33 条 次の各号の一に該当する者に対しては懲戒による退学を命ずる。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第34条 医学部及び薬学部の修業年限は6年とし、12年まで在学することができる。ただし、同一学年に在学できる年数は原則として2年を限度とする。

2 理学部、看護学部及び健康科学部の修業年限は4年とし、8年まで在学することができる。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者については別にこれを定める。

第7章 教育課程

(授業科目及び単位数)

第35条 授業科目及び単位数は、別表第2のとおり定める。

(単位の基準)

第36条 各授業科目の単位数は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第37条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

第38条 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は60単位を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。

(成績の評価)

第39条 成績は、秀、優、良、可及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

2 前項の規定にかかわらず、段階評価に適さない授業科目に係る考査の成績は、合格又は不合格とすることができる。

(単位の授与)

第40条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験の上単位を与えるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

(成績評価基準等の明示等)

第41条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(他学部及び他学科、又は他大学等による指導)

第42条 教育上有益と認めるときは、他学部及び他学科、又は他大学等との協議に基づき、学生に当該他学部等において科目履修に必要な指導を受けさせることができる。

(他の大学等における履修)

第43条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業を履修させることができる。

2 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別にこれを定める学修を、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により修得した授業科目の単位数及び前項の規定により与える単位については、合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

(入学前の既修得単位等認定)

第44条 本学に入学する前に他の大学又は短期大学で修得した単位(科目等履修生等として修得した単位を含む。)については、教育上有益と認めるときは、本学において修得したのものとして認定することができる。

2 本学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修を教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により認定した単位及び第2項の規定により与える単位については、再入学、転入学、編入学等の場合を除き、前条により認定した単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

(教育職員の免許状)

第 45 条 本学に教員養成課程を置く。

- 2 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 3 教員養成課程に関する専門科目及び単位数は別表第 3 のとおり定める。
- 4 本学において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
理学部	生 物 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	化 学 科		
	生物分子科学科	高等学校教諭一種免許状	理 科
	物 理 学 科		
	生命圏環境科学科		
情 報 科 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	情 報	

第 8 章 進級、卒業及び学位

(進級)

第 46 条 進級に関する規程は、別にこれを定める。

(卒業)

第 47 条 第 34 条に定める修業年限以上在学し、別表第 2 のとおり定める所定の単位数を修得した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 前項に加え、医学部では卒業試験に合格した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 3 第 1 項の規定にかかわらず、理学部では卒業単位を優秀な成績で修得したと認めるときは、3年以上在学すれば足りるものとする。

(学位の授与)

第 48 条 卒業を認めた者には、学長が学士の学位を授与する。

- 2 付記する専攻分野の名称は、それぞれ次のとおりとする。

医学部医学科	学士 (医学)
薬学部薬学科	学士 (薬学)
理学部各学科	学士 (理学)
看護学部看護学科	学士 (看護学)
健康科学部看護学科	学士 (看護学)

第9章 入学金、授業料等の学費及び徴収

(学費等)

第49条 本学の入学金、授業料及びその他の学費は、別表第4のとおり定める。

2 学生の実験及び実習に要する経費を定めて別に徴収することがある。

3 授業料及びその他の学費の納入については別にこれを定める。

(学費等の取扱)

第50条 在学中授業料及びその他の学費について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納入するものとする。

2 一旦納入した授業料及びその他の学費は、原則として返還しない。

第10章 委託生、科目等履修生、特別聴講生、聴講生及び留学生

(委託生)

第51条 学長は公共団体又はその他の機関より本学に特定の学科目について修学を委託された場合は、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生に関する細則は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第52条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち一又は複数の授業科目の単位を修得することを希望する者がいるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する細則は、別にこれを定める。

(特別聴講生)

第53条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、他の大学との協議に基づき、当該他大学の学生が授業科目の単位を修得することを希望する場合は、特別聴講生として許可することができる。

(聴講生)

第54条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目について聴講を希望する者がいるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する細則は、別にこれを定める。

(留学生)

第55条 学長は日本国籍をもたない者で、修学する目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、留学生として入学を許可することがある。

2 留学生は、本学則を準用する。

第11章 附属施設

(メディアセンター)

第56条 本学にメディアセンターを置き、その規程は別にこれを定める。

(附属病院)

第57条 本学医学部に教育及び臨床実習のために附属病院を置く。

2 医学部長のもとに付属病院長を置き、院務をつかさどらしめる。

(付属薬用植物園)

第 58 条 本学薬学部に付属薬用植物園を置き、その規程は別にこれを定める。

(その他教育研究施設)

第 59 条 その他、必要な教育研究施設を置くことができる。

第 12 章 厚生補導及び厚生保健施設

(厚生補導)

第 60 条 本学に、学生の福利厚生をはかり、かつ、学生生活を指導助育するため、学生部を置き、その規程は別にこれを定める。

(厚生保健施設)

第 61 条 本学に厚生保健施設を置き、その規程は別にこれを定める。

第 13 章 賞罰

(表彰)

第 62 条 人物及び学業の優秀な者を表彰することができる。

(懲戒)

第 63 条 本学の学則又はこれに基づいた諸規則に背き、あるいは学生の本分に反する行為をした者は学長の決定に基づき懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学、退学の 3 種とする。

3 懲戒に該当する事項については、別にこれを定める。

第 14 章 雑則

(改廃)

第 64 条 この学則の改正は、大学協議会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和50年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和51年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和52年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和53年4月1日から施行する。

(第19条は昭和52年度以前の入学生については従前の例による。)

この学則は、一部改正のうえ昭和54年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和55年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和56年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和57年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和58年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和59年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和60年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和61年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和62年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ昭和63年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和71年度までの間、理学部生物学科及び物理学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		昭和・年度								
		63	64	65	66	67	68	69	70	71
生物学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	340	360	380	400	400	400	400	400	400
物理学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	280	320	360	400	400	400	400	400	400

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成元年4月1日から施行する。
- 2 第70条及び附則（昭和63年4月1日施行）の規定にかかわらず、平成元年度から同8年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとし、同生物学科に係る期間を付した定員増加は、昭和63年度をもって停止する。

学科・定員		平成・年度							
		元	2	3	4	5	6	7	8
物理学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	300	320	340	320	320	320	320	320
生物分子 科学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	80	160	240	320	320	320	320	320
情 報 科学科	入学定員	60	60	60	60	60	60	60	60
	総定員	60	120	180	240	240	240	240	240
理 学 部 総 定 員		1220	1340	1460	1520	1520	1520	1520	1520

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成2年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成3年7月1日から施行する。
- 2 期間を付した定員増加に係る附則中「総定員」とあるものを「収容定員」に読み替えるものとする。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成3年10月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成4年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成5年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成6年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年12月22日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成9年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成9年度から同11年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度		
		9	10	11
物理学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
生物分子科学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
情報科学科	入学定員	100	100	100
	収容定員	280	320	360
理学部収容定員		1,560	1,600	1,640

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成10年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成11年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成12年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成12年度から同18年度までの間、理学部物理学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度						
		12	13	14	15	16	17	18
物理学科	入学定員	78	76	74	72	70	70	70
	収容定員	318	314	308	300	292	286	282
理学部収容定員		1,678	1,674	1,668	1,660	1,652	1,646	1,642

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成12年9月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成13年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成13年9月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成14年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成15年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成16年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成18年4月1日から施行する。
但し、薬学部平成17年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成19年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成20年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成21年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（看護学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成23年4月1日から施行する。
但し、医学部看護学科の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。
- 2 医学部看護学科は、平成23年4月より学生募集を停止し、在学者が卒業次第、廃止する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成24年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成25年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成25年度から同28年度までの間、理学部生命圏環境科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度			
		25	26	27	28
生命圏環境科学科	入学定員	60	60	60	60
	収容定員	300	280	260	240
理学部収容定員		1,940	1,920	1,900	1,880

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成26年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改定に伴う改正を含む）のうえ平成27年4月1日から施行する。

但し、薬学部平成26年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。

- 2 第47条の規定にかかわらず、平成27年度から同31年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度				
		27	28	29	30	31
医 学 部	入学定員	115	115	115	115	115
	収容定員	665	670	675	680	685

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部・薬学部の各年次の在学年限及び休学に関する取扱いの変更、医学部カリキュラムの改訂に伴う改正を含む）のうえ平成28年4月1日から施行する。

但し、平成27年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成29年4月1日から施行する。

但し、平成28年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

- 2 第96条の規定にかかわらず、平成29年度から同31年度までの間、健康科学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度		
		29	30	31
健康科学部	入学定員	60	60	60
	収容定員	60	120	180

附 則

- 1 この学則は、一部改正（大学協議会規程制定、薬学部授業料の改定及び理学部の授業科目の変更に伴う改正を含む）のうえ平成30年4月1日から施行する。

但し、平成29年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請並びに医学部卒業要件における文言修正に係る改正）のうえ令和2年4月1日から施行する。

- 2 第47条の規定にかかわらず、令和2年度から同8年度までの医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度						
		2	3	4	5	6	7	8
医学部	入学定員	115	115	110	110	110	110	110
	収容定員	690	690	685	680	675	670	665

附 則

- 1 この学則は、一部改正（理学部の入学金、授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

但し、理学部令和2年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。

- 2 この学則は、一部改正（理学部の授業科目の変更に伴う改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		4	5	6	7	8	9
医学部	入学定員	120	110	110	110	110	110
	収容定員	695	690	685	680	675	670

- 4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		5	6	7	8	9	10
医学部	入学定員	122	110	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682	672

- 4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35条関係）の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3（第45条関係）教員養成課程のカリキュラムに係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445	1,470

3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	110
	収容定員	710	705	700	695	685	673

5 この学則は、一部改正（薬学部カリキュラムに係る改正）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、一部改正（健康科学部の入学定員・収容定員の増員ならびにカリキュラムに係る改正）のうえ、令和7年4月1日から施行する。

2 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同10年度での健康科学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度			
		7	8	9	10
健康科学部	入学定員	80	80	80	80
	収容定員	260	280	300	320

別表1（第1条関係）

本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。

（1）医学部

本医学部は医学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成する。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基ついた課題探求・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学修能力を持った人材を育成することを目的とする。

研究に関しては、基礎医学並びに臨床医学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献することを目的とする。

（2）薬学部

本薬学部は薬学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて一般教育科目を学ばしめることを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的とする。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する。

研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献する。

（3）理学部

本理学部は理学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて教養教育科目を学ばしめることを目的とする。

〔人材の養成に関する目的・教育研究上の目的〕

教育については、自然・生命・人間を探究する過程を通して、社会に貢献する「科学人」を育てることを目的とする。科学人の基礎的な要件は次の点に要約される。

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ。

専門分野における十分な基礎知識・技能と、関連する分野における概括的な知識・技能をもつ。

科学的な推論を行う能力、科学的な手法で実験・実証をする能力、問題の科学的な分析を試みる態度をもつ。

2. 主体的に学ぶ力をもつ。

問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力をもつ。

3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ。

チーム・仲間と協働して解決する力をもつ。

<p>コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力、協働して解決する態度、多様性を受け入れる態度をもつ。</p> <p>社会と協調し、科学の役割を理解し、社会に対して責任を果たす態度をもつ。</p> <p>科学的倫理をわかまえていること、自然に対する畏敬の念・生命の尊重・人間としての謙虚な心をもつ。</p> <p>研究については、理学部を構成する各専門分野の立場から理学の理論と応用を研究し、科学者・技術者からの視点で社会の発展に貢献することを目指す。</p>
<p>生物学科：</p> <p>生物を通して自然・生命・人間を探究することにより、生物と環境の双方に適切な意見を有する科学人を育てる。広範な生物学の基礎科目を基盤とし、分子生物学や環境保全などを取り込んだ総合的な生物学の知識を身につけ、それを活用した課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>化学科：</p> <p>化学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、自然現象を化学の言葉で語ることができ、かつ持続性のある社会の構築に貢献する科学人を育てる。無機化学、分析化学、有機化学、物理化学を基礎的内容の柱とし、講義・演習・実験の効果的な連携によって化学の知識と技能を修得させ、それらを踏まえて、課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養することにより、化学に関わる多様な応用場面に対応できる科学人を育成する。</p>
<p>生物分子科学科：</p> <p>化学と生物学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、生命現象を化学の言葉で語ることができる研究者や技術者の育成を目指す。化学及び生物学の確かな基礎知識を身につけさせ、それを踏まえて課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>物理学科：</p> <p>物理学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然の仕組みを物理的思考から深く理解し、自然に対する畏敬の念をもち、科学及び社会の発展に貢献できる人材を育成する。物理学の基本的な知識と方法を十分に身につけ、それを踏まえて実践的な問題解決力、柔軟な思考力、科学者・技術者倫理、自然・生命・人間を守る態度、豊かな人間性、国際性、創造性、高いコミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>情報科学科：</p> <p>情報科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、常に人間の視点に立って社会貢献できる人材の育成を目指す。情報科学の基本的な理論と技術、ならびに現象を科学的、論理的、かつ数理的に分析・理解して問題を解決できる能力を身につけ、情報科学の多様な応用場面に対して対応できる技術者・科学者を育成する。</p>
<p>生命圏環境科学科：</p> <p>環境科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、環境問題の解決に取り組み、持続性のある社会の構築に貢献できる人材を育成する。自然科学の理解、人文・社会科学的視点の涵養、科学的思考力やコミュニケーション能力の向上を図り、その上で地球科学、環境生態学、環境化学、環境管理・創成科学についてより専門的な教育を行い、豊かな人間性をもって意欲的に活躍できる人材を育成する。</p>

(4) 看護学部

本看護学部は看護の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

長く受け継がれた看護教育の文化や歴史を継承するとともに、知的探究心を持った誠実で思いやりのある調和のとれた看護実践者の育成を図る。さらに、社会の構成員としてその使命を自覚し、自然、生命、人間に対して畏敬の念を持ち、人間の生命の尊厳と権利の尊重を基盤として、医療人としてすべての人々を公正に受容しうる自主の精神に充ちた心身ともに健康で感性豊かな人間性の育成を図り、国際的な感覚を身につけ、地球規模で思考し、保健・医療の発展に貢献できる人材を育成する。

[教育研究上の目的]

深い人間愛を持ち、創造的、全人的見方のできる看護職に必要な品性・知性・感性を養う多様な看護教育及び人間教育を提供すると共に看護学の発展に貢献するため、科学的な研究態度を有し、新たな知的財産の獲得を常に目指した実践と研究を推進する。

(5) 健康科学部

本健康科学部は健康に関する科学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的とする。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、人々の健康を科学的に探究し支援できるよう、知性・感性・品性及び問題発見・解決能力、生涯学習能力を兼ね備えた実践者と研究者の育成を目的とする。

研究に関しては、健康科学分野の基礎研究とともに、変化する社会情勢に即した応用分野の研究に携わることを目的とする。

別表2（第35条関係）

(1) 医学部医学科開設科目単位表

令和6年度以降の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
人文・社会学	人文・社会学①	心理学	4				
		倫理学					
	人文・社会学②	社会学					
		法学					
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾		1			
		選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾		1			
		選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾		1			
		選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾		1			
	選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾		1			
		選択芸術Ⅱ ¹⁾		1			
医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得	
		医学教養Ⅱ ¹⁾		1			
		医学教養Ⅲ ¹⁾		1			
		医学教養Ⅳ ¹⁾		1			
		医学教養Ⅴ ¹⁾		1			
		医学教養Ⅵ ¹⁾		1			
		医学教養Ⅶ ¹⁾		1			
		医学教養Ⅷ ¹⁾		1			
	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾		1			
		実用医療英語 ¹⁾		1			
		チーム医療演習 ¹⁾		1			
	選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾²⁾		1			2) 千葉県、新潟県奨学金受給生はこの科目の選択を必修とする
		地域医療学Ⅱ ¹⁾²⁾		1			
地域医療学Ⅲ ¹⁾²⁾			1				
地域医療学（千葉）Ⅰ ¹⁾²⁾			2				
地域医療学（千葉）Ⅱ ¹⁾²⁾			2				
地域医療学（千葉）Ⅲ ¹⁾²⁾		2					
全学共通教養	全学共通選択科目	リベラルアーツセミナー ¹⁾		2			
		リベラルアーツフォーラム ¹⁾		1			

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
外国語科目	英語1	英語1	英語総合	4			
	英語2	英語2	基礎医学英語	2			
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2			
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1			
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得
			Listening Skills ¹⁾		1		
	Cross Cultural Communication ¹⁾			1			
	続英会話 ¹⁾			1			
	Writing ¹⁾			1			
	Advanced Writing ¹⁾			1			
TOEFL講座 ¹⁾		1					
USMLEコース ¹⁾		1					
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾		1 1			
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾		2			
		フランス語Ⅱ ¹⁾		1			
		ドイツ語Ⅰ ¹⁾		2			
		ドイツ語Ⅱ ¹⁾		1			
		中国語Ⅰ ¹⁾		2			
		中国語Ⅱ ¹⁾		1			
		韓国語Ⅰ ¹⁾		2			
		韓国語Ⅱ ¹⁾		1			
医用工学1	医用工学1-①	データサイエンス	5				
	医用工学1-②	数理情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ					
	医用工学1-③	数理情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ					
医用工学2	医用工学2	基礎放射線	1				
生体物質の科学	生体物質の科学① 生体物質の科学② 生体物質の科学③	生体無機化学 生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ	4				
		生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ					
		代謝生化学Ⅱ 遺伝生化学Ⅱ					
生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4				
	生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
	生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系					
	生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ	2				
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2				
	生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ	5				

領域名	サブ領域	ユニット		単位数			備考
				必修	選択	自由	
医学 準備・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理		4		
			神経筋				
			生体の機能1-②	血液・リンパ			
	呼吸・循環						
	生体の機能1-③	腎・尿路					
		消化・吸収					
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能		2		
			運動機能				
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学		7		
			免疫学				
病態の科学②		病態の科学概論					
	薬理学						
病態の科学	病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ		3			
		病態の科学実習Ⅱ					
		病態の科学実習Ⅲ					
統合型基礎医学実習1	基礎準備実習	基礎準備実習		1			
	基礎統合実習1	基礎統合実習1		2			
統合型基礎医学実習2	基礎統合実習2	基礎統合実習2		1			
自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾			1	1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得	
		選択化学Ⅱ ¹⁾			1		
		選択生物Ⅰ ¹⁾			1		
		選択生物Ⅱ ¹⁾			1		
		選択環境科学Ⅰ ¹⁾			1		
		選択環境科学Ⅱ ¹⁾			1		
		選択物理 ¹⁾			1		
		選択数学Ⅰ ¹⁾			1		
選択数学Ⅱ ¹⁾			1				
臨床医学入門	医学総論	臨床検査・生理機能検査演習		3			
		医学総論	内科総論 外科総論				
臨床医学1	臨床医学1	循環器系		3			
		腎臓・電解質系					
臨床医学2	臨床医学2	呼吸器系		4			
		膠原病・アレルギー病学					
		感染症学					
臨床医学3	臨床医学3	血液病学		3			
		脳・神経系					
臨床医学4	臨床医学4	消化器系		4			
		代謝・内分泌系					
		臨床栄養学					
臨床医学5	臨床医学5	産科婦人科学		3			
		泌尿器科学					

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
臨床医学科目	臨床医学6	眼科学	2				
		耳鼻・咽喉・口腔外科学					
	臨床医学7	臨床医学7	整形外科	2			
			皮膚・形成外科学				
	臨床医学8	臨床医学8	中毒・救急医学	2			
			麻酔・集中治療学				
	臨床医学9	臨床医学9	精神神経医学	2			
			心身医学				
	臨床医学10	臨床医学10	小児科学	3			
	臨床医学11	臨床医学11	放射線医学	2			
			臨床遺伝学				
			移植・再生医療				
	臨床医学12	臨床医学12	腫瘍学	2			
			緩和医療学				
			リハビリテーション医学				
臨床医学13	臨床医学13	総合医療系	2			総合医療系には地域医療必修分を含む	
		医療安全					
臨床医学14	臨床医学14	臨床実習入門	4				
		臨床検査・生理機能検査実習					
		シミュレーション実習					
		EBM					
臨床医学15	臨床医学15	統合型臨床演習	1				
臨床医学16	臨床医学16	統合型臨床医学演習	2				
行動科学1	行動科学1	行動科学1	1				
行動科学2	行動科学2	行動科学2	1				
臨床病理学	臨床病理学	臨床病理学	3				
診断学実習	診断学実習	診断学実習	2				
臨床実習	臨床実習1	診療参加型臨床実習1	12				
		診療参加型臨床実習2	36				
		選択診療参加型臨床実習 ³⁾	12			3) 選択必修科目	
社会医学科目	社会医学1	公衆衛生学／医療政策・経営科学	4				
		衛生学					
	疫学・医療統計学						
社会医学2	社会医学1-②	法医学					
社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1				
社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	2				
キャリア教育科目	全人の医療人教育1	レディネス	4				
		倫理					
		コミュニケーション プロフェッショナリズム					
全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理	3				
		コミュニケーション プロフェッショナリズム					
全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理	2				
		コミュニケーション プロフェッショナリズム					

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考
			必修	選択	自由	
キャリア教育科目	全人の医療人教育4	全人の医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1		
	全人の医療人教育5	全人の医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1		
	全人の医療人教育6	全人の医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1		
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1		
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1		
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4		
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁴⁾	10		
先端医学演習 ⁵⁾						5) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ⁶⁾						6) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与
合計			202	60	0	卒業所要単位数は、必修202単位、選択12単位以上、計214単位以上とする。

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	4.5				
		心理学Ⅰ 倫理学 社会学					
	人文・社会学②	心理学Ⅱ 法学					
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
		選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾		1			
		選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾		1 1			
	選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾		1			
		選択芸術Ⅱ ¹⁾		1			
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			医学教養Ⅱ ¹⁾		1		
医学教養Ⅲ ¹⁾				1			
医学教養Ⅳ ¹⁾				1			
医学教養Ⅴ ¹⁾				1			
医学教養Ⅵ ¹⁾				1			
医学教養Ⅶ ¹⁾				1			
医学教養Ⅷ ¹⁾			1				
選択短期集中講座		学生テュータ養成講座 ¹⁾		1			
		実用医療英語 ¹⁾		1			
	チーム医療演習 ¹⁾ データサイエンス実践入門 ¹⁾		1 2				
選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾		1				
	地域医療学Ⅱ ¹⁾		1				
	地域医療学Ⅲ ¹⁾		1				
	地域医療学(千葉)Ⅰ ¹⁾		2				
	地域医療学(千葉)Ⅱ ¹⁾ 地域医療学(千葉)Ⅲ ¹⁾		2 2				

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4			
		英語1-②					医学英語入門
	英語2	英語2	基礎医学英語	2			
	英語3	英語3	臨床医学英語 I	2			
	英語4	英語4	臨床医学英語 II	1			
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾		1		
			Listening Skills ¹⁾		1		
	Cross Cultural Communication ¹⁾			1			
	Writing ¹⁾			1			
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾		1 1		
初修外国語	選択初修外国語	フランス語 I ¹⁾		2			
		フランス語 II ¹⁾		1			
		ドイツ語 I ¹⁾		2			
		ドイツ語 II ¹⁾		1			
		中国語 I ¹⁾		2			
		中国語 II ¹⁾		1			
医学準備・基礎医学統合科目	医用工学1	医用工学1-①	数理情報学 I 医科物理学 I	3			
		医用工学1-②					数理情報学 II 医科物理学 II
		医用工学1実習	医用工学1実習 ²⁾				0.5
	医用工学2	医用工学2	基礎放射線	1			
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	生体有機化学 I 遺伝生化学 I 生体有機化学 II 代謝生化学 I 代謝生化学 II 遺伝生化学 II	4		
			生体有機化学 I				
		生体物質の科学②	生体有機化学 II				
		生体物質の科学③	代謝生化学 I				
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾	1			3) 1、3期で実施されるが評価は3期に行う	
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論	組織学総論 運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系 消化器系 内分泌・泌尿生殖器系	4		
			組織学総論				
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系				
		生体の構造1-③	呼吸・循環器系				
生体の構造1実習	生体の構造1実習	生体の構造1実習 I ²⁾	生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV	2.5		2) 医用工学1実習と合わせて実施	
		生体の構造1実習 II					
		生体の構造1実習 III					
		生体の構造1実習 IV					
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学	感覚器・中枢神経系	2			
		組織学総論					
生体の構造2実習	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I	生体の構造2実習 II	3.5			
		生体の構造2実習 II					

領域名	サブ領域	ユニット		単位数			備考	
				必修	選択	自由		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋	4				
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環					
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖					
		生体の機能1実習	生体の機能1実習					1
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2				
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7			4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う	
		病態の科学②	病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学					
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾	3.5			5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾ 選択化学Ⅱ ¹⁾ 選択生物Ⅰ ¹⁾ 選択生物Ⅱ ¹⁾ 選択環境科学Ⅰ ¹⁾ 選択環境科学Ⅱ ¹⁾ 選択物理 ¹⁾ 選択数学Ⅰ ¹⁾ 選択数学Ⅱ ¹⁾		1 1 1 1 1 1 1 1 1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
	臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習	1			
			医学総論	内科総論 外科総論	2			
臨床医学1		臨床医学1	循環器系	内科 外科	6			
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁				
	腎臓・電解質系							
		感染症学						

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考				
			必修	選択	自由					
臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8						
		脳・神経系	内科 外科							
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科							
		膠原病・アレルギー病学								
		代謝・内分泌系								
	臨床医学3(小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学				小児科 新生児科 外科	6		
		臨床医学3-②	臨床遺伝学				産科 婦人科			
産科婦人科学										
臨床医学4(骨・運動・感覚器)	臨床医学4	泌尿器科学	小児科 新生児科 外科	6						
		眼科学								
		耳鼻・咽喉・口腔外科学					耳鼻科 口腔外科			
		皮膚・形成外科学					皮膚科 形成外科			
臨床医学5(放射線・全身管理)	臨床医学5	整形外科学	診断 治療	3						
		放射線医学								
		中毒・救急医学								
臨床医学6(精神領域)	臨床医学6	麻酔・集中治療学	麻酔科 集中治療	2						
		行動科学								
		心身医学								
臨床医学7(総合医学)	臨床医学7	精神神経医学	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4						
		総合医療系								
		医療安全								
		リハビリテーション医学								
		臨床栄養学								
		移植・再生医療								

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
臨床 医 学 科 目	臨床医学8(臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門 臨床検査・生理機能検査実習 シミュレーション実習	3			
	臨床医学9(統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3			
	臨床医学10(統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習	2			
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ	1			
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ	2			
	診断学実習	診断学実習	診断学実習	2			
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習	21			
	臨床実習2	必修診療参加型臨床実習	40				
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習6)	8		6) 選択必修科目		
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4			
		社会医学1-②	法医学				
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1			
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	3			
キ ャ リ ア 教 育 科 目	全人の医療人教育1	全人の医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	4.5			
	全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	3			
	全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1.5			
	全人の医療人教育4	全人の医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2			
	全人の医療人教育5	全人の医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	全人の医療人教育6	全人の医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1			
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1			
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4.5			
	医学 研 究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10		9) 6年間で論文作成は必修
先端医学演習 ¹⁰⁾						10) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
先端医学実習 ¹¹⁾						11) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
合計				208	52	0	卒業所要単位数は、必修208単位、選択9 単位以上、計217単位以上とする。

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学 社会学							
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾							
	選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾					1 1 1				
	選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾ 選択芸術Ⅱ ¹⁾				1 1				
		医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
	医学教養Ⅱ ¹⁾						1			
	医学教養Ⅲ ¹⁾							1		
	医学教養Ⅳ ¹⁾							1		
	医学教養Ⅴ ¹⁾							1		
	医学教養Ⅵ ¹⁾						1			
	医学教養Ⅶ ¹⁾					1				
	医学教養Ⅷ ¹⁾					1				
	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾				1				
実用医療英語 ¹⁾						1				
チーム医療演習 ¹⁾						1				
		データサイエンス実践入門 ¹⁾					2			
	選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾					1			
地域医療学Ⅱ ¹⁾						1				
地域医療学Ⅲ ¹⁾						1				
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾					1		
			Listening Skills ¹⁾					1		
	Cross Cultural Communication ¹⁾						1			
	Writing ¹⁾						1			
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾					1		
		英語検定 ¹⁾					1			
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾					2			
		フランス語Ⅱ ¹⁾					1			
		ドイツ語Ⅰ ¹⁾					2			
		ドイツ語Ⅱ ¹⁾					1			
		中国語Ⅰ ¹⁾					2			
		中国語Ⅱ ¹⁾					1			

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考		
			講義	演習	実習	講義	演習	実習			
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3								
		医用理工学1-②									
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習 I と合わせて実施		
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1							
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4							
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I								
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I								
			生体物質の科学③								代謝生化学 II 遺伝生化学 II
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾				1			³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う		
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4							
			生体の構造1-②								運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系
											生体の構造1-③
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I ²⁾ 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV			2.5			²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施			
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2								
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5						

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾					1		
選択生物Ⅰ ¹⁾						1				
選択生物Ⅱ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1				
選択物理 ¹⁾						1				
選択数学Ⅰ ¹⁾						1				
選択数学Ⅱ ¹⁾				1						
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習		1					
		医学総論	内科総論 外科総論		2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床 医 学 科 目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・ 内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
		泌尿器科学														
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
		整形外科学														
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4												
			医療安全													
			リハビリテーション医学													
			臨床栄養学													
		移植・再生医療														

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2					
臨床実習	臨床実習1	臨床実習1			21					
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
		臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ⁶⁾			8				⁶⁾ 選択必修科目
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
			社会医学1-②							法医学
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小計			80.5	40.5	87	34	12	0	
合計			208			46			
卒業時必要総単位数			217						

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学							
		社会学								
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾				1				
		選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾				1				
	選択芸術	選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾				1				
		選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1				
	医学教養	選択医学教養	選択芸術Ⅰ ¹⁾				1			
選択芸術Ⅱ ¹⁾						1				
医学教養Ⅰ ¹⁾						1				
医学教養Ⅱ ¹⁾						1				
医学教養Ⅲ ¹⁾							1			
医学教養Ⅳ ¹⁾							1			
医学教養Ⅴ ¹⁾							1			
医学教養Ⅵ ¹⁾					1					
選択短期集中講座	医学教養Ⅶ ¹⁾				1					
	医学教養Ⅷ ¹⁾				1					
	医学教養Ⅷ ¹⁾					1				
		学生テュータ養成講座 ¹⁾				1				
		実用医療英語 ¹⁾					1			
		チーム医療演習 ¹⁾					1			
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1			
			Listening Skills ¹⁾				1			
	Cross Cultural Communication ¹⁾					1				
	Writing ¹⁾					1				
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾				1			
		英語検定 ¹⁾				1				
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾				2				
		フランス語Ⅱ ¹⁾				1				
		ドイツ語Ⅰ ¹⁾				2				
		ドイツ語Ⅱ ¹⁾				1				
		中国語Ⅰ ¹⁾				2				
		中国語Ⅱ ¹⁾				1				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考		
			講義	演習	実習	講義	演習	実習			
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3								
		医用理工学1-②									
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習 I と合わせて実施		
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1							
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4							
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I								
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I								
			生体物質の科学③								代謝生化学 II 遺伝生化学 II
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1			³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う			
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4							
			生体の構造1-②								運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系
			生体の構造1-③								消化器系 内分泌・泌尿生殖器系
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I ²⁾ 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV			2.5			²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施			
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2								
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5						

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾					1		
選択生物Ⅰ ¹⁾						1				
選択生物Ⅱ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1				
選択物理 ¹⁾						1				
選択数学Ⅰ ¹⁾						1				
選択数学Ⅱ ¹⁾				1						
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習		1					
		医学総論	内科総論 外科総論		2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
腎臓・電解質系										
感染症学										

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4												
			医療安全													
		リハビリテーション医学														
		臨床栄養学														
		移植・再生医療														

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床 医 学 科 目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
	診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
			必修診療参加型臨床実習			40				
Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾						1		⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与		
臨床実習3	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}			8			⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須		
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
		社会医学1-②	法医学							
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計			80.5	40.5	87	34	8	0	
合 計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

平成28年度から平成30年度の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考			
			講義	演習	実習	講義	演習	実習				
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学① 心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5									
		人文・社会学② 心理学Ⅱ 法学										
	人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1 1 1 1			¹⁾ 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得			
		選択芸術 選択芸術Ⅰ ¹⁾ 選択芸術Ⅱ ¹⁾				1 1						
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾ 医学教養Ⅱ ¹⁾ 医学教養Ⅲ ¹⁾ 医学教養Ⅳ ¹⁾ 医学教養Ⅴ ¹⁾ 医学教養Ⅵ ¹⁾ 医学教養Ⅶ ¹⁾ 医学教養Ⅷ ¹⁾				1 1 1 1 1 1 1	1 1 1				
			選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾ 実用医療英語 ¹⁾ チーム医療演習 ¹⁾				1 1 1		1 1 1		
				英語1	英語1-① 英語1-②	英語総合 医学英語入門	4					
				英語2	英語2	基礎医学英語	2					
			英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
			英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
外国語科目	英語	英会話 ¹⁾ Listening Skills ¹⁾ Cross Cultural Communication ¹⁾ Writing ¹⁾				1 1 1 1		¹⁾ 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得				
		選択英語コミュニケーション 選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾				1 1					
基礎医学統合科目	医用工学1	医用工学1-① 数情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3									
		医用工学1-② 数情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ										
		医用工学1実習	医用工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施			

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備・ 基礎 医学 統合 科目	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1					
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4					
			生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ						
		生体物質の科学②	生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ						
			生体物質の科学③						
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1				³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論	4					
			組織学総論						
			生体の構造1-②						
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系						
	生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ ²⁾ 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ			2.5				²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2					
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5			
	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理	4					
			神経筋						
			生体の機能1-②						
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖						
生体の機能1実習	生体の機能1実習			1					
生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2						
病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7						
		病態の科学②							病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学
	病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾							

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学準備・基礎医学統合科目	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾					1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾						1	
			選択生物Ⅰ ¹⁾						1	
			選択生物Ⅱ ¹⁾						1	
			選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1	
			選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1	
			選択物理 ¹⁾						1	
			選択数学Ⅰ ¹⁾						1	
選択数学Ⅱ ¹⁾						1				
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・生理機能検査演習			1				
			医学総論	内科総論 外科総論	2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
			腎臓・電解質系							
			感染症学							
	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8					
			脳・神経系	内科 外科						
		臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学							
			膠原病・アレルギー病学							
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科	6					
			臨床医学3-②	臨床遺伝学						
産科婦人科学		産科 婦人科								
泌尿器科学										
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
		耳鼻・咽喉・口腔外科学	耳鼻科 口腔外科							
		皮膚・形成外科学	皮膚科 形成外科							
		整形外科学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床 医 学 科 目	臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線医学	3						
			診断 治療							
			中毒・救急医学							
	臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	麻酔・集中 治療学	2						
			麻酔科 集中治療							
			行動科学							
	臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	心身医学	4						
			精神神経医学							
			総合医療系							
			高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学							
			医療安全							
	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	リハビリテーション医学							
			臨床栄養学							
			移植・再生医療							
臨床実習入門										
臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	臨床検査・ 生理機能検査実習	3							
		シミュレーション実習								
		臨床実習2								
臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	臨床実習1	3							
		臨床実習2								
		臨床実習3								
臨床 実 習	臨床実習	臨床実習1	21							
		臨床実習2								
		必修診療参加型臨床実習								
		Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾							1	⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与
		臨床実習3							8	⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須
		臨床実習1							21	
		必修診療参加型臨床実習							40	
		Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾							1	⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与
		臨床実習3							8	⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須
		臨床実習2								
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	4							
		公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学								
	社会医学1-②	法医学								
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1						
社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	3							

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計			82.5	38.5	87	34	8		
合 計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(1) 医学 教育 準備 科目	健康心理学	28						
	英語総合・英語総合基礎	56						
	基礎物理学	21						2科目から1科目選択必修
	基礎生物学	21						
	基礎化学	14						
	生体無機化学	14						
	生体有機化学	14						
	化学実習	30						
	物理学	21						
	物理学実習	30						
	人体生物学	21						
	細胞生物学	21						
	細胞生物学実習	30						
	医学情報学	28						
	数学	14						
	運動科学	14						
	PBLテュートリアル I	19						
(2) 基礎 医学 科目	組織学総論	30						
	細胞生理学	12						
	血液・リンパ系	10						
	内分泌系		18					
	呼吸・循環器系		24					
	消化器系		13					
	腎・泌尿生殖器系		14					
	運動器（骨格）系	20						
	末梢神経・筋系		17					
	中枢神経構造・感覚器系		17					
	中枢神経機能系		24					
	マクロ形態実習		102					
	ミクロ形態実習		45					
	生理機能(生理)実習		39					
	人体発生学		19					
	生化学基礎編	60						
	生化学応用編		28					
	医動物学		10					
	微生物学		80					
	免疫学		40					
	薬理学総論		38					
薬理学各論					※16			
病理学総論		58						
病理学各論 I				※51				
病理学各論 II					※24			
放射線医学（基礎編）		24						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(2) 基礎 医学 科目	東洋医学（基礎編）		8					
	基礎医学英語		22					
	検査医学演習（基礎編）		34					
	先端医科学演習		44					
	PBLテュートリアルⅡ		30					
(3) 臨床 医学 科目	臨床医学入門*†			46				
	臨床医学英語Ⅰ			28				
	臨床医学英語Ⅱ				16			
	臨床推論演習			22				
	外科学総論*			7				
	臨床遺伝学			9				
	呼吸器・乳腺*†			63				
	循環器系*†			81				
	腎臓学・電解質*			43				
	脳・神経系*†			63				
	代謝・内分泌学*†			48				
	消化器系*			72				
	膠原病・アレルギー学†			29				
	感染症学*			15				
	血液学			21				
	腫瘍学			14				
	加齢・高齢医学			9				
	眼科学			18				
	耳鼻咽喉科学			18				
	皮膚科学			18				
	産科婦人科学*					70		
	小児科学*†					69		
	整形外科学†					47		
	精神科学†					40		
	心身医学*					20		
	行動科学					18		
	形成外科学					6		
	泌尿器科学					26		
	救急医学					15		
	麻酔科学					18		
	輸血学					10		
	放射線医学（臨床編）					18		
	東洋医学（臨床編）					8		
	検査医学演習（臨床編）					14		
	栄養学				※14	※4		
リハビリテーション医学				※8	※5			
（*含栄養学）								
（†含リハビリテーション医学）								
診断学実習					49			

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(3) 臨床 医学 科目	症候・病態学演習 PBLテュートリアルⅢ PBLテュートリアルⅣ 総合臨床講義 臨床実習入門 臨床実習 集中臨床講義 選択制臨床実習			※63	12 ※63 90	36 20 990	42 240	
(4) 社会 医学 科目	E BM入門 衛生学 公衆衛生学 法医学 統合型社会医学実習 (衛生学、公衆衛生学、法医学)				16 20 23 21 34			
(5) 医療 人 教育 科目	全人的医療人教育Ⅰ 全人的医療人教育Ⅱ 全人的医療人教育Ⅲ 全人的医療人教育Ⅳ 全人的医療人教育Ⅴ(CBM)	66	16	11	22	28		
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※「病理学各論Ⅰ」「病理学各論Ⅱ」「薬理学各論」

「栄養学」「リハビリテーション医学」は、統合科目として実施する。

※「PBLテュートリアルⅢ」「PBLテュートリアルⅣ」は、各ユニットに含まれる。

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	①人文科学							
	倫理学	1						
	哲学	1						
	宗教学	1						
	言語学	1						
	②社会科学							
	法学1	1						
	法学2	1						
	経済学	1						
	社会学	1						
	行動分析学入門	1						
	③芸術・健康科学							
	音楽	1						
	美術	1						
	スポーツ科学演習	2						
	ロジカルライティング入門	1						
	教材作成から学ぶ	1						
	④自然・環境科学							
	選択基礎化学	1						
	線形数学入門	1						
	かたちの科学入門	1						
	微分積分学入門	1						
	地球環境科学	1						
	特殊環境の生命を探る	1						
	バイオインフォマティクス入門	1						
	生体関連分子特論	1						
	演習生体有機化学	1						
	応用物理学	1						
	細胞の生物学	1						
	選択基礎物理学	1						
	⑤医療教養学							
	医療人のための日本語表現	1						
	男女共同参画と医療	1						
	役立つ最新の心理療法	1						
	医学生の学術情報活用演習	1						
	⑥基礎医科学							
	基礎免疫学	1						
	からだの化学的調節と循環器疾患	1						
	法医学入門	1						
	感染症の最前線	1						
分子神経科学	1							
呼吸を科学する	1							
航空宇宙医学	1							
人体構造学演習	1							

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次
	行動神経解剖学 (心理解剖学)	1					
	NEJM Case Recordsを読む	1					
	臨床微生物学・感染症学の基礎と応用	1					
	⑦臨床医科学						
	東洋医学概論	1					
	身体・心理・社会・医療モデル1	1					
	身体・心理・社会・医療モデル2	1					
	医療の変遷と潮流	1					
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅰ	1					
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅱ	1					
	英国疫学の歴史に学ぶEBM看護の機能と役割	1					
	看護の機能と役割	1					
	赤ちゃんを巡るところとからだ	1					
	⑧基礎語学						
	選択英語1	2					
	選択基礎2	2					
	CMESⅠ※	1					
	CMESⅡ※	1					
	CMESⅢ※	1					
	フランス語基礎	2					
	フランス語初級	2					
	MSFを読む1	1					
	MSFを読む2	1					
	ドイツ語基礎	2					
	ドイツ語初級	2					
	中国語基礎1	2					
	中国語基礎2	2					
	⑨言語コミュニケーション学						
	英会話初級1	2					
	英会話初級2	2					
	英会話中級1	2					
	英会話中級2	2					
	英会話上級1	2					
	英会話上級2	2					
	E L 1-Listening	1					
	E L 2-Reading	1					
	E L 3-Reading	1					
	ニュースのME1	2					
	ニュースのME2	2					
	ME医学英語1	2					
	ME医学英語2	2					
	Writing	2					
	C S A	1					
	オックスフォード・イングリッシュ・プログラム	2-3					
	Medical English Vocabulary	2					

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	Speech Shadowing	2						
	Presentation	2						
	⑩語学検定							
	独語検定 1	1						
	独語検定 2	1						
	英語検定 (TOEFLコース)	2						
	⑪テュートリアル							
	インターネットテュートリアル	1						
	学生テュータ養成講座 I	1						
	学生テュータ養成講座 II	1						
	⑫多職種連携							
	チーム医療演習	1						
	実用医療英語	1						
	計 (単位数)	116						
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※ 「CMES I」「CMES II」「CMES III」は英語成績不良者の必修補講科目である。

※ 選択科目は第 4 年次までに18単位以上取得。

*計：授業時間数（1時限は70分）を示す。選択科目は単位数を示す。

(2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成27年度から平成28年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
	小 計	20	2.5	0.5	20	0.5	2	
	合 計	23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
生薬学実習			1					

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学VI	1						
	薬物治療学VII	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報 I	1						
	医療情報 II	1						
	医療情報 III	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学VI				1				
薬学臨床	1	1						
	プレ実務実習 I (調剤)			1				
	プレ実務実習 I (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習 II (実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習 II (医療情報)			1				
プレ実務実習 II (総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習 I		1					
	薬学演習 II		2					
	薬学総合演習 I		2					
	薬学総合演習 II		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究 I			8				
	薬学総合講義 I				1		*2	
	薬学総合講義 II				1		*2	
	卒業研究 II a					4	*2	
卒業研究 II b					2	*2		
薬学アドバンス	高齢者医療 I	0.5						
	臨床医学総論 I	1						
	臨床医学総論 II	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待 I	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発 I				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学 アド バン スト	医薬銀開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2	8.5	
合計		145			34			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成27年度から平成28年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成29年度から平成30年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎(物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習					0.5		
薬学基礎(化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
卒業研究Ⅱb						2	*2	
薬学アドバンスト	高齢者医療Ⅰ	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
社会への招待Ⅱc				0.5			*4	
社会への招待Ⅱd				0.5			*4	
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	24.5	2	8.5	
合計		145			35			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成29年度から平成30年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成31年度から令和3年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
自己表現論				1			*1	
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人 意 識 形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験 人間と生命			0.5				
					1			
薬学 と 社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基 礎 (物 理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基 礎 (化 学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*2 選択必修単位 (4単位履修する)

*3 選択必修単位 (0.5単位履修する)

*4 選択必修単位 (0.5単位履修する)

※平成31年度から令和3年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【令和4年度の入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	データサイエンス実践入門					2		*1
	現代日本史				1			*2
	国際関係論				1			*2
自己表現論				1			*2	
民俗学				1			*2	
経済学				1			*2	
スポーツ科学				1			*2	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	2.5	2	
合 計		23			24.5			

*1 講義、演習を併用する

*2 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人意 識形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基礎 (物 理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基礎 (化 学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*3
	薬学総合講義Ⅱ				1			*3
	卒業研究Ⅱa						4	*3
	卒業研究Ⅱb						2	*3
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*4
	社会薬学特別講義				0.5			*4
	社会への招待Ⅱa				0.5			*5
	社会への招待Ⅱb				0.5			*5
	社会への招待Ⅱc				0.5			*5
	社会への招待Ⅱd				0.5			*5
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*3 選択必修単位 (4単位履修する)

*4 選択必修単位 (0.5単位履修する)

*5 選択必修単位 (0.5単位履修する)

※令和4年度以降の入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部薬学科開設科目単位表

【令和5年度の入学者に適用】

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
教養教育	法学	1			
	倫理哲学	1			
	心理学	1			
	保健環境論	1			
	文章表現論	1			
	基礎物理学Ⅰ	1			
	基礎物理学Ⅱ	1			
	基礎物理学Ⅲ	1			
	基礎化学	1			
	基礎生物学	1			
	基礎数学Ⅰ	1			
	基礎数学Ⅱ	1			
	初等物理学演習	1			
	初等化学演習	0.5			
	コンピュータ入門	1			
	基礎生物学実習	0.5			
	初等数学演習		0.5		
	データサイエンス実践入門			2	
	現代日本史			1	*1
	国際関係論			1	*1
自己表現論			1	*1	
民俗学			1	*1	
経済学			1	*1	
スポーツ科学			1	*1	
外国語	英語Ⅰa	2			
	英語Ⅰb	2			
	英語Ⅱa	2			
	英語Ⅱb	2			
	英会話		2		
	ドイツ語Ⅰa		2		
	ドイツ語Ⅰb		2		
	中国語Ⅰa		2		
	中国語Ⅰb		2		
	フランス語Ⅰa		2		
	フランス語Ⅰb		2		
体 育 健	スポーツ実習Ⅰ		1		
	スポーツ実習Ⅱ		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療人意識形成	薬学入門	1			
	薬史学	1			
	コミュニケーション	0.5			
	プレゼンテーション	1			
	ヒューマニズムⅠ	0.5			
	ヒューマニズムⅡ	0.5			
	ヒューマニズムⅢ	0.5			
	ヒューマニズムⅣ	0.5			
	早期臨床体験	0.5			
人間と生命			1		
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5			
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2			
	地域医療	0.5			
	薬局管理学	1			
	社会薬学総合演習		0.5		
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1			
	分析化学Ⅱ	1			
	分析化学Ⅲ	1			
	薬学機器分析学	0.5			
	構造化学	1			
	物理化学Ⅰ	1			
	物理化学Ⅱ	1			
	放射薬品学	1			
	分析化学実習	1			
	物理化学実習	1			
	放射薬品学実習		0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1			
	天然物化学	1			
	漢方薬学	1			
	植物療法学	1			
	無機化学	1			
	有機化学Ⅰ	1			
	有機化学Ⅱ	1			
	有機化学Ⅲ	1			
	有機化学Ⅳ	1			
	有機構造解析学	1			
	生物有機化学	1			
	医薬品合成化学Ⅰ	1			
	医薬品合成化学Ⅱ	1			
	医薬品化学	1			
	有機化学実習Ⅰ	0.5			
	有機化学実習Ⅱ	1			
	生薬学実習	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1			
	生化学Ⅱ	1			
	生化学Ⅲ	1			
	細胞生物学	1			
	人体生理学Ⅰ	1			
	人体生理学Ⅱ	1			
	人体生理学Ⅲ	1			
	微生物学	1			
	病原微生物学	1			
	分子生物学Ⅰ	1			
	分子生物学Ⅱ	1			
	免疫学Ⅰ	1			
	免疫学Ⅱ	1			
	分子腫瘍学	0.5			
	微生物学実習	1			
	生化学実習	0.5			
	分子生物学・免疫学実習	0.5			
衛生薬学	環境Ⅰ	2			
	環境Ⅱ	1			
	健康Ⅰ	1			
	健康Ⅱ	1			
	健康Ⅲ	1			
	健康Ⅳ	1			
	臨床衛生学	1			
	衛生薬学実習	1			
医療薬学	薬理学Ⅰ	1			
	薬理学Ⅱ	1			
	薬理学Ⅲ	1			
	薬理学Ⅳ	1			
	薬理学Ⅴ	1			
	製剤学Ⅰ	1			
	製剤学Ⅱ	1			
	製剤学Ⅲ	1			
	薬物動態学Ⅰ	1			
	薬物動態学Ⅱ	1			
	薬物動態学Ⅲ	1			
	生物統計学	1			
	化学療法学	1			
	症候学	1			
	病態検査学	1			
	薬物治療学Ⅰ	1			
	薬物治療学Ⅱ	1			
	薬物治療学Ⅲ	1			
	薬物治療学Ⅳ	1			
	薬物治療学Ⅴ	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1			
	薬物治療学Ⅶ	1			
	感染症学	1			
	臨床腫瘍学	0.5			
	臨床漢方治療学	1			
	医薬品安全性学	0.5			
	一般用医薬品学	1			
	先端医療薬学	1			
	医療情報Ⅰ	1			
	医療情報Ⅱ	1			
	医療情報Ⅲ	1			
	臨床薬学総論	1			
	薬物治療学演習	0.5			
	薬理学実習	1.5			
	製剤学実習	1			
	薬物動態学実習	1			
	病態検査学実習	0.5			
薬理学Ⅵ			1		
薬学臨床	実践薬物治療学	1			
	ブレ実務実習Ⅰ(調剤)	1			
	ブレ実務実習Ⅰ(医薬品管理・患者対応)	0.5			
	ブレ実務実習Ⅱ(実践薬学)	2.5			
	ブレ実務実習Ⅱ(医療情報)	1			
	ブレ実務実習Ⅱ(総合演習)	1			
薬学総合	総合科学演習	1			
	薬学演習Ⅰ	1			
	薬学演習Ⅱ	2			
	薬学総合演習Ⅰ	2			
	薬学総合演習Ⅱ	4			
	病院実習	10			
	薬局実習	10			
	卒業研究Ⅰ	8			
	薬学総合講義Ⅰ		1		*2
	薬学総合講義Ⅱ		1		*2
	卒業研究Ⅱa		4		*2
卒業研究Ⅱb		2		*2	
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5			
	臨床医学総論Ⅰ	1			
	臨床医学総論Ⅱ	1			
	処方設計管理学	1			
	社会への招待Ⅰ	0.5			
	薬剤師のためのやさしい英会話		1		
	実用医療英語		1		
	生体分子解析学		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
薬学 アド バン スト	医薬品開発Ⅰ		1		
	医薬品開発Ⅱ		1		
	医用工学概論		1		
	看護学		1		
	形態機能学総論		1		
	臨床心理学		1		
	生命科学		1		
	人体解剖学		0.5		
	臨床栄養学		0.5		
	環境学総論Ⅰ		0.5		
	環境学総論Ⅱ		0.5		
	化粧品学		0.5		
	レギュラトリーサイエンス		0.5		
	薬剤経済		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅰ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅱ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅲ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅳ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅴ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅵ		0.5		
	生命科学特別講義		0.5		*3
	社会薬学特別講義		0.5		*3
	社会への招待Ⅱa		0.5		*4
	社会への招待Ⅱb		0.5		*4
社会への招待Ⅱc		0.5		*4	
社会への招待Ⅱd		0.5		*4	
実用薬学英語			1		
チーム医療演習			1		
海外実務実習			2		
	合計	168	59	0	卒業所要単位数は、必修168単位、選択18単位以上、計186単位以上とする。

*1 選択必修単位（2単位履修する）

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

薬学部薬学科開設科目単位表

【令和6年度以降の入学者に適用】

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考	
		必修	選択	自由		
総合 教育科目	法学	1				
	倫理哲学	1				
	心理学	1				
	保健環境論	1				
	文章表現論	1				
	基礎物理学Ⅰ	1				
	基礎物理学Ⅱ	1				
	基礎物理学Ⅲ	1				
	基礎化学	1				
	基礎生物学	1				
	基礎数学Ⅰ	1.5				
	基礎数学Ⅱ	1				
	初等物理学演習	1				
	初等化学演習	0.5				
	教養教育	数理データサイエンスAI入門	1			
		データサイエンスリテラシー演習	1			
		基礎生物学実習	0.5			
		現代日本史		1		*1
		国際関係論		1		*1
		自己表現論		1		*1
		民俗学		1		*1
		経済学		1		*1
		スポーツ科学		1		*1
		プログラミング入門		1		
		全学共通科目A		2		
		全学共通科目B		2		
		全学共通科目C		1		
		全学共通科目D		1		
		全学共通科目E		1		
		全学共通科目F		1		
		初等コンピューター技術			0.5	
	外国語	英語Ⅰa	1			
		英語Ⅰb	1			
英語Ⅱa		1				
英語Ⅱb		1				
英語Ⅲa		1				
英語Ⅲb		1				
英語Ⅳa		1				
英語Ⅳb		1				
英会話			1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	外国語	ドイツ語 I a		1		
		ドイツ語 I b		1		
		ドイツ語 II a		1		
		ドイツ語 II b		1		
		中国語 I a		1		
		中国語 I b		1		
		中国語 II a		1		
		中国語 II b		1		
		フランス語 I a		1		
		フランス語 I b		1		
		フランス語 II a		1		
		フランス語 II b		1		
		外国語セミナーA		1		
	外国語セミナーB		1			
体保 育健	スポーツ実習 I		1			
	スポーツ実習 II		1			
専門基礎教育科目	薬学基礎 (物理)	分析化学 I	1			
		分析化学 II	1			
		分析化学 III	0.5			
		薬学機器分析学	0.5			
		構造化学	1			
		物理化学 I	1			
		物理化学 II	1			
		分析化学実習	1			
		物理化学実習	1			
	薬学基礎 (化学)	生薬学	1			
		天然物化学	1			
		漢方薬学	1			
		植物療法学	1			
		無機化学	1			
		有機化学 I	1			
		有機化学 II	1			
		有機化学 III	1			
		有機化学 IV	1			
		有機化学 V	1			
		有機化学 VI	1			
		有機構造解析学	1			
		生物有機化学	1			
		医薬品化学	1			
		有機化学実習 I	0.5			
		有機化学実習 II	1			
		生薬学実習	1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎 教育科目	薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1			
		生化学Ⅱ	1			
		生化学Ⅲ	1			
		細胞生物学	1			
		人体生理学Ⅰ	1			
		人体生理学Ⅱ	1			
		人体生理学Ⅲ	1			
		微生物学	1			
		病原微生物学	1			
		分子生物学Ⅰ	1			
		分子生物学Ⅱ	1			
		免疫学Ⅰ	1			
		免疫学Ⅱ	1			
		分子腫瘍学	0.5			
		微生物学実習	1			
生化学実習	0.5					
分子生物学・免疫学実習	0.5					
専門教育 科目	医療人 意識 形成	薬学入門	1			
		コミュニケーション	0.5			
		ヒューマニズムⅠ	0.5			
		ヒューマニズムⅡ	0.5			
		ヒューマニズムⅢ	0.5			
		ヒューマニズムⅣ	0.5			
		早期臨床体験	0.5			
	人間と生命		1			
	薬学と 社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1			
		薬事関係法規・制度Ⅱ	1			
		薬事関係法規・制度Ⅲ	0.5			
		地域医療	0.5			
		薬局管理学	1			
		社会薬学総合演習		0.5		
	衛生薬学	環境Ⅰ	2			
		環境Ⅱ	1			
		健康Ⅰ	1			
		健康Ⅱ	1			
		健康Ⅲ	1			
		健康Ⅳ	1			
		臨床衛生学	1			
放射薬品学		0.5				
衛生薬学実習		1				
放射薬品学実習			0.5			

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
専門 教育 科目	薬理学Ⅰ	1			
	薬理学Ⅱ	1			
	薬理学Ⅲ	1			
	薬理学Ⅳ	1			
	薬理学Ⅴ	1			
	薬理学Ⅵ	1			
	製剤学Ⅰ	1			
	製剤学Ⅱ	1			
	製剤学Ⅲ	1			
	薬物動態学Ⅰ	1			
	薬物動態学Ⅱ	1			
	薬物動態学Ⅲ	1			
	生物統計学	1			
	化学療法学	1			
	症候学	1			
	病態検査学Ⅰ	1			
	病態検査学Ⅱ	0.5			
	薬物治療学Ⅰ	1			
	薬物治療学Ⅱ	1			
	薬物治療学Ⅲ	1			
	薬物治療学Ⅳ	1			
	薬物治療学Ⅴ	1			
	薬物治療学Ⅵ	1			
	薬物治療学Ⅶ	1			
	感染症学	1			
	臨床腫瘍学	0.5			
	臨床漢方治療学	1			
	医薬品安全性学	0.5			
	一般用医薬品学	1			
	先端医療薬学	1			
	医療情報Ⅰ	1			
	医療情報Ⅱ	1			
	医療情報Ⅲ	1			
臨床薬学総論	1				
薬物治療学演習	0.5				
薬理学実習	1.5				
製剤学実習	1				
薬物動態学実習	1				
病態検査学実習	0.5				
医療データサイエンス	0.5				
医療データサイエンス演習	0.5				

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	臨床 薬学	実践薬物治療学	1			
		ブレ実務実習Ⅰ(調剤)	1			
		ブレ実務実習Ⅰ(医薬品管理・患者応対)	0.5			
		ブレ実務実習Ⅱ(実践薬学)	2			
		ブレ実務実習Ⅱ(医療情報)	1			
		ブレ実務実習Ⅱ(総合演習)	0.5			
	薬学 総合	総合科学演習	1			
		薬学演習Ⅰ	1			
		薬学演習Ⅱ	2			
		薬学総合演習Ⅰ	2			
		薬学総合演習Ⅱ	4			
		病院実習	10			
		薬局実習	10			
		薬学研究Ⅰ	8			
		薬学総合講義Ⅰ		1		*2
		薬学総合講義Ⅱ		1		*2
		薬学研究Ⅱa		4		*2
		薬学研究Ⅱb		2		*2
	薬学 アド バン スト	高齢者医療	0.5			
		臨床医学総論Ⅰ	1			
		臨床医学総論Ⅱ	1			
		処方設計管理学	1			
		社会への招待Ⅰ	0.5			
		多職種臨床推論	0.5			
		薬剤師のためのやさしい英会話		1		
		実用医療英語		1		
		生体分子解析学		1		
		医薬品開発Ⅰ		1		
		医薬品開発Ⅱ		1		
		医用工学概論		1		
		看護学		1		
		臨床心理学		1		
		生命科学		1		
人体解剖学			0.5			
臨床栄養学			0.5			
先端応用薬学総論Ⅰ			0.5			
先端応用薬学総論Ⅱ			0.5			
先端応用薬学総論Ⅲ			0.5			
先端応用薬学総論Ⅳ			0.5			
先端応用薬学総論Ⅴ		0.5				
先端応用薬学総論Ⅵ		0.5				
生命科学特別講義		0.5		*3		
社会薬学特別講義		0.5		*3		

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	薬 学 ア ド バ ン ス ト	社会への招待Ⅱa		0.5		*4
		社会への招待Ⅱb		0.5		*4
		社会への招待Ⅱc		0.5		*4
		社会への招待Ⅱd		0.5		*4
		実用薬学英语		1		
		チーム医療演習		1		
		海外実務実習		2		
		合計	168.5	62	0.5	卒業所要単位数は、必修168.5単位、選択17.5単位以上、計186単位以上とする。

*1 選択必修単位（2単位履修する）

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

(3-1) 理学部生物学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
			心理学B		2	
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
		中国語B		1		
		外国語セミナーA		1		
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
スポーツ・健康科学演習F		1					
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2	
			リベラルアーツ・セミナーB		2	
			リベラルアーツ・セミナーC		2	
			リベラルアーツ・セミナーD		2	
			リベラルアーツ・セミナーE		2	
			リベラルアーツ・セミナーF		2	
			リベラルアーツ・セミナーG		2	
			リベラルアーツ・セミナーH		2	
			リベラルアーツ・フォーラムA		1	
			リベラルアーツ・フォーラムB		1	
			リベラルアーツ・フォーラムC		1	
			リベラルアーツ・フォーラムD		1	
			インターンシップ		1	
			キャリアデザイン		1	
			海外体験プログラムA		1	
			海外体験プログラムB		1	
			海外体験プログラムC		1	
			海外体験プログラムD		1	
	教育制度論		2			
	教育社会学		2			
	人間と生命		1			
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1		2	
			数学A 2		2	
			数学B 1		2	
			数学B 2		2	
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
情報科学A 1				1		
情報科学A 2				1		
情報科学B 1				2		
情報科学B 2				2		
データサイエンス実践入門				2		
一般化学				2		
生命科学				2		
物理学概論				2		
一般物理学				2		
地球宇宙科学				2		
化学実験				1		
生命科学実験				1		
物理学実験				1		
地球宇宙科学実験				1		
初年次セミナー				2		
化学ベーシックA					1	
化学ベーシックB					1	
生物ベーシックA					1	
生物ベーシックB					1	
数学ベーシックA					1	
数学ベーシックB					1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
統合科目 2 0		2				
専門教育科目	生物学序論	1				
	細胞生物学	2				
	遺伝学	2				
	基礎生物科学演習 I	1				
	生物基礎実験	1				
	物質生化学	2				
	基礎生理学	2				
	動物生態学	2				
	発生生物学	2				
	分子生物学	2				
	植物生理学 I	2				
	基礎生物科学演習 II	1				
	分子・細胞生物学実習	1				
	組織学	2				
	基礎免疫生物学	2				
	代謝生化学	2				
	系統分類学	1				
	植物生態学	2				
	生化学実習	1				
	卒業研究 I	1				
	多様性生物学		2			
	植物生理学 II		2			
	動物行動学		2			
	発生学実習		1			
野外生態学実習 I		1				

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	応用生化学		2		
	分子細胞生物学		2		
	分子遺伝学		1		
	分子発生生物学		2		
	植物系統学		1		
	進化生態学		2		
	解剖学実習		1		
	組織学実習		1		
	植物生理学実習		1		
	遺伝学実習		1		
	動物生理学		2		
	生物統計学		2		
	微生物学Ⅰ		1		
	微生物学Ⅱ		1		
	免疫生物学		2		
	幹細胞生物学		2		
	分子生理学		2		
	動物形態進化学		2		
	生物学特論Ⅰ		1		
	生命科学研究セミナー		1		
	微生物学実習		1		
	免疫生物学実習		1		
	生命工学実習		1		
	動物生理学実習		1		
	野外生態学実習Ⅱ		1		
	分子進化学		1		
	行動生理学		1		
	霊長類生態学		1		
	高山生態学		1		
	生物科学英語		1		
	生物学特論Ⅱ		1		
	生物科学実践実習		3		
	生物学特論Ⅲ		1		
	卒業研究Ⅱ		4		
生物学演習Ⅱ		1			
生物学特論Ⅳ		1			
卒業研究Ⅲ		4			
生物学演習Ⅲ		1			
生物学特論Ⅴ		1			
生物学特論Ⅵ		1			
学外講義		2			
学外実習		1			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		物理学実験をもってこれに代える (再掲：統合科目) (再掲：統合科目)
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		
		臨床検査学実習Ⅰ		0.7		
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		
臨床検査総合管理学Ⅳ		1				
臨地実習		12				
臨床特別講義		1				
チーム医療演習		1				
	合計	44	340.5	6	卒業所要単位は、必修44単位、選択80単位以上、計124単位以上とする。	

(3-2) 理学部化学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
	心理学B		2			
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
		中国語B		1		
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系	スポーツ・健康科学理論		2	
			スポーツ・健康科学実技A 1		1	
			スポーツ・健康科学実技A 2		1	
			スポーツ・健康科学実技B 1		1	
			スポーツ・健康科学実技B 2		1	
			スポーツ・健康科学実技C 1		1	
			スポーツ・健康科学実技C 2		1	
			スポーツ・健康科学実技D 1		1	
			スポーツ・健康科学実技D 2		1	
			スポーツ・健康科学実技E 1		1	
			スポーツ・健康科学実技E 2		1	
			スポーツ・健康科学実技F 1		1	
			スポーツ・健康科学実技F 2		1	
			スポーツ・健康科学実技G 1		1	
			スポーツ・健康科学実技G 2		1	
			スポーツ・健康科学実技H 1		1	
			スポーツ・健康科学実技H 2		1	
			スポーツ・健康科学実技I 1		1	
			スポーツ・健康科学実技I 2		1	
			スポーツ・健康科学実技J 1		1	
			スポーツ・健康科学実技J 2		1	
			スポーツ・健康科学実技K 1		1	
			スポーツ・健康科学実技K 2		1	
			スポーツ・健康科学実技L		1	
			スポーツ・健康科学実技M		1	
			スポーツ・健康科学実技N		1	
			スポーツ・健康科学実技O		1	
			スポーツ・健康科学演習A		1	
			スポーツ・健康科学演習B		1	
			スポーツ・健康科学演習C		1	
			スポーツ・健康科学演習D		1	
			スポーツ・健康科学演習E		1	
			スポーツ・健康科学演習F		1	
スポーツ・健康科学演習G		1				
スポーツ・健康科学演習H		1				
スポーツ・健康科学演習I		1				
スポーツ・健康科学演習J		1				
スポーツ・健康科学演習K		1				
スポーツ・健康科学演習L		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
		リベラルアーツ・セミナーB		2		
		リベラルアーツ・セミナーC		2		
		リベラルアーツ・セミナーD		2		
		リベラルアーツ・セミナーE		2		
		リベラルアーツ・セミナーF		2		
		リベラルアーツ・セミナーG		2		
		リベラルアーツ・セミナーH		2		
		リベラルアーツ・フォーラムA		1		
		リベラルアーツ・フォーラムB		1		
		リベラルアーツ・フォーラムC		1		
		リベラルアーツ・フォーラムD		1		
		インターンシップ		1		
		キャリアデザイン		1		
		海外体験プログラムA		1		
		海外体験プログラムB		1		
		海外体験プログラムC		1		
		海外体験プログラムD		1		
		教育制度論		2		
		教育社会学		2		
人間と生命		1				
総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
		数学A 2	2			
		数学B 1		2		
		数学B 2		2		
		確率と統計A		2		
		確率と統計B		2		
		情報科学A 1		1		
		情報科学A 2		1		
		情報科学B 1		2		
		情報科学B 2		2		
		データサイエンス実践入門		2		
		一般化学	2			
		生命科学		2		
		物理学概論		2		
		一般物理学	2			
		地球宇宙科学		2		
		化学実験		1		
		生命科学実験		1		
		物理学実験		1		
		地球宇宙科学実験		1		
		初年次セミナー		2		
		化学ベーシックA			1	
		化学ベーシックB			1	
		生物ベーシックA			1	
		生物ベーシックB			1	
数学ベーシックA			1			
数学ベーシックB			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	統合科目	医学概論		2			
		臨床病態学		2			
		統合科目1		2			
		統合科目2		2			
		統合科目3		2			
		統合科目4		2			
		統合科目5		2			
		統合科目6		2			
		統合科目7		2			
		統合科目8		2			
		統合科目9		2			
		統合科目10		2			
		統合科目11		2			
		統合科目12		2			
		統合科目13		2			
		統合科目14		2			
		統合科目15		2			
		統合科目16		2			
		統合科目17		2			
		統合科目18		2			
統合科目19		2					
統合科目20		2					
専門教育科目		基礎化学	2				
		基礎化学実験	2				
		基礎物理学実験	2				
		情報化学		2			
		卒業研究		10			
		化学輪講Ⅰ	(1)				臨床検査技師課程以外は化学輪講Ⅰ・化学輪講Ⅱが必修。臨床検査技師課程は臨床検査総合管理学Ⅲ・臨床検査総合管理学Ⅳが必修。
		化学輪講Ⅱ	(1)				
		臨床検査総合管理学Ⅲ	(1)				
		臨床検査総合管理学Ⅳ	(1)				
		特別問題研究		2			
		微生物学Ⅰ		1			
		微生物学Ⅱ		1			
		生物化学Ⅰ		2			
		生物化学Ⅱ		2			
		生物化学実験		1			
		分析化学Ⅰ	2				
		分析化学Ⅱ	2				
		分析化学Ⅲ		2			
		分析化学Ⅳ		2			
		分析化学Ⅴ		2			
地球・環境化学Ⅰ		2					
地球・環境化学Ⅱ		2					
無機・分析化学演習Ⅰ	1						
分析化学実験	2						

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	無機化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅱ	2			
	無機化学Ⅲ		2		
	無機化学Ⅳ		2		
	無機化学Ⅴ		2		
	放射化学		2		
	錯体化学		2		
	無機・分析化学演習Ⅱ	1			
	無機化学実験	2			
	有機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅲ		2		
	有機化学Ⅳ		2		
	有機化学Ⅴ		2		
	有機化学Ⅵ		2		
	有機化学Ⅶ		2		
	有機化学演習Ⅰ	1			
	有機化学演習Ⅱ	1			
	有機化学実験	4			
	物理化学Ⅰ	2			
	物理化学Ⅱ		2		
	物理化学Ⅲ	2			
	物理化学Ⅳ		2		
	物理化学Ⅴ		2		
	物理化学Ⅵ		2		
	物理化学Ⅶ		2		
	物理化学演習Ⅰ	1			
	物理化学演習Ⅱ	1			
	物理化学実験	4			
	化学特論Ⅰ			1	
	化学特論Ⅱ			1	
	化学特論Ⅲ			1	
	化学特論Ⅳ			1	
化学特論Ⅴ			1		
化学特論Ⅵ			1		
化学特論Ⅶ			1		
化学特論Ⅷ			1		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目 臨床検査技師資格関連科目	基礎生理学		2		基礎物理学実験をもってこれに代える (再掲) (再掲)
	組織学		2		
	分子生物学 I		2		
	免疫学		2		
	免疫検査学		2		
	微生物学実習		1		
	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		
	医学概論		(2)		
	臨床病態学		(2)		
	公衆衛生学		2		
	臨床情報科学概論		1		
	血液学		2		
	一般検査学		1		
	一般検査学実習		0.5		
	臨床生化学 I		2		
	臨床検査総合管理学 I		3		
	解剖学		2		
	病理解剖学実習		1		
	検査機器総論		1		
	臨床血液学		2		
	医動物学		1		
	医動物学実習		0.5		
	臨床生化学 II		2		
	医療安全管理学		2		
	病原微生物学		2		
	生理検査学 I		2		
	生理検査学 II		3		
	輸血移植検査学		2		
	臨床生理学 I		2		
	臨床生理学 II		2		
	生理検査学実習		1		
	栄養学		1		
	臨床栄養学		1		
	薬理学		1		
	病態薬理学		1		
	医用電子工学概論		2		
	病理学 I		1		
	病理学 II		1		
	病理検査学		3		
	病理検査学実習		1		
	微生物検査学		2		
	臨床検査学実習 I		0.7		
	臨床検査学実習 II		0.4		
臨床検査学実習 III		0.4			
臨床検査総合管理学 II		1			
臨床検査総合管理学 III		(1)			
臨床検査総合管理学 IV		(1)			
臨地実習		12			
臨床特別講義		1			
チーム医療演習		1			
	合計	56	347.5	6	卒業所要単位は、必修56単位、選択68単位以上、計124単位以上とする。

(3-3) 理学部生物分子科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考		
			必修	選択	自由			
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2			
			哲学		2			
			現代思想		2			
			倫理学		2			
			文学		2			
			日本文化論		2			
			芸術学		2			
			日本国憲法		2			
			法学		2			
			情報法		2			
			経済学A		2			
			経済学B		2			
			会計学		2			
			社会学		2			
			ダイバーシティ論		2			
			文化人類学		2			
			自然人類学		2			
			歴史学		2			
			科学史		2			
			心理学A		2			
		心理学B		2				
		教育心理学		2				
		教育原理		2				
		言語表現系	College English A1	1				
			College English A2	1				
			College English B1	1				
			College English B2	1				
			College English C1	1				
College English C2	1							
日本語文章表現A			1					
日本語文章表現B			1					
中国語A			1					
中国語B			1					
外国語セミナーA			1					
外国語セミナーB			1					
外国語セミナーC			1					
外国語セミナーD			1					
外国語セミナーE			1					
外国語セミナーF			1					
実用医療英語			1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
		リベラルアーツ・セミナーB		2		
		リベラルアーツ・セミナーC		2		
		リベラルアーツ・セミナーD		2		
		リベラルアーツ・セミナーE		2		
		リベラルアーツ・セミナーF		2		
		リベラルアーツ・セミナーG		2		
		リベラルアーツ・セミナーH		2		
		リベラルアーツ・フォーラムA		1		
		リベラルアーツ・フォーラムB		1		
		リベラルアーツ・フォーラムC		1		
		リベラルアーツ・フォーラムD		1		
		インターンシップ		1		
		キャリアデザイン		1		
		海外体験プログラムA		1		
		海外体験プログラムB		1		
		海外体験プログラムC		1		
		海外体験プログラムD		1		
		教育制度論		2		
		教育社会学		2		
人間と生命		1				
総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
		数学A 2	2			
		数学B 1		2		
		数学B 2		2		
		確率と統計A		2		
		確率と統計B		2		
		情報科学A 1		1		
		情報科学A 2		1		
		情報科学B 1		2		
		情報科学B 2		2		
		データサイエンス実践入門		2		
		一般化学	2			
		生命科学		2		
		物理学概論		2		
		一般物理学		2		
		地球宇宙科学		2		
		化学実験		1		
		生命科学実験		1		
		物理学実験		1		
		地球宇宙科学実験		1		
		初年次セミナー		2		
		化学ベーシックA			1	
		化学ベーシックB			1	
		生物ベーシックA			1	
		生物ベーシックB			1	
		数学ベーシックA			1	
		数学ベーシックB			1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
統合科目 1 9		2				
統合科目 2 0		2				
専門教育科目	有機化学 I	2				
	基礎生理学	2				
	細胞生物学	2				
	基礎生化学	2				
	生物分子科学実験 I	1				
	物理化学 I	2				
	生化学 I	2				
	分子生物学 I	2				
	生物分子科学実験 II	1				
	生物分子科学実験 III	1				
	細胞組織学	2				
	遺伝子工学 I	2				
	生物分子科学実験 IV	1				
	生物分子科学実験 V	1				
	生物分子科学特論 III	2				
	生物分子科学演習 I	1				
	生物分子科学演習 II	1				
	基礎化学演習		1			
	基礎細胞生物学		2			
	基礎遺伝学		2			
	生命科学概論		2			
	生物分子科学セミナー I		1			
	基礎進化生物学		2			
	分析化学		2			
	有機化学 II		2			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報生物学		2		
	生理学 I		2		
	臨床遺伝学		2		
	有機分析法		2		
	情報科学概論		2		
	発生生物学		2		
	分子医学概論		2		
	野外実習		1		
	生体分子構造論A		1		
	生体分子構造論B		1		
	生物無機化学A		1		
	生物無機化学B		1		
	生物有機化学A		1		
	生物有機化学B		1		
	生理学 II A		1		
	生理学 II B		1		
	免疫学		2		
	微生物学 I		1		
	微生物学 II		1		
	生物分子科学実験VI		1		
	機能性材料化学A		1		
	機能性材料化学B		1		
	分子医学 I		2		
	分子医学 II A		1		
	分子医学 II B		1		
	分子医学 III A		1		
	分子医学 III B		1		
	応用ゲノム科学A		1		
	応用ゲノム科学B		1		
	生物物理化学A		1		
	生物物理化学B		1		
	生物分子科学特論 I		2		
	生物分子科学特論 IV A		1		
	生物分子科学特論 IV B		1		
	卒業研究		10		
	生物分子科学演習 III		1		
	生物分子科学特論 II		2		
	生物分子科学特論 V		2		
	生物分子科学特論 VI		2		
	生物分子科学特論 VII		2		
生物分子科学特論 VIII		2			
生物分子科学セミナー II		1			
学外実習		2			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	医用電子工学概論実習		0.5	
		医学概論		(2)	(再掲)
		臨床病態学		(2)	(再掲)
		公衆衛生学		2	
		臨床情報科学概論		1	
		血液学		2	
		一般検査学		1	
		一般検査学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅰ		2	
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3	
		解剖学		2	
		病理解剖学実習		1	
		検査機器総論		1	
		臨床血液学		2	
		医動物学		1	
		医動物学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅱ		2	
		医療安全管理学		2	
		病原微生物学		2	
		生理検査学Ⅰ		2	
		生理検査学Ⅱ		3	
		輸血移植検査学		2	
		臨床生理学Ⅰ		2	
		臨床生理学Ⅱ		2	
		生理検査学実習		1	
		栄養学		1	
		臨床栄養学		1	
		薬理学		1	
		病態薬理学		1	
		医用電子工学概論		2	
		病理学Ⅰ		1	
		病理学Ⅱ		1	
		病理検査学		3	
病理検査学実習		1			
微生物検査学		2			
臨床検査学実習Ⅰ		0.7			
臨床検査学実習Ⅱ		0.4			
臨床検査学実習Ⅲ		0.4			
臨床検査総合管理学Ⅱ		1			
臨床検査総合管理学Ⅲ		1			
臨床検査総合管理学Ⅳ		1			
臨地実習		12			
臨床特別講義		1			
チーム医療演習		1			
	合計	39	354	6	卒業所要単位は、必修39単位、選択85単位以上、計124単位以上とする。

(3-4) 理学部物理学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
		心理学B		2		
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
日本語文章表現A			1			
日本語文章表現B			1			
中国語A			1			
中国語B			1			
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD			1			
外国語セミナーE			1			
外国語セミナーF			1			
実用医療英語			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合 教育科目	教養 教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目 その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
		リベラルアーツ・セミナーB		2		
		リベラルアーツ・セミナーC		2		
		リベラルアーツ・セミナーD		2		
		リベラルアーツ・セミナーE		2		
		リベラルアーツ・セミナーF		2		
		リベラルアーツ・セミナーG		2		
		リベラルアーツ・セミナーH		2		
		リベラルアーツ・フォーラムA		1		
		リベラルアーツ・フォーラムB		1		
		リベラルアーツ・フォーラムC		1		
		リベラルアーツ・フォーラムD		1		
		インターンシップ		1		
		キャリアデザイン		1		
		海外体験プログラムA		1		
		海外体験プログラムB		1		
		海外体験プログラムC		1		
		海外体験プログラムD		1		
		教育制度論		2		
		教育社会学		2		
		人間と生命		1		
		基盤教育科目	数学A 1	2		
			数学A 2	2		
			数学B 1	2		
			数学B 2	2		
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
			情報科学A 1		1	
			情報科学A 2		1	
	情報科学B 1			2		
	情報科学B 2			2		
	データサイエンス実践入門			2		
	一般化学			2		
	生命科学			2		
	物理学概論			2		
	一般物理学			2		
	地球宇宙科学			2		
	化学実験			1		
	生命科学実験			1		
	物理学実験			1		
	地球宇宙科学実験			1		
	初年次セミナー			2		
	化学ベーシックA				1	
	化学ベーシックB				1	
	生物ベーシックA				1	
	生物ベーシックB				1	
	数学ベーシックA				1	
	数学ベーシックB				1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 10		2		
		統合科目 11		2		
		統合科目 12		2		
		統合科目 13		2		
		統合科目 14		2		
		統合科目 15		2		
		統合科目 16		2		
		統合科目 17		2		
		統合科目 18		2		
統合科目 19		2				
統合科目 20		2				
専門教育科目		力学 I	2			
		力学演習 I	1			
		力学 II	2			
		力学演習 II	1			
		解析力学	2			
		解析力学演習	1			
		電磁気学 I	2			
		電磁気学演習 I	1			
		電磁気学 II	2			
		電磁気学演習 II	1			
		電磁気学 III		2		
		基礎数学演習 I	1			
		基礎数学演習 II	1			
		物理数学 I	2			
		物理数学演習 I	1			
		物理数学 II	1			
		物理数学演習 II	0.5			
		物理数学 III		1		
		物理数学演習 III		0.5		
		微分方程式		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	熱力学	2			
	統計力学Ⅰ	2			
	統計力学演習Ⅰ	1			
	統計力学Ⅱ	1			
	統計力学演習Ⅱ	0.5			
	統計力学Ⅲ		1		
	統計力学演習Ⅲ		0.5		
	原子物理学	2			
	量子力学Ⅰ	2			
	量子力学演習Ⅰ	1			
	量子力学Ⅱ	1			
	量子力学演習Ⅱ	0.5			
	量子力学Ⅲ		1		
	量子力学演習Ⅲ		0.5		
	物理数学入門	2			
	物理学実験Ⅰ	2			
	物理学実験ⅡA	2			
	物理学実験ⅡB	2			
	物理学実験ⅢA	2			
	物理学実験ⅢB	2			
	卒業研究A	5			
	卒業研究B	5			
	コンピュータープログラミング		1		
	物理計測学		2		
	相対性理論		2		
	化学		2		
	原子核物理学		2		
	物理光学		2		
	銀河天文学		2		
	素粒子物理学		2		
	高エネルギー物理学		2		
	固体物理学A		2		
	電子工学		2		
	固体物理学B		2		
	化学物理学		2		
	宇宙物理学		2		
物理学特別講義Ⅰ		2			
物理学特別講義Ⅱ		2			
物理学特論Ⅰ		2			
物理学特論Ⅱ		2			
	合計	70.5	243.5	6	卒業所要単位は、必修70.5単位、選択53.5単位以上、計124単位以上とする。

(3-5) 理学部情報科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
		心理学B		2		
		教育心理学		2		
		教育原理		2		
		言語表現系	College English A1	1		
			College English A2	1		
			College English B1	1		
			College English B2	1		
			College English C1	1		
			College English C2	1		
日本語文章表現A			1			
日本語文章表現B			1			
中国語A			1			
中国語B			1			
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD			1			
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
			スポーツ・健康科学演習G		1		
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目1		2		
		統合科目2		2		
		統合科目3		2		
		統合科目4		2		
		統合科目5		2		
		統合科目6		2		
		統合科目7		2		
		統合科目8		2		
		統合科目9		2		
		統合科目10		2		
		統合科目11		2		
		統合科目12		2		
		統合科目13		2		
		統合科目14		2		
		統合科目15		2		
		統合科目16		2		
		統合科目17		2		
		統合科目18		2		
統合科目19		2				
統合科目20		2				
専門教育科目	情報数理A	2			数理知能科学コースのみ必修	
	情報数理演習A	1				
	プログラミングA	2				
	情報数理B	2				
	情報数理演習B	1				
	プログラミングB	2				
	コンピュータアーキテクチャ	2				
	確率論入門	2				
	情報数理C	(2)				
	情報数理演習C	(1)				
	データ解析	(2)			メディア生命科学コースのみ必修	
	情報数理D	(2)				
	情報数理演習D	(1)				
	コンピュータ数学	(2)				
	アルゴリズムとデータ構造	(2)				
	アルゴリズムとデータ構造演習	(1)				
	データ活用概論	(2)				
	データ活用演習	(1)				
	UNIXとネットワーク	(2)				
	データ構造とプログラミング	(2)				
	プロジェクトA	2				
	プロジェクトB	2				
	情報科学セミナー	2				
卒業研究A	5					
卒業研究B	5					

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報基盤分野	フーリエ解析		2	
		グラフ理論		2	
		コンピュータネットワーク		2	
		ソフトウェア工学		2	
		メディア情報処理		2	
		データ科学基礎		2	
		コンパイラと形式言語		2	
		マルチパラダイムプログラミング		2	
		データベース論		2	
		自然言語処理		2	
		社会情報学		2	
		情報・符号理論		2	
		暗号と情報セキュリティ		2	
		人工知能		2	
		情報産業論		2	
	数理先進分野	確率過程論		2	
		離散数学		2	
		ラプラス変換		2	
		ベクトル解析		2	
		複素関数論		2	
		実関数論		2	
		確率解析学		2	
		応用幾何学		2	
		形式論理学		2	
		行動計量学		2	
		数理知能科学講究A		2	
		数理計画法		2	
		情報代数学		2	
		数理知能科学講究B		2	
		関数解析学		2	
	メディア生命分野	メディア創作概論		2	
		医療情報学		2	
		基礎分子生物学		2	
		CGクリエーション		2	
		デジタル信号処理		2	
		コンピュータグラフィックス		2	
		神経回路理論		2	
		CGクリエーション演習		1	
		バイオインフォマティクス基礎論		2	
		コンピュータビジョン		2	
		メディア生命科学講究A		2	
		シミュレーション		2	
		パターン認識		2	
		メディア生命科学講究B		2	
		生命医科学情報ネットワーク論		2	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
専門 教育 科目	その 他 の 科 目	情報テクノロジー		2			
		情報マネジメント・ストラテジ		2			
		社会調査論		2			
		社会調査演習A		1			
		社会調査演習B		1			
		社会調査法		2			
	(教 職)	教職数学A			2		
		教職数学B			2		
			合計	54	309	10	卒業所要単位は、必修54単位、選択70単位以上、計124単位以上とする。

(3-6) 理学部生命圏環境科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
			心理学B		2	
			教育心理学		2	
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1		1		
		College English A2		1		
		College English B1		1		
		College English B2		1		
		College English C1		1		
		College English C2		1		
日本語文章表現A				1		
日本語文章表現B				1		
中国語A				1		
中国語B				1		
外国語セミナーA				1		
外国語セミナーB				1		
外国語セミナーC				1		
外国語セミナーD				1		
外国語セミナーE				1		
外国語セミナーF				1		
実用医療英語				1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目		2			
			リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
	教育社会学		2				
	人間と生命		1				
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
			情報科学A 1		1		
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学				2			
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学				2			
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー		2					
化学ベーシックA			1				
化学ベーシックB			1				
生物ベーシックA			1				
生物ベーシックB			1				
数学ベーシックA			1				
数学ベーシックB			1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目1		2		
		統合科目2		2		
		統合科目3		2		
		統合科目4		2		
		統合科目5		2		
		統合科目6		2		
		統合科目7		2		
		統合科目8		2		
		統合科目9		2		
		統合科目10		2		
		統合科目11		2		
		統合科目12		2		
		統合科目13		2		
		統合科目14		2		
		統合科目15		2		
		統合科目16		2		
		統合科目17		2		
		統合科目18		2		
統合科目19		2				
統合科目20		2				
専門教育科目	環境科学概論科目	自然環境科学概論		1		
		生命環境科学概論		1		
		人間環境科学概論		1		
		地球環境科学概論		1		
		環境科学体験実習		1		
	環境科学基礎科目	一般化学Ⅱ		2		
		生命科学Ⅱ		2		
		一般物理学Ⅱ		2		
		地球宇宙科学Ⅱ		2		
		環境統計基礎		2		
		コミュニケーションⅠ		2		
		コミュニケーションⅡ		2		
		化学実験Ⅱ		1		
		生命科学実験Ⅱ		1		
		物理学実験Ⅱ		1		
		地球宇宙科学実験Ⅱ		1		
		環境科学プロジェクト実習		2		
	環境科学応用科目	物質科学		2		
		グリーンケミストリー		2		
		保全生態学		2		
		エネルギー環境学		2		
		再生可能エネルギー論		2		
		環境経済学		2		
		環境法		2		
		環境倫理学		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門教育科目	環境化学Ⅰ		2			
	環境化学Ⅱ		2			
	環境分析科学		2			
	環境技術企業論		2			
	生物分類論		2			
	群集生態学		2			
	海洋生態学		2			
	地球・惑星科学Ⅰ		2			
	地球・惑星科学Ⅱ		2			
	リモートセンシング		2			
	気象予報論		2			
	環境マネジメント		2			
	環境政策		2			
	環境情報システム		2			
	国際環境ビジネス論		2			
	生命圏環境科学特論Ⅰ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅱ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅲ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅳ		2			
	プログラミング		2			
	環境科学海外研修		2			
	環境科学野外実習Ⅰ		1			
	環境科学野外実習Ⅱ		1			
	環境科学野外実習Ⅲ		1			
	環境科学野外実習Ⅳ		1			
	環境科学野外実習Ⅴ		1			
	環境科学野外実習Ⅵ		1			
	環境科学応用演習Ⅰ		1			
	環境科学応用演習Ⅱ		1			
	環境 ト科学 目 ユニ ツ	地球科学ユニット科目	(3)			所属コースに沿っていずれか必修
		環境生態学ユニット科目	(3)			
		環境化学ユニット科目	(3)			
		環境管理・創成科学ユニット科目	(3)			
研 卒 究 業	卒業研究Ⅰ	4			臨床検査技師課程配属者は課程の別科目の履修により「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」の単位にあてる	
	卒業研究Ⅱ	4				

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	生物化学Ⅰ		2	
		生物化学Ⅱ		2	
		生物化学実験		1	
		基礎生理学		2	
		組織学		2	
		微生物学Ⅰ		1	
		微生物学Ⅱ		1	
		分子生物学Ⅰ		2	
		免疫学		2	
		免疫検査学		2	
		微生物学実習		1	
		(医用電子工学概論実習)		(0.5)	
		医学概論		(2)	
		臨床病態学		(2)	
		公衆衛生学		2	
		臨床情報科学概論		1	
		血液学		2	
		一般検査学		1	
		一般検査学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅰ		2	
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3	
		解剖学		2	
		病理解剖学実習		1	
		検査機器総論		1	
		臨床血液学		2	
		医動物学		1	
		医動物学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅱ		2	
		医療安全管理学		2	
		病原微生物学		2	
		生理検査学Ⅰ		2	
		生理検査学Ⅱ		3	
		輸血移植検査学		2	
		臨床生理学Ⅰ		2	
		臨床生理学Ⅱ		2	
		生理検査学実習		1	
		栄養学		1	
		臨床栄養学		1	
		薬理学		1	
		病態薬理学		1	
医用電子工学概論		2			
病理学Ⅰ		1			
病理学Ⅱ		1			
病理検査学		3			
病理検査学実習		1			
微生物検査学		2			

* 1
物理学実験をもってこれに代える
(再掲)
(再掲)

* 1

* 1

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	臨床 検査 技師 資格 関連 科目	臨床検査学実習Ⅰ		0.7		* 1 * 1（臨床検査技師課程の学生は* 1の4科目の履修をもって「卒業研究Ⅰ」の履修とみなす）
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		* 2（臨床検査技師課程の学生はこの科目の履修をもって「卒業研究Ⅱ」の履修とみなす）
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
		臨地実習		12		
		臨床特別講義		1		
		チーム医療演習		1		
		合計	21	382.5	6	卒業所要単位は、必修21単位、選択103単位以上、計124単位以上とする。

(4) 看護学部看護学科開設科目単位表【令和5年度以降入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1		17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1			
		死生表象論		1		
		文学		1		
		文化人類学		1		
		法学（日本国憲法）	1			
		法律と医療		1		
		社会学		1		
		教育学		1		
		心理学	1			
		臨床心理学		1		
		医療人間論	1			
		コミュニケーション・スキル		1		
		自然科学の基礎	1			
		化学		1		
		生物学	1			
		物理学		1		
		宇宙科学		1		
		人と芸術	1			
		チームビルディングと自然体験	1			
異文化理解 I		1				
異文化理解 II		1				
データサイエンス実践入門		2				
視野を広げる	英語 I a	1			10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から最低1単位必要)	
	English Communication		1			
	英語 I b	1				
	英語 I c	1				
	英語 II a	1				
	英語 II b	1				
	Medical English	1				
	第2外国語 a	1				
	第2外国語 b	1				
	English Communication for Nurses a/b		1			
	英語集中講座 a（海外）		2			
	英語集中講座 b（国内）		1			
	Advanced Reading I		1			
	Advanced Reading II		1			
	English Proficiency Test I		1			
English Proficiency Test II		1				
実用医療英語		1				

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考	
			必修	選択	自由		
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2			23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上	
		人体の構造と機能Ⅱ	2				
		生化学と栄養	1				
		遺伝学	1				
		病態と治療Ⅰ	2				
		病態と治療Ⅱ	2				
		病態と治療Ⅲ	2				
		感染と防御	2				
		感染制御学	1				
		人体と薬物	2				
		運動科学		1			
		東洋医学		1			
		音楽療法		1			
		公衆衛生学	1				
		疫学と保健統計	2				
	地域共生社会論		1				
	健康支援と社会保障	1					
	探究	アカデミック・スキルⅠ	1			必修 8単位	
		アカデミック・スキルⅡ	1				
		基礎統計学	1				
研究方法論		2					
卒業研究		3					
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1			必修 10単位	
		基礎看護学Ⅰ	2				
		基礎看護学Ⅱ	2				
		看護過程論	2				
		基礎看護学Ⅲ	2				
		基礎看護学Ⅳ	1				
		基礎看護学実習Ⅰ	1				必修 3単位
		基礎看護学実習Ⅱ	2				
	看護の展開	看護管理学	2			必修 3単位	
		看護倫理学	1				
		成人看護学概論	1			必修 5単位	
		成人看護学Ⅰ	2				
		成人看護学Ⅱ	2				
		成人看護学実習	4			必修 4単位	
		高齢者看護学概論	1			必修 4単位	
高齢者看護学Ⅰ	1						
高齢者看護学Ⅱ	2						
高齢者看護学実習	3			必修 3単位			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門分野	看護の 展開	小児看護学概論	1			必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1			
		小児看護学Ⅱ	1			
		小児看護学演習	1			
		小児看護学実習	2			必修 2単位
		母性看護学概論	1			必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2			
		母性看護学Ⅱ	1			
		母性看護学実習	2			必修 2単位
		精神看護学概論	1			必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1			
		精神看護学Ⅱ	2			
		精神看護学実習	2			
		がん看護学Ⅰ	1			必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1			
		がん看護学実習	2			必修 2単位
		在宅看護学概論	2			必修 6単位
		在宅看護学方法論	2			
	地域看護学概論	1				
	地域看護学活動論	1				
	地域・在宅看護学実習	2			必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1			必修 1単位	
	看護の 応用	国際看護学	2			必修 2単位
		国際看護学演習		1		
		チーム医療演習		1		必修 3単位
		統合実習	3			
合計			113	32	0	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和4年度入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1	17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1		
		死生表象論		1	
		文学		1	
		文化人類学		1	
		法学（日本国憲法）	1		
		法律と医療		1	
		社会学		1	
		教育学		1	
		心理学	1		
		臨床心理学		1	
		医療人間論	1		
		コミュニケーション・スキル		1	
		自然科学の基礎	1		
		化学		1	
		生物学	1		
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		人と芸術	1		
		チームビルディングと自然体験	1		
	異文化理解Ⅰ		1		
	異文化理解Ⅱ		1		
	データサイエンス実践入門		2		
	視野を広げる	英語Ⅰa	1		10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から 最低1単位必要)
		English Communication		1	
		英語Ⅰb	1		
		英語Ⅰc	1		
		英語Ⅱa	1		
		英語Ⅱb	1		
Medical English		1			
第2外国語 a		1			
第2外国語 b		1			
English Communication for Nurses a/b			1		
英語集中講座 a (海外)			2		
英語集中講座 b (国内)			1		
Advanced Reading Ⅰ			1		
Advanced Reading Ⅱ			1		
English Proficiency Test Ⅰ			1		
English Proficiency Test Ⅱ		1			
実用医療英語		1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生化学と栄養	1		
		遺伝学	1		
		病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		感染と防御	2		
		感染制御学	1		
		人体と薬物	2		
		運動科学		1	
		東洋医学		1	
		音楽療法		1	
		公衆衛生学	1		
		疫学と保健統計	2		
		地域共生社会論		1	
		健康支援と社会保障	1		
探究	アカデミック・スキルⅠ	1		必修 8単位	
	アカデミック・スキルⅡ	1			
	基礎統計学	1			
	研究方法論	2			
	卒業研究	3			
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1		必修 10単位
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	2		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2			
	看護管理学	2		必修 3単位	
	看護倫理学	1			
	看護の展開	成人看護学概論	1		必修 5単位
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
		成人看護学実習	4		必修 4単位
高齢者看護学概論		1		必修 4単位	
高齢者看護学Ⅰ		1			
高齢者看護学Ⅱ		2			
高齢者看護学実習	3		必修 3単位		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門分野	看護の展開	小児看護学概論	1		必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		
		小児看護学実習	2		必修 2単位
		母性看護学概論	1		必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2		
		母性看護学Ⅱ	1		
		母性看護学実習	2		必修 2単位
		精神看護学概論	1		必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ	2		
		精神看護学実習	2		必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1		必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1		
		がん看護学実習	2		必修 2単位
		在宅看護学概論	2		必修 6単位
		在宅看護学方法論	2		
		地域看護学概論	1		
		地域看護学活動論	1		
	地域・在宅看護学実習	2		必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1		必修 1単位	
	看護の応用	国際看護学	2		必修 2単位
		国際看護学演習		1	
チーム医療演習			1		
統合実習		3		必修 3単位	
		合計	113	32	卒業所要単位数は、必修113単位、 選択13単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和3年度以前入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
一 般 教 育 領 域	基 礎 自 然 を 科 学 を 学 ぶ の	化学		1	4単位以上
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		自然科学の基礎	1		
		生物学	1		
	視 野 を 広 げ る	English for Communication I	2		10単位以上
		English for Communication II	2		
		English for Communication III	1		
		English for Communication IV	1		
		Medical English I	1		
		Medical English II		1	
		夏期英語集中講座		1	
		Advanced Reading I		1	
		Advanced Reading II		1	
		English for Communication V		1	
		第2外国語 I	1		
		第2外国語 II	1		
		実用医療英語		1	
	人 間 性 を 養 い 感 性 を 培 う	日本文化研修	1		
		文化講座	1		
		自然体験学習	1		
		運動科学	1		
		人間論	1		
	人 間 の 営 み を 理 解 す る	心理学	1		4単位以上 但し、保健師国家試験受資格を得 るためには法学を必修とする。
		社会学		1	
		教育学		1	
		法学（日本国憲法）		1	
		文化人類学		1	
手話			1		
文学			1		
海外研修 I			1		
海外研修 II			1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基 礎 領 域	人 体 を 学 ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		13単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生体の化学	1		
		栄養と代謝	1		
		遺伝学	1		
	人 間 と 健 康	病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		病態と治療Ⅳ	2		
		感染と防御	2		
		人体と薬物	2		
		東洋医学		1	
		臨床心理学		1	
		音楽療法		1	
	健 康 と 環 境	医療人間論	1		
		保健・医療・福祉と行政	1		
		公衆衛生学	2		
		疫学と保健統計	2		
		情報と統計学	2		
		法律と医療	1		
研 究	研究方法論	1			
	卒業研究	4			
専 門 領 域 Ⅰ	基 礎 看 護 学	看護学概論	1		
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	1		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
	実 基 礎 実 習	看護学基礎実習	1		
		基礎看護学実習	3		
専 門 領 域 Ⅱ	看 護 学 成 人	成人看護学概論	1		
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
	看 護 学 高 齢 者	高齢者看護学概論	1		
		高齢者看護学Ⅰ	1		
		高齢者看護学Ⅱ	2		
	小 児 看 護 学	小児看護学概論	1		
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 領 域 II	看護学 母性	母性看護学概論	1		
		母性看護学 I	2		
		母性看護学 II	1		
	看護学 精神	精神看護学概論	1		
		精神看護学 I	1		
		精神看護学 II	2		
	看護学 がん	がん看護学 I	1		
		がん看護学 II	1		
	専門 実習	成人看護学実習	4		
		高齢者看護学実習	3		
		小児看護学実習	2		
		母性看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
がん看護学実習		2			
統 合 領 域	看護学 在宅	在宅看護学概論	2		
		在宅看護方法論	2		
	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	2		2単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、公衆衛生看護学 I・II は必修とする。
		公衆衛生看護学 I		2	
		公衆衛生看護学 II		2	
	看護学 国際	国際看護学	2		
	看護 の 統 合 と 実 践	看護管理学	2		6単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、健康政策論は必修とする。
		看護倫理学	1		
		感染制御学	1		
		死生表象論		1	
		健康政策論		1	
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
看護専門分野実践入門			1		
実 統 合 実 習	在宅看護学実習	2			
	統合実習	2			
保 健 師 課 程	保健・医療・福祉行政論		2	保健師課程選択者（保健師国家試験受験資格を得るため）は、13単位の履修を必要とする。	
	公衆衛生看護管理論		2		
	公衆衛生看護活動展開論 I		2		
	公衆衛生看護活動展開論 II		2		
	公衆衛生看護学実習 I		2		
	公衆衛生看護学実習 II		3		
合 計		118	42	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上（保健師課程は除く）、計126単位以上とする。	

(5) 健康科学部看護学科開設科目単位表

令和7年度以降の入学者に適用

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考	
		必修	選択	自由		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1			
		データサイエンス	1			
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語 I A		1		選択1単位以上
		実用英語 I B		1		
		実用英語 II	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語Ⅲ		1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
	フランス語入門		1			
	中国語入門		1			
	健康科学	健康科学概論	1			
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		千葉県の地域医療		1		
		スポーツ健康科学※		1		
	スポーツ健康科学実技※		1			
	人文科学	心理学	1			
		社会学	1			
		倫理学	1			
		教育学		1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
組織論※			1			
経済学			1			
法学（日本国憲法を含む）※			2			
文学			1			
人類学			1			
哲学			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2			
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		人体の構造と機能Ⅲ	2			
		生化学	1			
		臨床栄養学	1			
		微生物学	1			
		疾病と治療Ⅰ	2			
		疾病と治療Ⅱ	2			
		疾病と治療Ⅲ	2			
		疾病と治療Ⅳ	2			
		疾病と治療Ⅴ	2			
		薬理学	2			
		薬剤学	1			
		リハビリテーション論	1			
	臨床遺伝学		1		選択1単位以上	
	臨床心理学		1			
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2			
		社会保障制度	2			
		保健統計	1			
		公衆衛生	1			
疫学Ⅰ（基礎編）※			1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ（応用編）※			1			
健康生活支援論※		1				
政策形成過程論※		1				
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	看護学概論	1			
		臨床看護学概論	1			
		看護倫理学	1			
		看護理論	1			
		看護展開論	0.5			
		機能障害のある患者の看護	2			
		がん看護	1			
		周手術期看護・急性重症患者看護	2			
		感染看護	0.5			
		看護の基本技術1（療養環境の整備技術）	1			
		看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）	1			
		看護の基本技術3（日常生活援助技術）	1.5			
		看護の基本技術4（診療の補助技術）	1.5			
		看護の基本技術5（慢性期看護技術）	1			
	看護の基本技術6（急性期看護技術）	1				
	臨地実習	看護入門実習Ⅰ	1			
		臨床看護学実習Ⅰ	3			
		臨床看護学実習Ⅱ	3			
		臨床看護学実習Ⅲ	2			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論	1		
			ファミリーヘルス看護論	1		
			援助的人間関係論	1		
		小児 看護 学	小児看護学概論	1		
			小児看護学方法論	1		
			看護の基本技術7（小児看護技術）	1		
		母性 看護 学	母性看護学概論	1		
			母性看護学方法論	1		
			看護の基本技術8（母性看護技術）	1		
		精神 看護 学	精神看護学概論	1		
		精神看護学方法論	1			
		看護の基本技術9（精神看護技術）	1			
	臨地 実習	小児看護学実習	2			
		母性看護学実習	2			
		精神看護学実習	2			
	コミュニティヘルス看護領域	基礎 科目 II	コミュニティヘルス看護概論	1		
			コミュニティヘルス看護展開論	1		
		看護 老年	老年看護学概論	1		
			老年看護学方法論	2		
			看護の基本技術10（老年看護技術）	1		
在宅 地域 看護 論		地域・在宅看護概論	1			
		地域・在宅看護方法論	1			
		看護の基本技術11（在宅看護技術）	1			
看護 衛生 公衆		公衆衛生看護学概論	1			
		看護の基本技術12（地区診断）	0.5			
臨地 実習	老年看護学実習	3				
	看護入門実習Ⅱ	1				
	在宅看護実習	1				
	コミュニティヘルス看護実習	1				
専門教育科目	プレ・ プロ フェッ シ ョ ナ ル 看 護 領 域	看護研究入門	0.5			
		看護研究	2			
		看護の役割と実践の探究	1			
		臨床実践技術の探究	1			
		看護管理論	1			
		リスクマネジメント	1			
		エンドオブライフケア	1			
	国際保健論（災害看護論を含む）※		1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
	専門看護への招待		1			
	チーム活動論		1			
チーム医療演習		1				
国際看護論		1				
臨地 実習	看護実践の探究	2				

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門 教育科目	保健師 専門科目	公衆衛生 看護学	公衆衛生看護学の技術※		2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※		2		
			学校保健・産業保健※		1		
			公衆衛生看護管理論※		1		
実 臨 地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ※		2				
専門 基 盤 科 目	初 年 次 教 育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1			選択1単位以上	
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1				
	ア キ ャ リ 教 育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1			
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1			
リメディアル 教育科目		生物学入門			1	卒業所要単位に含めない	
		化学入門			1		
合計				113	45	2	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考	
		必修	選択	自由		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1		**自由選択 講義、演習を併用する	
		データサイエンス	1			
		データサイエンス実践入門**		2		
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語 I A		1		選択1単位以上
		実用英語 I B		1		
		実用英語 II	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語 III		1		選択1単位以上
		実用英語 IV		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
	フランス語入門		1			
	中国語入門		1			
	健康科学	健康科学概論	1			選択1単位以上 *保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		
		千葉県の地域医療		1		
		スポーツ健康科学*		1		
	スポーツ健康科学実技*		1			
	人文科学	心理学	1			選択2単位以上 *保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		社会学	1			
		倫理学	1			
教育学			1			
組織論*			1			
経済学			1			
法学（日本国憲法を含む）*			2			
文学			1			
人類学			1			
哲学		1				

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎 教育科目	人間と 健康	人体の構造と機能Ⅰ	2			
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		人体の構造と機能Ⅲ	2			
		生化学	1			
		臨床栄養学	1			
		微生物学	1			
		疾病と治療Ⅰ	2			
		疾病と治療Ⅱ	2			
		疾病と治療Ⅲ	2			
		疾病と治療Ⅳ	2			
		疾病と治療Ⅴ	2			
		薬理学	2			
		薬剤学	1			
		リハビリテーション論	1			
	臨床遺伝学		1		選択1単位以上	
	臨床心理学		1			
	社会と 健康	保健医療福祉行政論	2			
		社会保障制度	2			
		保健統計	1			
		公衆衛生	1			
疫学Ⅰ（基礎編）※			1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ（応用編）※			1			
健康生活支援論※		1				
政策形成過程論※		1				
専門教育 科目	トラン スレー シヨ ナル 看護 領域	看護学概論	1			
		臨床看護学概論	1			
		看護倫理学	1			
		看護理論・看護展開論	1			
		機能障害のある患者の看護	2			
		周手術期看護・急性重症患者看護	2			
		リスクマネジメント	1			
		看護の基本技術1（療養環境の整備技術）	1			
		看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）	1			
		看護の基本技術3（日常生活援助技術）	2			
		看護の基本技術4（診療の補助技術）	2			
		看護の基本技術5（慢性期看護技術）	1			
		看護の基本技術6（急性期看護技術）	1			
		臨床 実習	看護入門実習Ⅰ	1		
	臨床看護学実習Ⅰ		3			
	臨床看護学実習Ⅱ		3			
	臨床看護学実習Ⅲ		2			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考		
			必修	選択	自由			
専門教育科目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論 ファミリーヘルス看護論 援助的人間関係論	1 1 1				
		小児 看護 学	小児看護学概論 小児看護学方法論 看護の基本技術7（小児看護技術）	1 1 1				
		母性 看護 学	母性看護学概論 母性看護学方法論 看護の基本技術8（母性看護技術）	1 1 1				
		精神 看護 学	精神看護学概論 精神看護学方法論 看護の基本技術9（精神看護技術）	1 1 1				
		臨地 実習	小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	2 2 2				
		コミュニティヘルス看護領域	基礎 科目 II	コミュニティヘルス看護概論 コミュニティヘルス看護展開論	1 1			
	看護 老年		老年看護学概論 老年看護学方法論 看護の基本技術10（老年看護技術）	1 2 1				
	在宅 地域 看護 論		地域・在宅看護概論 地域・在宅看護方法論 看護の基本技術11（在宅看護技術）	1 1 1				
	看護 衛生 公衆		公衆衛生看護学概論 看護の基本技術12（地区診断）	1 1				
	臨地 実習		老年看護学実習 看護入門実習Ⅱ 在宅看護実習 コミュニティヘルス看護実習	3 1 1 1				
	専門教育科目		ブレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門 看護研究 看護の役割と実践の探究 臨床実践技術の探究 看護管理論 エンドオブライフケア	1 2 1 1 1 1			
		国際保健論（災害看護論を含む）※ 専門看護への招待 がん看護 チーム活動論※ チーム医療演習 国際看護			1 1 1 1 1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		臨地 実習		看護実践の探究	2			

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門 教育科目	保健師 専門科目	公衆衛生 看護学	公衆衛生看護学の技術※		2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※		2		
			学校保健・産業保健※		1		
			公衆衛生看護管理論※		1		
		実臨 習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2		
公衆衛生看護学実習Ⅱ※			2				
リメディアル 教育科目			生物学入門		1		卒業所要単位に含めない
			化学入門		1		
専門 基盤 科目	初 年 次 教 育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1			選択1単位以上
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1			
	ア キ ャ リ 教 育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1		
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1		
合計				113	50	0	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1					**自由選択 講義、演習を併用する	
		データサイエンス		1					
		データサイエンス実践入門**					2		
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語学	実用英語ⅠA					1	選択1単位以上	
		実用英語ⅠB					1		
		実用英語Ⅱ		1					
		医療英語A					1	選択1単位以上	
		医療英語B					1		
		実用英語Ⅲ					1	選択1単位以上	
		実用英語Ⅳ					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1	選択1単位以上	
		フランス語入門					1		
	中国語入門					1			
	健康科学	健康科学概論	1					選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		人間と生命				1			
		千葉県の地域医療				1			
		スポーツ健康科学※				1			
		スポーツ健康科学実技※					1		
	人文科学	心理学	1						
		社会学	1						
		倫理学	1						
		教育学				1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		組織論※				1			
		経済学				1			
		法学（日本国憲法を含む）※				2			
		文学				1			
人類学					1				
哲学					1				

科目 区分	授業科目	必修			選択			備考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2						
		人体の構造と機能Ⅱ	2						
		人体の構造と機能Ⅲ	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学		1					
		疾病と治療Ⅰ	2						
		疾病と治療Ⅱ	2						
		疾病と治療Ⅲ	2						
		疾病と治療Ⅳ	2						
		疾病と治療Ⅴ	2						
		薬理学	2						
		薬剤学	1						
		リハビリテーション論	1						
		臨床遺伝学				1			選択1単位以上
	臨床心理学				1				
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2						
		社会保障制度	2						
		保健統計	1						
		公衆衛生	1						
疫学Ⅰ(基礎編)※					1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ(応用編)※					1				
健康生活支援論※					1				
政策形成過程論※				1					
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域 臨床看護学	看護学概論	1						
		臨床看護学概論	1						
		看護倫理学	1						
		看護理論・看護展開論		1					
		機能障害のある患者の看護	2						
		周手術期看護・急性重症患者看護	2						
		リスクマネジメント		1					
		看護の基本技術1 (療養環境の整備技術)		1					
		看護の基本技術2 (ヘルスアセスメント)		1					
		看護の基本技術3 (日常生活援助技術)		2					
		看護の基本技術4 (診療の補助技術)		2					
		看護の基本技術5 (慢性期看護技術)		1					
		看護の基本技術6 (急性期看護技術)		1					
		臨地実習	看護入門実習Ⅰ			1			
			臨床看護学実習Ⅰ			3			
	臨床看護学実習Ⅱ				3				
	臨床看護学実習Ⅲ				2				

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助の人間関係論	1						
		看護学 小児	小児看護学概論	1						
			小児看護学方法論	1						
			看護の基本技術7 (小児看護技術)		1					
		看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術8 (母性看護技術)		1					
	看護学 精神	精神看護学概論	1							
		精神看護学方法論	1							
		看護の基本技術9 (精神看護技術)		1						
	臨地 実習	小児看護学実習			2					
		母性看護学実習			2					
		精神看護学実習			2					
	コミュニティーヘルス看護領域	科目 II 基礎	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			老年看護学方法論	2						
			看護の基本技術10 (老年看護技術)		1					
		地域・在宅 看護論	地域・在宅看護概論	1						
			地域・在宅看護方法論	1						
			看護の基本技術11 (在宅看護技術)		1					
		生 学 公衆 看護	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術12 (地区診断)		1					
			老年看護学実習			3				
			看護入門実習Ⅱ			1				
		臨地 実習	在宅看護実習			1				
			コミュニティヘルス看護実習			1				
			プレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門		1				
看護研究				2						
看護の役割と実践の探究		1								
臨床実践技術の探究		1								
看護管理論	1									
エンドオブライフケア	1									
国際保健論 (災害看護論を含む) ※					1					
専門看護への招待					1					
がん看護					1					
チーム活動論※					1					
チーム医療演習						1				
国際看護						1				
臨地実習	看護実践の探究			2						

選択2単位以上
※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門教育科目	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術※					2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※				2			
			学校保健・産業保健※				1			
			公衆衛生看護管理論※				1			
		実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※						2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※						2	
リメディアル教育科目			生物学入門				1		卒業所要単位に含めない	
			化学入門				1			
専門基盤科目	初年次教育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ		1					選択1単位以上	
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1							
	アキヤリ教育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ				1				
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ				1				
小 計			63	27	23	29	17	4	卒業所要単位は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする	
合 計			113			50				

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教 養 教 育 科 目	自然科学	自然科学概論	1						
		情報科学概論	1						
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語 学	実用英語 I A					1		選択1単位以上
		実用英語 I B					1		
		実用英語 II		1					
		医療英語 I A					1		選択1単位以上
		医療英語 I B					1		
		実用英語 III					1		選択1単位以上
		実用英語 IV					1		
		医療英語 II					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1		選択1単位以上
	フランス語入門					1			
	中国語入門					1			
	健康 科学	健康科学概論	1						
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		スポーツ健康科学※				1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		スポーツ健康科学実技※					1		
	人 文 科 学	心理学	1						
		教育学	1						
		組織論※				1			選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		経済学				1			
		社会学				1			
法学(日本国憲法を含む)※					2				
文学					1			選択2単位以上	
人類学					1				
哲学				1					
倫理学				1					
専 門 基 礎 教 育 科 目	人 間 と 健 康	人体の構造と機能 I	2						
		人体の構造と機能 II	2						
		人体の構造と機能 III	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学		1					
		疾病と治療 I	2						
		疾病と治療 II	2						

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門 基礎 教育 科目	人間 と 健康	疾病と治療Ⅲ	2						
		疾病と治療Ⅳ	2						
		疾病と治療Ⅴ	1						
		薬理学	2						
		薬剤学	1						
		リハビリテーション論	1						
		臨床遺伝学				1			
	臨床心理学				1				
	社会 と 健康	保健医療福祉行政論	2						
		社会保障制度	2						
		研究方法の基礎	1						
		保健統計と情報処理	1						
		疫学と公衆衛生	2						
		健康生活支援論※ 政策形成過程論※					1 1		
専門 教育 科目	トランス レー シ ョ ナ ル 看護 領域	臨床 看護 学	看護学概論	1					
			臨床看護学概論	1					
			看護倫理学	1					
			看護理論	1					
			トランスレーショナルへの挑戦	1					
			看護展開論		1				
			機能障害のある患者の看護	2					
			周手術期看護・急性重症患者看護	2					
			がん看護・緩和ケア	1					
			感染看護	1					
	臨床 看護 学	看護の基本技術Ⅰ		1					
		看護の基本技術Ⅱ		2					
		看護の基本技術Ⅲ		2					
		看護の基本技術Ⅳ		1					
	臨床 実 習	看護入門実習Ⅱ			1				
		看護実践の基礎			2				
		臨床実践Ⅰ			2				
		臨床実践Ⅱ			2				
		臨床実践Ⅲ			2				
	ファミ リー ヘル ス 看護 領域	基 盤 科 目 Ⅰ	発達看護論	1					
			ファミリーヘルス看護論		1				
			援助的人間関係論	1					
	小児 看護 学	小児看護学概論	1						
小児看護学方法論		1							
看護の基本技術Ⅴ			1						

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリ ーヘル ス看護 領域	看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術VI		1					
		看護学 精神	精神看護学概論	1						
			精神看護学方法論	2						
			小児看護学実習			2				
		臨地 実習	母性看護学実習			2				
			精神看護学実習			2				
	コミュニ ティヘル ス看護 領域	基盤 科目 II	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
			国際保健論（災害看護論を含む）	1						
			ターミナルケア	1						
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			看護の基本技術VII		2					
		看護論 在宅	在宅看護概論	1						
			看護の基本技術VIII		1					
		生公 学衆 看護	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術IX		1					
		臨地 実習	老年看護学実習 I			2				
			老年看護学実習 II			1				
			老年看護学実習 III			1				
			看護入門実習 I			1				
			在宅看護実習			1				
		コミュニティヘルス看護実習			1					
	プレ・ プロフ ェッシ ョナル 看護 領域	看護 の統 合と 実践	看護研究入門	1						
			看護研究		2					
看護の役割と実践の探究			1							
臨床実践技術の探究				1						
看護安全論※						1			選択3単位以上 ※保健師国家試験受験資格を 得るためには必須とする	
看護管理論※						1				
看護哲学						1				
チーム活動論※					1					
チーム医療演習						1				
実習 臨地	看護実践の探究			2						
保健 師専 門科 目	看護学 公衆 衛生	公衆衛生看護学の技術※					1	選択9単位 ※保健師国家試験受験資格を 得るためには必須とする		
		公衆衛生看護学活動論※				2				
		学校保健・産業保健※				1				
		公衆衛生看護管理論※				1				
	実習 臨地	公衆衛生看護学実習 I ※							2	
公衆衛生看護学実習 II ※							2			

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
自由 科目	生物学入門				1			卒業所要単位に含めない
	化学入門				1			
	文章表現入門				1			
	千葉県の地域医療				1			
	倫理ことはじめ				1			
	小 計	67	20	24	27	14	4	卒業所要単位は、必修111単位、選択14単位以上、計125単位以上とする
	合 計	111			45			

別表3 (第45条関係)

教員養成課程開設授業科目並びに単位表(1)

理学部生物学科、同化学科、同物理学科、同生物分子科学科、同生命圏環境科学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
理科教育法Ⅰ		2	} 1科目以上を選択必修とする
理科教育法Ⅱ		2	
理科教育法Ⅲ		2	
理科指導法Ⅰ		2	} 1科目以上を選択必修とする
理科指導法Ⅱ		2	
理科指導法Ⅲ		2	
理科実験指導法	2		
理科授業論	2		
理科教育演習Ⅰ		1	
理科教育演習Ⅱ		1	
理科教育演習Ⅲ		1	
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	} いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		} いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		中学免許取得希望者のみ必修
総合演習Ⅰ		1	} 1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究 I		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究 II		4	免許申請科目外とする

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (2)

理学部情報科学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
数学教育概論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科指導法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科教育法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科授業論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学教育演習Ⅰ		1	
数学教育演習Ⅱ		1	
数学教育演習Ⅲ		1	
情報科教育法	2		情報免許取得希望者のみ必修
情報科授業論	2		情報免許取得希望者のみ必修
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	} いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		} いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		
総合演習Ⅰ		1	} 1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究Ⅰ		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究Ⅱ		4	免許申請科目外とする

別表 4 (第 49 条関係)

(単位円)

学部	入学金	授業料		教育充実費		施設設備費	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
医学部	1,500,000	2,500,000		(900,000) 500,000		(800,000) 300,000	
薬学部	400,000	(670,000) 560,000	(670,000) 560,000	(355,000) 355,000	(355,000) 355,000		
理学部	250,000	531,000	531,000	(250,000) 160,000	(250,000) 160,000		
看護学部	500,000	550,000	550,000	(150,000) 150,000	(150,000) 150,000	(250,000) 250,000	(250,000) 250,000
健康科学部	300,000	475,000	475,000	(400,000) 150,000	(400,000) 350,000		

- 備考 1 医学部の在学中の授業料は、初年度と同額とする。
- 2 薬学部の在学中の授業料の括弧書きは、2年次以降の納付額を示す。
- 3 教育充実費及び施設設備費欄の括弧書きは、2年次以降の年間納付額（薬学部・理学部・看護学部・健康科学部は春学期・秋学期の納付額）を示す。
- 4 教育充実費については、入学試験の総合成績の優秀なものについては全額または一部を免除することがある。ただし、初年度分に限りこれを適用する。

変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

東邦大学健康科学部看護学科（以下、「本学健康科学部」という。）は、平成 29 年度に開設され令和 5 年 3 月までに 200 名の卒業生を輩出し、地域はもとより広く社会に貢献する看護人材を育成してきた。

看護師不足は現在でも深刻な状況であるが、今後さらに深刻さを増すともいわれている。厚生労働省の発表では、令和 7 年までに必要な看護師数は 188～202 万人と想定されている一方で、令和 7 年の看護師数は 175～182 万人と想定されており、最大で 27 万人もの看護師が不足する見込みである。少子高齢化の進行に伴い現役世代（担い手）が急減している中、看護ニーズの増大が見込まれており、看護師等の確保の推進が重要であること、コロナ禍を受けて新興感染症等の発生に備えた看護師等確保対策を実施する必要があるとの指針が発出されている。また、本学健康科学部が所在する千葉県にヒアリングを行った結果、令和 7 年の千葉県内における看護職員は 8,856 人が不足すると推計され、千葉県の看護師不足も大きな課題である旨の回答を得ている。これらを踏まえ、本学健康科学部においてもより多くの卒業生を輩出し、千葉県の課題でもある看護師不足の解消に貢献したいと考えている。

以上のことから令和 7 年度入学者より、入学定員を 60 名から 80 名に、収容定員を 240 名から 320 名にそれぞれ増員する旨の申請を行うものである。

また、令和 2 年に保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令が公布され、本学健康科学部も指定規則に合わせて科目単位表の一部改正を行ったが、科目設置の目的や重要な要素を再検討し、入学定員が 80 名に増員しても教育の質が保てるようカリキュラムの再検討を行った結果、科目単位表の一部を改正する。

2. 変更点

第 5 条、附則、別表 2（第 35 条関係）

東邦大学学則の変更部分の新旧対照表

改正後			現 行		
(略)			(略)		
(学生定員)			(学生定員)		
第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。			第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。		
(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)
医学部			医学部		
医学科	110	660	医学科	110	660
(計)	(110)	(660)	(計)	(110)	(660)
薬学部			薬学部		
薬学科	245	1,470	薬学科	245	1,470
(計)	(245)	(1,470)	(計)	(245)	(1,470)
理学部			理学部		
生物学科	80	320	生物学科	80	320
化学科	80	320	化学科	80	320
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280	物理学科	70	280
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)	(計)	(470)	(1,880)
看護学部			看護学部		
看護学科	102	408	看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)	(計)	(102)	(408)
健康科学部			健康科学部		
看護学科	80	320	看護学科	60	240
(計)	(80)	(320)	(計)	(60)	(240)
(総計)	(1,007)	(4,738)	(総計)	(987)	(4,658)
以下省略			以下省略		
附 則			附 則		
この学則は、昭和48年4月1日から施行する。			この学則は、昭和48年4月1日から施行する。		
(略)			(略)		
附 則			附 則		
1 この学則は、一部改正(薬学部の入学定員・収容定員の増員)のうえ、令和6年4月1日から施行する。			1 この学則は、一部改正(薬学部の入学定員・収容定員の増員)のうえ、令和6年4月1日から施行する。		
2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度			2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度		

改正後

での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

		令和・年度				
		6	7	8	9	10
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445

		令和・年度
		11
薬学部	入学定員	245
	収容定員	1,470

- 3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。
- 4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

		令和・年度				
		6	7	8	9	10
医学部	入学定員	123	110	110	110	110
	収容定員	710	705	700	695	685

		令和・年度
		11
医学部	入学定員	110
	収容定員	673

- 5 この学則は、一部改正（薬学部カリキュラムに係る改正）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部の入学定員・収容定員の増員ならびにカリキュラムに係る改正）のうえ、令和7年4月1日から施行する。**
- 2 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同10年度での健康科学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。**

		令和・年度			
		7	8	9	10
健康科学部	入学定員	80	80	80	80
	収容定員	260	280	300	320

現 行

での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

		令和・年度				
		6	7	8	9	10
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445

		令和・年度
		11
薬学部	入学定員	245
	収容定員	1,470

- 3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。
- 4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

		令和・年度				
		6	7	8	9	10
医学部	入学定員	123	110	110	110	110
	収容定員	710	705	700	695	685

		令和・年度
		11
医学部	入学定員	110
	収容定員	673

- 5 この学則は、一部改正（薬学部カリキュラムに係る改正）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

《追記》

改正後		現 行																															
別表1（第1条関係） 本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。 （略）		別表1（第1条関係） 本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。 （略）																															
別表2（第35条関係） (1) 医学部医学科開設科目単位表 （略） (2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表 （略） (3-1) 理学部生物学科開設科目単位表 （略） (3-2) 理学部化学科開設科目単位表 （略） (3-3) 理学部生物分子科学科開設科目単位表 （略） (3-4) 理学部物理学科開設科目単位表 （略） (3-5) 理学部情報科学科開設科目単位表 （略） (3-6) 理学部生命圏環境科学科開設科目単位表 （略） (4) 看護学部看護学科開設科目単位表 （略） (5) 健康科学部看護学科開設科目単位表 令和5年度から令和6年度までの入学者に適用		別表2（第35条関係） (1) 医学部医学科開設科目単位表 （略） (2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表 （略） (3-1) 理学部生物学科開設科目単位表 （略） (3-2) 理学部化学科開設科目単位表 （略） (3-3) 理学部生物分子科学科開設科目単位表 （略） (3-4) 理学部物理学科開設科目単位表 （略） (3-5) 理学部情報科学科開設科目単位表 （略） (3-6) 理学部生命圏環境科学科開設科目単位表 （略） (4) 看護学部看護学科開設科目単位表 （略） (5) 健康科学部看護学科開設科目単位表 令和5年度以降の入学者に適用																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目の区分</th> <th rowspan="2">授業科目</th> <th colspan="3">単位数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>必修</th> <th>選択</th> <th>自由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(省 略)</td> </tr> </tbody> </table>		授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	必修	選択	自由	(省 略)						<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目の区分</th> <th rowspan="2">授業科目</th> <th colspan="3">単位数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>必修</th> <th>選択</th> <th>自由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(省 略)</td> </tr> </tbody> </table>		授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	必修	選択	自由	(省 略)					
授業科目の区分	授業科目			単位数				備考																									
		必修	選択	自由																													
(省 略)																																	
授業科目の区分	授業科目	単位数			備考																												
		必修	選択	自由																													
(省 略)																																	

改正後

現行

令和7年度以降の入学者に適用

《新規》

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
総合教育科目	自然科学	自然科学概論	1			
		データサイエンス	1			
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語ⅠA		1		選択1単位以上
		実用英語ⅠB		1		
		実用英語Ⅱ	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語Ⅲ		1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
		フランス語入門		1		
	中国語入門		1			
	健康科学	健康科学概論	1			
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		千葉県の地域医療		1		
	スポーツ健康科学※		1			
	スポーツ健康科学実技※		1			
	人文科学	心理学	1			
社会学		1				
倫理学		1				
教育学			1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
組織論※			1			
経済学			1			
法学(日本国憲法を含む)※			2			
文学			1			
人類学			1			
哲学		1				

改正後					現行				
授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考			
			必修	選択	自由				
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2						
		人体の構造と機能Ⅱ	2						
		人体の構造と機能Ⅲ	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学	1						
		疾病と治療Ⅰ	2						
		疾病と治療Ⅱ	2						
		疾病と治療Ⅲ	2						
		疾病と治療Ⅳ	2						
		疾病と治療Ⅴ	2						
		薬理学	2						
		薬剤学	1						
		リハビリテーション論	1						
	臨床遺伝学		1		選択1単位以上				
	臨床心理学		1						
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2						
		社会保障制度	2						
		保健統計	1						
		公衆衛生	1						
疫学Ⅰ(基礎編)※ 疫学Ⅱ(応用編)※ 健康生活支援論※ 政策形成過程論※			1 1 1 1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする				
専門教育科目	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	看護学概論	1						
		臨床看護学概論	1						
		看護倫理学	1						
		看護理論	1						
		看護展開論	0.5						
		機能障害のある患者の看護	2						
		がん看護	1						
		周手術期看護・急性重症患者看護	2						

改正後

現行

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考	
			必修	選択	自由		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学	感染看護	0.5				
		看護の基本技術1(療養環境の整備技術)	1				
		看護の基本技術2(ヘルスアセスメント)	1				
		看護の基本技術3(日常生活援助技術)	1.5				
		看護の基本技術4(診療の補助技術)	1.5				
		看護の基本技術5(慢性期看護技術)	1				
		看護の基本技術6(急性期看護技術)	1				
	臨床実習	看護入門実習Ⅰ	1				
		臨床看護学実習Ⅰ	3				
		臨床看護学実習Ⅱ	3				
		臨床看護学実習Ⅲ	2				
	専門教育科目	基礎科目Ⅰ	発達看護論	1			
			ファミリーヘルス看護論	1			
			援助的人間関係論	1			
小児看護学		小児看護学概論	1				
		小児看護学方法論	1				
		看護の基本技術7(小児看護技術)	1				
母性看護学		母性看護学概論	1				
		母性看護学方法論	1				
		看護の基本技術8(母性看護技術)	1				
精神看護学		精神看護学概論	1				
		精神看護学方法論	1				
		看護の基本技術9(精神看護技術)	1				
臨床実習		小児看護学実習	2				
		母性看護学実習	2				
		精神看護学実習	2				
コミュニケーションヘルス看護領域		科目Ⅱ 基礎	コミュニティヘルス看護概論	1			
			コミュニティヘルス看護展開論	1			
	看護学 老年	老年看護学概論	1				
		老年看護学方法論	2				
		看護の基本技術10(老年看護技術)	1				

改正後

現行

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	在宅地域看護・論	地域・在宅看護概論	1			
		地域・在宅看護方法論	1			
		看護の基本技術11(在宅看護技術)	1			
	看護学	公衆衛生看護学概論	1			
		看護の基本技術12(地区診断)	0.5			
	臨地実習	老年看護学実習	3			
		看護入門実習Ⅱ	1			
		在宅看護実習	1			
		コミュニティヘルス看護実習	1			
	専門教育科目	看護の統合と実践	看護研究入門	0.5		
看護研究			2			
看護の役割と実践の探究			1			
臨床実践技術の探究			1			
看護管理論			1			
リスクマネジメント			1			
エンドオブライフケア			1			
国際保健論(災害看護論を含む)※				1		
専門看護への招待			1			
チーム活動論			1			
チーム医療演習		1				
国際看護論		1				
臨地実習	看護実践の探究	2				
専門教育科目	保健師専門科目	公衆衛生看護学の技術※		2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		公衆衛生看護学活動論※		2		
		学校保健・産業保健※		1		
		公衆衛生看護管理論※		1		
	実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ※		2			
専門基礎科目	初年次	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1			
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1			
	アキ教育リ	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1		選択1単位以上
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1		
リメディアル教育科目	生物学入門			1	卒業所要単位に含めない	
	化学入門			1		
合計			113	45	2	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。

以下省略

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和7年4月入学生から、健康科学部看護学科の入学定員を現行の60名から20名増員して80名とし、収容定員を320名とする（表1）。

表1. 入学定員および収容定員の変更

学部	学科	現行		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医学部	医学科	110	660	110	660
薬学部	薬学科	245	1,470	245	1,470
理学部	生物学科	80	320	80	320
	化学科	80	320	80	320
	生物分子科学科	80	320	80	320
	物理学科	70	280	70	280
	情報科学科	100	400	100	400
	生命圏環境科学科	60	240	60	240
看護学部	看護学科	102	408	102	408
健康科学部	看護学科	60	240	80	320
総計		987	4,658	1,007	4,738

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）健康科学部看護学科の沿革

健康科学部看護学科は、「地域完結型」医療を担う看護職の育成と地域（千葉県下）の看護師不足の解消に努めると共に、多様化する健康問題に対応できるよう、幅広い教養と専門知識・技術を持ち、理論的に思考できるより良き看護職を育成するため、千葉県にある習志野キャンパスに四年制の学部として、平成 29 年に開設した。

（2）収容定員変更の必要性が生じた背景

厚生労働省医政局より令和 5 年 10 月 26 日に改定された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針について（以下、本指針）」の告示では、看護師等の量的確保に加え、資質の向上、地域的・領域的偏在への対応を要望している。また、第 2 回看護師等確保基本指針検討部会（令和 5 年 7 月 7 日）の「看護師等（看護職員）の確保を巡る状況」によると、本邦における看護職員就業者数は、令和 2 年には 173.4 万人となり増加を示しているが、都道府県人口 10 万人当たり看護職員就業者数については、首都圏等の都市部において全国平均 1,369 人よりも少なく、千葉県は神奈川県 980 人に続き 1,004 人と 2 番目に少ない状況となっている。

看護職員の就業場所については、先進医療にかかわる病院・診療所が主であるが、訪問看護ステーションや介護保険施設などは、平成 14 年に比べると約 3 倍の需要となっており、専門に特化した就職の割合が高くなっていることが確認できる。また、就業看護職員の年齢階級別構成割合の推移を見ると、若年層の割合が減少し、60 歳以上の構成割合が増加している。

これらの背景をふまえ、令和 5 年 7 月 11 日に千葉県健康福祉部に聞き取りを行ったところ、千葉県内の看護師は不足しており、特に東葛南部および山武長生夷隅は大きく下回っていると説明があった。その状況下においての本学の定員増は、看護師不足改善の一助として大いに期待できるとご意見を頂いている。

以上より、看護職員就業者数は不足していること、訪問看護ステーションや介護保険施設など専門に特化した就業場所の割合が高くなっていること、就業看護職員の若年層の割合が減少していること、特に千葉県東葛南部および山武長生夷隅は不足が著しいことが確認できた。健康科学部看護学科は東葛南部に設置され、同地域と山武長生夷隅地域を通学圏としており、開設当初の趣旨からもこの課題解決に向けて取り組むことが急務と考え定員増を行う。

【資料 1】

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容について

健康科学部看護学科では、人間が健康で幸せな生活を営むことを支援するために、関連学問の知識や技術を統合して課題を解決する実践能力、人間の尊厳を基盤とする倫理観に支えられた科学的探究力、チームの中で連携を図る姿勢や生涯を通して学ぶ自己学修力を醸成するように、教育理念、ディプロマ・ポリシーを定め、教育課程（カリキュラム）を編成・実施している。

このたびの収容定員変更と並行して、保健師助産師看護師学校養成指定規則に基づいて教職員全員により現行カリキュラムを点検・評価し、令和7年度にカリキュラム改正（以下、改正カリキュラムとする）を行う。

カリキュラムの改正にあたっては、今回の定員増にあたり、ディプロマ・ポリシーに示す能力を学年進行とともに段階的に着実に身に付けることができるよう科目名・単位数の整理、配当学年等の変更を行い、教育課程の編成を行う。

収容定員変更並びに現行カリキュラムの点検・評価に基づく改正カリキュラムの概要は以下のとおりである。

ー収容定員変更に基づく授業科目の主な変更内容ー

【専門教育科目】

〈トランスレーショナル看護領域〉

①「がん看護」について

現行の「がん看護（4年次前期・1単位）」は選択科目として開講している。しかし、日本における死因は依然「悪性新生物」がトップであり、がんの治療に対する看護のみならず、がん医療における多職種連携や、ライフステージに応じた支援、就労、サバイバーシップ、緩和ケアなど、教授すべき内容は多く、現行の「機能障害のある患者の看護」の中だけで押さえきれない内容ではない。よって3年次の各論実習前の2年次後期に配当学年を変更し、必修科目へと変更する。

②「感染看護」について

現行の「リスクマネジメント（2年次後期・1単位）」は「感染看護」と「リスクマネジメント」の2つの内容を統合した科目を開講している。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行という経験から感染看護学を教授することの重要性が改めて注目され、感染症の予防に対する基礎知識、標準予防策などを3年次各論実習前に体系的に身につけることが重要であると判断した。よって「感染看護」を独立し、演習科目0.5単位15時間へと変更する。

③「看護の基本技術3（日常生活援助）」について

「看護の基本技術3（日常生活援助）」は、「看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）（1年次前期・2単位）」との重複した内容を見直し、1.5単位に変更する。また、学修の順序性を考慮し、開講時期を「臨床看護学実習Ⅰ（基礎看護学実習）」開始前の2年次前期へと変更する。

④「看護の基本技術4（診療の補助技術）」について

「看護の基本技術4（診療の補助技術）」も「看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）（1年次前期・2単位）」との重複した内容を見直し、1.5単位に単位数を変更する。また、学修の順序性を考慮し、開講時期を2年次前期から「臨床看護学実習Ⅰ（基礎看護学実習）」終了後の2年次後期へと変更する。

〈コミュニティヘルス看護領域〉

①「看護の基本技術12」について

「看護の基本技術12（地区診断）（2年次後期・1単位）」は地域で暮らす人々の健康課題を明らかにし地域特性に応じた看護を展開するプロセスを学ぶ演習科目であり、病院実習での受持ち事例が退院後に地域で生活することを想定し看護を展開

する「コミュニティヘルス看護展開論（4年次前期・1単位）」に関連する科目である。その人の暮らしを含んだ人間の全体性をより効果的に理解するために、授業内容を整理し、0.5単位15時間へと変更する。

〈プレ・プロフェッショナル看護領域〉

①「看護研究入門」について

現行の「看護研究入門（3年次前期・1単位）」は演習として設定しているが、「看護研究（4年次通年・2単位）」のガイダンス・相談並びに各指導教員および所属分野における対応の中で、研究に必要な知識を提供できることから、「看護研究入門」は基礎的概要部分のみで良いと判断し、0.5単位15時間へと変更とする。

②臨床実践技術の探究について

現行の「臨床実践技術の探究（4年次後期・1単位）」は、実践能力試験を分散して行うために、通年へと変更する。

③「リスクマネジメント」について

上述した現行カリキュラム「リスクマネジメント（2年次後期・1単位）」の「リスクマネジメント」部分を独立させ、〈プレ・プロフェッショナル領域〉科目区分に配置換えを行う。「リスクマネジメント」は、臨床で起こりうるリスクを想像することが重要であり、臨地実習を経験していることが望ましいことから、4年次後期へ変更する。

④「国際看護論」について

現行の「国際看護（全学・1単位）」は全学年を対象に海外研修を主とした演習を計画してきた。しかし、日本における在日外国人・訪日外国人の顕著な増加を背景に、世界における健康問題、健康格差について理解すると共に、国内外を問わず多様な文化や価値観を持つ対象者への健康支援と看護のあり方を学ぶことは重要であると考えた。そのため、科目名を「国際看護論」とし、演習から講義に変更して4年次後期・1単位として配置する。なお、現行の「国際看護」における海外研修は、健康科学部看護学科のグローバル化推進委員会が担い、事業として継続する。

変更後の詳細なシラバスは資料2の通りである。

健康科学部看護学科では、収容定員変更後も、これまでと同等以上の教育課程を編成し、看護師職者の輩出に寄与する。

【資料2】

（イ）教育方法および履修指導方法の変更内容について

（1）教育方法

今回の収容定員変更にあたり、演習科目および実習科目の変更点は以下のとおりである。

【演習科目】

- ・80名体制に向けて、ミニマムエッセンスを意識した教授方法、演習内容の精選、および演習時間数の見直しにより、収容定員変更後の教育の質を担保する。
- ・技術演習では1グループあたりの学生数を増やす、またはグループ数を増やすことで収容定員変更後の教育の質を担保する。
- ・「看護の基本技術7（小児看護技術）」においては、学年を2クラスに分けて技術演習を行い、収容定員変更後の教育の質を担保する。
- ・実習室で実施するロールプレイなどは、遠隔システムを活用し、講義室の学生と演習内容を共有し、共に振り返ることにより教育の質を担保する。

【実習科目】

- ・現在の実習施設の実習病棟を増やすことにより、これまで同様の実習内容を担保する（「看護入門実習Ⅰ」「臨床看護学実習Ⅰ」）。

- ・1 病棟あたりの学生数を増やすことによって、これまで同様の実習内容を担保する（「臨床看護学実習Ⅱ」）。
- ・実習施設の受け入れ人数の上限がある場合は、実習施設を追加確保することにより、これまで同様の実習内容を担保する（「看護入門実習Ⅱ」「臨床看護学実習Ⅲ」「老年看護学実習」「在宅看護実習」「コミュニティヘルス看護実習」）。
- ・実習病棟や実習施設を増やし、定員収容変更による実習期間の延長に伴う教育の質を担保するために、非常勤助手の採用など人員の確保を行う。
- ・実習内における担当教員ごとに指導内容が生じないように、連絡相談体制を明確化し、かつ教員間のカンファレンスを実施する。

(2) 履修指導方法

今回の収容定員変更に伴う知識・技能の履修指導方法に関する変更は行わないが、今後も必要に応じて履修指導体制のさらなる充実を図り、教育の質の向上に努めていく。

(3) 地域的・業務形態的偏在対策に向けた履修指導

健康科学部看護学科では、開設当初より千葉県内における看護師不足に貢献できるよう、1年次に「千葉県の地域医療」を開講し、千葉県の実情を題材としたグループディスカッションにより、地域医療のあり方およびそれを支える看護のあり方を考える契機としている。また、令和4年度のカリキュラム改正によりキャリア教育科目を設け、「トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ（2年通年・1単位）」では、千葉県内で活躍している高度実践看護師から看護専門職の職務概要と活動について学び、自らの進路選択について計画的に考える機会としている。「トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ（3年通年・1単位）」では、千葉県就職説明会を開催し、学生が病院・施設等の看護管理者や千葉県内の病院・施設等に就職した卒業生より多様な側面からの情報を得ることで、自身のキャリア形成について考える機会としている。また習志野学事部キャリアセンターと連携して東葛南部および山武長生夷隅地域を含む千葉県の保健医療施設の就職情報を提供するとともに説明会を開催して就業促進を図っている。

1 期生から卒業生の千葉県内への就職率は60%以上を継続しており、以上の取り組みは今後も継続する方針である。

今後は、新カリキュラムへの導入として、新入生ガイダンスに千葉県看護協会の講話やワークショップを取り入れて千葉県の看護の現状を学び、「千葉県の地域医療」やその後のキャリア教育科目「トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ・Ⅳ」へ継続・発展させる。また、2～3年次の夏休みにはインターンシップとして現場に赴き、看護師の充足状況、偏在等についてアセスメントするフィールドワークを行うことを予定している。3年次の保健師課程の実習においては、山武長生夷隅地区の施設に実習生の受け入れを積極的に依頼する。以上により、千葉県内における就職・定着率の更なる向上を図り、千葉県における地域的・業務形態的偏在の解消に向けて貢献していく。

【資料3】

(ウ) 教員組織の変更内容について

健康科学部看護学科では、質の高い教育を担保するため、令和5年度は本務教員26名（基幹教員15名、基幹教員以外の教員11名）で教育を行っている。令和7年4月1日学則変更により収容定員を320名とした後には、本務教員28名（基幹教員22名、基幹教員以外の教員6名）で教育を行う予定である。教員1人あたりの学生数（S/T比）は11.4人で、専門分野における細やかな教育・指導を実施し、更なる教育の質を担保することができると思う。学生の履修状況および教育活動状況について、毎月開催する健康科学部教授会において点検評価し、教員の配置や今後の教員組織編成などを見直し、より一層の充実を図る。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

健康科学部看護学科では、入学定員および収容定員を増加した後も、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を提供する。

健康科学部看護学科の講義については、健康科学部棟 1 階の講義室と習志野キャンパスの共有施設である薬学部棟および理学部棟の講義室を適宜使用している。これらの講義室は 100 人以上を収容可能であり一学年の定員を 80 名に増員しても十分対応できる。

看護専門科目の演習については、健康科学部棟 2 階の演習室を使用する。演習室の既存ベッド数は健康科学部看護学科設置時から 24 台あり、ベッド 1 台に学生 3~4 人で使用できるため、『看護師等養成所の運営に関する指導要領』の条件にある「学生 4 人に 1 台以上」を満たしている。また看護実習モデル人形に関しても、設置時成人型看護実習モデル人形 2 台およびフィジカルアセスメントモデル 2 台、多職種連携ハイブリッドシミュレータ (SCENARIO) 2 台を用意し演習を行っていたが、令和元年にフィジカルアセスメントモデル 1 台、令和 3 年に多職種連携ハイブリッドシミュレータ (SCENARIO) 1 台を追加購入し計 8 台あるため、定員 80 名に対応できる。看護実習モデル人形は、『看護師等養成所の運営に関する指導要領』上の「学生 10 人に 1 台」を満たしており、増員前と変わらず教育研究環境は提供できる。さらに、令和 4 年にデブリーフィング&データ管理システム Skills Album を購入し、実際に演習を行っているシミュレーションルームと他の演習室および講義室を連携するなど、看護実践力育成のための ICT 学修環境の整備もできていることから、増員後も同等の環境を担保することができる。

教員研究室は健康科学部棟 3 階に設置され、教員用スペースに加えて学生指導のスペースが設定されており、学生各自が進めた先行調査研究や文献調査、研究計画や研究進行状況に基づく指導などをここでやっている。また、メディアセンター (図書館) について、国内外の専門図書や学術雑誌、学内外からアクセス可能な電子図書/ジャーナル/データベースなどを整備しており、定員増に十分対応できるスペースとともに ICT 環境を整えている。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

- 資料1 看護師等（看護職員）の確保を巡る状況（抜粋）
- 資料2 2025年度開講シラバス案（抜粋）
- 資料3 地域的・業務形態的偏在対策に向けた履修指導に係るシラバス
- 添付資料 教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））

第2回看護師等確保基本方針検討部会	参考資料 2
令和5年7月7日	

(厚生労働省ホームページ_看護師等(看護職員)に確保を巡る状況, 第2回看護師等確保基本方針検討会(令和5年7月7日開催))

看護師等（看護職員）の確保を巡る状況

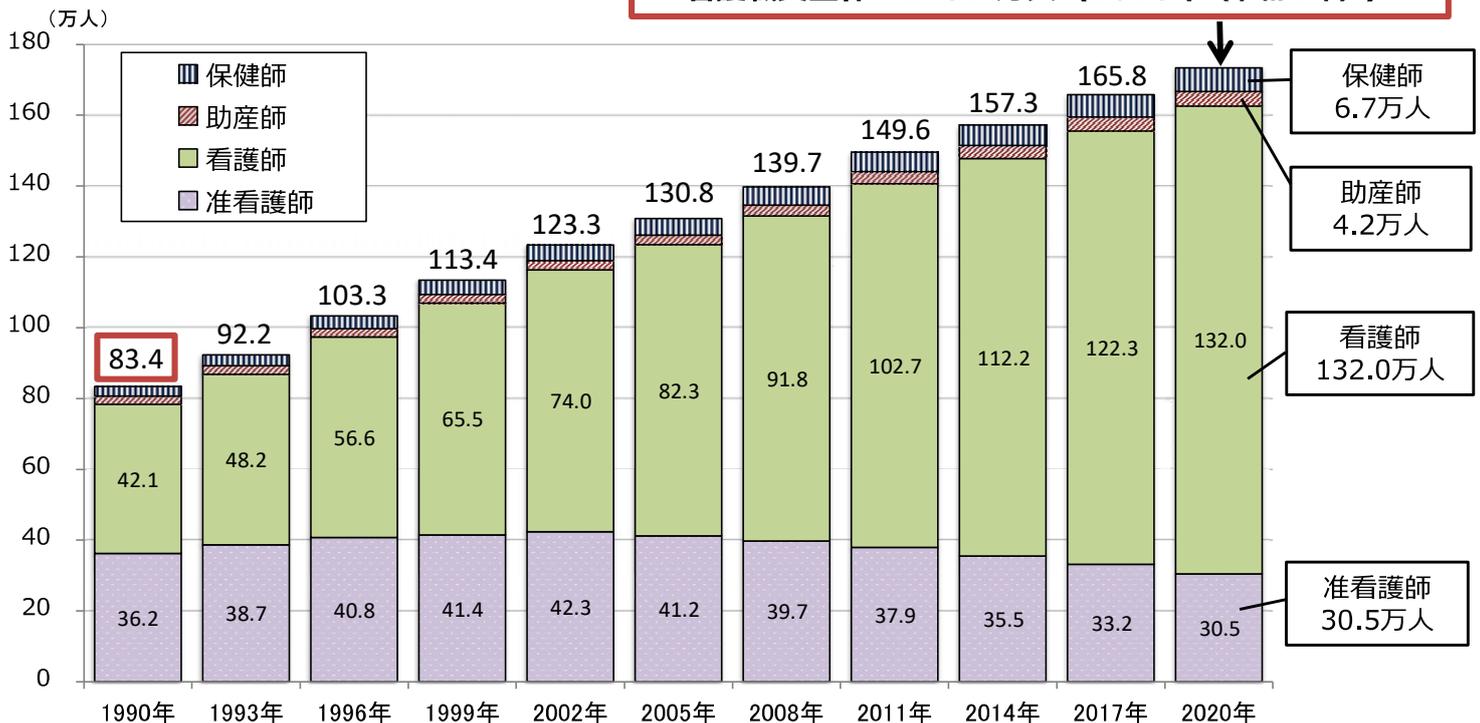
※ 第1回検討部会（令和5年5月29日）資料4のうち、看護師等（看護職員）の確保を巡る状況に関する資料について、一部追加等を行ったもの。

① 看護師等の就業の動向	1
② 看護師等の養成	13
③ 病院等に勤務する看護師等の処遇の改善	20
④ 研修等による看護師等の資質の向上	48
⑤ 看護師等の就業の促進	57
⑥ 新興感染症等への対応に係る看護師等の確保	75
⑦ その他	83

看護職員就業者数の推移

看護職員の確保が進められて、看護職員就業者数は増加を続け、2020年（令和2年）には173.4万人となった。

看護職員全体：173.4万人（2020年（令和2年））



資料出所：厚生労働省「医療施設（静態）調査」「衛生行政報告例（隔年報）」「病院報告（従事者票）」に基づき厚生労働省医政局看護課において集計・推計

・病院で就業する看護職員数は、2017年以降は「医療施設（静態）調査」、2014年以前は「病院報告（従事者票）」による。

・診療所で就業する看護職員数は「医療施設（静態）調査」による。

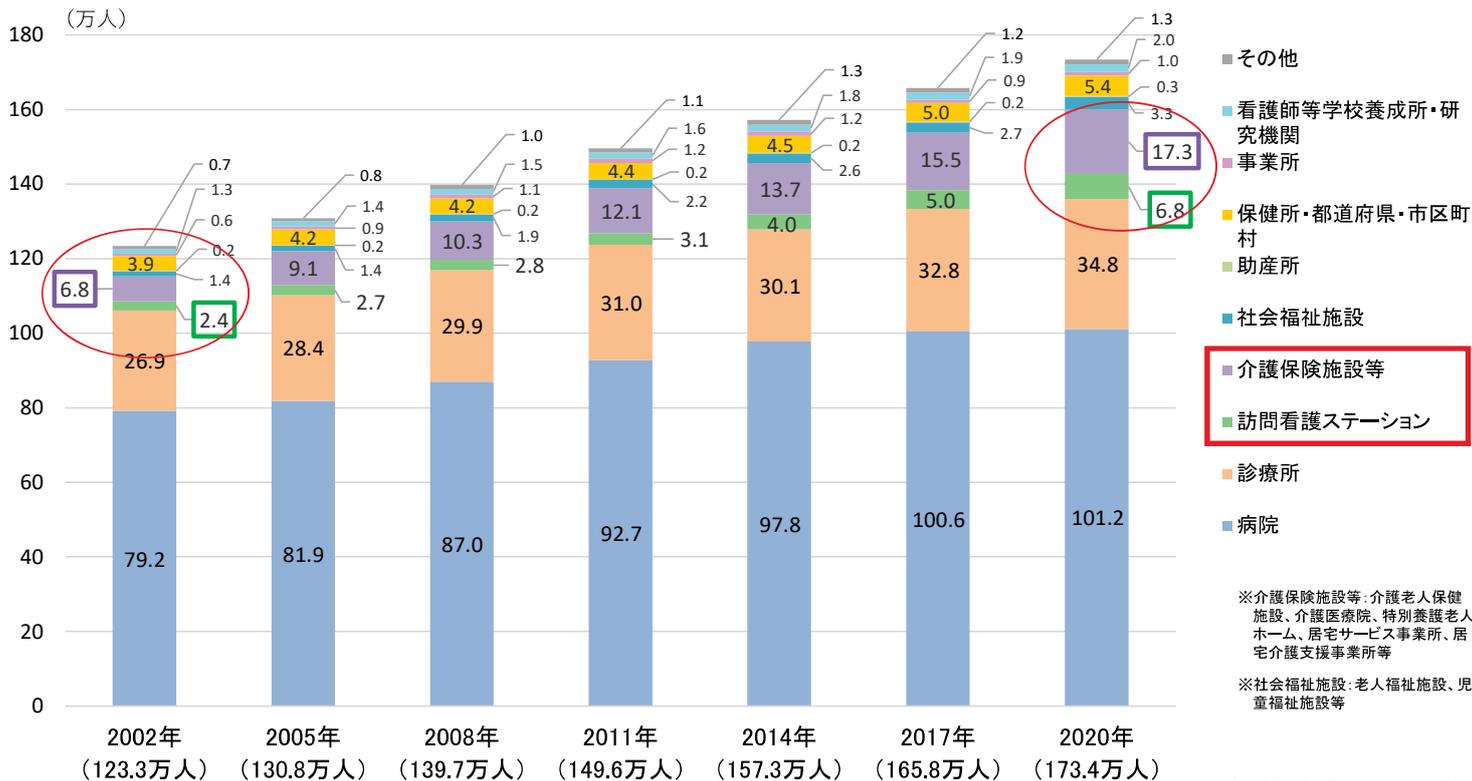
・病院・診療所以外で就業する看護職員数は「衛生行政報告例（隔年報）」による。なお、「衛生行政報告例（隔年報）」の調査年ではない年については、「衛生行政報告例（隔年報）」の数値に基づく推計値。

就業場所別看護職員の推移

一部追記

【資料1】

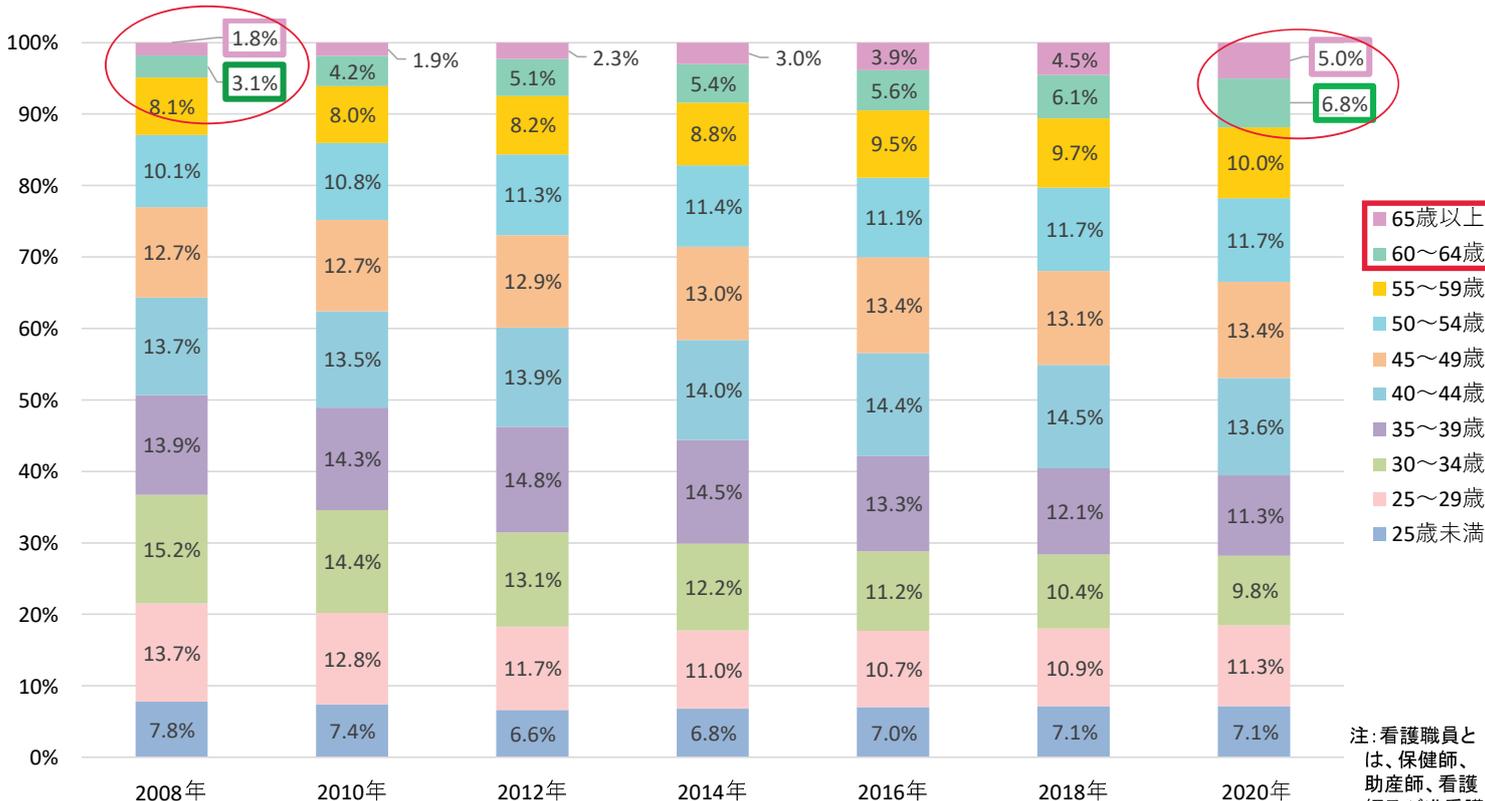
看護職員の就業場所は病院・診療所が多いが、推移を見ると、訪問看護ステーション（2002年：2.4万人 ⇒ 2020年：6.8万人）や介護保険施設等（2002年：6.8万人 ⇒ 2020年：17.3万人）での増加割合が高くなっている。



資料出所：厚生労働省「医療施設（静態）調査」「衛生行政報告例（隔年報）」「病院報告（従事者票）」に基づき厚生労働省医政局看護課において集計・推計
 ・病院で就業する看護職員数は、2017年以降は「医療施設（静態）調査」、2014年以前は「病院報告（従事者票）」による。 ・診療所で就業する看護職員数は「医療施設（静態）調査」による。
 ・病院・診療所以外で就業する看護職員数は「衛生行政報告例（隔年報）」による。なお、「衛生行政報告例（隔年報）」の調査年ではない年については、「衛生行政報告例（隔年報）」の数値に基づく推計値。

就業看護職員の年齢階級別構成割合の推移

就業看護職員の年齢階級別構成割合の推移を見ると、若年層の割合が減少し、60歳以上の構成割合が増加している。
 ・60～64歳 2008年：3.1% ⇒ 2020年：6.8%
 ・65歳以上 2008年：1.8% ⇒ 2020年：5.0%

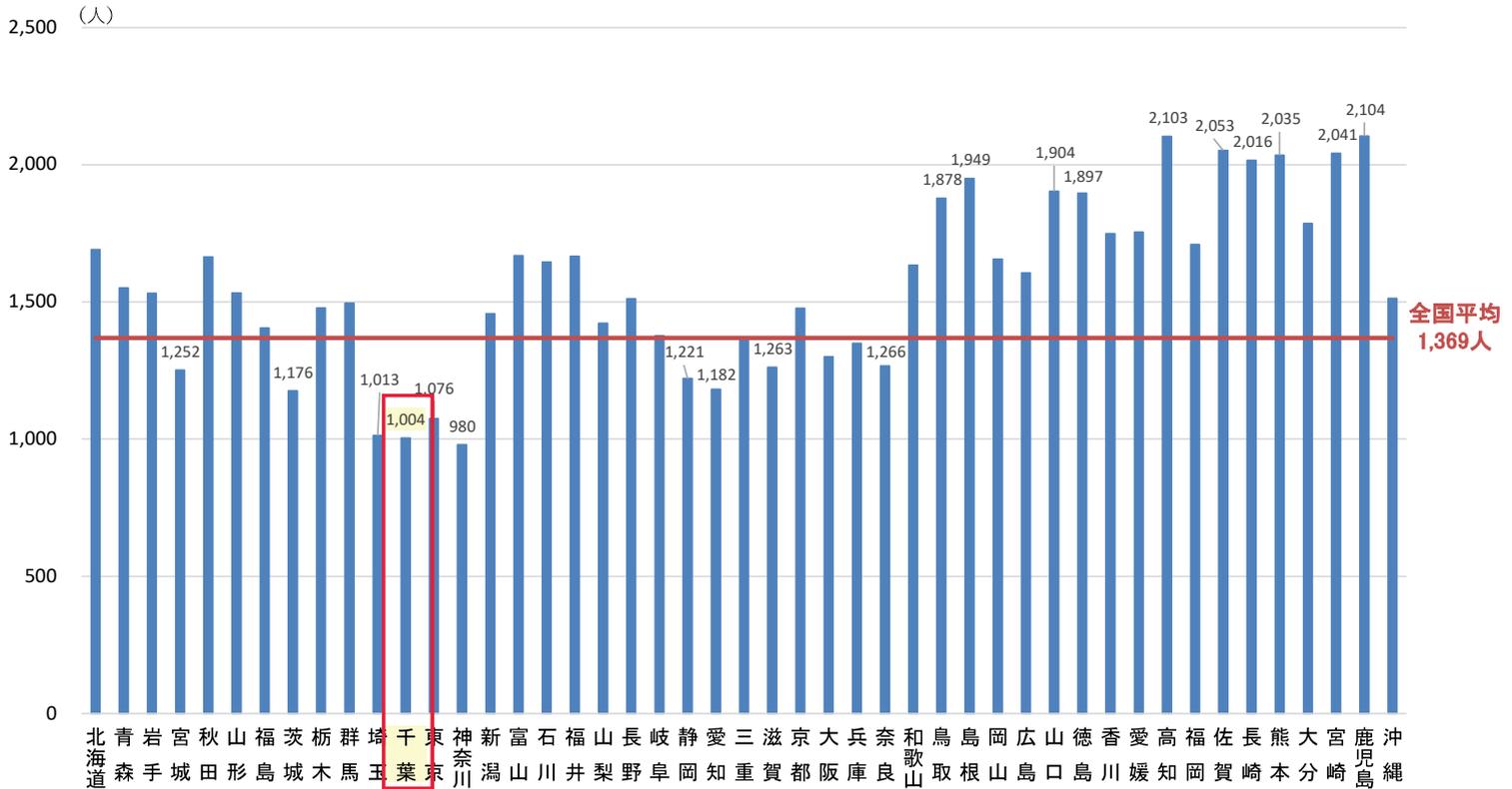


資料出所：厚生労働省「衛生行政報告例（隔年報）」

※「医療施設（静態）調査」では、年齢階級別の看護職員数のデータは把握できないため、病院・診療所も含めた全ての就業場所について、衛生行政報告例のデータを用いている。

都道府県別 人口10万人当たり看護職員就業者数（2020年（令和2年））

人口10万人当たり看護職員就業者数については、首都圏等の都市部において、全国平均よりも少ない傾向。



注：看護職員とは、保健師、助産師、看護師及び准看護師のこと。

資料出所：厚生労働省「医療施設（静態）調査（令和2年）」、「衛生行政報告例（隔年報）」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（令和3年1月1日現在）」

2025年度開講シラバス案(抜粋)

2025年度開講(案)

トランスレーショナル看護領域

科目名(日本語)	がん看護	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Oncology Nursing	必修	講義	秋学期 2年	1単位 15時間
科目責任者	水流添 秀行				
担当教員	水流添秀行・宮崎裕子				
科目責任者 連絡先(教室)	水流添 : hideyuki.tsuruzoe@hs.toho-u.ac.jp (K323研究室)				
オフィスアワー	授業開講日の授業終了後から18時まで、各担当者の研究室にて受け付ける。 水流添(K323研究室) : hideyuki.tsuruzoe@hs.toho-u.ac.jp 宮崎(K327研究室) : hiroko.miyazaki@hs.toho-u.ac.jp				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称(クリッカー、タブレット端末等)
Moodle

【2】 授業概要

本講義ではがん患者とその家族を対象とする看護、がん予防に必要な基礎的知識を習得する。またがん看護における倫理的課題及び、がんと共に生き抜く患者とその家族に対する看護について考察する。

【3】 到達目標

1. がん疫学、がん患者が置かれている社会情勢について説明できる。
2. がんの予防について説明できる。
3. がんの経過に応じた対象者とその家族の特徴を説明できる。
4. がんの経過に応じた看護方法を説明できる。
5. がん医療(がん放射線療法、がん薬物療法)の特徴と看護方法を説明できる。
6. 代替補完療法の特徴と看護方法を説明できる。
7. 緩和ケアの特徴とがん患者に生じる苦痛症状に対する看護方法を説明できる。
8. がん終末期の対象者と家族への看護方法を説明できる。
9. がん看護における倫理的課題について考察できる。
10. がんと共に生き抜く患者に対する看護を考察できる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	がん看護学とは	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科目オリエンテーション 2. がん医療・緩和ケアの概説 3. がん看護の概説 <p>方法：講義、DVD視聴 予習：テキスト1第1-3章 テキスト2第IV章を読んで臨む。 復習：授業内容を整理する。 DVD視聴（がん看護の実践「がん看護に求められる専門性」・「症状マネジメントとがんサバイバー支援」・「がんサバイバーからのメッセージ」 約30分） キーワード：がん医療、緩和ケアの定義、がん対策基本法、がん罹患、生活への影響、チーム医療、集学的がん治療、がんサバイバーシップ、患者のQOL、家族、倫理的課題、看護師の役割、がん看護専門看護師、認定看護師</p>	水流添秀行
2	がん患者と家族の特徴と主な看護援助	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者の特徴と主な看護援助 2. がん患者の家族の特徴と主な看護援助 3. がんの経過に応じた看護の特徴と援助方法 <p>方法：講義、ディスカッション 予習：テキスト1第1・2章、第3章Cを読んで臨む。 復習：がんを生きる'意味、がん罹患・予防の意味、告知の意味について考察する。 キーワード：患者の発達段階に応じた看護、がんの経過に応じた看護、がん治療の場と看護、チーム活動、がんサバイバーシップ、ストレス・コーピング、危機理論、ボディイメージ、トータルペイン、セルフケア、がん対策推進基本計画、がん診断プロセス、健康観、保健行動、家族、意思決定支援、がん体験者の療養生活と人生、アセスメント法、小児期発症のがん患者、AYA世代がん患者、成人期がん患者、老年期がん患者</p>	水流添秀行
3	緩和ケアの方法論	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 苦痛緩和のアセスメント法 2. 主な苦痛/症状緩和の援助方法 3. 症状緩和の実際 <p>方法：遠隔授業(オンデマンド)、講義、DVD視聴 予習：テキスト2第IV・V・VI章を読んで臨む。 復習：緩和ケアの具体的方法を整理する。 DVD視聴（多様ながん看護「がんリハビリテーション」・「緩和ケア」・「終末期における看護」約24分（「小児がん看護」約11分） キーワード：トータルペイン、全人的ケア、苦痛の意味、症状マネジメント、アセスメントツール、疼痛マネジメント、アウトカム測定、セルフマネジメント</p>	水流添秀行
4	がん看護・緩和ケアの倫理	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん医療・看護における倫理的課題と看護の役割 2. 倫理的課題のアセスメント法 3. 倫理的課題の主な対応方法 <p>方法：遠隔授業(オンデマンド)、講義 予習：テキスト1第3章C・D、6章、2第II・III章を読んで臨む。 復習：がん看護・緩和ケアの倫理的状況における看護活動について考察する。 キーワード：悪い知らせの伝達、がん治療および療養の意思決定、アドバンス・ケア・プランニング、がん生殖医療と倫理、家族性腫瘍の遺伝子診断と倫理</p>	水流添秀行
5	がん予防・早期発見の看護	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん罹患の原因と予防・早期発見に関する施策 2. がん予防に関わる看護 3. 遺伝性腫瘍と看護 <p>方法：遠隔授業(オンデマンド)、講義 予習：テキスト1 第3章Cを読む。 復習：講義内容の復習、自分や家族のがん予防について振り返る。 キーワード：がん対策基本法、がん対策推進基本計画、がん予防法、がん検診、保健行動、健康観、遺伝性腫瘍、遺伝性カウンセリング、がんの経過に応じた看護、がんサバイバーシップ、多職種連携</p>	水流添 秀行
6	がん診断期の看護	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん診断から治療が決定するまでの経過 2. がん診断期の患者・家族の状態 3. がん診断期にある患者・家族の看護 <p>方法：遠隔授業(オンデマンド)、講義 予習：テキスト1第2章、第3章Cを読んで臨む。 復習：講義内容の復習、がん診断(告知)による状況を自分に置き換えて考える。</p>	水流添 秀行

		キーワード：がん診断プロセス、がんの分類、標準治療、悲嘆、危機理論、ストレス・コーピング、トータルペイン、意思決定支援、家族の負担、がんの経過に応じた看護、看護を提供する場所、がんサバイバーシップ	
7	がん治療看護(1)：がん薬物療法を受ける人の看護	内容 1. がん薬物療法の目的・特徴 2. がん薬物療法に伴う有害事象と生活への影響 3. がん薬物療法を実施する患者への看護 方法：講義 予習：テキスト1 第4章B、5章C、6章を読む。 復習：講義内容の復習(がん薬物療法を実施する患者への看護)。 キーワード：集学的治療、薬物療法、レジメン、免疫チェックポイント阻害薬、効果判定、有害事象、有害反応、副作用、副作用の予防とケア、抗がん剤暴露対策、薬物療法の生活への影響、通院治療室	水流添 秀行
8	がん治療看護(2)：がん患者の社会復帰支援	内容 ・がん治療に伴う社会生活への影響 ・がんサバイバーの社会復帰支援への看護 方法：講義 予習：テキスト1 第3章A・B、第6章を読む。 復習：がんサバイバーの社会復帰に向けた事例に対して退院支援オリエンテーションを考える(課題)、講義内容の復習 キーワード：がんサバイバー、がん治療の社会生活への影響、社会復帰に向けた患者の価値観、経済的負担、社会復帰に向けた看護、退院支援、セルフヘルプグループ、就労支援、多職種連携	水流添 秀行
9	がん治療看護(3)：がん放射線治療を受ける人の看護	内容 1. がん放射線治療に伴う身体の変化と生活への影響 2. がん放射線治療経過に沿う看護 方法：講義、DVD視聴 予習：テキスト1第4章C、5章A・D読んで臨む。 復習：被爆に対する防護、援助方法を整理する。 キーワード：標準治療、安全、有害事象、Quality of life、治療中の生活、家族、チーム医療、他職種連携、看護師の役割	水流添秀行
10	がん治療看護(4)：代替補完療法と看護	内容 1. 代替補完療法とエビデンス状況 2. 代替補完療法を受ける人への看護 方法：講義、グループワーク 予習：資料を読んでワークシートの課題を実施し、グループワークの準備をして臨む。テキスト1第1章C、2章B、を読む。 復習：代替補完療法選択におけるエビデンス活用について整理する。 キーワード：エビデンス、安楽と安全、患者の価値観や生き方、QOL、看護師の役割；健康観、保健行動、ストレス・危機理論、家族	水流添秀行
11・12	がん終末期看護(1)	内容 1. ターミナルケア・グリーフケア 2. がん終末期の患者と家族の体験 方法：講義、DVD視聴 予習：テキスト2第II・III章を読む。 復習：DVD視聴学習をとおして、がんを生き抜く援助と看護の専門性について考察し、ワークシートを完成させて提出する(課題)。 キーワード：意思決定支援、緩和ケア、ターミナルケア、グリーフケア、看取り、死別、遺族、家族の再構成	宮崎裕子
13・14	がん終末期看護(2) がん看護・緩和ケアの展望	内容 1. がんを生き抜く患者とその家族への看護事例学習 2. がん看護・緩和ケアの展望 方法：講義、グループワーク 予習：テキスト2第I-III、VI章を読む。 復習：がん罹患の意味、がん看護・緩和ケアについて考察する。 キーワード：緩和ケア、ターミナルケア、グリーフケア、看取り、遺族外来、がんサバイバーシップ、看護倫理、がん看護の実践能力、がん看護教育	水流添秀行

【6】 事前・事後学習とその時間

【準備学習】

既習の専門基礎教育科目の復習と予習をして臨むこと。本授業はがん看護と緩和ケアの基礎的な知識と展開方法を習得することをねらっているため、関連内容について予習・復習に1.5時間程度必要である。

【学習上の留意点】

患者や家族の体験を記した書籍や新聞記事など社会の現状を理解しながら考察を深める
適宜、参考文献を活用する。標準治療、ガイドラインなど根拠ある看護の資料源を確認する。
対面式授業と遠隔授業の併用で行います。遠隔授業はオンデマンド式と双方向式を取り入れていますので、授業オリエンテーションで確認してください。

【7】 評価方法・基準

定期試験80%、課題20% (2題)

【8】 フィードバック方法

課題については、授業時に特徴的な傾向や誤解についてコメントする。ワークシートは返却する。

【9】 教科書

1. 小松浩子他編：系統看護学講座 がん看護学 医学書院
2. 浅野美知恵編：絵でみるターミナルケア改訂版、人生の最期を生き抜く人への限らない援助、学研

【10】 参考書

授業時にその他の関連文献を紹介する。

【書籍】

- ・恒藤晁他編：系統看護学講座 緩和ケア 医学書院
- ・系統看護学講座 専門Ⅱ 医学書院（「人体の構造と機能」で使用したもの）、・看護学テキストシリーズNICE 疾病と治療Ⅰ～Ⅳ、南江堂（「疾病と治療」で使用したもの）
- ・小島操子他監訳：がん看護コアカリキュラム、医学書院
- ・鈴木志津枝他監訳：がん看護PEPリソース、医学書院
- ・日本医療学会編：病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法Ⅰ 悪性腫瘍、改訂版、第2版、南江堂
- ・鈴木賢一他編著：がん薬物療法の支持療法マニュアル、南江堂、
- ・日本放射線腫瘍学会：やさしくわかる放射線治療学、学研メディカル秀潤社
- ・日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン委員会：がんの補完代替療法クリニカル・エビデンス2016年版、金原出版
- ・浅野美知恵・奥野滋子編著：特集 根拠がわかる がん看護ベストプラクティス、がん看護17(2)、2012、南江堂
- ・浅野美知恵・奥野滋子編著：特集 根拠がわかる 治療とケアのベストプラクティス、がん看護24(2)、2019、南江堂
- ・浅野美知恵・山崎智子編：連載企画シームレスに実践ターミナルケア・グリーフケア全7回、がん看護26(4)(6)(7)(8)、27(1)(3)(4)

【視聴覚教材】

- ・「ナーシングチャンネル」成人看護・がん看護
- ・はじめてのがん看護 丸善出版 1巻（がんサバイバーシップの理解と支援）・3巻（外来がん看護）・5巻（がん化学療法の看護）・6巻（がん放射線療法の看護）・8巻（がん患者におけるコミュニケーション）

【11】 備考(関連科目等)

教養教育科目、専門基礎教育科目、看護学概論、臨床看護学概論、看護倫理学、看護理論、看護展開論、機能障害のある患者の看護、周手術期看護・急性重症患者看護、ターミナルケア、臨地実習、チーム活動論、看護哲学

2025年度開講（案）

トランスレーショナル看護領域

科目名(日本語)	感染看護	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Infection Control Nursing	必修	演習	秋学期 2年	0.5単位 15時間
科目責任者	笠間 秀一				
担当教員	笠間 秀一、畑中佳子				
科目責任者 連絡先(教室)	E-mail:shuichi.kasama@hs.toho-u.ac.jp 教室:332				
オフィスアワー	授業終了後15分とする。それ以外の時間帯はメールにて質問を行うこと。 質問の返答はメールまたは講義内で回答する。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
PBL（課題解決型学習）
反転授業
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
その他
「その他」の内容
実技演習
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称（クリッカー、タブレット端末等）
VRゴーグル、タブレット端末、eラーニング、web会議システム（ZOOM）

【2】 授業概要

感染看護に関する基礎的知識と関連法規を習得し、根拠のある感染予防策に基づく看護実践を学ぶ。具体的には、感染の成立過程、滅菌・消毒の基礎的知識と看護援助への活用、感染管理における看護師の役割と責任について学ぶ。また、職業感染防止、看護援助場面において適切な防護具の活用方法を演習し理解する。さらに、感染領域における倫理について考察する。感染看護の知識から看護計画に活用する方法を学習する。

【3】 到達目標

1. 感染症の歴史を学び、感染症の関連法規と人権尊重の重要性について説明ができる。
2. 臨床で重要な微生物に関する基礎知識に基づいた感染経路について説明ができる。
3. 人間の防御機構と微生物の関係を理解し、感染成立メカニズムの説明ができる。
4. 微生物の特徴と人間の行動に基づいた、感染拡大の原因・要因について論理的に説明ができる。
5. 看護実践における感染予防の実践根拠および感染リスクについて、エビデンスに基づいた説明ができる。
6. 感染症の治療・予防および感染拡大防止に伴う倫理上の問題を討議することができる。
7. 感染看護の知識を活かし看護計画を立案することができる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1・2回	医療安全と感染 ける感染制御	看護にお 【授業内容】 1. 感染制御の意義 2. 日常生活で見られる感染 3. 微生物の特性と感染対策 4. アウトブレイクの発生と予防 5. 長期療養・在宅における感染の問題 【授業方法】 講義・ディスカッション 【ICTの活用】 Moodle・Zoom（感染状況に応じて使用）・e-learning 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：e-learningによる事前学習、実習の事例を振り返る 復習：看護における感染対策の重要性、患者への影響を考える ミニツペーパー：授業のポイントや理解度を確認する（Moodle） キーワード：医療安全、感染制御、市中感染、在宅医療、高齢者施設	笠間秀一
3・4回	感染症と感染対策①	【授業内容】 1. 感染と免疫 2. 標準予防策と経路別予防策 3. 手指消毒と臨床における手指衛生のタイミング 【授業方法】 講義・ディスカッション・演習・Moodle（課題提出）・e-learning 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：e-learningの手指衛生、感染経路別予防策、感染症対策（新型コロナウイルス）を事前学習する 復習：演習中に作成した課題の提出（Moodle） ミニツペーパー：授業のポイントや理解度を確認する（Moodle） キーワード：免疫、感染症、標準予防策、経路別予防策	笠間秀一
5・6回	感染症と感染対策②	【授業内容】 1. 正しい個人防護具の着脱 2. N95マスクフィッティングテスト 3. ケアに応じた個人防護具の選択 4. 感染症に応じた感染対策の選択 【授業方法】 演習・グループディスカッション・e-learning 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：e-learningのスタンダードプリコーションの実施を事前学習する 復習：演習中に作成した課題の提出（Moodle） ミニツペーパー：授業のポイントや理解度を確認する（Moodle） キーワード：個人防護具、経路別予防策	笠間秀一 畑中佳子
7・8回	医療関連感染	【授業内容】 1. 医療処置と医療関連感染 2. 医療器具関連感染と予防 3. 手術部位感染 【授業方法】 講義・e-learning 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：e-learningのカテーテル関連尿路感染予防策、カテーテル関連血流感染予防策を事前学習する治療に必要な医療器具の目的を調べる 復習：小テスト（Moodle） ミニツペーパー：授業のポイントや理解度を確認する（Moodle） キーワード：医療関連感染、医療器具、医療器具関連感染、手術部位感染	笠間秀一 畑中佳子
9回	医療職者の役割と職業感染	【授業内容】 1. 医療職者の役割 2. 職業感染と起こりやすい場面 3. 職業感染予防とワクチン 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：職業感染について調べる 復習：授業内容を振り返る ミニツペーパー：授業のポイントや理解度を確認する（Moodle） キーワード：職業感染、ワクチン	笠間秀一
10・11回	感染対策の実践と倫理課題	【授業内容】 1. 感染と倫理 2. 感染症による倫理課題を考える 【授業方法】 グループディスカッション、プレゼンテーション 【ICTの使用】 PCとPowerPointを使用する 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：倫理原則、コロナウイルスによって起こった倫理課題を調べる 復習：グループで作成したプレゼンテーション資料を提出する ミニツペーパー：授業のポイントや理解度を確認する（Moodle） キーワード：倫理原則、人権、個人情報、隔離、行動制限	笠間秀一 畑中佳子

12回	感染症看護と感染対策①	【授業内容】 1. 臨床における感染症と看護 2. 感染対策と看護計画立案 【授業方法】 グループディスカッション・演習・プレゼンテーション資料作成 【ICTの使用】 PC、タブレットデバイス、動画資料を使用する 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：グループで事例展開を行い、感染看護上の問題に対する計画を立案する。 復習：作成したプレゼンテーション資料を完成させる ミニツッペーパー：授業のポイントや理解度を確認する (Moodle) キーワード：感染予防、看護計画、感染対策	笠間秀一 畑中佳子
13・14・15回	感染症看護と感染対策②	【授業内容】 1. 臨床における感染症と看護 2. 感染対策と看護計画立案 【授業方法】 プレゼンテーション、グループディスカッション 【ICTの使用】 PC、タブレットデバイス、動画資料を使用する 【予習・復習・レポート課題の提示】 予習：看護展開・看護実践のプレゼンテーションを準備する 復習：作成した看護計画提出 (Moodle) ミニツッペーパー：授業のポイントや理解度を確認する (Moodle) キーワード：感染予防、看護計画、感染対策	笠間秀一 畑中佳子

【6】 事前・事後学習とその時間

1. 準備学習

- ・日常生活上の経験や情報、学習中の知識の中から、感染に関する事例や問題、疑問などを書きとめておく。
- ・感染伝播様式の実験で使用するため、基礎看護技術はすべて習得しておくこと。
- ・本授業は「微生物学」「疾病と治療」「薬理学」「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」などの知識を活用して学習する。そのため事前学習として、これらの復習を1時間程度行って講義に参加することが望ましい。また、授業内で提示される課題に関する復習を30分程度行うことが必要である。
- ・積極的にeラーニングを活用し、感染看護に必要な知識を学習すること。

2. 学習上の留意点

- ・本単元は基本知識の習得のほかは、すべて論理的思考に基づく解答の導きだしが中心となる。思考の学習は討議に参加をしていないと学習内容が不足してしまうため、積極的に授業に参加する。
- ・グループで取り組む課題について、メンバーと積極的にコミュニケーションを取りながら臨むこと。

【7】 評価方法・基準

1. 成績評価：定期試験60%
 2. 課題提出40% (ワークシート・課題の提出状況・課題の取り組みの評価を含む)
- ①②にて総合判断し、60%に満たない場合は定期試験を再試験とする。

【8】 フィードバック方法

学習フィードバック：リアクションペーパーおよび質問への回答は、各講義の中で、口頭またはMoodleのアナウンス機能を用いて行う。

【9】 教科書

講義ごとに資料を配布またはMoodle上に掲載する。

【10】 参考書

- ・藤本秀士「病原体・感染・免疫」改訂3版
- ・病気が見える⑥「免疫・膠原病・感染症」第2版

【11】 備考(関連科目等)

- ①微生物学 ②人体の構造と機能 ③疾病と治療 ④看護の基本技術 ⑤看護展開論 ⑥薬理学
 ⑦プレゼンテーション論 ⑧看護倫理 ⑨臨床栄養学 ⑩臨床看護学実習Ⅰ

2025年度開講（案）

トランスレーショナル看護領域

科目名(日本語)	看護の基本技術3(日常生活援助技術)	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Nursing Skills 3 (Daily Living Assistance)	必修	演習	春学期 2年	1.5単位 45時間
科目責任者	林 京子				
担当教員	蜂ヶ崎令子・宮崎裕子・松浦麻子・鈴木俊美・林京子				
科目責任者 連絡先(教室)	林京子：研究室K318 (kyoko.hayashi@hs.toho-u.ac.jp)				
オフィスアワー	オフィスアワー：授業終了後10分程度、授業をした講義室、演習室で受付けます。さらに、Moodleの「質問コーナー」もしくは上記の科目責任者へMoodleメッセージ、メールで質疑に回答します。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について

【2】 授業概要

看護実践における基礎的な技術の考え方・具体的方法・援助のプロセス・態度を学習する。看護の基本技術3では、人々の健康を維持・促進するために必要とされる日常生活行動に関わる援助技術（活動と休息・食事・排泄・清潔と衣生活・体温調節技術）の基礎について体験しながら学習し、援助に必要な基本技術を習得する。

【3】 到達目標

1. 日常生活援助の文化的意義や価値、必要性について述べられる。
2. 日常生活行動の障害が人間の健康な生活にどのような影響を及ぼすか、考えを述べることができる。
3. 日常生活援助技術および観察の技術を提供するよりどころとなる、人体や看護技術のメカニズムを説明できる。
4. 日常生活援助技術および観察の技術の目的と実践方法（手技・手順など）について述べられる。
5. 技術に必要な6つの基本要素(安全・安楽・審美・効率・経済・自立)に基づいて、各看護援助技術を実施できる。
6. 看護を提供する医療者としての態度で、倫理的配慮を念頭に各看護援助技術を実施できる。
7. 個別性や状況に配慮した援助技術の提供方法を根拠に基づいて考え、工夫点を具体的に説明できる。
8. 看護技術の修得状況に関する自己評価、課題の明確化により、自らの看護技術の向上に努めることができる。
9. 看護技術の習得に向けて、事前学習、自己練習を計画的に行える。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1.2	オリエンテーション 日常生活行動と健康	授業方法：講義 内容：①本科目の位置づけ（学習方法、評価項目の開示 など） ②看護技術の学び方 ③日常生活を支える看護技術 予習：教科書の該当箇所を読む 復習：授業内容の復習 Keyword：トランスレーショナル教育、ディプロマポリシー、自己教育力、看護技術の特徴、コミュニケーション、療養上の世話、ADL	林京子・全員
3	清潔の援助	授業方法：講義 内容：①清潔の意義と価値 ②清潔援助の基礎知識とアセスメント 予習：教科書の該当箇所を読む 復習：授業内容の復習、ワークシートの作成 Keyword：皮膚・粘膜の構造と機能、清潔の効果、清潔の意義と価値、不潔の弊害、洗浄剤の作用	林京子・全員
4-7	清潔の援助技術(1) 毛髪の清潔、整容	授業方法：講義、演習 内容：①洗髪・整髪の援助技術 ②整容の援助技術 予習：ワークシート、動画の視聴、チェックリストの事前学習、技術の自己練習 復習：ワークシートの提出 Keyword：頭皮・毛髪の清潔と観察、二次感染、自尊心、整容、おしゅれ	林京子・全員
8-11	清潔の援助技術(2) 皮膚の清潔	授業方法：講義、演習 内容：①入浴・シャワー浴の援助技術 ②全身石鹸清拭の援助技術 予習：ワークシート、動画の視聴、チェックリストの事前学習、技術の自己練習 復習：ワークシートの提出 Keyword：循環動態の変化、温熱刺激、シャワー浴、特殊浴槽、熱布清拭、ウォッシュクロス、羞恥心、湯温の管理	林京子・全員
12-15	清潔の援助技術(3) 部分浴	授業方法：講義、演習 内容：①足浴の援助技術 ②陰部洗浄の援助技術 予習：ワークシート、動画の視聴、チェックリストの事前学習、技術の自己練習 復習：授業内容の復習、ワークシートの提出 Keyword：セルフケア能力、二次感染、末梢循環、手部・足部の観察、落屑、リラックス、粘膜の清潔、おむつ交換	蜂ヶ崎令子・全員
16-19	食事の援助・口腔内の清潔	授業方法：講義、演習 内容：①食事の意義と価値、栄養摂取と健康生活 ②食事援助の基礎知識とアセスメント ③口腔内の観察と清潔援助 予習：教科書の該当箇所を読む、ワークシート 復習：ワークシートの提出 Keyword：食文化、食事と生活・人間関係、アセスメント（代謝・吸収、栄養状態、食欲、摂食・嚥下のメカニズム、水分・電解質バランスなど）、摂食・嚥下訓練、口腔ケア	松浦麻子・全員
20-23	活動と休息の援助	授業方法：講義、演習 内容：①活動と休息の意義・価値 ②基本的活動の援助技術 ③睡眠・休息の援助技術 ④床上リハビリテーションの基礎 予習：ワークシート、動画の視聴、チェックリストの事前学習 復習：授業内容の復習、ワークシートの提出 Keyword：移動、歩行、移乗と移送、睡眠・休息、安楽な体位、リラクゼーション、身体拘束、リハビリ	林京子・全員
24-27	排泄の援助技術(1) 臥床患者の排泄援助	授業方法：講義、演習 内容：①排泄の意義と価値、排泄と健康生活 ②排泄障害のメカニズムとアセスメント ③排泄援助の基礎知識とアセスメント ④自然排尿の援助技術 ⑤自然排便の援助技術 予習：教科書の該当箇所を読む、ワークシート、動画の視聴、チェックリストの事前学習 復習：授業内容の復習、ワークシートの提出 Keyword：生理的欲求、羞恥心、心理・社会的意義、排泄器官と排泄のメカニズム（排便・排尿）、アセスメント（身体的状態、失禁、動作の分析、心理・社会的状態 など）、尿の異常（乏尿・尿閉・頻尿など）、便の異常（便秘・下痢 など）、摘便、便秘薬・利尿薬、ポータブルトイレの使用、便器・尿器のあて方	蜂ヶ崎令子・鈴木俊美・全員

28-31	排泄の援助技術(2) 排泄困難な患者の援助：援助技術	授業方法：講義、演習 内容：①排便を促す援助技術 ②排便を促す薬物療法 ③体温調節技術（電法） 予習：ワークシート、動画の視聴、チェックリストの事前学習 復習：ワークシートの提出 Keyword：腹部温電法、腹部マッサージ、浣腸、座薬	鈴木俊美・全員
32-35	技術チェックテスト 清潔の援助技術	授業方法：演習（技術チェックテスト） 内容：清潔の援助技術のチェックテストを行う 予習：該当する看護技術を自己練習 復習：修得の水準に達しなかった場合は各自復習し、再度チェックを受ける。 Keyword：清拭、洗髪、更衣	全員
36-39	技術チェックテスト 清潔の援助技術	授業方法：演習（技術チェックテスト） 内容：清潔の援助技術のチェックテストを行う 予習：該当する看護技術を自己練習 復習：修得の水準に達しなかった場合は各自復習し、再度チェックを受ける。 Keyword：清拭、洗髪、更衣	全員
40-41	まとめ 知識チェックテスト	授業方法：講義 内容：①知識チェックテスト ②学習内容の振り返り 予習：学習したことすべてを含む 復習：本科目の総復習	林京子・全員

【6】 事前・事後学習とその時間

1. 準備学習

《予習》

看護援助技術の動画視聴、ワークシートを完成させて演習に参加する。およそ1～1.5時間を要する。

《復習》

ミニツッペーパーやワークシートなどの課題を、期限を守って提出する。およそ1時間を要する。

また、対象に提供できるレベルの援助技術を身につけるには、かなりの反復練習が必要となる。技術チェックテストや臨地実習にむけて、計画的に自己練習すること。

2. 学習上の留意点

本科目は様々な技術演習を積み重ねて学習することで、日常生活援助の知識と技術、態度を身につけるプログラムとなっている。本科目で修得する内容は、1年春学期の看護の基本技術1で習得した技術の応用だけでなく、この後につづく臨地実習や、基本技術を学ぶために必要となる。各自、学習の計画を立てるとともに、動画教材や教員を活用して、知識と技術を積み上げていってほしい。

【7】 評価方法・基準

①知識チェックテスト（60%）、②技術チェックテスト（30%）、③自己学習状況・授業態度（ワークシーなどの内容と提出状況、授業への参加度）（10%）で評価する。

【8】 フィードバック方法

ワークシートに関する総評や質問への回答などは、Moodleの「質問コーナー」や授業を通じてフィードバックを行う。技術チェックテスト、自己学習については、全体にフィードバック、あるいは必要時コメントを付してフィードバックする。

【9】 教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 第18版 任和子 医学書院 2023
はじめてのフィジカルアセスメント 第2版、横山美樹、メヂカルフレンド社、2023
その他、資料を授業の時に配布する。

【10】 参考書

【書籍】

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 第18版 茂野香おる 医学書院 2023
看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所 メディックメディア 2018
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所 メディックメディア 2018
ナーシンググラフィカ 基礎看護学3 第6版 基礎看護技術 志自岐康子 メディカ出版 2017
看護学テキストNICE基礎看護技術 第2版 香春知永、齋藤やよい 南江堂 2018

【動画教材】

丸善EVO基礎看護技術シリーズ
ナーシング・スキル日本版 <https://nursingskills.jp/>

その他、授業内で随時提示する。

【11】 備考(関連科目等)

「人体の構造と機能」「看護学概論」「看護の基本技術1, 2」「看護のための物理学」「看護理論・看護展開論」

科目名(日本語)	看護の基本技術4(診療の補助技術)	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Nursing Skills 4 (Medical Assistance)	必修	演習	秋学期 2年	1.5単位 45時間
科目責任者	宮崎 裕子				
担当教員	宮崎裕子・蜂ヶ崎令子・松浦麻子・林 京子・鈴木俊美				
科目責任者 連絡先(教室)	宮崎裕子：hiroko.miyazaki@hs.toho-u.ac.jp(研究室K327)				
オフィスアワー	オフィスアワー：授業終了後30分程度、授業をした講義室、演習室で受付けます。さらに、Moodleの「質問コーナー」へMoodleメッセージで質疑に回答します。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
グループワーク
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称(クリッカー、タブレット端末等)
Moodle

【2】 授業概要

看護実践における基礎的な技術の考え方・具体的方法・援助のプロセス・態度を学修する。基本技術4では、人々の健康を維持・促進するために必要とされる診療を受ける対象への看護技術を学習する。主な内容は、感染予防の技術、薬物療法を受ける対象への与薬の技術、検査を受ける患者の援助技術であり、看護師の役割を認識したうえで診療の補助技術を習得する。また、本科目では看護の基本的な技術の修得度を評価し、基本技術5以降の応用編および各論系の看護技術の学習環境を整える。

【3】 到達目標

1. 診療の補助に関わる看護援助技術の意義や背景について説明できる。
2. 診療の補助に関わる看護援助技術(感染予防の技術、与薬・検査を受ける患者の援助技術、観察の技術)の実施に際して発生する倫理的な問題に対する考えを述べることができる。
3. 診療の補助に関わる看護援助技術の目的・方法・根拠について、人体の構造と機能、薬理学、物理学などの知識に基づいて説明できる。
4. 看護技術に必要な6つの基本要素(安全・安楽・審美・効率・経済性・自立)に基づいて、各看護援助技術を実施できる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1回	オリエンテーション	授業方法：講義 内容：本科目の位置づけ、学習方法、評価方法、	宮崎裕子・全員
2・3回	感染予防の技術、無菌操作 ／ガウンテクニック	授業方法：講義・全体演習 内容：スタンダードプリコーション、ガウンテクニック、無菌操作の技術 予習・復習：教科書の該当ページを読む。授業内容の復習。自己学習ワークシートの記録・提出 キーワード：消毒・滅菌、感染防止、個人防護具（PPE）	鈴木俊美・全員
4.5回	感染予防の技術、無菌操作 ／ガウンテクニック	2.3と同じ	鈴木俊美・全員
6.7回	検査の技術	症状・生体機能管理、診察・検査・処置の介助 予習・復習：教科書の該当ページを読む。授業内容の復習。 キーワード：検体検査、生体検査、検体採取と取り扱い、看護技術の倫理	宮崎裕子・全員
8.9回	呼吸の援助技術、吸引／酸素吸入療法	授業方法：講義・全体演習 内容：口腔・鼻腔内吸引、酸素吸入療法の技術、ミニッツテスト 予習・復習：教科書の該当ページを読む。ビデオ教材を視聴する。授業内容の復習と自己練習。自己学習ワークシートの記録・提出 キーワード：呼吸の援助、口腔・鼻腔内吸引、検体採取と取り扱い、酸素吸入療法、加湿療法	松浦麻子・全員
10.11回	呼吸の援助技術、吸引／酸素吸入療法	8.9と同じ	松浦麻子・全員
12.13回	排泄の援助技術、導尿	授業方法：講義・全体演習 内容：一時的導尿、持続的導尿の技術、ミニッツテスト 予習・復習：教科書の該当ページを読む。ビデオ教材を視聴する。授業内容の復習と自己練習。自己学習ワークシートの記録・提出 キーワード：排泄の援助、一時的導尿、持続的導尿、検体採取と取り扱い、尿検査	林京子・全員
14.15回	排泄の援助技術、導尿	12.13と同じ	林京子・全員
16.17回	与薬の技術、与薬の倫理	授業方法：講義 内容：剤形と吸収経路、与薬管理、与薬方法、誤投与防止 予習・復習：教科書の該当ページを読む。授業内容の復習。 キーワード：経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬、注射、副作用の観察与薬、医療倫理原則	宮崎裕子・全員
18.19回	与薬の技術、与薬の倫理	16.17と同じ	宮崎裕子・全員
20.21回	検査の技術、採血	授業方法：講義・全体演習 内容：採血、ミニッツテスト 予習・復習：教科書の該当ページを読む。ビデオ教材を視聴する。授業内容の復習。自己学習ワークシートの記録・提出。 キーワード：検体検査、血液検査、検体採取と取り扱い	林京子・全員
22.23回	検査の技術、採血	20.21と同じ	林京子・全員
24.25回	与薬の技術①静脈内注射・包帯法	授業方法：講義・全体演習内容：静脈内注射、点滴静脈内注射の技術、包帯法、ミニッツテスト 予習・復習：教科書の該当ページを読む。ビデオ教材を視聴する。授業内容の復習と自己練習。 キーワード：与薬、静脈内注射、包帯法	鈴木俊美・全員
26.27回	与薬の技術①静脈内注射・包帯法	24.25と同じ	鈴木俊美・全員
28.29回	与薬の技術②筋肉内注射・皮下注射	授業方法：講義・全体演習内容：筋肉注射、皮下注射の技術、ミニッツテスト 予習・復習：教科書の該当ページを読む。ビデオ教材を視聴する。授業内容の復習と自己練習。自己学習ワークシートの記録・提出 キーワード：与薬、筋肉注射、皮下注射	松浦麻子・全員
30.31回	与薬の技術②筋肉内注射・皮下注射	28.29と同じ	松浦麻子・全員
32.33回	技術チェックテスト	授業方法：技術チェックテスト内容：診療の援助技術に関するチェックテスト 予習・復習：該当する技術の自己練習。授業内容の復習。キーワード：吸引・導尿	
34.35回	技術チェックテスト	32.33と同じ	宮崎裕子・全員
36.37回	技術チェックテスト	32.33と同じ	宮崎裕子・全員
38.39回	技術チェックテスト	32.33と同じ	宮崎裕子・全員
40回	知識チェックテスト	授業方法：講義 内容：本科目で取り扱った看護技術に関する知識チェックテスト 予習・復習：本科目の総復習	宮崎裕子・全員
41回	まとめ	授業方法：講義 内容：本科目で取り扱った看護技術に関するまとめ 予習・復習：本科目の総復習	宮崎裕子・全員

【6】 事前・事後学習とその時間

1. 準備学習

《予習》

看護援助技術の動画視聴、ワークシートを完成させ、技術の自己練習を行ってから演習に参加する。およそ1～1.5時間を要する。

《復習》

ワークシートなどの課題を、期限を守って提出する。およそ30分を要する。

また、対象に提供できるレベルの援助技術を身につけるには、かなりの反復練習が必要となる。技術チェックテストや臨地実習にむけて、計画的に自己練習すること。

2. 学習上の留意点

本科目は様々な技術演習を積み重ねて学習することで、診療の補助技術に関する知識と技術、態度を身につけるプログラムとなっている。本科目で修得する内容は、1年次の看護の基本技術1・2・3で習得した技術の応用だけでなく、この後につづく臨床看護学実習Ⅰや臨床実践Ⅱなどの実習や、看護の基本技術5・6を学ぶために必要となる。各自、学習の計画を立てるとともに、動画教材や教員を活用して、知識と技術を積み上げていってほしい。

【7】 評価方法・基準

①知識チェックテスト（70%）、②技術チェックテスト（20%）、③自己学習状況・授業態度（ワークシートの提出状況・内容、演習前後の自己学習状況と振り返り内容）（10%）で評価する。

【8】 フィードバック方法

ワークシートに関する総評や質問への回答などは、Moodleの「質問コーナー」や授業を通じてフィードバックを行う。技術チェックテスト、自己学習については、必要時コメントを付してフィードバックする。

【9】 教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版 任和子 医学書院 2022
その他、資料を授業の時に配布する。

【10】 参考書

【書籍】

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 第18版 茂野香おる 医学書院 2022

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所 メディックメディア 2018

看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所 メディックメディア 2018

ナーシンググラフィカ 基礎看護学3 第6版 基礎看護技術 志自岐康子 メディカ出版 2017

看護学テキストNICE基礎看護技術 第3版 香春知永、齋藤やよい 南江堂 2022

【動画教材】

丸善EVO基礎看護技術シリーズ

ナーシング・スキル日本版 <https://nursingskills.jp/>

その他、授業内で随時提示する。

【11】 備考(関連科目等)

「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅴ」「微生物学」「疾病と治療Ⅰ～Ⅲ」「薬理学」「薬剤学」「看護の基本技術1～3」「臨床看護学実習Ⅰ」

2025年度開講（案）

コミュニティヘルス看護領域

科目名(日本語)	看護の基本技術12（地区診断）	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Nursing Skills 12 (Community Health Assessment)	必修	演習	秋学期 2年	0.5単位 15時間
科目責任者	池田 絹代				
担当教員	池田絹代・小坂橋恵美子・植村直子				
科目責任者 連絡先(教室)	メールアドレス (kinuyo.iked@hs.toho-u.ac.jp)にて連絡が可能である。メールを送信する際は、件名に「看護の基本技術12に関して」（に追加して必要な事項）との記載を求める。				
オフィスアワー	授業終了後に10分程度講義室で質問を受け付ける。 予定に変更があった場合はその都度他の候補日時を連絡する。連絡はメールにて受け付ける (kinuyo.iked@hs.toho-u.ac.jp)。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称（クリッカー、タブレット端末等）
Moodle

【2】 授業概要

地域で生活する人々の健康課題を明らかにするための地域診断の意義と方法を理解し、地域特性に応じた支援計画の立案・実施・評価のプロセスについて、演習を通して具体的に学ぶ。

【3】 到達目標

1. 地域診断に必要な情報の取得方法を説明することができる
2. 地域の統計指標や環境、社会状況に関する情報を地域診断モデルに基づいて整理することができる
3. 地域診断を行い解決の必要な健康課題を挙げることができる

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	コミュニティーアズパートナーモデルにおけるコアとなる人々に関する情報収集	内容：地区診断を展開するモデルの一つであるコミュニティーアズパートナーモデルにおけるコアとなる人々に関する情報収集を学ぶ 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：看護過程、地区診断、コミュニティーアズパートナーモデル、保健統計、行政報告書	全員（小板橋、植村、池田）
2	コミュニティーアズパートナーモデルにおけるコアとなる人々に関する情報収集	内容：地区診断を展開するモデルの一つであるコミュニティーアズパートナーモデルにおけるコアとなる人々に関する情報収集を学ぶ 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：看護過程、地区診断、コミュニティーアズパートナーモデル、保健統計、行政報告書	全員（小板橋、植村、池田）
3	コミュニティーアズパートナーモデルにおけるサブシステムに関する情報収集	内容：地区診断を展開するモデルの一つであるコミュニティーアズパートナーモデルにおける8つのサブシステムに関する情報収集を学ぶ 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：看護過程、地区診断、コミュニティーアズパートナーモデル、保健統計、行政報告書	全員（小板橋、植村、池田）
4	コミュニティーアズパートナーモデルにおけるサブシステムに関する情報収集	内容：地区診断を展開するモデルの一つであるコミュニティーアズパートナーモデルにおける8つのサブシステムに関する情報収集を学ぶ 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：看護過程、地区診断、コミュニティーアズパートナーモデル、保健統計、行政報告書	全員（小板橋、植村、池田）
5	既存資料の情報共有とアセスメント	内容：既存資料から収集した情報をグループで共有し、アセスメントをする方法を学ぶ。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：コミュニティーアズパートナーモデル、量的情報、質的情報、比較、推論	全員（小板橋、植村、池田）
6	既存資料の情報共有とアセスメント	内容：既存資料から収集した情報をグループで共有し、アセスメントをする方法を学ぶ。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：コミュニティーアズパートナーモデル、量的情報、質的情報、比較、推論	全員（小板橋、植村、池田）
7	健康課題の抽出	内容：既存の資料から収集した情報を整理し、健康課題を見出す方法を学ぶ。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：保健統計、行政報告書、コミュニティーアズパートナーモデル、健康課題	全員（小板橋、植村、池田）
8	健康課題の抽出	内容：既存の資料から収集した情報を整理し、健康課題を見出す方法を学ぶ。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：保健統計、行政報告書、コミュニティーアズパートナーモデル、健康課題	全員（小板橋、植村、池田）
9	既存資料にないデータの検討	内容： 授業方法：講義、GW 予習：キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：地区踏査、質的情報	全員（小板橋、植村、池田）
10	地区踏査計画作成	内容：地域の実情を知る方法の一つとして地区踏査を計画する。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：コミュニティーアズパートナーモデル、量的情報、質的情報、地区踏査、マッピング	全員（小板橋、植村、池田）
11	地区踏査における住民の視点について	内容：地域の実情を知る方法の一つとして地区踏査の準備を行う。 授業方法：講義、GW 予習：キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：コミュニティーアズパートナーモデル、量的情報、質的情報、地区踏査、マッピング	全員（小板橋、植村、池田）

12	地区踏査	内容：地域の実情を知る方法の一つとして地区踏査を実施する。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：コミュニティーアズパートナーモデル、量的情報、質的情報、地区踏査、マッピング	全員（小板橋、植村、池田）
13	情報の整理・分析と健康課題の優先順位付け	内容：地区踏査を含め収集した情報を整理し、健康課題を見出す方法を学ぶ。見出した健康課題の中で優先順位をつける。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：アセスメント、健康課題、優先順位の決定	全員（小板橋、植村、池田）
14	情報の整理・分析と健康課題の優先順位付け	内容：収集した情報を整理し、健康課題を見出す方法を学ぶ。見出した健康課題の中で優先順位をつける。 授業方法：講義、GW 予習：公衆衛生看護概論の復習、キーワードの自己学習 復習：GW内容を振り返る キーワード：アセスメント、健康課題、優先順位の決定	全員（小板橋、植村、池田）

【6】 事前・事後学習とその時間

本講義では各自の予習内容をもとにグループワークを行い、その結果を踏まえた復習が必要となる。目安として、予習1時間程度、復習1時間程度を要する。また各回ミニテストやレポートなどの課題の提出が求められる。

予習：各回該当部分の教科書の熟読と公衆衛生看護概論の復習

復習：グループワークに参加して得た学習内容をもとに、演習で行った地域診断のプロセスに対する個人の考察をまとめる。

【7】 評価方法・基準

グループで作成した成果物および発表内容（50%）、個人で提出するミニテスト・レポートなどの課題（50%）の合計で評価する。

【8】 フィードバック方法

健康教育の発表に対して事前に定めた評価指標に基づいて教員により内容を評価、講評する。
ミニッツペーパーに記載された質問には次回以降の講義時に回答・コメントする。

【9】 教科書

公衆衛生看護学. jp（インターメディカル）

【10】 参考書

コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際（医学書院）
地域看護診断（東京大学出版）

【11】 備考(関連科目等)

学ぶとよい科目：公衆衛生看護学概論、千葉県地域医療、コミュニケーション論、プレゼンテーション論、組織論

続く内容の科目：コミュニティーヘルス看護展開論、コミュニティーヘルス看護実習、その他公衆衛生看護学講義全般（保健師コース）

2025年度開講（案）

プレ・プロフェッショナル看護領域

科目名(日本語)	看護研究入門	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Introduction to Research in Nursing	必修	演習	春学期 3年	0.5単位 15時間
科目責任者	林 ひろみ				
担当教員	林ひろみ・渡邊尚子・臼井雅美・高橋良幸・島村敦子・原田慶子・松浦麻子・原田奈美・林京子・鈴木俊美・中嶋秀明・林華子				
科目責任者 連絡先(教室)	林ひろみ：hiro.mi.hayashi@hs.toho-u.ac.jp, 研究室329				
オフィスアワー	渡邊K334, 臼井K331, 高橋K312, 島村K313, 原田慶子K330, 松浦K317, 原田奈美K324, 林京子K325, 鈴木俊美K324, 中嶋K323, 林華子K327 授業終了後1時間程度 金曜日：18時00分～18時50分 担当教員の研究室, なおメールあるいはMoodleのメッセージからの問い合わせにも応じる。なお担当教員のメールアドレスについては講義内に提示提示する。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
プレゼンテーション
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称(クリッカー、タブレット端末等)
Moodle

【2】 授業概要

看護学の発展と看護の質向上を目指して、看護研究の原理と方法について基礎知識を学ぶ。さらに、文献検索方法、看護研究論文のクリティークの方法を学ぶ。また、研究計画の作成方法、人を対象とした研究の倫理的配慮についても学ぶ。看護研究入門は、専門基礎科目「研究方法の基礎」での学習を看護学に発展させるものであり、専門科目「看護研究」の演習につながる科目である。

【3】 到達目標

1. 文献検索方法がわかる
2. 看護研究を行う目的と意義について説明できる
3. 研究疑問を明確にする方法について説明できる
4. 研究疑問に応じた研究デザインと研究方法について説明できる
5. 研究論文をクリティークすることができる
6. 研究論文についてクリティークしたことを発表できる
7. 研究計画書作成のための項目を述べることができる
8. 人を対象とした看護研究に必要な倫理的配慮の項目を述べるができる

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1・2	文献検索方法	内容 1. 文献検索方法 方法：演習 予習：これまでの文献検索体験において疑問点などをピックアップする。 復習：文献検索演習の課題ワークシートに取り組む。文献を検索してみる。 キーワード：文献検索、検索データベース、キーワード設定、論文の種類、シソーラス、文献入手	林ひろみ／習志野メディアセンター
3・4	看護研究の概説(1)	内容 1. 看護における研究の目的と意義 2. 看護研究のプロセス 3. 研究疑問（研究目的）の明確化 4. 研究疑問に応じた研究デザイン 方法：講義 予習：看護研究とはどのようなものか、参考文献に目を通す。 復習：自己の講義・演習・実習などの体験を基に研究疑問を考え記述しておく。講義後のリフレクション課題に取り組む。 キーワード：研究の本質、看護研究の意義、研究の目的、看護研究の役割、エビデンス、研究の原理、研究疑問、研究デザイン、質的記述研究デザイン、量的記述研究デザイン、仮説検証型研究デザイン、因果関係検証型研究デザイン	林ひろみ
5・6	看護研究の概説(2)	内容 1. 研究疑問に応じた研究デザイン 方法：講義 予習：研究デザインに応じた研究方法：質的研究について参考書に目を通す。 復習：質的研究の特徴について整理し記述する。講義後のリフレクション課題に取り組む。 キーワード：研究疑問、質的記述研究デザイン、質的研究、用語の操作的定義、研究対象者、データ収集内容・方法、質的帰納的分析方法、量的記述研究デザイン、仮説検証型研究デザイン、因果関係検証型デザイン	林ひろみ
7・8	論文のクリティーク法(1)	内容 1. 論文の種類 2. 論文のクリティークとは 3. 量的研究のクリティーク方法 4. 質的研究のクリティーク方法 方法：講義 予習：クリティークとはどのようなことか、参考文献に目を通す。 復習：授業内容を整理し、提示された論文のクリティークについて見直す。課題ワークシートに取り組む。 キーワード：批判的思考、研究の正しい方法、客観性、妥当性、一貫性、整合性、汎用性、一般化、論文の種類	林ひろみ
9・10	論文のクリティーク法(2)	内容 1. 量的研究論文のクリティーク演習 ・論文整理表を整理する ・クリティークワークシートを整理する 方法：個人ワーク 予習：提示された量的研究論文の整理・クリティークのワークを行う（課題ワークシート使用） 復習：グループディスカッションできるように論文の整理表およびクリティークワークシートを仕上げる キーワード：研究論文、クリティークの視点、量的研究、プレゼンテーション	全員
11・12	論文のクリティーク法(3)	内容 1. 論文のクリティーク演習：質的研究 2. 質的研究：論文のクリティーク解説 方法：講義・個人ワーク（課題ワークシート） 予習：提示された量的研究論文に目を通しておく 復習：解説を聞きクリティークの追加修正を行う。自己評価を行い課題の明確化に取り組む。 キーワード：研究論文、質的研究、クリティークの視点	全員
13・14	看護研究の研究計画書の作成方法/人を対象とした研究の倫理的配慮	内容 1. 研究計画書とは 2. 研究計画書の構成要素 3. 研究計画書の作成手順 4. 人を対象とした研究における倫理的配慮とは 5. 人を対象とした看護研究における倫理的配慮の具体的内容 方法：講義 予習：研究計画書の作成に関連する内容についてこれまでの授業資料に目を通す。人を対象とした研究の倫理的配慮について参考書に目を通しておく。 復習：授業内容を整理し、研究計画書に記載すべき内容および人を対象とした研究の倫理的配慮における重要な点について整理する。課題ワークシートに取り組む キーワード：研究計画、研究動機、学術的背景、研究疑問、研究テーマ、研究目的、研究方法、倫理的配慮、研究体制、時間、予	林ひろみ

	算、人を対象とした研究における倫理的配慮、説明と同意、任意性の保証、研究における不利益並びに危険への配慮、個人の人権の養護、科学的妥当性、健康科学上の貢献並びに社会への貢献
--	--

【6】 事前・事後学習とその時間

【準備学習】

講義の前に関連箇所を読んでおく。復習として、これまでの講義・演習・実習を基に自らの研究疑問について、どういう状況に対するどのような疑問であるかを記述し、関連する文献を検索し、疑問に関連した文献検討を行うなど4年次の看護研究の準備を開始する。

授業は看護研究の基盤となる知識と手法を習得し科学的な探究力を向上させることをねらっているため、関連内容について予習に1時間程度、復習に1.5時間程度必要である。

【学習上の留意点】

看護研究に取り組むために必要な授業内容である。参考文献の中から活用しやすい書籍を選択し、購入することを勧める。理解を深めたい点において、文献を検索し主体的に取り組むこと。また、わからない点や困難だった内容については積極的に質問すること。

【7】 評価方法・基準

講義後のリフレクション課題20%、課題ワークシート70%、ワーク取り組みの自己評価10%

【8】 フィードバック方法

課題ワークシートを返却し、返却時に講評する。グループディスカッションの結果に対して講評をする。授業最終日に全体講評する。

【9】 教科書

授業時に資料を配布する。

【10】 参考書

- ・黒田裕子著：黒田裕子の看護研究 step by step 第6版，医学書院，2023.
- ・南裕子・野嶋佐由美編：看護における研究 第2版，日本看護協会出版会，2017.
- ・横山美恵編：よくわかる看護研究の進め方、まとめ方 第3版，医歯薬出版株式会社，2017.
- ・早川和生編著：JJNスペシャル 看護研究の進め方、論文の書き方 第2版，医学書院，2012.
- ・石井京子・多尾清子：ナースのための質問紙調査とデータ分析 第2版，医学書院，2016.
- ・田久浩志著：統計解析なんかこわくない データ整理から学会発表まで 第2版，医学書院，2019.
- ・山川みやえ・牧本清子：よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版，日本看護協会出版会，2020.

【11】 備考(関連科目等)

看護研究

2025年度開講（案）

プレプロフェッショナル看護領域

科目名(日本語)	臨床実践技術の探究	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Inspection of Nursing Skills	必修	演習	通年 4年	1単位 30時間
科目責任者	佐瀬 真粧美				
担当教員	佐瀬真粧美 他 専任教員全員				
科目責任者 連絡先(教室)	佐瀬真粧美 (masami.sase@hs.toho-u.ac.jp、K319研究室)				
オフィスアワー	事例の理解に関する相談：随時上記の科目責任者連絡先まで。 実技に関する相談：別途オフィスアワーを設ける。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
グループワーク
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称（クリッカー、タブレット端末等）
Zoom

【2】 授業概要

演習科目の基本技術や臨地実習を通して習得した看護の実践技術を統合して学習し、客観的に基礎教育で育成された看護実践能力を評価する。具体的には、コミュニケーション能力、アセスメント能力、安全かつ安楽な技術の提供、評価と再アセスメント、倫理観に基づいた行為であることなどを実践能力と捉え、総合的に評価する。本科目を通じて、自己の技術到達度を自覚し、看護専門職としての技術を探究する。

【3】 到達目標

1. 援助者としてのコミュニケーションが実施できる。
2. 「その人らしい暮らし」を重視した看護アセスメントを展開できる。
3. 科学的根拠に基づいた、看護援助技術が計画できる。
4. 安全・安楽に基づいた援助技術が実施できる。
5. 対象の状況に応じて、必要・適切な看護援助を順序立てて実施できる。
6. 看護の倫理観に基づいた援助技術が実施できる。
7. 看護技術における倫理的課題を考察できる。
8. 問題解決を通して、チームに貢献する自分の役割を自覚し、他者と協働できる。
9. 実施した技術をふり返り、自己の課題を明らかにできる。
10. 「看護技術とは何か」、自分の考えを論述できる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1・2	オリエンテーション	授業方法：講義 内容：科目のねらい、スケジュール、学習方法、試験項目の開示事例の提示	佐瀬真粧美
3・4	事例検討	授業方法：講義・グループワーク（遠隔授業を併用） 内容：試験で用いる事例についての理解を深める。 予習：事例の疾患、発達段階、検査データ、観察データなどの理解を各自進めておく。 復習：看護の視点、技術の工夫点などを各自まとめる。 キーワード：看護展開、関連図の作成、患者理解、疾病理解、技術チェックリスト	全員
5・6	技術学習	授業方法：演習・グループワーク（遠隔授業を併用） 内容：試験で用いる技術を練習する。 予習：技術の目的、方法をまとめる。参考動画を視聴する。 復習：反復練習を行う。 キーワード：看護展開	全員
7・8	技術学習	上に同じ	全員
9・10	技術学習	上に同じ	全員
11・12	技術学習	上に同じ	全員
13・14	技術学習	上に同じ	全員
15・16	直前オリエンテーション	授業方法：講義 内容：事前学習の確認、スケジュールの確認、質疑応答	全員
17・18	技術試験1	授業方法：試験（看護実技） 内容：各看護専門領域の技術テストOSCEを実施する。 試験は①実技、②フィードバックの2段階を3回（3種目）行う。 ①の実施内容は、10月に提示された事例に必要なとされる各専門領域の看護技術3種目を、シミュレーターモデルや模擬患者を相手に実践する。 ②のフィードバックは、学生と評価教員の2名、実技種目によって模擬患者を含めた3名で行う。 予習：事例に沿った技術の練習 復習：日々のリフレクションシートの記載 キーワード：OSCE（客観的臨床能力評価）、タスク技術、コミュニケーション、タイムトライアル	全員
19・20	技術試験1	上に同じ	全員
21・22	技術試験2	授業方法：試験（看護実技・ディスカッション） 内容：チーム連携技術試験を実施する。 試験は①ブリーフィング、②実践、③デブリーフィングの3段階で行う。 ②実践の内容は、10月に提示した事例について、シミュレーターを対象にチームで看護（観察、緊急時の対応などの技術）を実践する。 実施後の③デブリーフィングは、評価教員とともにグループで行う。 予習：事例に沿った看護計画、および技術の練習 復習：日々のリフレクションシートの記載 キーワード：チーム連携、コミュニケーション、タイムトライアル、ブリーフィング、デブリーフィング	全員
23・24	技術試験2	上に同じ	全員
25・26	まとめ	授業方法：講義 内容：看護技術とは 予習：各自で技術試験のフィードバックをしておくこと 復習：日々のリフレクションシートの記載（講演聴講後に考えたことや感想など）	佐瀬真粧美・ゲストスピーカー
27	まとめ	授業方法：講義（ディスカッション） 内容：看護技術とは 予習：各自で技術試験のフィードバックをしておくこと 復習：レポート提出（4000～5000字）	全員

【6】 事前・事後学習とその時間**【準備学習】**

初回のオリエンテーションにて、事前学習について説明する。それ以外に、これまで看護の基本技術1～12で学んだことを復習しておくこと。

予習：事例の提示を技術試験の約3ヶ月前に行う。最低でも、事例に関する事前学習に6時間、看護計画を実践するための準備や技術自己練習に6時間は予習を行う。

復習：技術試験後の評価者からのフィードバックを踏まえ、日々のリフレクション課題を完成させる。30分程度の時間を要する。また、全課程終了後にレポートを提出する。

【学習上の留意点】

本科目ではいくつかの技術試験を行う。その中にはコミュニケーション能力やアセスメント能力、援助者としての態度（倫理的配慮を含む）、発達段階への配慮、個別性へのなども含まれる。それらも復習して参加すること。

【7】 評価方法・基準

技術試験60%、リフレクション課題10%、レポート30%。

配点表を作成し、公平性・客観性を保ち評価を行う。

【8】 フィードバック方法

テスト終了後、担当教員や模擬患者より各自に（チーム活動後はチーム毎に）口頭にてフィードバックを行う。

【9】 教科書

これまで使用した教科書や参考書、授業資料、ノートなどを参照すること。

【10】 参考書

上に同じ。

【11】 備考(関連科目等)

看護の基本技術1～12、各臨地実習、看護倫理学 など

2025年度開講（案）

プレプロフェッショナル看護領域

科目名(日本語)	リスクマネジメント	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Risk Management	必修	講義	秋学期 4年	1単位 15時間
科目責任者	尾立 篤子				
担当教員	尾立 篤子				
科目責任者 連絡先(教室)	atsuko.oryu@hs.toho-u.ac.jp（研究室K328）				
オフィスアワー	講義終了後10分程度、講義室にて質問を受ける。Moodleでの連絡も可。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称（クリッカー、タブレット端末等）
Moodle

【2】 授業概要

健康支援の対象者や医療専門職者の安全を守り、質の高い医療・看護を提供するためのリスクマネジメントについて学ぶ。医療安全に関わる取り組みの歴史や背景、医療事故の現状と事故発生のメカニズム、看護職者の法的責任について理解を深める。さらに実際の事例を用いた事故分析を通して、リスク回避と対策立案の手法について学修する。
なお、本科目は公衆衛生看護における健康危機管理活動につながる基礎的知識を獲得する。

【3】 到達目標

1. 医療におけるリスクマネジメントの概念が説明できる
2. 医療安全に関連する法令や看護師の法的責任が説明できる
3. 国・自治体・施設等各レベルにおける医療安全対策の現状と課題が説明できる
4. 医療事故の分析方法が説明できる
5. 医療安全のための看護師の役割について説明できる
6. 医療安全文化を醸成するために必要な事柄を説明できる
7. 医療安全の立場から人権擁護について自分の考えを述べるができる

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1・2回	医療におけるリスクマネジメント、看護職の責務	内容 1. 医療におけるリスクマネジメントとは 2. 医療安全の意味と重要性 3. 医療安全と看護師の責務 方法：講義・ディスカッション 予習：テキスト第1章、第9章を読む 復習：事後学習：看護学生の実習中の事故の特徴を整理する キーワード：リスクマネジメント、医療安全の動向、医療事故、法令、看護師の責任	尾立 篤子
3・4回	医療におけるリスクマネジメントとしての取り組みと評価	医療安全への国や医療施設の取り組みについて説明できる内容 1. 医療安全対策を支える法律や事業について 2. 医療事故調査や医療事故報告制度について 3. 職能団体の取り組みについて 方法：講義・ディスカッション 予習：テキスト第2章を読む 復習：独立行政法人医療評価機構の医療安全情報から3つを取り上げ、安全上のポイントと留意すべき点を含めた感想をワークシートに整理して、次回の授業開始前に提出する キーワード：国や職能団体の取り組み、医療事故の報告制度	尾立 篤子
5・6回	看護における安全対策	内容 1. 医療事故の原因を分析する意義 2. 医療事故の対策立案の方法 3. 医療事故発生時の初期対応について 4. 医療事故発生時の紛争とその対応 講義・ディスカッション・小テスト 予習：テキスト第5章、第7章、第8章を読む 復習：看護業務と事故発生要因をまとめる キーワード：医療事故の原因と対策、事故発生時の初期対応、紛争防止対策	尾立 篤子
7・8回	医療におけるリスクマネジメント (1)	内容 1. 事故発生メカニズム 2. ヒューマンエラーとは 3. 医療事故の分析方法 講義・演習 (グループワーク) 予習：テキスト第3章、第4章を読む 復習：実際の事故事例を通して気づいたことを整理する キーワード：ヒューマンエラー、医療事故分析、リスクマネジメント	尾立 篤子
9・10回	医療におけるリスクマネジメント (2)	内容 1. 医療におけるリスクマネジメントとしての看護業務の現状 2. 看護業務と事故発生要因 3. 看護業務の事故予防対策 講義・演習 (グループワーク) 予習：テキスト第5章を読む 復習：次回の立案・発表に向けて、分析した事例の理解を深める キーワード：患者取り違え、誤薬、針刺し、転倒転落、誤嚥、感染	尾立 篤子
11・12回	医療におけるリスクマネジメント (3)	内容 1. 事例検討とプレゼンテーション 2. プレゼンテーションについてディスカッションする 講義・演習 (グループワーク) 予習：テキスト第3章、9章を読む 復習：講義の中で提示する キーワード：5S、KYT	尾立 篤子
13・14回	医療安全文化	内容 1. 医療における安全文化とは 2. 職員の協働と医療安全文化の醸成の必要性について 講義・ディスカッション・グループワーク、小テスト 予習：テキスト第4章を読む 復習：授業を振り返り安全文化の醸成に必要なポイントを整理する キーワード：チーム医療、コミュニケーション、安全文化	尾立 篤子

【6】 事前・事後学習とその時間

この授業は、新しい概念が多く出てくるため、予習1時間程度、復習30分程度を要する。
予習に際しては、テキストの指定された章を読んで参加し、復習はレジュメやテキストの読み直しが必要である。
グループワーク演習は全員参加することで成果があがるので、遅刻欠席をせず個人の課題は必ず持参する。

【7】 評価方法・基準

本科目は複数の成績評価方法を用いる。具体的には、課題レポート30%、小テスト20%、授業およびグループワークへの取り組みの姿勢・発言50%となる。

【8】 フィードバック方法

小試験はMoodleを使用し、結果は試験終了後にフィードバックする。最終試験は試験終了後に解説を行う。

【9】 教科書

松下由美子・杉山良子・小林美雪（2021）．看護の統合と実践(2)：医療安全 第4版．メディカ出版．

【10】 参考書

日本医療機能評価機構：<http://www.med-safe.jp/contents/info/>

厚生労働省医療安全対策：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/i-anzen/index.html

【11】 備考(関連科目等)

法学、疫学と公衆衛生、看護学全般

2025年度開講（案）

プレプロフェッショナル看護領域

科目名(日本語)	国際看護論	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Global Health Nursing	選択	講義	秋学期 4年	1単位 15時間
科目責任者	尾立 篤子				
担当教員	尾立 篤子				
科目責任者 連絡先(教室)	atsuko.oryu@hs.toho-u.ac.jp（研究室K328）				
オフィスアワー	授業終了後10分程度、講義室にて質問を受ける。Moodleでの連絡も可。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称（クリッカー、タブレット端末等）
Moodle

【2】 授業概要

世界における健康問題、健康格差について理解し、多様な文化や価値観を持つ対象者への健康支援と看護のあり方について学ぶ。国内においては、在日・訪日外国人患者への看護について、事例を通して探究する。さらに、EPA（Economic Partnership Agreement：経済連携協定）と外国人看護師の現状について理解し、医療チームにおける外国人との協働における展望と課題について学修する。

【3】 到達目標

1. 世界の健康問題や健康格差についてデータを用いて概観できる
2. 人間のくらしに基づく多様な文化や価値観とそれらを尊重する看護について自分の考えを述べることができる
3. 日本における在日・訪日外国人の健康に関わる課題と支援のあり方について説明することができる
4. 外国人と協働する医療チームにおける展望と課題について自分の考えを述べることができる

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1・2回	世界の健康問題、健康格差	内容 1. 世界の健康問題を様々なデータに基づいて概観する 2. 健康格差とは何か、要因は何か 3. 地球規模の健康課題と国際機関の対応 方法：講義、ディスカッション 予習：プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション、リプロダクティブヘルス・ライツ、UHC（ユニバーサルヘルスカバレッジ）、持続可能な開発目標（SDGs）について調べる 復習：世界規模で発生する健康問題とその対応について、関心を持ったテーマについて自分の考えをまとめる キーワード：グローバルヘルス、国際感染症、国際機関（WHO、UNICEF、UNHCR、UNDP、ILO、WFP）	尾立 篤子
3・4回	貧困と健康	内容 1. 開発途上国の定義、開発途上国における看護活動 2. 貧困と健康の関連 方法：講義、ディスカッション 予習：ニュース、webサイトから世界の貧困に関する情報をまとめる 復習：開発途上国で生活習慣病が増加する現状と、それらに対する看護活動について自分の意見をまとめる キーワード：政府開発援助（ODA）	尾立 篤子
5・6回	くらしに基づく多様な文化や価値観と看護	内容 1. 異文化理解と国際看護活動 2. 自文化を理解する 3. レイニンガーの文化的ケア理論 方法：講義、ディスカッション 予習：配布される資料「レイニンガーの文化を考慮した看護理論」を読む 復習：異文化に適応するための自分の考えをまとめる キーワード：アダプテーション理論、文化変容	尾立 篤子
7・8回	在日・訪日外国人の健康課題	内容 1. 在日・訪日外国人の現状 2. 在日・訪日外国人の健康課題 3. 在日・訪日外国人への健康支援、看護 方法：講義、ディスカッション 予習：事前に提示されるデータから予測できることをまとめる 復習：講義で配布される小問題を解いておく キーワード：ヒューマン・グローバリゼーション、多文化共生社会、異文化コミュニケーション	尾立 篤子
9・10回	EPA（Economic Partnership Agreement：経済連携協定）と外国人看護師の現状	内容 1. EPA（Economic Partnership Agreement：経済連携協定）と看護師 2. 日本における外国人看護師との協働 3. 事例検討 方法：講義、ディスカッション 予習：EPAに関連するデータを読み、わかることをまとめる 復習：事例について自身の考えをまとめる キーワード：経済連携協定（EPA）	尾立 篤子
11・12回	事例検討とプレゼンテーション	内容 1. 国内の医療施設における事例について検討する 2. 異文化間で起こる課題を捉えた上で、その対応をまとめる 方法：グループワーク、プレゼンテーション 予習：前の講義で提示される事例について読み、各自で対応を考える 復習：各グループのプレゼンテーションを聞き、感じたことをまとめる	尾立 篤子
13・14回	開発途上国における医療・看護支援活動の実際、まとめ	内容 1. 途上国の医療資源が不足する地域での看護活動の実際 2. 言葉の壁とコミュニケーション 3. 多国籍チームにおける連携 4. まとめ 方法：講義、ディスカッション 予習：前の講義で提示される地域の気候や文化について調べる 復習：課題についてまとめる キーワード：援助受取国・地域リスト（DACリスト）、人間の安全保障	尾立 篤子

【6】 事前・事後学習とその時間

各回に示す用語について事前学習をしておく（約1時間）。
事後学習は、講義で示す課題についてノートにまとめておく（約1.5時間）。

【7】 評価方法・基準

課題レポート50%、グループワークと発表50%

【8】 フィードバック方法

リアクションペーパーや課題について、次回講義やMoodleでコメントする。

【9】 教科書

資料を授業内で配布する

【10】 参考書

樋口まち子編：新体系看護学全書 看護の統合と実践 国際看護学 第3版、メヂカルフレンド社

日本国際看護学会編：国際看護学入門 第2版（医学書院）

南裕子監修：国際看護学 グローバル・ナーシングに向けての展開（中山書店）

柳澤理子編：改訂版 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて（ピラールプレス）

【11】 備考(関連科目等)

看護学概論、公衆衛生、国際保健論

2024年度

科目名(日本語)	千葉県の地域医療	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Local Industry in Chiba	選択	講義	春学期 1年	1単位 15時間
科目責任者	小板橋恵美子				
担当教員	小板橋恵美子・佐瀬真粧美・島村敦子・林ひろみ				
科目責任者 連絡先(教室)	小板橋恵美子 (emiko.koita bashi@hs.toho-u.ac.jp、K315)				
オフィスアワー	授業開講日の休み時間帯。K315研究室。 このほか、メール (emiko.koita bashi@hs.toho-u.ac.jp)、Moodleのお知らせ機能でも受け付けますので、活用してください。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称(クリッカー、タブレット端末等)
Moodleを使用。

【2】 授業概要

千葉県の地理や歴史、保健医療福祉に関する社会資源の実情について学び、人々のニーズに応える地域貢献や地域の医療についてグループワークおよびプレゼンテーション・ディスカッションを通してその見識を深める。千葉県の実情を題材とし、地域医療のあり方およびそれを支える看護のあり方について考える契機とする。

【3】 到達目標

- 1) 我が国および千葉県の保健・医療・福祉の実情を述べることができる。
- 2) 千葉県で暮らしている人々の健康推進に関する施策・サービスについて述べることができる。
- 3) 千葉県の保健・医療・福祉に関する情報から、人々の幸福を支援することについて考察することができる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
2. 看護学の専門知識と技術を修得している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	オリエンテーション／人々の健康・生活①	講義・自己紹介（教員・学生）・討議 討議：学生間の自己紹介を兼ね、健康や千葉県の印象を発表し合う、我が国において健康・生活を支えるものについて、また幸福についてペア討議する。 講義：統計情報からみる我が国の健康状況を把握する。 キーワード：健康、疾病、障がい、生活、幸福、人口動態・人口静態、患者統計、社会保障費、医療従事者の状況	小板橋恵美子、佐瀬真粧美、島村敦子
2	人々の健康・生活②	講義 親子の健康に関する指標とその動向を把握する。 事後学習：千葉県の周産期における医療体制と各市町村における出生状況を調べる キーワード：周産期医療、乳児医療、乳幼児医療費助成制度	林ひろみ
3	医療を受ける・医療機関で看護を受ける	講義 我が国における医療や看護サービスに関する基礎知識を学び、医療や看護の提供体制およびその実情を把握する。 事前学習：我が国の医療体制について調べてくる。 事後学習：現在の我が国で医療を受ける上での課題を考察する。 キーワード：医療機関・医療サービス、医療保険制度、医療計画、医療圏	佐瀬真粧美
4	介護を受ける・在宅で看護を受ける	講義 我が国における介護や訪問看護に関する基礎知識を学び、在宅での療養支援体制およびその実情を把握する。 事前学習：我が国の介護サービス提供体制について調べてくる。事後学習：現在の我が国で在宅療養をする上での課題を考察する キーワード：介護保険サービス、介護保険法、地域包括ケアシステム、介護保険施設、訪問看護ステーション	島村敦子
5	保健・福祉サービスを利用する	講義 我が国における保健・福祉に関する基礎知識を学び、保健・福祉サービスの提供体制およびその実情を把握する。 小テストを実施する（これまでの講義を踏まえた知識の確認テスト）。 事前学習：我が国の保健サービスの提供体制について調べてくる。 事後学習：現在の我が国で健康的な生活を送る上での課題について考察する。 キーワード：生活を支える保健・福祉サービス、地域保健法、保健所、市町村、社会福祉協議会	小板橋恵美子
6	千葉県の医療・保健・福祉①	グループワーク① グループメンバー・テーマの決定、調査スケジュールの検討 この回からのグループワークでは、千葉県の保健・医療・福祉に関する現状を調査し、千葉県で幸せな生活を送ることに関して検討する。 ・グループワークのメンバーを決定し、今後授業の目標達成に向けてチームワークを発揮できるよう、各グループで何らかのワークやアクティビティを考え実施する。 ・調査に当たっては各グループでテーマを設定する。 ・この回を入れて5回のグループワークにおける調査・検討のスケジュールリングを行い、効率的効果的なワークができるようにする。 ・調査に関しては、千葉県全域を対象としても、千葉県内であれば特定の地域を対象にしても可とする。 キーワード：地域医療、保健サービス、福祉サービス、各種社会資源、健康指標、健康に関する自治体の施策や計画 事前学習：チームワークの醸成につながるアクティビティを調べる。 事後課題：円滑なグループワークのあり方、その方法について考察する。	小板橋恵美子、佐瀬真粧美、島村敦子
7～10	千葉県の医療・保健・福祉②③④⑤	グループワーク②～⑤ グループワーク①において決定したテーマおよび調査のスケジュールに沿ってワークを進める。なお、中間で把握された情報や進捗状況等に関する報告を行う。 キーワード：グループワーク①と同様。 事前学習：前回決定したテーマをめぐる課題をイメージをする。事後課題：発表の準備に入るうえで不足している調査や事項に取り組む。	小板橋恵美子、佐瀬真粧美、島村敦子
11	発表・討議①	発表の準備 発表方法の決定、発表に使用する媒体の作成、リハーサルを行う。 事前学習：発表のイメージ（方法、媒体、役割分担など）を形成する。 事後学習：グループワークにより決定した発表内容に関して十分に理解しておく。	小板橋恵美子、佐瀬真粧美、島村敦子
12・13	発表・討議②③	発表・ディスカッション①② 各グループによる「千葉県の医療・保健・福祉」に関する調査結果および千葉県で幸せな生活を送ることに関する検討結果の発表および発表内容に関する質疑応答を行い、見識や考察を深める。 ※全体ディスカッションのテーマを念頭に置きながら、発表を聞き、ディスカッションに参加してください。 事前学習：自分のグループの発表内容について十分に理解してくる（どのような質問があっても答えられるようにしておく）。 事後学習：全体ディスカッションのテーマに関する自分の見解をまとめておく。	小板橋恵美子、佐瀬真粧美、島村敦子

14	まとめ	<p>全体ディスカッション テーマ：千葉県で生まれ、育ち、最期を幸せに生きていくことを支援するにはこれから何が必要か 事前学習：各グループの発表内容を整理する。 事後学習（課題レポート）：全体ディスカッションの結果および授業全体を振り返り、①健康・生活を支えるものについて、また②幸福とは何かを述べるとともに、③千葉県の地域医療の課題について考察する。</p>	<p>小板橋恵美子、佐瀬真粧美、島村敦子</p>
----	-----	---	--------------------------

【6】 事前・事後学習とその時間

【事前学習】

授業でのワークやディスカッションに必要な知識・情報を収集し、考えをまとめた上で授業に参加する。1時間以上の事前学習が必要となる。

【事後学習】

授業での学修やワークの考察や課題の整理を行う。最低1時間程度の学習が必要になる。

【7】 評価方法・基準

評価：小テスト15%、発表25%、課題レポート60%

【8】 フィードバック方法

フィードバックは授業時、またMoodleのフィードバックや質問コーナーで行う。

【9】 教科書

なし。適宜資料配布。

【10】 参考書

国民衛生の動向（最新版）、このほか講義の中で適宜紹介する。

【11】 備考(関連科目等)

- ・情報収集や分析を行う授業の日は、ノートPC、タブレット端末などを用意してください。また、メディアセンターでのPCの一時貸し出しを利用してくださっても可です。なお、PCのスキルは必要ありません。
- ・関連科目：コミュニケーション論、プレゼンテーション論、看護入門実習Ⅱ、コミュニティヘルス看護概論、保健師養成教育課程科目など
- ・授業の進捗により内容を変更することがあります。適宜案内します。

2024年度

科目名(日本語)	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Challenging for Translational Strategies into Nursing III	選択	講義	通年 2年	1単位 15時間
科目責任者	臼井雅美				
担当教員	臼井 雅美、尾立 篤子、瀧口 千枝、原田 慶子、植村 直子、林 京子、勝見 知恵子				
科目責任者 連絡先(教室)	臼井 雅美 (masami.usui@hs.toho-u.ac.jp (K331研究室))				
オフィスアワー	授業終了後10分程度および授業開講日16:20~18:00。また、メールおよびMoodleのメッセージでの問い合わせに応じます。各教員のメールアドレス、研究室は以下の通り。 臼井雅美: masami.usui@hs.toho-u.ac.jp (研究室K331), 尾立篤子: atsuko.oryu@hs.toho-u.ac.jp (研究室K328), 瀧口千枝: chie.takiguchi@hs.toho-u.ac.jp (研究室K321), 原田慶子: chikako.harada@hs.toho-u.ac.jp (研究室K330), 植村直子: naoko.uemura@hs.toho-u.ac.jp (研究室K322), 林京子: kyoko.hayashi@hs.toho-u.ac.jp (研究室K318), 勝見 知恵子: chieko.katsumi@jim.toho-u.ac.jp (キャリアセンター)				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称(クリッカー、タブレット端末等)
Moodle、スマートフォン

【2】 授業概要

看護専門職として多様なキャリアとその活動や成長プロセスを知り、自己のキャリア目標について考える。看護専門職が働く場と活動の実際、その成長プロセスについての知見を深める。また、実際に活動する看護職とのディスカッションを通してキャリアに対する考え方に触れることで、自己のキャリアについて考え始める契機とする。さらに、今後の社会人としてのマナーを身につける。

(オムニバス方式/全7回)
(臼井雅美/1回) キャリアの概念と看護職のキャリア
(尾立篤子/2回) 大学院教育と卒後教育、看護専門職とキャリア
(原田慶子・植村直子/2回) 看護のキャリア(保健師・助産師)
(勝見知恵子/2回) 看護職のキャリア形成とマナー
(共同/7回) 看護キャリアとキャリアデザイン、キャリアの自己形成、生涯発達するキャリア、看護職のキャリアパス、高度実践看護師の活動の実際とキャリア形成(臼井雅美、尾立篤子(4回のみ)、瀧口千枝、原田慶子、林京子)

【3】 到達目標

1. キャリアおよびキャリア形成に関する概念が説明できる。
2. キャリア形成について理解し、看護職としての自らのキャリアビジョンについて表現することができる。
3. 今までの大学生活を振り返り、自立したキャリアを創る大学生活について述べるができる。
4. 看護専門職の職務概要と活動について理解し、自らの進路選択について計画的に考え、学びの展望を述べるができる。
5. キャリア選択とキャリアビジョンの内容について理解し、自己のキャリア選択に対する課題を考察することができる。
6. 社会人として必要なマナーについて理解し、看護師の職業を主体的に選択する能力や態度を身につけるための方法を述べるができる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1・2	看護キャリアとキャリアデザイン	1) キャリアとは 2) 理想とする看護職（看護職のキャリアビジョン） 講義・グループワーク 予習：ワークシート① 復習：リフレクションシート① キーワード： キャリア、キャリアビジョン、キャリアデザイン、キャリアプラン、キャリアパス、キャリア形成、キャリアアップ、キャリア転換、ポートフォリオ、理想とする看護職	白井雅美，瀧口千枝，原田慶子，林京子
3・4	キャリアの自己形成	自立したキャリアを創る大学生活とは 演習・グループワーク・スマートフォンによるグループ評価 予習：ワークシート② 復習：リフレクションシート② キーワード： マインドマップ	白井雅美，尾立篤子，瀧口千枝，原田慶子，林京子
5・6	看護職のキャリア形成とマナー	1) 看護職のキャリア形成と自己理解 2) 看護職のキャリア形成に関わるマナー 講義・演習 予習：ワークシート③ 復習：リフレクションシート③ キーワード： ライフキャリアプラン、ライフイベント、インターシップ、オフィスカジュアル、マナー	勝見 知恵子
7・8	看護のキャリア（保健師・助産師）	1) 保健師の活動の実際とキャリア形成 2) 助産師の活動の実際とキャリア形成 講義・グループディスカッション 予習：ワークシート④ 復習：リフレクションシート④ キーワード： 保健師、助産師、養護教諭	植村直子，原田慶子
9・10	生涯発達するキャリア	1) 集団における意思決定 2) 生涯発達するキャリア 演習・グループワーク 予習：ワークシート⑤ 復習：リフレクションシート⑤ キーワード： 意思決定、アサーティブ、コンセンサス、キャリア発達、キャリア課題	白井雅美，尾立篤子，瀧口千枝，原田慶子，林京子
11・12	看護専門職と生涯学習	1) 大学院教育と卒後教育 2) 看護職のキャリアパス 講義・グループディスカッション 予習：ワークシート⑥ 復習：リフレクションシート⑥ キーワード： キャリアアンカー、大学院教育、認定看護師、専門看護師、ジェネラリスト、スペシャリスト	尾立篤子，白井雅美，瀧口千枝，原田慶子，林京子
13・14	看護専門職とキャリア（スペシャリスト）	高度実践看護師の活動の実際とキャリア形成 講義・グループディスカッション 予習：ワークシート⑥ 復習：リフレクションシート、課題レポート キーワード： 専門看護師、千葉県における保健医療事情	尾立篤子，白井雅美，瀧口千枝，原田慶子，林京子

【6】 事前・事後学習とその時間

【準備学習】

事前学習としてMoodleを利用するため、わからないことは確認しておく。

本授業は今後の自分のキャリアを考えるために必要な科目である。

予習・復習あわせて1時間程度

【事後学習】

授業終了後に示す課題についてレポートとしてまとめること。

グループワークに関しては、次回の授業範囲を予習し、演習ワークシートおよびディスカッションの準備をしておくこと。

【学修上の留意点】

eラーニングを積極的に活用すること。

【7】 評価方法・基準

課題レポート（30%）、ワークシート・リフレクションシート（30%）、グループワーク課題・発表会成果物（40%）

【8】 フィードバック方法

ワークシート・課題レポートは結果を返却する。リフレクションシートに記載された感想や質問は次の時間にフィードバックする。授業の最終日に全体講評を行う。

【9】 教科書

資料を授業の時に配布する。

【10】 参考書

前原澄子・遠藤俊子監修：看護学生のためによくわかる大学での学び方 第2版，2018，Kinpodo 箕浦とき子・高橋恵著：看護職としての社会人基礎力の育て方 第2版，2018，日本看護協会出版会山崎京子・平林正樹著：未来を拓くキャリア・デザイン講座，2018，中央経済社

【11】 備考(関連科目等)

予め学んでおくと良い科目：トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ，コミュニケーション論，プレゼンテーション論，健康科学概論，看護学概論，臨床看護学概論，老年看護学概論，地域・在宅看護概論，看護入門実習Ⅰ，看護入門実習Ⅱ
この科目に続く内容の科目：小児看護学概論，母性看護学概論，精神看護学概論，公衆衛生看護学概論，臨床看護学実習Ⅰ，老年看護学実習，臨床看護学実習Ⅱ，臨床看護学実習Ⅲ，小児看護学実習，母性看護学実習，精神看護学実習，在宅看護実習，コミュニティヘルス看護実習，看護実践の探究

2024年度

科目名(日本語)	トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ	必修・ 選択区分	授業形態	開講学期 学年	単位数
科目名(英語)	Challenging for Translational Strategies into Nursing	選択	講義	通年 3年	1単位 15時間
科目責任者	瀧口千枝				
担当教員	瀧口千枝・島村敦子・植村直子・水流添秀行・笠間秀一・畑中佳子・林華子				
科目責任者 連絡先(教室)	瀧口千枝 K321 chie.takiguchi@hs.toho-u.ac.jp				
オフィスアワー	質問、問い合わせは、Moodleの質問コーナー、リフレクションシート、もしくは授業終了後30分間、直接科目担当者に問い合わせる。質問への回答は、科目担当者が、Moodleもしくは直接口頭で対応する。				

【1】 授業方法(ALの要素、ICTの活用等)

- 1-1. アクティブラーニングについて
実施する
- 1-2. アクティブラーニングを実施する場合、その具体的要素
反転授業
ディスカッション、ディベート
グループワーク
プレゼンテーション
実習、フィールドワーク
- 2-1. 双方向授業でのICTの活用について
活用する
- 2-2. ICTを活用する場合、その具体的名称(クリッカー、タブレット端末等)
Moodle

【2】 授業概要

看護専門職としての自らのキャリアデザインを主体的に形成するために、自己のキャリアプランを形成する。専門職としての成長プロセスと成長に必要な経験と支援について議論することでキャリアマネジメントの概念理解を図る。キャリアマネジメントの資源、キャリアデザイン、キャリアマネジメントの実際を理解し、自己のキャリアデザインを描く。さらに、今後の就職活動に向けてのマナーやルールについて実践的に学修する。

【3】 到達目標

- 1) 将来の仕事や働き方について考え、自分自身のキャリアビジョンを表現することができる。
- 2) 自分の仕事や働き方の将来像(キャリアビジョン)を実現するために必要な資源や行動を知ることができる。
- 3) キャリアビジョンを実現するための具体的なキャリアプランを表現できる。
- 4) 社会人として必要なマナーを理解したうえで、主体的にキャリアプラン実行に向けた行動ができる。
- 5) 自らのキャリアマネジメントにおける展望と課題を表現できる。

【4】 ディプロマ・ポリシーとの関連

到達目標を達成することにより、以下の能力を身につけることにつながります。

1. 自然科学を看護活動の根拠とし、実践に活かす基礎的な力を有している。
3. 他者の多様な価値観を理解し、尊重することができる。
4. 看護職の社会的責任を理解し、看護実践にまつわる倫理的課題を感受する力と熟考する力、それらに基づく判断を行動に表す力を身につけている。
5. 看護専門職として、リーダーシップおよびフォロワーシップを発揮し、チームの中で有機的に活動する資質を身につけている。
6. 自ら学ぼうとする好奇心をもち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につける。

【5】 授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1-2	キャリアマネジメントと就職活動 キャリアプランと情報収集①	1)キャリアマネジメントと就職活動 2)就活スタートアップ講座 3)3病院紹介・インターンシップ 形式：講義・グループワーク 予習：ワークシート（キャリアについて考えてくる） 復習：リフレクションシート① キーワード キャリアマネジメント、キャリアデザイン、キャリアビジョン、キャリアプラン、インターンシップ	瀧口千枝・島村敦子・植村直子・水流添秀行・笠間秀一・畑中佳子・林華子
3-6	キャリアプランと情報収集②	千葉県就職説明会 形式：説明会・質疑応答 予習：ワークシート（説明を聞きたい病院を決定、収集したい情報をまとめる） 復習：リフレクションシート② キーワード 病院研究、目的意識、優先順位、選定基準、情報整理	瀧口千枝・島村敦子・植村直子・水流添秀行・笠間秀一・畑中佳子・林華子
7	キャリアプランと情報収集③	インターンシップ参加形式：フィールドワーク 予習：興味のある施設を選定し、インターンシップに申し込む。復習：課題レポート キーワード インターンシップ、就業体験、看護業務の実際、職場の雰囲気、自己分析、ビジネススキル	瀧口千枝・島村敦子・植村直子・水流添秀行・笠間秀一・畑中佳子・林華子
8-10	ビジネスマナーと就活準備	キャリア支援ガイダンスⅠ 1)ビジネスマナー 2)履歴書の書き方 3)採用面接対策 形式：講義・演習 予習：受験する施設の募集要領を確認しておく 復習：リフレクションシート③ キーワード ビジネスマナー、履歴書、採用面接	瀧口千枝・島村敦子・植村直子・水流添秀行・笠間秀一・畑中佳子・林華子
11-14	キャリアデザインと就職活動	キャリア支援ガイダンスⅡ 1)エントリーシートと自己PR 2)採用試験対策（小論文） 3)採用試験対策（模擬面接） 形式：講義、演習 予習：ワークシート 復習：リフレクションシート④ キーワード 自己分析、自己PR、エントリーシート、採用試験、模擬面接	瀧口千枝・島村敦子・植村直子・水流添秀行・笠間秀一・畑中佳子・林華子

【6】 事前・事後学習とその時間

【事前・事後学習】

事前学習としてMoodleを利用するため、必ず事前に確認しておく。
本授業は今後の自分のキャリアを具体的に考え実行するために必要な科目である。
予習・復習に1時間程度を要する。

【7】 評価方法・基準

リフレクションシート・ワークシート（60%）
課題レポート（40%）

【8】 フィードバック方法

リフレクションシートに記載された感想や質問は、Moodleでフィードバックする。
授業最終日に全体講評を行う。

【9】 教科書

必要な資料は事前もしくは当日に配布もしくはMoodleに提示する。

【10】 参考書

就活ガイドブック

【11】 備考(関連科目等)

予め学んでおくと良い科目：トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ、トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ、トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ、コミュニケーション論、プレゼンテーション論、健康科学概論、看護学概論、臨床看護学概論、老年看護学概論、地域・在宅看護概論、看護入門実習Ⅰ、看護入門実習Ⅱ、臨床看護学実習Ⅰ、小児看護学概論、母性看護学概論、精神看護学概論、公衆衛生看護学概論

並行している関連科目：老年看護学実習、臨床看護学実習Ⅱ、臨床看護学実習Ⅲ、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、在宅看護実習、コミュニティヘルス看護実習

この科目の後に続く関連科目：看護実践の探究、臨床実践技術の探究、看護の役割と実践の探究、看護研究、看護管理論

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要																		
(健康科学部看護学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員			
総合教育科目	自然科学	自然科学概論	1前		1			○							1	兼1	オムニバス	
		データサイエンス	1前		1				○						1	兼1		
		化学	1前		1				○						1	兼1		
		生物学	1前		1				○						2	兼2		
		看護のための物理学	1前		1				○						1	兼1		
	語学	実用英語ⅠA	1前			1				○					1	兼1	オムニバス・共同	
		実用英語ⅠB	1後			1				○					1	兼1		
		実用英語Ⅱ	2前	1						○					2	兼2		
		医療英語A	1前			1				○					1	兼1		
		医療英語B	1後			1				○					1	兼1		
		実用英語Ⅲ	2前			1				○					1	兼1		
		実用英語Ⅳ	2前			1				○					1	兼1		
		実用医療英語	4前			1				○					1	兼1		
		ドイツ語入門	2前			1				○					1	兼1		
	健康科学	健康科学概論	1前	○	1				○			1			1	兼1	オムニバス 共同 オムニバス・共同	
		コミュニケーション論	1前		1				○			1			1	兼1		
		プレゼンテーション論	1前		1				○			1			1	兼1		
		人間と生命	1前			1			○			4			4	兼4		
		千葉県の地域医療	1前			1			○			3	1		1	兼1		
		スポーツ健康科学	1前			1			○						1	兼1		
	人文科学	スポーツ健康科学実技	1前			1				○					4	兼4		
		心理学	1前		1				○						1	兼1	オムニバス	
		社会学	1前		1				○						1	兼1		
		倫理学	1後		1				○						1	兼1		
		教育学	1前			1			○						1	兼1		
		組織論	1前			1			○						1	兼1		
		経済学	1前			1			○						1	兼1		
		法学（日本国憲法を含む）	2前			2			○						4	兼4		
		文学	1前			1			○						1	兼1		
		人類学	1前			1			○						1	兼1		
	哲学	1前			1			○						1	兼1			
	合計（33科目）		—		12	22	0		—			4	0	1	0	0	39	兼39
	専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前		2			○							1	兼1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
人体の構造と機能Ⅱ			1前		2			○							1	兼1		
人体の構造と機能Ⅲ			1後		2			○							1	兼1		
生化学			1後		1			○							1	兼1		
臨床栄養学			2前		1			○							1	兼1		
微生物学			1後		1				○						3	兼3		
疾病と治療Ⅰ			1後		2			○		○					3	兼3		
疾病と治療Ⅱ			1後		2			○		○					8	兼8		
疾病と治療Ⅲ			2前		2			○		○					7	兼7		
疾病と治療Ⅳ			2後		2			○		○					6	兼6		
疾病と治療Ⅴ			2後		2			○		○					16	兼16		
薬理学			1後		2			○		○					2	兼2		
薬剤学			2前		1			○		○					2	兼2		
リハビリテーション論			2前		1			○		○					1	兼1		
臨床遺伝学		1後			1			○						1	兼1			
臨床心理学		1後			1			○						4	兼4			
社会と健康		保健医療福祉行政論	2後		2			○							2	兼2	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス	
		社会保障制度	2前		2			○							2	兼2		
		保健統計	2後		1			○							1	兼1		
		公衆衛生	2前		1			○							4	兼4		
	疫学Ⅰ（基礎編）	2前			1		○							1	兼1			
	疫学Ⅱ（応用編）	2後			1		○							2	兼2			
健康生活支援論	4前			1			○						1	兼1				
政策形成過程論	3前			1			○						1	兼1				
合計（24科目）		—		29	6	0		—			1	1	0	0	0	66	兼64	

教育課程等の概要																			
(健康科学部看護学科)																			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(除く)の教員			
専門教育科目	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門	3前	○	0.5				○			3	1	2			6	オムニバス・共同	
		看護研究	4通	○	2				○				7	5	4			11	オムニバス・共同
		看護の役割と実践の探究	4前	○	1				○				1	1				11	共同
		臨床実践技術の探究	4通	○	1				○				7	5	4			11	オムニバス
		看護管理論	4前	○	1				○				1	1					オムニバス
		リスクマネジメント	4後	○	1				○				1						オムニバス
		エンドオブライフケア	4前	○	1				○				3	2	1			2	兼2
		国際保健論(災害看護論を含む)	4後			1			○									2	オムニバス
		専門看護への招待	4前			1			○									1	
		チーム活動論	4前			1			○				1	1	2			4	オムニバス・共同
		チーム医療演習	4前			1			○	○			1	1				4	共同
		国際看護論	4後			1			○				1					1	兼4
		看護実践の探究	4前			2					○		7	5	4			11	兼1
小計(13科目)		—		9.5	5	0		—			7	5	4	0	0	17	兼6		
保健師専門科目	公衆衛生看護学の技術	3前			2				○		1		2					共同	
	公衆衛生看護学活動論	3前			2			○			1		2				2	オムニバス	
	学校保健・産業保健	3前			1			○										オムニバス	
	公衆衛生看護管理論	4後			1			○			1		2					オムニバス・共同	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後			2				○		1		2					共同	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3後			2				○		1		2					共同		
小計(6科目)		—		0	10	0		—			1	0	2	0	0	2	兼2		
合計(67科目)		—		70	15	0		—			7	5	4	0	0	121			
専門基礎科目	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1前			1				○		1	1					1	オムニバス・共同	
	トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1前			1				○		1	2						オムニバス	
	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ	2通			1				○		2	1	2				2	オムニバス・共同	
	トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ	3通			1				○		1							オムニバス・共同	
合計(4科目)		—		2	2	0		—			3	4	2	0	0	3			
基礎科目	生物学入門	1前						1	○								1	兼1	
	化学入門	1前						1	○								1	兼1	
合計(2科目)		—		0	0	2		—								2	兼2		
総計(130科目)		—		113	45	2		—			7	5	4	0	0	121			
学位又は称号		学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)											
卒業要件及び履修方法							授業期間等												
<p>【卒業要件】</p> <p>必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上を修得すること。 なお、上記の卒業要件を充足し、かつ、以下の指定科目の単位を修得した者は、保健師国家試験の受験資格を得ることができる。 ①「総合教育科目」(健康科学)よりスポーツ健康科学、スポーツ健康科学実技。(人文科学)より組織論、法学(日本国憲法を含む)。 ②「専門基礎教育科目」(社会と健康)より疫学Ⅰ(基礎編)、疫学Ⅰ(応用編)、健康生活支援論、政策形成過程論。 ③「プレ・プロフェッショナル看護領域」(看護の統合と実践)より国際保健論(災害看護論を含む)。 ④「保健師専門科目」より公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学活動論、学校保健・産業保健、公衆衛生看護管理論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱ。</p> <p>【履修方法】</p> <p>選択科目は以下のとおり履修する。 ①「総合教育科目」(語学)より実用英語ⅠA、同ⅠBから1単位以上。医療英語A、同Bから1単位以上。実用英語Ⅲ、同Ⅳ、実用医療英語から1単位以上。ドイツ語入門、フランス語入門、中国語入門から1単位以上。(健康科学)より人間と生命、千葉県の地域医療、スポーツ健康科学、同実技から1単位以上。(人文科学)より教育学、組織論、経済学、法学(日本国憲法を含む)、文学、人類学、哲学から2単位以上。 ②「専門基礎教育科目」(人間と健康)より臨床遺伝学、臨床心理学から1単位以上。(社会と健康)より疫学Ⅰ(基礎編)、疫学Ⅱ(応用編)、健康生活支援、政策形成過程論から1単位以上。 ③「プレ・プロフェッショナル看護領域」(看護の統合と実践)より国際保健論(災害看護論を含む)、専門看護への招待、チーム活動論、チーム医療演習、国際看護論から2単位以上。 ④「専門基礎科目」(キャリア教育)よりトランスレーショナルへの挑戦Ⅲ、同Ⅳから1単位以上。</p>							1学年の学期区分			2期									
							1学期の授業期間			14週									
							1時限の授業時間			50分									

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 新設組織の概要

1) 新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

新設組織	入学定員	収容定員	所在地所 (教育研究を行うキャンパス)
東邦大学 健康科学部 看護学科	80	320	千葉県船橋市三山2丁目2番1号

2) 新設組織の特色

健康科学部看護学科は、令和5年4月で設置7年目を迎えるが、本学の看護教育としては、帝国女子医学専門学校付属看護婦養成所設置から数えると97年と歴史は古い。

健康科学部看護学科は、人材養成の目的として「健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的とする」と掲げている。さらに教育研究上の目的を「教育に関しては、人々の健康を科学的に探究し支援できるよう、知性・感性・品性および問題発見・解決能力、生涯学習能力を兼ね備えた実践者と研究者の育成を目的とする。研究に関しては、健康科学分野の基礎研究とともに、変化する社会情勢に即した応用分野の研究に携わることを目的とする」としている。

健康科学部看護学科の教育の特徴として、以下の3点が挙げられる。

① 4つの領域編成で学ぶ看護学

従来の細分化した看護専門領域からの学びから、看護の対象や事象をより具体的な形に現し教授するため、“社会の単位、生活体、生活の場”という人の暮らしに焦点をあて、知識の統合と実践の連携を図る看護学の領域編成を行っている。トランスレーショナル看護領域では「個人の健康の支援」と「看護の実践の基礎」を、ファミリーヘルス看護領域では「家族の健康の支援」を、コミュニティヘルス看護領域では「地域の健康の支援」を、プレ・プロフェッショナル看護領域では「学びの統合」と「看護専門職（看護師・保健師）への移行」を、それぞれの範疇とし、専門領域が複雑に絡み合う現実社会の課題に対応できる看護学を学び、日本の医療構造の変化に対応できる看護の実践者を育成する。

② 4年間を通して段階的に高める3つの能力と着実に成長できるトランスレーショナル教育

トランスレーショナル教育とは「知識・技術の移転」である。つまりは基礎教育で学習した看護学の知識・技術・態度を臨床に橋渡しし、研究により得られた成果を看護学のエビデンスとして臨床実践へ連携して活かす。それと同時に、トランスレーショナル看護領域での学修成果をファミリーヘルス看護領域やコミュニティヘルス看護領域での学修に橋渡しし、領域を超えた連携のもとで成長に合わせてスパイラルに学んでいく教育方法である。

③ チームを牽引する看護の専門家を育成する教育カリキュラム

医療者は、患者を中心に多職種が連携する”チーム医療”を実現することで、医療の質を高めるとともに効率的な医療サービスを提供することができる。健康科学部看護学科では、チームの中で有機的に活動する資質を育成するため、1年次には「コミュニケーション論」「プレゼンテーション論」「組織論」「臨床心理学」を、4年次には「看護管理論」「チーム活動論」を、さらに全学共通教育の「チーム医療演習」などを配置し、系統的にチームワークやリーダーシップを学修できるように工夫している。

以上より、看護学の専門知識と確かな技術を修得し、洗練された倫理性を備えた、

人々の健康を支援する様々な分野で貢献できる看護の専門家を養成することを目指し、所定の教育課程を修めた学生に「学士（看護学）」を授与している。

健康科学部看護学科は千葉県船橋市に設置されており、令和2年度に1期生が卒業し、現在までに約200名の卒業生を輩出している。過去3年間のストレート卒業率は95%以上と高く、看護師国家試験合格率は3年連続100%となっている。

また、健康科学部看護学科の卒業生は、千葉県内への帰属意識が高く卒業生約200名のうち6割が千葉県内の病院や行政機関に就職し活躍している。

以上のことから、健康科学部看護学科は、高度医療・急性期医療を支える病院看護師の養成、さらに我が国が直面している少子・高齢化に伴う「地域完結型」医療に携わる看護師を養成することが可能である。

【資料1】 【資料2】

2 人材需要の社会的な動向等

1) 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

(1) 在学生の出身者都道府県別状況

健康科学部看護学科の令和5年現在の在学者数は269名である。出身都道府県別では千葉県206名(76.6%)、東京都40名(14.9%)、茨城県9名(3.3%)、埼玉県5名(1.9%)と続く。開設当初からみても、千葉県内出身者は常に70%前後で推移している。

【資料3】

(2) 看護系大学の志願者の推移

文部科学省の学校基本調査に基づき、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県の1都3県における平成28年3月から令和4年3月までの高等学校(全日制・定時制、東京都・茨城県については中等教育学校後期課程を含む)の卒業者数、大学等進学者数の集計を行った。

前述の1都3県においては平成28年度卒業者数が234,202名と最大でありその後減少に転じ、令和4年度の卒業者数は218,365名となっており15,837名減少し、その減少率は7.2%である。一方、大学等進学者は平成28年度卒業者が140,587名であるのに対し、令和4年度卒業者は145,850名と5,263名増加、大学等進学率は60.0%から66.8%に上昇している。全国の令和5年度大学入学者の大学等進学率が60.7%であることに鑑みれば、健康科学部看護学科が位置する千葉県他、東京都、茨城県、埼玉県は大学進学希望者が多い地域であると考えられる。

また、日本私立学校振興・共済事業団による「私立大学・短期大学入学志願動向」の学部系統別動向(大学)によれば、看護学の志願者数は令和元年から令和5年までの5年平均で5.2万人であり、入学定員平均約9,500人に対し、5.33倍の志願者がいる状況である。

さらに、リクルート進学総研による関東エリア、東海エリア、関西エリアの高等学校に通っている令和6年3月卒業予定者を対象にした「進学希望分野」に関する調査結果によれば、進学希望分野は、「情報」「美術・デザイン」分野という、技術革新、あるいはキャリア間の変化によって希望者の増加が目立つものの、「看護」「医療・保健・衛生」分野を合わせると過去5年18%以上の割合で推移しており、高校生にとって高く注目されている分野ということが示されている。

【資料4】 【資料5】 【資料6】

(3) 看護職の社会的動向

健康科学部看護学科が開設した平成29年度以降、千葉県内において四年制大学(看護学科)は本学を含め7校が開設され、千葉県における看護学生総数は増加した。就業看護師数は年々増加しているが、未だ県内の需要に対して供給が極めて不足している状況である。

看護師の需要と供給が不均衡な理由の一つに、現在の社会現象である高齢化に伴う医療・介護需要の増加率の上昇があげられる。千葉県でも医療・介護需要の増加率が高く、令和7年の千葉県内における看護職員は8,856人が不足すると推計されている。

さらに令和元年に入ってから新型コロナウイルス感染症拡大による離職率の高さが原因としてあげられる。感染症の流行により、医療現場での不安や混乱が生じた影響もあり、新卒看護師の離職率が増加したことも考えられる。「千葉県における看護職員離職率（「2022年病院実態調査」日本看護協会）」では、令和2年度と令和3年度を比較すると3.8%増加しており、喫緊の課題と捉えられている。

しかし、千葉県看護協会の「看護職定着確保動向調査」令和3年度、令和4年度、令和5年度によるとメンタル不調や転職・進学等の理由が上位を占めており、一概に新型コロナウイルス感染症拡大だけの理由に留まらないため、看護職員の養给力拡充強化および資質向上のためにも、大学における看護職員の養成数を増加させ、県内に定着させることが急務と考えている。

【資料7】 【資料8】

2) 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

文部科学省による「大学等進学者数に関するデータ」（令和5年）「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」によれば、令和4年度の18歳人口は112万人であるが、令和7年度には約110万人、令和23年度には約79万人にまで減少する。同報告書によると令和3年を基準として、令和22年の各都道府県別大学進学者数等の推計によると、関東県内では、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県や神奈川県はいずれも60%を超え、高い進学率を維持していると分析されている。したがって今回、入学定員・収容定員の増員の申請を行う健康科学部看護学科においても、18歳人口減少の影響を受けることは避けられないものの、他のエリアと比較して影響は少ないものとする。

また、看護系大学・学部への進学に関する動向について、一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートマーケティングパートナーズによる合同調査「高校生と保護者の進路に関する意識調査」（2022年2月）によれば、高校生が就きたい職業として看護師が6位（5.8%）となっている他、保護者が子どもに就いてほしい職業では看護師は2位（10.5%）となっている。

同調査は隔年で実施されており、平成25年度から令和3年度における5回分の調査結果を比較したところ、高校生が就きたい職業・保護者が子どもに就いてほしい職業としての看護師の順位および回答比率は1位から3位を維持しており、18歳人口が減少している一方で、看護師養成に対する需要は今後も増加することが見込まれる。また、同調査において、保護者が子どもに看護師に就いてほしいと思う具体的理由としては、「本人もなりたい意思があるから」という理由の他、「就職に困らない」「資格があり安定した求人」「病院に限らず様々なところで働ける」など、同調査の調査結果トピックスでは、保護者は進路に関して、安定した職を得られる資格が取得できることを理由とする意見が多いが、親の希望という以前に、子どもが目指していることが前提として分析されている。

以上の結果より、健康科学部看護学科の看護師の職業イメージおよび高校生・保護者の資格取得への強い意識は根強く、看護師養成に対する需要は継続的に高く見込まれる。

【資料9】 【資料10】

3) 新設組織の主な学生募集地域

今回増員を行う健康科学部看護学科がある習志野キャンパスは千葉県船橋市に所在する。東京都にも比較的近い場所に位置し、キャンパス最寄り駅（JR津田沼駅または京成大久保駅）から東京駅までは電車で30分程度、新宿駅までは45分程度、横浜駅までは60分程度、大宮駅までは71分程度、千葉駅までは10分程度である。よって、千葉県をはじめ東京都、埼玉県、茨城県など南関東圏の都県に近いという立地上の特性を活かした学生募集活動を行うことで、今後も安定的に志願者を確保できるものとする。

健康科学部看護学科の志願者の多くは、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県の高校生である。これらの地域の18歳人口については、令和3年の25.1万人から令和22年に

は 20.6 万人へと 10 年間で 17.9%減少すると予想されるが、全国の 18 歳人口が令和 3 年の 112.1 万人から令和 22 年 82 万人へと 26.9%減少するのに対して減少幅は 8.8 ポイント少ない。また、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県の高専卒業者の大学進学率は過去 5 年間平均 63.0%で、全国平均の 57.5%を 5.5 ポイント上回り、高校生の大学進学意欲が高い地域である。

また、日本私立学校振興・共済事業団の「令和 5（2023）年度私立大学・短期大学等入学志願動向 地域別の動向（大学・学校別）」に掲載されている入学定員に対する志願倍率では、千葉県は 11.18 倍、東京都は 8.82 倍、埼玉県は 4.18 倍、関東 3.78 倍となっており、この地域は入学定員を大きく上回る志願者を有している。入学定員においても 5 年間平均において充足している。

さらに文部科学省「学校基本調査 出身高校の所在地別入学者数」において、この地域の大学入学者数は増加しており、全国平均を上回っている。入学希望が高い地域である。

以上より、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県を学生募集地域の中心とすることによって、今後も安定した志願者・入学者の確保が可能である。

【資料 4】 【資料 9】 【資料 11】 【資料 12】 【別紙 1】

4) 既設組織の定員充足の状況

健康科学部看護学科の過去 4 年間の志願者数は、入学定員 60 人に対して平均 438 人であり、志願倍率（入学定員に対する志願者数の倍率）は平均 7.2 倍、入学定員充足率は平均 112.0%である。なお、令和 5 年度入学試験（令和 4 年度実施）における志願者数は 354 人、志願倍率は 5.9 倍と高い水準で入学者を確保している。入学定員充足率は 113.3%である。令和 5 年度在籍学生数は 266 人、収容定員充足率は 110.8%である。

このように安定的に入学者を確保できており、これまでと同等以上の学生確保に向けた取組を行うことで、定員を増加した後も入学者選抜の機能を十分に維持しつつ、安定的に定員を充足できる見込みである。

【資料 13】 【別紙 2】

3 学生の確保の見通し等

1) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

健康科学部看護学科では大学アドミッションセンターと連携しながら、教職協働で年間を通して積極的かつ全国的な学生確保にむけた取り組みを実施している。

具体的な取り組み内容を、以下に記載する。

・オープンキャンパスの開催

健康科学部看護学科では、同じ習志野キャンパスに設置されている薬学部および理学部との同時開催で、夏期 2 日間のオープンキャンパスを開催している。過去 5 年間の開催では、令和元年度は、夏期 269 名を動員した。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症禍により、開催を断念した。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために WEB 開催とし、学部長動画、入試委員長動画の他、学部施設の案内を広報委員会が中心となりリアルタイムで配信した。結果として夏期 2 日間で 178 名の参加があった。

令和 4 年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止の中、予約定員制により対面での実施を再開し、330 名の参加があり盛況であった。令和 5 年度は通常開催となり、345 名で今までを大きく上回る参加実績となっている。なお、新型コロナウイルス感染症による制限なく実施できた令和 5 年度のオープンキャンパスの内容は、健康科学部看護学科の入試概要説明、学部概要説明、在校生によるキャンパスツアーや学生生活の紹介、個別相談、看護師体験（高齢者体験や高機能シミュレーターモデル SCENARIO を使用した重症患者の観察体験、小児ケア体験など）などであ

る。

個別相談会においては高校生や同伴の保護者の相談に直接答える機会としている。この個別相談会には、教員の他、1年生から4年生の在校生もボランティアとして参加し、高校生や保護者の疑問・相談に乗ることで、看護師に興味を持ち、入学後の期待や学習意欲を高め、健康科学部看護学科に入学後の学生生活のイメージを明確に持つことができるように工夫をしている。

なお、前述の入試概要説明会では説明しきれない学部の詳細な教育内容や学生支援体制などを紹介する大学案内等も配布しており、これは以下の「土曜キャンパス見学会・受験対策講座」や「出張講義」「高校訪問」などの取り組みについても同様である。

・土曜キャンパス見学会・春のキャンパス見学会・受験対策講座

令和3年度は5日間開催し、健康科学部看護学科参加者総数は計10回で134名、令和4年度は6日間で165名の参加があった。令和5年度は現在までで152名（春のキャンパス見学会は3月実施予定）以上の参加者数となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度のオープンキャンパスが中止になったこと、令和3年度のオープンキャンパスがWEB開催になったことから、新たな取り組みとして小論文対策講座、面接対策セミナーなど、志願者確保のための受験生対策講座を実施している。

土曜キャンパス見学会や春のキャンパス見学会では在校生によるキャンパスツアーを実施し、看護系だけでなく書籍があるメディアセンターや施設を直接見ることで、自然科学系の総合大学で学ぶメリットを在校生自身が伝える機会を設けている。

【別紙3】

・WEBサイトによる情報発信

WEBサイトによる情報発信については、大学サイトの情報として「大学・学部案内」「入試情報」「進路・就職」「国際交流」「学生生活（キャンパスライフ）」等の項目を設けており、高校生にわかりやすい構成としている。また健康科学部看護学科のサイトから、進学情報などリンクを張り、多くの高校生が携帯するスマートフォンでも見やすい工夫がなされている。また、オープンキャンパスや入試情報を広く告知するため、SNSや進学情報サイトを通して健康科学部看護学科への特設サイトへの誘導を促進していきたいと考えている。

・出張講義・高校訪問の推進

高等学校からの依頼と仲介業者からの依頼により、本学教員が高等学校に出張し、看護専門分野における講義を直接行うなど、健康科学部看護学科での学びを体感してもらう機会としてとらえている。これは健康科学部看護学科や入学後の学習意欲向上を図るものであり、今後も積極的に実施する計画である。なお、令和5年度の出張講義の実施実績は資料のとおりである。

【資料14】

高校訪問については、コロナ禍前より健康科学部看護学科教員全員が千葉県内45校の高等学校を訪問し、本学の入試方式の他、特色ある教育、教育理念やアドミッションポリシーの周知に尽力している。コロナ禍においては健康科学部看護学科をはじめ他学部への進学実績がある314校に郵送にて広報活動を行い、さらにWEBを活用し個別相談を実施した。現在各種出張授業や随時大学見学の受け入れを行うなど、高等学校や高校生にとって身近な大学・学部を目指して取り組んでいる。また、健康科学部看護学科新入生と協働した取り組みとして母校への訪問活動や在校生メッセージの送付を実施している。母校訪問については学生自身が、卒業した高等学校に訪問し、先輩として本学の特徴などを自らの体験を踏まえて説明し、理解を深めていただく機会としている。また在校生メッセージについては、健康科学部看護学科に入学後の大学生活の状況を書面によるメッセージとして各学生の母校である高等学校に郵送し、高校教員や高校生にとってより身近な学部として理解を深める取り組みを行っている。

イ 新設組織における取組と目標

増員認可後の学生確保に向けた取り組みとして、これまでの健康科学部看護学科にて行ってきた上記に記載された取り組み体制を継続・発展させ、本学創立 100 年近い歴史と伝統を生かし、自然科学系総合大学として他学部および本学医療センター3 病院と連携し、充実した看護教育、卒後教育が実施されているという特色を強く PR していく。

また、コロナ禍で培われた WEB 等を活用するなど積極的に DX 化をすすめ、オープンキャンパスや健康科学部看護学科の授業体験をバーチャルで体験できるようにするなど、遠方の学生にも寄り添う積極的な広報活動の強化を進めていきたいと考えている。この高等学校への広報活動は、短期的には健康科学部看護学科の認知向上と受験促進を行っていくものであるが、中期的には各高等学校に、正確かつ具体的に理解していただくことを意図している。長期的には高大連携の一環として、高等学校側にとっては、高校生や保護者が進路を考える上でのきっかけを提供することであり、本学にとっては高大連携を通して健康科学部看護学科における授業や学生支援における意識改革を促進するものである。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

令和 5 年度入試状況と学生募集のための PR 活動の実績から、見込まれる入学者数を分析すると、オープンキャンパスにおいては 330 名の参加者のうち、受験対象者数は 153 名 (46.4%)、そのうち入学者は 32 名で、入学率は 20.9% である。令和 5 年度はコロナ禍以前まで参加者数は戻っていないものの、今後少なくとも見積もって 350 名程度の参加者を見込んだ場合、34 名の入学者は確保できると見込まれる。同様に、土曜キャンパス・春キャンパスにおいては、令和 5 年度は 165 名の参加者のうち 123 名が受験対象者 (74.5%) であり、うち入学者数は 27 名 (22.0%) である。今後の参加者見込みを令和 5 年度程度 165 名と考えても 27 名の入学者を見込める。受験対策講座 (小論文対策講座) に関しては、令和 5 年度 66 名の参加者が受験対象者であり、そのうち入学者は 13 名 (19.7%) であった。今後も 70 名程度の参加者を見込んだ場合 14 名の入学者を確保できる。今後同様の取り組みを行った場合、少なくとも見込んで 75 名の確保が見込め、さらに PR 活動として WEB サイトによる情報発信、出張講義、高校訪問を行っているため 80 名以上の定員確保は十分見込める。

以上のとおり、健康科学部看護学科では学生募集活動において様々な取り組みを行い、積極的な広報活動を展開しており、今後さらなる取り組みを計画している。平成 29 年開設後、開設 4 年目に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一時広報活動が縮小化された。しかし志願者数、入学者数いずれも定員を充足するに十分な数で推移していることから、現在の体制を継続し、さらに発展させることにより、健康科学部看護学科においては志願者数 2 割増により、入学定員を十分確保できるものと考えられる。

【別紙 3】

2) 競合校の状況分析 (立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

(1) 競合校の選定理由

東邦大学は、医療系を軸とした理系みの私立総合大学であり、大森キャンパスに 2 学部 (医学部、看護学部)、習志野キャンパスに 3 学部 (薬学部、理学部、健康科学部) を有している。また、医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師の実習が可能な付属病院として東邦大学医療センター大森病院・大橋病院・佐倉病院の 3 箇所を擁しており、特に健康科学部看護学科と同じ千葉県内に位置する佐倉病院では、看護師として多くの卒業生が活躍している。地域医療支援病院に指定されている付属病院での臨床実習は、地元就職を促し、千葉県内の地域医療に強く貢献できている。

令和 6 年 1 月現在、千葉県にキャンパスがある看護系四年制大学は 17 校あり、う

ち 13 校は保健医療区分である千葉、東葛南側、東葛北部、印西に位置している。この中で、健康科学部看護学科への通学経路である JR 線沿線、私鉄沿線にある千葉県内の順天堂大学医療看護学部（浦安市）、淑徳大学看護栄養学部（千葉市）、東京医療保健大学千葉看護学部（船橋市）、国際医療福祉大学成田看護学部（成田市）の 4 校を競合校として挙げた。類似性については以下の通りである。

（類似性）

- ①いずれの大学も健康科学部看護学科と同じく千葉県に医療系学部を有する私立大学であり、複数のキャンパスおよび複数の学部、学科、研究科を有している。また、看護学部（看護学科）開設時期が、平成 16 年から平成 30 年と平成に入ってからでの開設で、健康科学部看護学科開設時期と近い。
 - ②立地条件は JR 線や私鉄の沿線にあり、交通の面からみても通学がしやすい。
 - ③取得資格は、看護師免許、保健師免許、養護教諭 2 種免許、第 1 種衛生管理者免許が共通の取得免許である。なお、保健師免許取得希望学生は、いずれの大学も選抜方法をとっている。
 - ④学生納付金比較では、1 年目の入学金や授業料、施設設備費、実験実習費については、大きな差は無く、標準的な金額に設定している。
- 以上の類似性から、受験者層も似通っていると推察される。

【資料 15】

（2）競合校との比較分析

健康科学部看護学科は、競合校として選定した 4 校と比較し、以下の優位性を有していることから定員増加後の学生確保も期待できる。

（優位性）

- ①健康科学部看護学科の教育の特徴は、トランスレーショナル教育にある。トランスレーショナル教育は、4 つの看護領域（トランスレーショナル、ファミリーヘルス、コミュニティヘルス、プレ・プロフェッショナル）にとどまらず、看護に関連する学問の知識と技術を学生の成長に合わせてスパイラルに移転することにある。
- ②健康科学部看護学科の教員 1 人あたりの学生数（S/T 比）は令和 5 年度においては、本務教員 26 名（基幹教員 15 名、基幹教員以外の教員 11 名）に対し 9.2 人と他の競合校よりも最も低く、令和 7 年度に収容定員を 320 名に増員しても本務教員 28 名（基幹教員 22 名、基幹教員以外の教員 6 名）に対し S/T 比は 11.4 人であり、引き続き学生に対し手厚い教育を提供できる。

【資料 16】

- ③入試（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）について、競合校の受験時期は総合選抜が 9 月から 10 月、推薦選抜が 11 月中旬頃、一般選抜が 1 月末から 2 月上旬よりそれぞれ開始されており、ほぼ同時期に入試が実施されている。これは、大学入学者選抜実施要項に則った入試時期設定のためである。この同時期の入試期間であっても、健康科学部看護学科は安定して志願者を獲得できている。

【資料 1】 【資料 17】

- ④健康科学部看護学科のストレート卒業率は、過去 3 年 95%以上を維持し、看護師国家試験合格率は設置以来 100%を維持し続けている。

【資料 2】 【資料 18】

- ⑤健康科学部看護学科の過去 3 年間の就職率は、100%を維持している。特に千葉県内の病院・官公庁等への就職者数は全体の 60%以上を占め、特に県内の医療機関に在職し、千葉県における看護師需給不足の解消に貢献できる強みを持っている。

【資料 19】

- ⑥健康科学部看護学科は医学部を有する自然科学系総合大学の 1 学部であるため、他学部との合同授業および学部間の連携教育が活発である。

本学習志野キャンパスには健康科学部看護学科をはじめ薬学部、理学部を有してい

る。そのため、1年次に習志野共通教育科目として「人間と生命」を開講している他、スポーツ健康科学実技（演習科目）では、組織横断的なカリキュラムとなっており薬学部、理学部の学生と共同で体育を行い、学生間の交流を深めている。また、5学部合同の実用医療英語やチーム医療演習、生命倫理シンポジウムなど習志野キャンパスだけではなく大森キャンパスの医学部、看護学部との合同授業も実施している。

さらに、令和2年度には文部科学省感染症医療人材養成事業に採択され、医学部とともにVRを活用し、感染症に対する高度な知識を身に着けた医療人材養成や、令和4年度に採択されたポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業では、医療に関する倫理的課題のうち薬害について医学部学生と共同演習を行い、多職種連携学習（IPE）だけではなく洗練された倫理観を養うなど、本学の特性を大いに生かした教育活動を実践している。

イ 競合校の入学志願動向等

健康科学部看護学科の競合校として選択した順天堂大学医療看護学部、淑徳大学看護栄養学部、東京医療保健大学千葉看護学部、国際医療福祉大学成田看護学部の入学定員総数は520名で、令和5年度入学者選抜試験においては、志願者数3,830名、入学者565名、志願者率7.5、定員充足率108.7%である。

健康科学部看護学科の競合校の志願者率や定員充足率が良好であることを判断して、十分に学生を確保することができる見通しである。

【資料20】

ウ 学生学納金等の金額設定の理由

学生納付金は、下記のとおり設定している。

入 学 金：300,000円

授 業 料：春学期・秋学期 各475,000円（2年次以降は各475,000円）

教育充実費：春学期 150,000円

秋学期 350,000円（2年次以降は各400,000円）

定員増後もこれまでの教育研究費や大学運営上の管理経費の推移と今後の教育研究環境の維持・充実に資することを勘案し、入学金や授業料等の学生納付金は従来と変更しない。

1年目の入学金や授業料、施設設備費、実験実習費については、健康科学部看護学科が競合校と考えている順天堂大学医療保健学部、淑徳大学看護栄養学部、東京医療保健大学千葉看護学部、国際医療福祉大学成田看護学部と比べても大きな差は無く、標準的な額に設定していると考ええる。

【資料15】

3) 先行事例の分析

本学においては、定員増であり組織の変更ではないので該当しない。

4) 学生確保に関するアンケート調査

健康科学部看護学科に対する進学需要の見通しを客観的に確認するために、第三者機関（株式会社進研アド）に委託のうえ、高校2年生を対象としたアンケート調査を実施した。令和5年度入試における健康科学部看護学科の受験実績、入学実績ならびに併願校等を勘案のうえ高等学校を抽出し、205校（20,075名）に依頼し、173校（13,070件）（有効回収数65.1%）とイベント参加者14件、合計13,084件の回答があった。

アンケートの実施時期は令和5年9月から令和6年1月下旬で行ったが、この時期は高校2年生の進路の検討に入り、志望校の選定に入る時期である。そのため希望する分野がある程度明確な中での調査時期と考える。

前文にも記載した通り、アンケート調査対象校の選定理由として、受験実績ならびに入学実績のある高等学校のほか、これら志願実績の多い地域である千葉県、東京都、

茨城県、埼玉県、神奈川県にある通学圏内かつ大学進学実績のある高等学校、さらにオープンキャンパス来校者実績から選定した。

本アンケートを集計した結果、卒業後の進路選択として私立大学の進学希望者が全体の85.7%であった。令和6年度の18歳人口(109万人)に対して大学進学率が6割以上と見込まれることから、本アンケートを実施した高等学校の進学希望率は高いと思われる。また、健康科学部看護学科に関わらず、「看護学分野」に関心を持っている学生が2,065名、うち私立大学進学希望者ベースでも1,467名もいることから、看護学分野に興味を示している学生は多く、本学の健康科学部看護学科への需要も高いと思われる。

健康科学部看護学科は、医療系学部を有する自然科学系総合大学の1学部であるとともに、次世代の看護を担う人材育成にむけトランスレーショナル教育を特徴の一つとして掲げ、各専門分野が枠を超えて連携しながら知識・技術の定着を図る教育を行っている。その教育効果として開設以来、看護師国家試験合格率は100%を保っている。そこで、健康科学部看護学科の受験・入学意向を特定するため本アンケートの中に「チーム医療・多職種連携など学部を越えた共通教育の実践」や「4年間を通して段階的に成長できるトランスレーショナル教育」「高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践」など5問の設問を入れており、それぞれについてどの程度魅力を感じるかを調査した。その結果、いずれについても90%以上が魅力を感じると回答しており、本学を第一希望で受験すると回答していない学生にもこの魅力は高く評価されていることがわかった。今回の調査結果は、対象は高校2年生であること、またリーフレットを読んだ中で本アンケートに答えていることを鑑みると、今後健康科学部看護学科の広報活動を充実させることで、より一層受験、あるいは入学希望者を確保できると考える。

以上のことから、回答者13,084名のうち、看護学分野に関心があり、健康科学部看護学科を受験する意向のある者は538名、そのうち第一希望で入学の意向のある者は65名となることから、受験者および入学者を確保することは可能であると結論づける。

【資料21】

5) 人材需要に関するアンケート調査等

健康科学部看護学科では、健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的としている。そこで、健康科学部看護学科における現状把握し分析の客観性を確保するため、第三者機関(株式会社進研アド)に委託のうえ、就職先として想定される病院・団体(訪問看護ステーション、診療所・クリニック等)の517施設を対象に令和5年9月4日から10月24日の期間でアンケート調査を実施し、141施設から回答(有効回答率27.3%)を得た。なお、今回のアンケート回答者の50.4%は、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人事担当者であり、信頼性が高い意見を聴取できていると考えている。

属性については、本社(本部)所在地は「千葉県」が83.0%と最も多く、種類は「病院」53.2%および「訪問看護ステーション」44.7%が全体の98.6%をしめ、従業員数(正規社員・職員)規模は「100名~500名未満」36.9%、「500名~1,000名未満」11.3%と続き、100名以上の比較的規模が大きい病院・団体が半数を占めている。

回答病院・団体の過去3か年間の平均的な正規社員・職員採用数は、「1名~5名未満」が44施設(31.2%)と最も多く、一方で「100名以上」も16施設(11.3%)あり、施設の規模によると思われるばらつきがあった。また、本年度の採用予定数は、123施設(87.3%)が昨年並みかそれ以上の採用を予定しており、回答施設の半数以上が「増やす」予定であった。採用したい学問分野について複数回答で質問したところ、「看護学(保健看護学含む)」が133施設(94.3%)と、医学、歯学、薬学等医療系の中でも看護学を学んだ人材の採用予定が多く看護師の十分な需要が確認できた。

また、健康科学部看護学科の特色について、全ての項目で約9割が「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答しており、特に「チーム医療・多職種連携

など学部を超えた共通教育の実践」に魅力を感じていることが確認でき、医療現場のニーズに合致していた。以上の特色を踏まえた健康科学部看護学科の社会的必要性について、「必要だと思う」と回答した病院・団体は 138 施設 (97.9%) となり、多くの施設がこれからの社会にとって必要な学部・学科と捉えていることがうかがえた。

健康科学部看護学科の学生に対する採用想定人数に係る合計数は 316 名が見込め、卒業生数 80 名に対し約 4 倍の需要があり、今回の調査対象には含めなかった保健師としての就職先（保健所、自治体等）や本学の千葉県以外の付属病院を含めると人材需要はさらに高くなると言える。

以上のことから、千葉県の看護職の深刻な人材不足が続く中、社会の健康科学部看護学科の卒業生に対する人材需要は高く、定員増により地域に貢献しうる。

【資料 22】

4 新設組織の定員設定の理由

健康科学部看護学科を開設した平成 29 年度以降、千葉県内において四年制大学（看護学科）は本学を含め 7 校で開設され、県内における看護学生総数は増加した。

就業看護師数は年々増加しているが、未だ県内の需給は極めて低い状況である。したがって、近年の社会的要請である看護職員の養成的拡充強化および資質向上のために、大学における看護職員の養成数を増加させ、県内に定着させることが急務と考え、健康科学部看護学科の入学定員を令和 7 年 4 月 1 日より 80 名（20 名の増員）、収容人数を 320 名（80 名の増員）とする。

入学定員を 20 名増員するにあたっては、近年の志願者数や公的機関の統計調査の公表データを踏まえると共に、教育課程の内容や教育方法、指導体制を含めた教員組織、大学全体の施設・設備など教育上の諸条件を鑑みた上で、教育効果が十分に確保できる範囲での定員増加になるように留意した。

また、令和 5 年 3 月現在の入学定員は、千葉県にキャンパスがある私立看護系大学 17 校の内、6 校が 80 名、7 校が 100 名に設定しており、17 校の入学定員の中央値は 100 名であることから本学の 80 名の設定は適切と判断した。

【資料 23】

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料 1	過去 3 年間のストレート卒業率および国家試験合格率	P. 2
資料 2	過去 3 年間千葉県内の就職者数	P. 3
資料 3	学生の出身都道府県別入学者数	P. 4
資料 4	高等学校（全日制・定時制）の大学進学状況	P. 5
資料 5	令和 4 年度私立大学・短期大学等入学志願動向	P. 6
資料 6	高校生に聞いた大学ブランドランキング 2023（抜粋）	P. 7
資料 7	千葉県における就業看護師数の推移	P. 10
資料 8	千葉県における看護職員離職率	P. 11
資料 9	大学等進学者数に関するデータ（中央教育審議会資料）（抜粋）	P. 12
資料 10	高校生と保護者の進路に関する意識調査（抜粋）	P. 14
資料 11	令和 5 年度私立大学・短期大学等入学志願動向 地域別の動向（大学・学校別）	P. 18
資料 12	出身高校の所在地別入学者数	P. 19
資料 13	過去 4 年間の入学選抜試験結果・入学定員の充足・収容定員充足の状況	P. 20
資料 14	令和 5 年度高校出張講義一覧	P. 21
資料 15	競合校との開設年度と学納金比較	P. 22
資料 16	競合校との教員 1 名当たりの学生数（S/T）比較	P. 23
資料 17	競合校の入学試験関連日程比較（令和 6 年度）	P. 24
資料 18	競合校との国家試験合格率比較（令和 4 年度）	P. 25
資料 19	競合校との就職率比較（令和 4 年度）	P. 26
資料 20	競合校の入学者選抜試験結果（令和 3～5 年度）	P. 27
資料 21	入学定員増に関するニーズ調査結果報告書（高校生対象調査）	P. 28
資料 22	入学定員増に関するニーズ調査結果報告書（病院・団体対象調査）	P. 53
資料 23	千葉県内における看護系大学一覧	P. 68
別紙 1	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	P. 69
別紙 2	既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）	P. 70
別紙 3	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	P. 71

過去3年間のストレート卒業率および国家試験合格率

(東邦大学健康科学部看護学科)

年 度	卒業者数	ストレート 卒業者数	ストレート 卒業率	看護師 国家試験	保健師 国家試験
令和2年	75名	75名	96.2 %	100.0 % (90.4 %)	100.0 % (94.3 %)
令和3年	64名	63名	96.9 %	100.0 % (91.3 %)	100.0 % (89.3 %)
令和4年	61名	61名	95.3 %	100.0 % (90.8 %)	95.0 % (93.7 %)

※ () 内は全国平均

過去3年間千葉県内の就職者数

(東邦大学健康科学部看護学科)

年 度	合 計		千葉県内	千葉県外	その他
	卒業者数	就職者数	就職者数	就職者数	(進学など)
令和2年	75名	72名	47名(65.3%)	25名(34.7%)	3名
			(再掲) 病院 46名 公務員 1名	(再掲) 病院 24名 公務員 1名	
令和3年	64名	63名	40名(63.5%)	23名(36.5%)	1名
			(再掲) 病院 39名 公務員 1名	(再掲) 病院 23名 公務員 0名	
令和4年	61名	60名	36名(60.0%)	24名(40.0%)	1名
			(再掲) 病院 35名 公務員 1名	(再掲) 病院 24名 公務員 0名	

学生の出身都道府県別入学者数

(東邦大学健康科学部看護学科)

年度	千葉県	東京都	茨城県	埼玉県	その他	入学者総数
平成29年	58	11	1	4	4	78
	(74.4%)	(14.1%)	(1.3%)	(5.1%)	(5.1%)	
平成30年	45	13	3	1	3	65
	(69.2%)	(20.0%)	(4.6%)	(1.5%)	(4.6%)	
令和元年	52	8	0	1	3	64
	(81.3%)	(12.5%)	(0.0%)	(1.6%)	(4.6%)	
令和 2年	53	7	3	1	1	65
	(81.5%)	(10.8%)	(4.6%)	(1.5%)	(1.5%)	
令和 3年	45	14	2	3	4	68
	(66.2%)	(20.6%)	(2.9%)	(4.4%)	(5.9%)	
令和 4年	52	12	1	1	2	68
	(76.5%)	(17.6%)	(1.5%)	(1.5%)	(2.9%)	
令和 5年	56	7	3	0	2	68
	(82.4%)	(10.3%)	(4.4%)	(0.0%)	(2.9%)	

高等学校(全日制・定時制)の大学進学状況

大学入学年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	5年間 平均
全国	高校 卒業生数	人 1,069,568	1,056,378	1,050,559	1,037,284	1,012,007	990,230	962,009	1,010,418
	大学 進学者数	人 584,785	577,562	573,809	577,816	579,870	588,185	583,762	580,688
	大学 進学率	% 54.67%	54.67%	54.62%	55.70%	57.30%	59.40%	60.68%	57.47%
志願者 上位 4都県	高校 卒業生数	人 234,202	233,549	232,895	229,746	226,602	223,431	218,365	226,208
	大学 進学者数	人 140,587	138,637	138,502	139,385	142,400	146,405	145,850	142,508
	大学 進学率	% 60.03%	59.36%	59.47%	60.67%	62.84%	65.53%	66.79%	63.00%
千葉県	高校 卒業生数	人 49,330	49,149	48,998	48,289	48,202	46,852	45,820	47,632
	大学 進学者数	人 27,450	27,348	26,950	27,005	28,017	28,714	28,600	27,857
	大学 進学率	% 55.65%	55.64%	55.00%	55.92%	58.12%	61.29%	62.42%	58.48%
東京都	高校 卒業生数	人 102,326	101,782	101,723	100,178	98,943	98,713	96,812	99,274
	大学 進学者数	人 67,416	65,814	66,150	66,643	68,181	70,457	70,389	68,364
	大学 進学率	% 65.88%	64.66%	65.03%	66.52%	68.91%	71.38%	72.71%	68.86%
茨城県	高校 卒業生数	人 25,284	25,648	25,182	24,636	24,359	23,813	23,287	24,255
	大学 進学者数	人 12,764	12,940	12,701	12,645	12,814	13,052	13,011	12,845
	大学 進学率	% 50.48%	50.45%	50.44%	51.33%	52.60%	54.81%	55.87%	52.96%
埼玉県	高校 卒業生数	人 57,262	56,970	56,992	56,643	55,098	54,053	52,446	55,046
	大学 進学者数	人 32,957	32,535	32,701	33,092	33,388	34,182	33,850	33,443
	大学 進学率	% 57.55%	57.11%	57.38%	58.42%	60.60%	63.24%	64.54%	60.75%

(出典) 文部科学省学校基本調査より

志願者上位4都県は、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県を合計したもの
大学進学者は、大学・短期大学の通信教育部への進学者を除く進学者

令和元年度：<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031893956&fileKind=0>令和2年度：<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032040664&fileKind=0>令和3年度：<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032156133&fileKind=0>令和4年度：<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032264966&fileKind=0>令和5年度：<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000040128452&fileKind=0>

令和4年度私立大学・短期大学等入学志願動向

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	平均
入学定員	9335	9150	9203	9723	9978	9477.8
志願者数	56868	54346	50733	51399	48896	52448.4
入学者	9604	9406	9453	9894	9900	9651.4

出典：

日本私立学校振興・共済事業団「令和4（2022）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」令和4年9月

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR4.pdf>

Press Release

※7月27日 リリース内2か所の記載に誤りがあったため訂正いたしました。
①P6:近畿大学の連続取得年数 ②P17:大和大学の主な動き内容

2023年7月27日

リクルート進学総研

高校生の「志願したい大学」

【関東】早稲田大学が3年連続1位

【東海】名城大学が7年連続1位

【関西】関西大学が16年連続1位

高校生に聞いた 大学ブランドランキング『進学ブランド力調査2023』

調査期間：関東：2023年4月3日（月）～4月28日（金）

東海・関西：2023年3月31日（金）～4月28日（金）より

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する、『リクルート進学総研』（所長：小林 浩）は、高校生の大学選びの動向を明らかにするため、2008年より進学ブランド力調査を実施しております。このたび2023年の調査結果がまとまりましたので、一部ご報告いたします。

関東・東海・関西エリアの「志願したい大学」ランキング…P4～P6

	関東	東海	関西
全体	早稲田大学 (昨年1位)	名城大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)
男子1位	<u>早稲田大学 (昨年2位)</u>	名城大学 (昨年1位)	<u>関西大学 (昨年2位)</u>
女子1位	早稲田大学 (昨年1位)	名城大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)
文系1位	<u>明治大学 (昨年3位)</u>	南山大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)
理系1位	<u>東京理科大学 (昨年2位)</u>	<u>名城大学 (昨年2位)</u>	大阪公立大学 (昨年1位)

- 関東エリアでは全体で「早稲田大学」が3年連続で1位となり、「明治大学」が2位となった。
- 東海エリアでは全体で「名城大学」が7年連続で1位となり、「名古屋大学」が2位となった。
- 関西エリアでは全体で「関西大学」16年連続で1位となり、「大阪公立大学」「近畿大学」が2位となった。

関東・東海・関西エリアの「知っている大学」ランキング…P7

	関東	東海	関西
全体 1位	早稲田大学 (昨年1位)	東京大学 (昨年1位)	<u>近畿大学 (昨年3位)</u>

関東・東海・関西エリアの「大学のイメージ」ランキング…P8～9

		関東	東海	関西
「活気がある感じがする」	1位	青山学院大学 (昨年1位)	<u>青山学院大学 (昨年5位)</u>	近畿大学 (昨年1位)
「学校が発展していく可能性がある」	1位	東京大学 (昨年1位)	東京大学 (昨年1位)	<u>大和大学 (昨年19位)</u>
「教育方針・カリキュラムが魅力的である」	1位	早稲田大学 (昨年1位)	<u>京都大学 (昨年3位)</u>	<u>京都大学 (昨年2位)</u>
「多様な」	1位	東京大学 (昨年1位)	東京大学 (昨年1位)	<u>京都大学 (昨年4位)</u>
「おしゃれな」	1位	青山学院大学 (昨年1位)	青山学院大学 (昨年1位)	<u>国際ファッション専門職大学 (昨年16位)</u>

※調査データの引用を希望される際は、“「進学ブランド力調査2023」リクルート進学総研調べ”と明記いただき、広報までご一報いただけますと幸いです。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

『リクルート進学総研』WEBサイト <https://souken.shingakunet.com/>

(資料は抜粋しております)

■ 進学ブランド力調査2023を見る視点の解説

◆ 関西エリアで大阪公立大学が同率2位に

3エリアとも志願したい大学のトップは変化がなかったが、関西では昨年誕生した大阪公立大学が、昨年から1ランクアップし近畿大学と並んで同率2位となった。公立の大規模総合大学として存在感が増している。

◆ 高校生の進学希望分野動向3つの変化

1. 工学系以外の「情報」系希望者が増加

工学系でない「情報」系希望者が年々増加。課題を整理し、分析した上で、活用できる人材育成への期待が高まり、文理融合・文理横断の教育の必要性が盛んに聞かれるようになったこと、工学系以外の情報系学部が増加していることが背景にあると考えられる。

2. コロナ禍の影響が色濃く残る「観光」「外国語」「国際」系の減少

「観光・コミュニケーション・メディア」「外国語」「国際関係・国際文化」はコロナウイルス感染拡大が始まった2021年より減少しており、コロナ禍が落ち着いた今年は回復が期待されたが、いずれも減少が止まらず。今後、海外との交流がどれくらい戻るのが鍵となりそう。

3. 女子のキャリア志向の変化を背景に「教育・保育」「家政・生活科学」の減少が続く

女子のキャリア志向が変化しており、従来女子に人気のあった「教育・保育」「家政・生活科学」「外国語」「看護」系が減少傾向にあり、「医学・歯学」「生物・農」「美術・デザイン」系が増加傾向にある。長期的に見ると、女子では法律、経済・経営・商といった社会科学系の分野も増加傾向にあり、卒業後のキャリアを意識した進路選びが広がっている。女子大等は、従来の認識に縛られず、将来を見据えて女性のキャリアに合致した学部学科のラインアップを考える時期に来ている。

◆ 3エリアとも私立大学志向が高まる。関西・東海で私立志向が過去最高に

従来より関東は私立志向が強かったが、国公立・私立が拮抗していた関西では6年連続で私立志向が上昇、従来より国公立志向が強かった東海においても私立志向が4割に達した。関西、東海エリアでは、私立志向が過去最高となった。背景としては、以下の2点があるように思われる。

1. 年内入試の拡大&2025年新課程入試

2025年には新課程入試が実施される。現在の教科・科目とは大きく異なることから、今年の高3年生は浪人を避け、現役合格を目指す層が増えると想定される。私立は年内入試での入学者が6割に達し、年内入試の選択肢も多いことから、早期にチャレンジの機会が多い私立を志向する層が増えていると考えられる。

2. 就学支援制度の拡充

2020年より導入された就学支援制度だが、2024年より授業料減免等を中間層まで拡大する制度改正が見込まれており、国公立と私立との授業料の差が縮小することが背景にあるのではないかと。

『リクルート進学総研』 所長 小林 浩

<プロフィール>

1988年株式会社リクルート入社。早稲田大学法学部卒。グループ統括担当や『ケイコとマナブ』商品企画マネージャー、大学ソリューション営業、社団法人 経済同友会出向（教育問題担当）、会長秘書、大学ソリューション推進室長などを経て、2007年4月より現職。

文部科学省中央教育審議会高大接続特別部会委員、高大接続システム改革会議委員などを歴任。現、中央教育審議会大学分科会臨時委員。

『リクルートカレッジマネジメント』編集長



『リクルート進学総研』について

高校生、進路選択に関する調査研究機関として、以下の活動を行っています。

- ・全国の大学、短期大学、専修学校など、高等教育機関の経営層向けの専門誌『カレッジマネジメント』の発行
- ・高校の先生を読者対象とする進路指導、キャリア教育の専門誌『キャリアガイダンス』シリーズの発行
- ・高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査の実施や社外に向けての情報発信

<取材にお答えできます>

- ・大学を巡る政策動向全般について
- ・高校生の進路や将来についての価値観・大学のブランド力
- ・高校生、保護者、高等教育機関についての各種データ・マーケット動向や事例など、高校生から大学経営まで教育に関わる内容について幅広くお答えします。

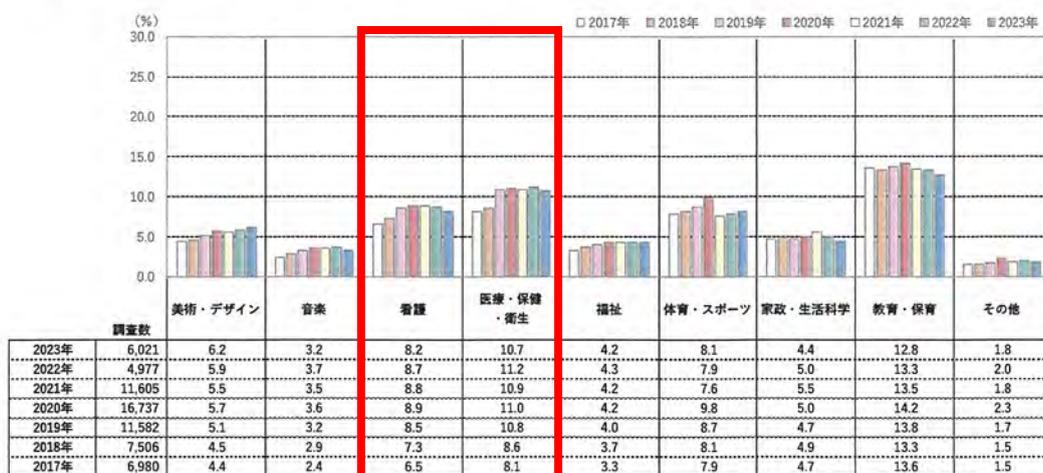
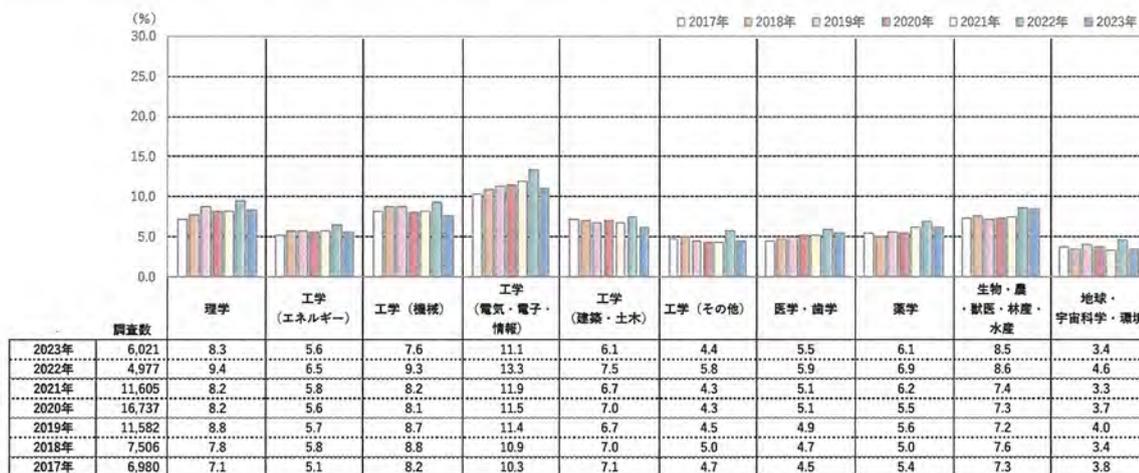
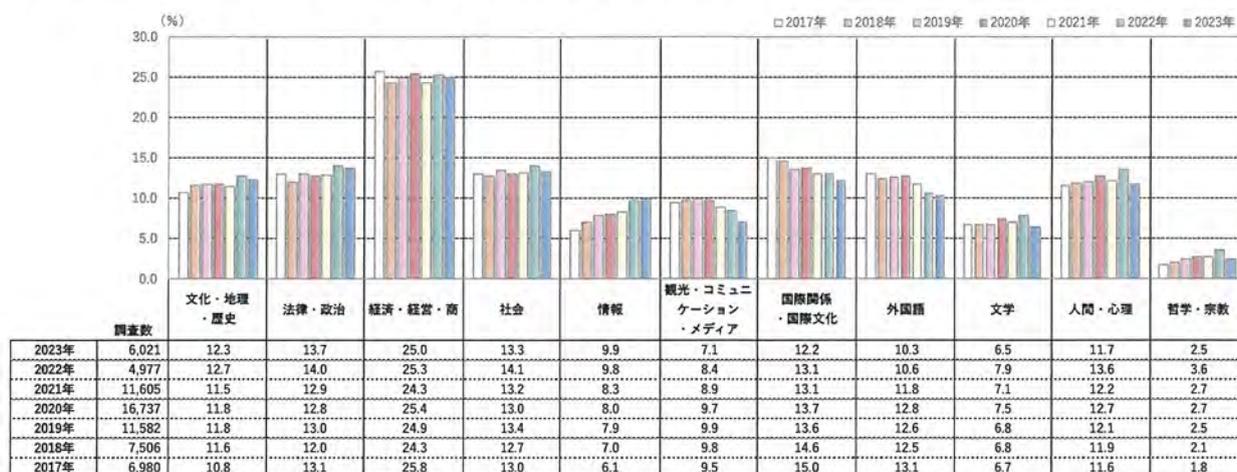
詳しくはこちらをご覧ください。

リクルート進学総研：<https://souken.shingakunet.com/>

参考資料 2-1 進学希望分野 関東・東海・関西合計

- ・「情報」分野希望者は、2017年から6年連続で増加。
- ・「美術・デザイン」「体育・スポーツ」の希望者が2年連続で増加している。
- ・「観光・コミュニケーション・メディア」「外国語」など国際関連分野や、「看護」「家政・生活科学」「教育・保育」の希望者が2年以上連続で減少している。

■ 進学希望分野（「関東」＋「東海」＋「関西」全体／複数回答） 単位：％



※東名阪を合算するに当たり、各エリア内の男女比だけでなく、3エリア間の生徒数比を加味してウエイトバックを行っている

(資料は抜粋しております)

千葉県における就業看護師数の推移

(人)

年度	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
千葉県（実数）	29,373	32,552	35,433	38,739	41,999	45,202	48,391
全国（人口10万対）	687.0	744.0	796.6	855.2	905.5	963.8	1,015.4
千葉県（人口10万対）	479.8	523.7	572.0	625.1	673.5	722.7	770.0

（※資料4-4千葉県ホームページ
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/shingikai/chii kihokeniryobukai/documents/04-4.pdf>）

千葉県における看護職員離職率

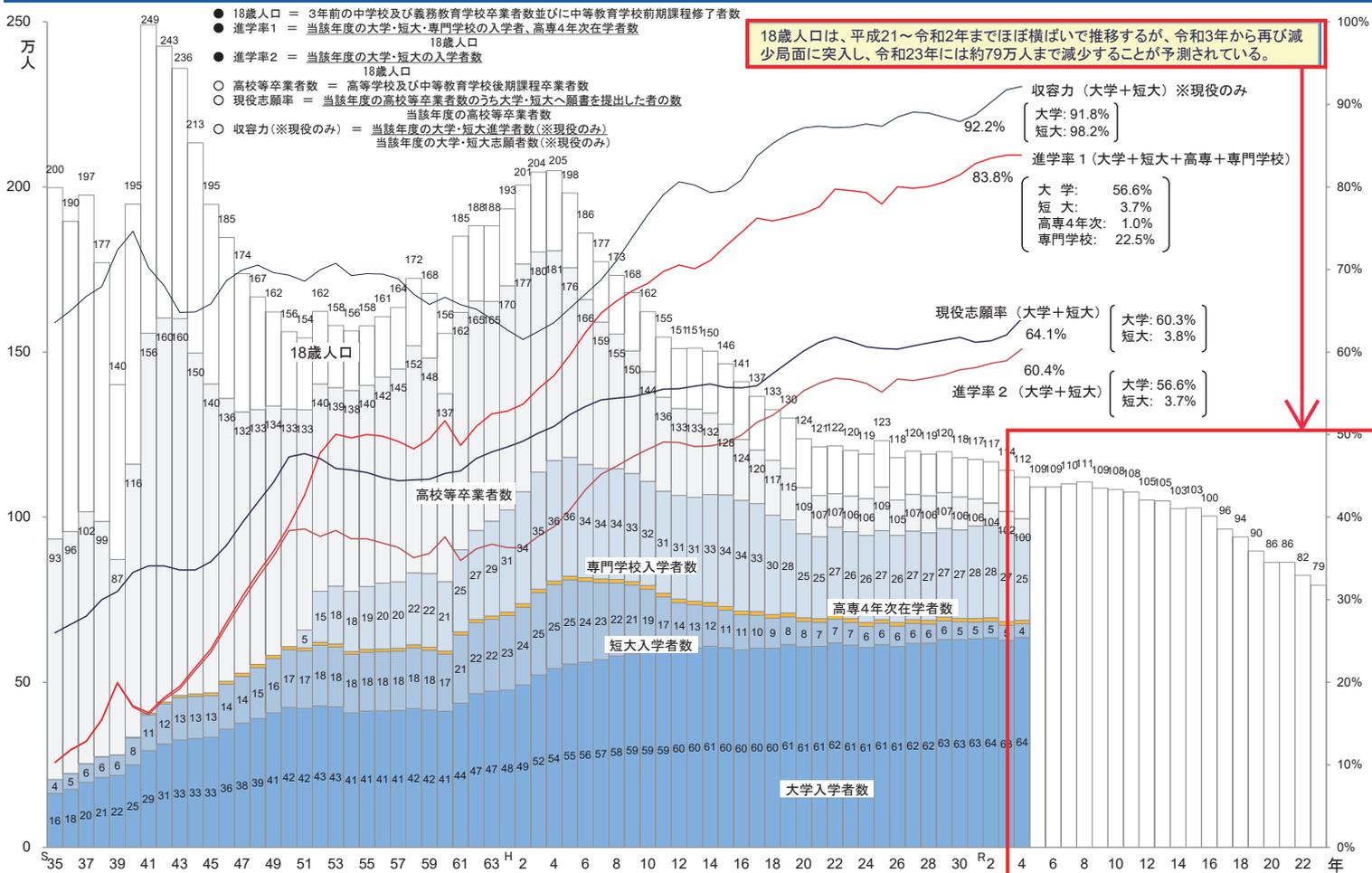
	年 度	回答施設数	正規雇用 看護職員	新卒 採用者数	既卒 採用者数
千葉県	令和2年	91	11.9 %	6.4 %	11.9 %
	令和3年	105	13.5 %	10.2 %	13.1 %
全 国	令和2年	2,432	10.6 %	8.2 %	14.9 %
	令和3年	2,659	11.6 %	10.3 %	16.8 %

※日本看護協会「2021年病院看護実態調査」「2022年病院看護実態調査」

中央教育審議会（第137回）令和5年9月25日
 配布資料1-3 参考資料集「大学等進学者数に関するデータ関係」より抜粋

大学等進学者数に関するデータ 関係

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



(参考) 2040年の各都道府県進学者数等推計 (2021年基準) ①

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
18歳人口【2021】	45,007	11,830	11,379	20,998	8,171	10,269	17,622	27,454	18,417	18,806	64,508	54,908
高校等卒業生数【2021】	40,596	11,056	10,585	19,412	7,586	9,555	16,130	25,234	17,183	16,849	56,216	49,294
大学進学者数【2021】	21,039	4,975	4,460	9,982	3,345	4,097	7,215	14,797	9,063	8,971	35,056	30,362
大学進学率【2021】	46.7%	42.1%	39.2%	47.5%	40.9%	39.9%	40.9%	53.9%	49.2%	47.7%	54.3%	55.3%
大学進学率(国公私立)【2021】	10.0%:3.4%:33.4%	12.0%:5.1%:25.0%	11.2%:5.4%:22.6%	9.3%:2.6%:35.6%	14.4%:4.4%:22.2%	11.0%:2.7%:26.2%	7.6%:3.2%:30.1%	8.5%:2.1%:43.3%	8.5%:2.0%:38.8%	7.9%:3.7%:36.0%	4.2%:0.9%:49.3%	4.3%:0.6%:50.4%
短大進学率【2021】	4.1%	4.8%	4.2%	4.6%	5.9%	4.7%	5.0%	2.7%	4.0%	4.2%	3.5%	3.1%
専門学校進学率(現役)【2021】	20.8%	14.8%	17.8%	16.2%	16.5%	18.1%	15.6%	17.2%	16.9%	15.5%	16.1%	17.6%
大学数【2021】	37	10	6	14	7	6	8	10	9	15	27	27
大学数(国公私立)【2021】	7:6:24	1:2:7	1:1:4	2:1:11	1:3:3	1:2:3	1:2:5	3:1:6	1:0:8	1:4:10	1:1:25	1:1:25
入学定員【2021】	18,806	3,363	2,509	11,511	2,090	2,766	3,579	6,461	4,668	5,785	28,855	25,751
入学定員(国公私立)【2021】	5,600:1,345:11,861	1,322:516:1,525	1,030:440:1,039	2,722:420:8,369	955:665:470	1,663:145:958	945:599:2,035	3,760:170:2,531	910:0:3,758	1,098:1,482:3,205	1,535:395:26,925	2,592:180:22,979
大学入学者数【2021】	19,119	3,407	2,544	11,713	2,075	2,792	3,451	6,697	4,823	5,983	28,847	27,402
(国公私立)【2021】	5,756:1,434:11,929	1,371:549:1,487	1,068:473:1,003	2,779:453:8,481	985:694:396	1,690:148:954	991:605:1,855	3,829:171:2,697	929:0:3,894	1,142:1,551:3,290	1,598:406:26,843	2,635:180:24,587
県外から流入【2021】	4,954	1,363	1,281	6,061	1,194	1,868	1,822	3,727	2,639	3,249	18,497	17,051
県内から流出【2021】	6,874	2,931	3,197	4,330	2,464	3,173	5,586	11,827	6,879	6,237	24,706	20,011
流出入差(流入-流出)【2021】	-1,921	-1,568	-1,916	1,731	-1,270	-1,305	-3,764	-8,101	-4,240	-2,988	-6,209	-2,961
自県進学率【2021】	67.3%	41.1%	28.3%	56.6%	26.3%	22.6%	22.6%	20.1%	24.1%	30.5%	29.5%	34.1%
18歳人口推計【2040】	28,500	6,466	6,434	13,971	4,306	5,967	10,142	17,097	11,623	11,517	46,401	39,801
大学進学者数推計【2040】	16,213	2,905	2,719	7,090	1,996	2,522	4,661	10,443	5,943	5,833	27,982	24,374
大学進学率推計【2040】	56.9%	44.9%	42.3%	50.7%	46.3%	42.3%	46.0%	61.1%	51.1%	50.7%	60.3%	61.2%
大学入学者数推計【2040】	15,553	2,772	2,070	9,529	1,688	2,271	2,807	5,448	3,924	4,867	23,468	22,292
(国公私立)【2040】	4,683:1,167:9,704	1,115:447:1,210	869:385:816	2,261:369:6,899	801:565:322	1,375:120:776	806:492:1,505	3,115:139:2,194	756:0:3,168	929:1,262:2,676	1,300:330:21,837	2,144:146:20,002
入学定員充足率推計【2040】	82.7%	82.4%	82.5%	82.8%	80.8%	82.1%	78.4%	84.3%	84.1%	84.1%	81.3%	86.6%
(国公私立)【2040】	83.6%:86.7%:81.8%	84.4%:86.6%:79.3%	84.4%:87.5%:78.5%	83.1%:87.7%:82.4%	83.9%:84.9%:68.5%	82.7%:83.0%:81.0%	85.3%:82.2%:74.2%	82.8%:81.8%:86.7%	83.1%: - :84.3%	84.6%:85.1%:83.5%	84.7%:83.6%:81.1%	82.7%:81.4%:87.0%

(参考) 2040年の各都道府県進学者数等推計 (2021年基準) ②

	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
18歳人口【2021】	104,150	78,433	19,807	9,656	10,574	7,584	7,768	20,242	20,034	34,622	71,537	17,458
高校等卒業生数【2021】	101,997	67,477	18,071	8,898	10,073	7,246	7,874	18,424	17,986	31,948	63,402	15,401
大学進学者数【2021】	76,180	44,498	8,698	4,561	5,607	4,104	5,018	9,269	9,760	16,879	38,573	7,864
大学進学率【2021】	75.1%	56.7%	43.9%	47.2%	53.0%	54.1%	64.6%	45.8%	48.7%	48.8%	53.9%	45.0%
大学進学率(国公私立)【2021】	6.7%:1.0%:67.3%	3.7%:1.2%:51.8%	9.6%:4.0%:30.4%	13.5%:5.6%:28.2%	13.7%:5.2%:34.1%	14.6%:6.3%:33.3%	9.5%:5.7%:49.4%	8.5%:4.1%:33.2%	9.1%:3.2%:36.4%	8.4%:3.9%:36.4%	9.6%:3.0%:41.3%	8.7%:2.5%:33.8%
短大進学率【2021】	1.9%	2.9%	3.8%	6.4%	5.7%	4.8%	5.4%	6.9%	5.4%	3.5%	3.1%	4.9%
専門学校進学率(現役)【2021】	11.8%	14.7%	24.6%	15.8%	13.5%	13.9%	17.9%	19.5%	12.4%	15.7%	12.1%	12.8%
大学数【2021】	146	32	22	5	14	6	7	11	13	14	52	7
大学数(国公私立)【2021】	12:2:132	2:2:28	3:4:15	1:1:3	2:4:8	1:2:3	1:2:4	1:4:6	1:3:9	2:4:8	4:3:45	1:1:5
入学定員【2021】	153,377	44,893	6,699	2,575	6,502	2,300	4,169	4,020	4,940	8,090	41,964	3,190
入学定員(国公私立)【2021】	9,716:1,570:142,091	1,662:1,130:42,101	2,467:765:3,467	1,770:495:310	1,726:590:4,186	855:450:995	825:990:2,354	1,978:960:1,082	1,240:200:3,500	2,145:935:5,010	3,976:1,764:36,224	1,310:100:1,780
大学入学者数【2021】	153,519	45,619	6,592	2,588	6,492	2,362	4,245	4,163	4,825	7,970	42,461	3,303
(国公私立)【2021】	10,055:1,592:141,872	1,697:1,174:42,748	2,547:826:3,219	1,832:480:276	1,764:620:4,108	895:485:982	851:1,075:2,319	2,023:1,007:1,133	1,265:220:3,340	2,166:1,051:4,753	4,092:1,830:36,539	1,335:102:1,866
県外から流入【2021】	100,599	28,384	3,132	1,640	3,813	1,083	3,012	2,276	2,679	3,165	14,960	1,554
県内から流出【2021】	25,261	27,263	5,238	3,613	2,928	2,825	3,785	7,382	7,614	12,074	11,072	6,115
流出入差(流入-流出)【2021】	75,339	1,121	-2,106	-1,973	885	-1,742	-773	-5,106	-4,935	-8,909	3,888	-4,561
自県進学率【2021】	67.7%	38.7%	39.8%	20.8%	47.8%	31.2%	24.6%	20.4%	22.0%	28.5%	71.3%	22.2%
18歳人口推計【2040】	102,821	57,768	12,502	6,165	7,369	5,142	5,006	12,557	12,172	21,904	54,496	11,241
大学進学者数推計【2040】	82,811	35,649	6,084	3,355	4,423	3,121	3,669	6,738	6,854	10,888	31,686	5,508
大学進学率推計【2040】	80.5%	61.7%	48.7%	54.4%	60.0%	60.7%	73.3%	53.7%	56.3%	49.7%	58.1%	49.0%
大学入学者数推計【2040】	124,890	37,112	5,363	2,105	5,281	1,922	3,453	3,387	3,925	6,484	34,543	2,687
(国公私立)【2040】	8,180:1,295:115,415	1,381:955:34,776	2,072:672:2,619	1,490:390:225	1,435:504:3,342	728:395:799	692:875:1,887	1,646:819:922	1,029:179:2,717	1,762:855:3,867	3,329:1,489:29,725	1,086:83:1,518
入学定員充足率推計【2040】	81.4%	82.7%	80.1%	81.8%	81.2%	83.5%	82.8%	84.2%	79.5%	80.1%	82.3%	84.2%
(国公私立)【2040】	84.2%:82.5%:81.2%	83.1%:84.5%:82.6%	84.0%:87.8%:75.5%	84.2%:78.9%:72.4%	83.1%:85.5%:79.8%	85.2%:87.7%:80.3%	83.9%:88.3%:80.1%	83.2%:85.3%:85.2%	83.0%:89.5%:77.6%	82.1%:91.4%:77.2%	83.7%:84.4%:82.1%	82.9%:83.0%:85.3%

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルート合同調査

第10回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
2021年
報告書

グローバル化や技術革新・AIの活用、環境問題など、急激で予測しづらい社会の変化をコロナ禍がさらに促進している今、教育においても、学習指導要領の改訂や入学者選抜改革など、戦後最大ともいわれる大きな変化の時を迎えています。このような状況の中で、高校生の進路観の育成、進路先の決定における保護者の関わりはますます重要になっています。行政、学校教育はむろんですが、高校生にとって最も身近な大人である「保護者」ができることは何でしょうか。

高校生と保護者の進路をめぐる意識と行動の実態を調べ、両者のよりよい意思疎通のあり方を研究するとともにその成果を広く社会に提言することを目的に、一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートは、全国の高校生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と様々な進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してまいりました。その10回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 泉 満
進路対策委員長 山田博章

株式会社リクルート
執行役員 教育・学習事業 山口文洋

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせ▼

(株) リクルート リクルート進学総研「キャリアガイダンス」編集部
<http://souken.shingakunet.com/>

※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』Vol.441(リクルート)にも掲載しています。

※ 出版・印刷物等へデータ転載する際には、“一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ”と付記していただきますようお願い申し上げます。

26. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の55%が、将来就きたい職業が「ある」と回答。

▶ 就きたい職業は、「公務員」「教師」が上位。

- 高校生に対して、将来就きたい職業があるかどうかを尋ねたところ、55%が「ある」と回答した。
- 時系列ではあまり大きい変化はみられない。
- 性別にみると、男子（51%）より女子（59%）で「ある」割合が高い。
- 希望進路別にみると、就職希望者（52%）より進学希望者全体（56%）の方が「ある」割合がやや高い。進学希望者全体の中でも、短大進学希望者、専門学校進学希望者で「ある」割合が顕著に高い。
- 就きたい職業が「ある」と回答した高校生に対して、就きたい職業を具体的に尋ねたところ、全体では「公務員」（9%）、「教師」（9%）、「建築士・建築関連」（7%）などが上位となった。
- 性別にみると、男子では「建築士・建築関連」、女子では「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」がトップ。
- 「公務員」については、雇用や収入が「安定している」ことを理由とする高校生が多いが、「地元に貢献したい」「国を良くしたい」などの理由もみられた。また、2番目に多い「教師」については、学校生活での教師との接触経験から「あこがれを持った」ことを理由とする高校生が多い。

【高校生】将来、就きたい職業があるか（全体／単一回答）

		(%)	ある	ない	考えたことがない	無回答
● 凡例						
2021年	全体 (n= 1815)		55.2	36.4	8.2	0.2
2019年	全体 (n= 1997)		56.7	34.8	7.1	1.4
2017年	全体 (n= 1987)		54.7	32.8	11.3	1.2
【2021年属性別】						
性別	男子 (n= 853)		50.6	38.0	11.0	0.4
	女子 (n= 895)		59.2	35.3	5.5	—
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1515)		56.0	36.5	7.3	0.1
	大学 (n= 1218)		51.8	40.8	7.2	0.2
	短大 (n= 58)		69.0	19.0	12.1	—
	専門学校 (n= 239)		74.5	18.8	6.7	—
	就職 (n= 277)		52.0	35.7	12.3	—
進路対話頻度別	話す・計 (n= 1505)		58.5	34.4	6.9	0.2
	話さない・計 (n= 297)		38.7	46.8	14.5	—

26_K.Q18

【高校生】就きたい職業ランキング（就きたい職業が「ある」かつ 職業回答者／自由回答）

全体 (n=873)	男子 (n=361)	女子 (n=480)
1 公務員 80 9.2%	1 建築士・建築関連 47 13.0%	1 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 49 10.2%
2 教師 79 9.0%	2 公務員 39 10.8%	2 教師 40 8.3%
3 建築士・建築関連 60 6.9%	3 教師 32 8.9%	看護師 40 8.3%
4 医師・歯科医師・獣医 53 6.1%	4 技術者・研究者 23 6.4%	4 公務員 36 7.5%
5 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 52 6.0%	5 医師・歯科医師・獣医 22 6.1%	5 医師・歯科医師・獣医 30 6.3%
6 看護師 51 5.8%	6 エンジニア・プログラマー・IT関連 18 5.0%	6 薬剤師 21 4.4%
7 薬剤師 38 4.4%	7 製造業(自動車・造船など) 16 4.4%	7 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連 20 4.2%
8 技術者・研究者 35 4.0%	8 薬剤師 15 4.2%	8 会社員 18 3.8%
9 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連 25 2.9%	9 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連 13 3.6%	9 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連 14 2.9%
10 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連 23 2.6%	10 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 11 3.0%	10 建築士・建築関連 12 2.5%
11 会社員 22 2.5%	プロスポーツ選手・スポーツ関連 11 3.0%	
12 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 21 2.4%		
13 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連 20 2.3%		
14 エンジニア・プログラマー・IT関連 18 2.1%		
製造業(自動車・造船など) 18 2.1%		
16 トリマー・動物関連 16 1.8%		
17 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 15 1.7%		
18 学校職員・塾講師・教育関連 14 1.6%		
インストラクター・スポーツトレーナー 14 1.6%		
プロスポーツ選手・スポーツ関連 14 1.6%		

2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業

▶保護者の77%が、「子どもが希望する職業なら何でもよい」。将来就いてほしい職業が「ある」と回答したのは14%

- 保護者に対して、将来就いてほしい職業があるかどうかを尋ねたところ、「子どもの希望する職業なら何でもよい」が77%。一方、14%が「ある」と回答した。
- 時系列では、2019年と比較して「ある」割合が微増した。
- 続柄別にみると、父親（17%）の方が母親（14%）より「ある」割合が高いが、父親では「特にない」も12%と、母親と比較して高い。
- 就いてほしい職業が「ある」と回答した保護者に対して、就いてほしい職業を具体的に尋ねたところ、「公務員」（37%）が突出して高い。
- 理由としては「安定している」ことをあげる意見が圧倒的に多い。また、看護師、医師、医療事務、薬剤師などの医療関連の職業については、安定した職を得られる資格が取得できることを理由とする意見が多いが、親の希望という以前に、「子どもが目指している」ことが前提として挙げられている。

【保護者】 将来、子どもに就いてほしい職業はあるか（全体／単一回答）

	ある	子どもが希望する職業なら何でもよい	今まで考えたことがない	特にない	無回答
●凡例					
2021年 全体 (n= 1529)	14.2	76.7	1.4	6.5	1.1
2019年 全体 (n= 1759)	11.4	78.5	1.6	5.4	3.1
2017年 全体 (n= 1722)	15.3	72.6	3.0	4.0	5.1
【2021年属性別】					
続柄別					
父親 (n= 210)	17.1	68.1	1.4	12.4	1.0
母親 (n= 1285)	13.9	78.3	1.3	5.7	0.9
子ども性別					
男子 (n= 705)	14.0	76.7	1.8	6.7	0.7
女子 (n= 804)	14.6	77.1	0.9	6.5	1.0
希望進路別					
進学希望者全体 (n= 1006)	17.6	74.5	1.4	5.7	0.9
大学 (n= 858)	17.2	74.9	1.4	5.7	0.7
短大 (n= 44)	20.5	72.7	—	4.5	2.3
専門学校 (n= 104)	19.2	71.2	1.9	5.8	1.9
就職 (n= 137)	13.1	77.4	1.5	7.3	0.7
進路対話頻度別					
話す・計 (n= 1354)	14.3	77.5	1.3	5.8	1.1
話さない・計 (n= 173)	12.7	71.1	2.3	12.7	1.2

【保護者】就いてほしい職業ランキング(就いてほしい職業が「ある」かつ 職業回答者／自由回答)

26_H,Q16

全体 (n=191)		
1 公務員	70	36.6%
2 看護師	20	10.5%
3 医師・歯科医師・獣医	17	8.9%
医療事務・医療関連	17	8.9%
5 薬剤師	10	5.2%
6 教師	8	4.2%
保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	8	4.2%
8 技術者・研究者	7	3.7%
9 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	6	3.1%
10 エンジニア・プログラマー・IT関連	4	2.1%
11 建築士・建築関連	3	1.6%
12 学校職員・塾講師・教育関連	2	1.0%
救急救命士	2	1.0%
社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2	1.0%
会社員	2	1.0%
16 弁護士・裁判官・法律関係	1	0.5%
会計士・税理士・行政書士	1	0.5%
歯科衛生士・歯科技工士	1	0.5%
放射線技師・臨床検査技師	1	0.5%
管理栄養士・栄養士	1	0.5%
保健師	1	0.5%
通訳・翻訳・語学・国際関連	1	0.5%
俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	1	0.5%
店員・テマパーク・サービス関連	1	0.5%
食品関連(加工・開発・製造など)	1	0.5%
デザイナー・設計士	1	0.5%
社長・経営者・起業家	1	0.5%

子どもの性別:男子 (n=84)		
1 公務員	36	42.9%
2 医師・歯科医師・獣医	9	10.7%
3 医療事務・医療関連	8	9.5%
4 看護師	5	6.0%
薬剤師	5	6.0%
6 技術者・研究者	4	4.8%
7 建築士・建築関連	3	3.6%
8 教師	2	2.4%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2	2.4%
エンジニア・プログラマー・IT関連	2	2.4%
子どもの性別:女子 (n=106)		
1 公務員	34	32.1%
2 看護師	15	14.2%
3 医療事務・医療関連	9	8.5%
4 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	8	7.5%
医師・歯科医師・獣医	8	7.5%
6 教師	6	5.7%
7 薬剤師	5	4.7%
8 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	4	3.8%
9 技術者・研究者	3	2.8%
10 社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2	1.9%
エンジニア・プログラマー・IT関連	2	1.9%

▶ 将来就きたい職業の理由【高校生】

- **公務員（希望率9%）**
 - 人のために働く姿がかっこいいと思ったから。法学に興味があるので、それを大学で学び、生かしたいから。[東京都/女子/大学]
 - 地域のために働きたいから。[山形県/女子/就職]
 - 新潟県内で一生暮らしたいから。社会貢献できるから。[新潟県/女子/大学]
 - 一般の会社員よりも定期的に課や部が変わるので、マンネリ化しなさそうだから。地域について、もっとこうしたいほうがいいのではないかなと思うことがあるから。[茨城県/女子/大学]
 - 安定した仕事につきたいから。[新潟県/女子/大学]
 - 給料が安定していて休みもしっかりあるから。[山形県/男子/大学]
 - 国をより良くしたい 収入が安定している。[山形県/その他/大学]
- **教師（希望率9%）**
 - “先生”という人が身近にいたことがきっかけで、尊敬、憧れを持ったから。[和歌山県/女子/大学]
 - ずっと憧れを持っていたから。[三重県/女子/大学]
 - （自分のもつ）生徒や児童が、よりよい方向（将来）へ進んでほしいと思い、そうなるよう指導したいから。[三重県/男子/大学]
 - 教えるのが好きだし、先生って大変だけど楽しそう。[東京都/女子/大学]
 - 子どもの未来をつくって支えていきたいから。[北海道/男子/大学]
 - 子どもたちが辛い思いをして学校に行くことがないようにしたいから。[新潟県/女子/大学]
 - 自分が中学校高校の先生に知らなかった分野の興味を持たせてくれたので同じように私が子どもたちに視野を広げて色々なことに興味を持ってもらいたい。[東京都/女子/大学]
 - 人と問題を解いた喜びを共有するのが好きだから。[三重県/無回答/大学]
- **建築士・建築関連（希望率7%）**
 - デザインが好きだから、憧れているから。[東京都/女子/大学]
 - 家（建物）が好きだから。人生で1番大きい買い物に関われる、家を買う人が幸せになるために協力できることはとても幸せでやりがいのあることだと思うから。[三重県/女子/大学]
 - 自分の考えた家が建っていたらすごいと思うから。[和歌山県/男子/大学]
 - 高校に入って建築に興味を持ったから。[和歌山県/男子/専門学校]
- **医師・歯科医師・獣医（希望率6%）**
 - 過疎地や発展途上国での医療支援をして全ての人が平等に医療を受けられるようにしたいから。[沖縄県/女子/大学]
 - 自分が小さいころからお世話になっていたし、あこがれていたから。[沖縄県/女子/大学]
 - 生きる上で最も根本的で大切な部分である身体を支える職は意義があると思うから。そして感謝される職だから。[三重県/男子/大学]
 - 責任が重いやりがい強く感じられ、やりがいを感じる事がやる気につながる自分にとって相性が良いと思ったから。[沖縄県/男子/大学]
- **保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連（希望率6%）**
 - 子どもと接するのが好きだから。[山形県/男子/大学]
 - 子どもが大好きという理由もあるが、色んなことを教えたり、子どもの嬉しい顔を見ると、とても嬉しい気持ちになるから。[三重県/女子/専門学校]
 - 小さい子どもが好き、絵本の読み聞かせが得意。ピアノが弾けて歌うことが好きな私には合っているのではないかなと思ったからです。[三重県/女子/専門学校]
 - 小さい時から保育士にあこがれていた。色んな事を教えてくれて、今でもその事を思い出す時があって、自分もそんな風になりたいと思った。[三重県/女子/短大]

▶ 将来就いてほしい職業の理由【保護者】

- **公務員（希望率37%）**
 - 安定した職業だから。自分、配偶者、親が公務員で有り難みがわかるから。福利厚生を正々堂々と享受できる。[島根県/母親/女/大学]
 - 社会に役に立つ人になってほしい。[島根県/母親/男/大学]
 - 経済的な安定と働き手に保証がある。有休や福利厚生の充実。[山形県/母親/女/大学]
 - 安定している。地元に残り、地元の為に働いて欲しい。[山形県/母親/女/大学]
 - 子どもに合っていると思うから、安定した収入が確保され、生活がおちつくと思うから。[茨城県/母親/男/大学]
 - 公務員=面白くないと言われがちだが、実際社会を動かすやりがいのある仕事であり、安定もしている。[和歌山県/母親/男/大学]
 - 親が契約社員等の為、子どもには安定した職業で長く働いてほしい。[沖縄県/母親/女/大学]
- **看護師（希望率11%）**
 - 本人もなりたい意志があるようだし、安定しているから。[新潟県/母親/男/専門学校]
 - 職に困らない。[沖縄県/母親/女/子の希望なら何でも]
 - 国家試験は大変だろうが、その後は安定した求人がありそうだから。[新潟県/母親/女/専門学校]
 - 国家資格を取ってほしいので。[三重県/母親/女/専門学校]
 - 一生困らないような資格を身につけ、自立して生きていって欲しいから。“自分にしか出来ない事”を探し、「人のために」尽くして欲しい。[山形県/母親/女/大学]
 - 病院に限らず介護施設や他の所でも働ける。男子なので結婚しても夜勤できる。人の役に立てる。[山形県/母親/男/子の希望なら何でも]
 - 人の役に立てる仕事をしてもらいたい。[山形県/父親/女/専門学校]
- **医師・歯科医師・獣医（希望率9%）**
 - 本人の意思であり希望であるから。[茨城県/母親/女/大学]
 - 昔から本人が熱望しており、是非実現して欲しいから。[茨城県/父親/男/大学]
 - 子どもが幼い頃から希望している職業だから。目標を達成することができるよう、日々努力しているのを見ているから。[沖縄県/母親/男/大学]
- **医療事務・医療関連（希望率9%）**
 - 本人の子どもの頃からの夢だったので叶えて欲しい。親から見て、先の職業は合わないかと不安もあり、専門職として資格を取り社会へ貢献してほしい。[和歌山県/母親/男/大学]
 - 資格があれば、どこでも働けるため。[山形県/母親/女/大学]
 - 何か資格を持っていれば、結婚後なども仕事するのに有利なものとなりそうなので。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
 - 私が医療従事者だから。[山形県/母親/男/大学]
 - 手に職。これからの時代、大事な職業だから。[山形県/母親/男/専門学校]
 - コロナ禍であろうと、どんな事であろうと、医療関係の仕事は無くならないと思うので。[沖縄県/母親/女/大学]
- **薬剤師（希望率5%）**
 - 女性でも安定した収入が見込めること。将来の子育てとの両立。[沖縄県/母親/女/大学]
 - 求人がどの時代にもあり、どこで生活する事になっても働ける資格を持ってほしいと思うから。[新潟県/母親/男/大学]
 - 子どもが色々考え、将来就きたい仕事と言っているの。[新潟県/母親/男/大学]

令和5年度私立大学・短期大学等入学志願動向 地域別の動向（大学・学校別）

	大学入学年度		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	5年間平均
全国	集計学校数	校	587	593	597	598	600	595
	志願倍率	倍	9.08	8.9	7.74	7.68	7.39	8.15
	充足率	%	102.67	102.61	99.81	100.85	99.59	101.1
千葉県	集計学校数	校	25	25	25	25	26	25.2
	志願倍率	倍	9.57	10.69	10.4	12.14	11.18	10.8
	充足率	%	107.49	105.74	99.91	97.46	95.48	101.1
東京都	集計学校数	校	115	118	117	117	118	117
	志願倍率	倍	11.08	10.45	9.18	9.03	8.82	9.71
	充足率	%	101.91	101.16	100.8	103.48	103.46	102.17
埼玉県	集計学校数	校	26	26	26	26	26	26
	志願倍率	倍	6.13	6.42	4.92	4.58	4.18	5.24
	充足率	%	108.01	107.63	99.26	99.8	97.5	102.38
関東(埼玉, 千葉, 東京, 神奈川除く)	集計学校数	校	24	24	24	25	24	24.2
	志願倍率	倍	4.72	4.9	4.4	4.09	3.78	4.39
	充足率	%	109.1	109.21	104.56	99.49	97.47	104.06

（出典）日本私立学校振興・共済事業団 私立大学・短期大学等入学志願動向 地域別の動向（大学・学校別）

令和元年度：P. 8（P. 12） <https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouH31.pdf>

令和2年度：P. 12（P. 16） <https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR2.pdf>

令和3年度：P. 12（P. 16） <https://www.shigaku.go.jp/files/nyuugakusiganndoukoukaitan0928.pdf>

令和4年度：P. 8（P. 12） <https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR4.pdf>

令和5年度：P. 8（P. 12） <https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR5.pdf>

出身高校の所在地別入学者数

大学入学年度			令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	5年間平均
全国	大学入学者数	人	631,273	635,003	627,040	635,156	632,902	632,275
	R1比	%	100.00	100.59	99.32	100.61	100.25	<u>100.15</u>
志願者 上位4都県	大学入学者数	人	156,981	157,403	158,395	161,647	161,108	159,107
	R1比	%	100.00	100.26	100.90	102.97	102.62	<u>101.35</u>
千葉県	大学入学者数	人	29,680	29,698	30,362	31,029	30,831	30,320
	R1比	%	100.00	100.06	102.29	104.54	103.87	102.15
東京都	大学入学者数	人	77,516	77,773	78,180	79,905	79,430	78,561
	R1比	%	100.00	100.33	100.85	103.08	102.46	101.34
茨城県	大学入学者数	人	14,819	14,784	14,797	15,272	15,674	15,069
	R1比	%	100.00	99.76	99.85	103.05	105.76	101.68
埼玉県	大学入学者数	人	34,966	35,148	35,056	35,441	35,173	35,157
	R1比	%	100.00	100.52	100.25	101.35	100.59	100.54

(出典) 文部科学省学校基本調査より

志願者上位4都県は、千葉県、東京都、茨城県、埼玉県を合計したもの

令和元年度 : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031894023&fileKind=0>

令和2年度 : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032040274&fileKind=0>

令和3年度 : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032155538&fileKind=0>

令和4年度 : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032265033&fileKind=0>

令和5年度 : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000040128621&fileKind=0>

過去4年間の入学選抜試験結果・入学定員の充足・収容定員充足の状況

(東邦大学健康科学部看護学科)

入試年度			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	平均
A	入学定員	(人)	60	60	60	60	60
B	収容定員	(人)	240	240	240	240	240

入試選抜結果状況

C	志願者	(人)	539	498	359	354	438	
D	受験者	(人)	534	493	345	334	427	
E	合格者	(人)	140	162	144	138	146	
F	志願倍率	C/A	(倍)	8.9	8.3	5.9	5.9	7.2
G	実質倍率	D/E	(倍)	3.8	3.0	2.3	2.4	1.7
H	合格率	E/D * 100	(%)	26.2	32.8	41.7	41.3	34.2

入学定員充足状況

I	入学者	(人)	65	68	68	68	67	
J	歩留率	I/E * 100	(%)	46.4	41.9	47.2	49.2	46.0
K	入学定員充足率	I/A * 100	(%)	108.3	113.3	113.3	113.3	112.0

収容定員充足状況

L	1学年	(人)	66	68	68	70	67	
	2学年	(人)	63	67	68	63	65	
	3学年	(人)	64	61	67	67	67	
	4学年	(人)	75	64	61	66	67	
M	合計	(人)	268	260	264	266	266	
N	収容定員充足率	M/B * 100	(%)	111.6	108.3	110.0	110.8	110.7

小数点第1位以下切り捨て

令和5年度 高校出張講義一覧

実施日	高校名	参加者数
7月14日	千葉県立千葉女子高等学校	29
9月14日	平塚中等高等教育学校	33
11月2日	千葉県立船橋芝山高等学校	20
11月13日	順天中学高等学校	14
12月14日	茨城県立麻生高校	27
計		123

競合校との開設年度・学納金比較

大学名	学部	開設年度	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	合計
東邦大学	5学部10学科 4研究科	平成29年	300,000	950,000	0	500,000	1,750,000
順天堂大学	8学部 9学科 4研究科	平成16年	300,000	900,000	300,000	350,000	1,850,000
淑徳大学	7学部13学科 2研究科	平成19年	200,000	1,050,000	400,000	200,000	1,850,000
東京医療保健大学	5学部 7学科 2研究科	平成30年	300,000	1,000,000	300,000	100,000	1,700,000
国際医療福祉大学	11学部27学科2 研究科	平成28年	300,000	900,000	360,000	50,000	1,610,000

競合校との教員1名当たりの学生数（S/T）比較

大学名	学部教員数	収容定員	S/T
東邦大学	26名	240名	9.2
順天堂大学	69名	880名	12.8
淑徳大学	27名	400名（425名）	14.8（15.7）
東京医療保健大学	35名（助手含）	400名	11.4
国際医療福祉大学	29名	400名	13.8

（ ）内は令和5年度 HP上のデータ

競合校の入学試験関連日程比較（令和6年度）

大学名	学部名	入学試験名称	入学試験日
東邦大学	健康科学部	総合型選抜（同窓生子女入試・総合入試）	10月21日（土）
		学校推薦型選抜（公募制・指定校制）	11月23日（木）
		一般入試A・一般入試B	面接試験：1月24日（水）、25日（木） 筆記試験：2月1日（木）、2日（金）
		共通テスト利用入試・共通テスト利用入試（+）	面接試験：1月24日（水）、25日（木） 個別学力検査なし
国際医療福祉大学	成田看護学部	学校推薦型選抜（公募制・指定校制）	11月18日（土）
		帰国生徒特別選抜	11月18日（土）
		特待奨学生特別選抜	12月16日（土）
		一般選抜前期A	1月28日（日）
		一般選抜前期B	1月29日（月）
		一般選抜前期C	1月30日（火）
		大学入学共通テスト利用選抜	個別学力検査なし
		一般選抜後期	3月2日（土）
淑徳大学	看護栄養学部	総合型選抜	9月23日（土） 10月22日（日） 12月10日（日） 3月12日（火）
		学校推薦型選抜	11月18日（土）
		一般選抜A	2月1日（木）、2月2日（金）
		一般選抜B	2月21日（水）
		一般選抜C	3月12日（火）
		大学入学共通テスト（1期～3期）	個別学力検査なし
		社会人選抜	12月10日（日）
		帰国生徒選抜	12月10日（日）
		外国人留学生選抜	10月22日（日）
		順天堂大学	医療看護学部
学校推薦型選抜	11月19日（日）		
帰国生選抜	11月19日（日）		
一般選抜A日程	一次：2月2日（金） 二次：2月12日（月）または13日（火）		
一般選抜B日程	一次：2月5日（月） 二次：2月12日（月）または13日（火）		
共通テスト利用選抜	一次：個別学力審査なし 二次：2月20日（火）または21日（水）		
共通テスト利用選抜（一般選抜併用方式）	一次：併願する一般選抜一次試験日 二次：2月20日（火）または21日（水）		
東京医療保健大学	千葉看護学部	総合型選抜	10月15日（日）
		推薦型選抜（指定校）	11月12日（日）
		推薦型選抜（公募制）	11月12日（日）
		一般選抜A日程入試（特待生選抜）	1月23日（火）、24日（水）
		一般選抜B日程入試（特待生選抜）	2月4日（日）
		一般選抜C日程入試	2月18日（日）
		大学入学共通テスト利用入試（前期日程）	個別学力審査なし
		大学入学共通テスト利用入試（後期日程）	個別学力審査なし

競合校との国家試験合格率比較（令和4年度）

大学名	看護師	保健師
東邦大学	100 %	95 %
順天堂大学	100 %	94 %
淑徳大学	90 %	100 %
東京医療保健大学	99 %	100 %
国際医療福祉大学	98 %	100 %

競合校との就職率比較（令和4年度）

大学名	看護師
東邦大学	100 %
順天堂大学	93.2 %
淑徳大学	98.5 %
東京医療保健大学	100 %
国際医療福祉大学	100 %

競合校の入学者選抜試験結果(令和3～5年度)

大学名	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
東邦大学 健康科学部 看護学科	令和3年	60	498	493	162	68	113.3%
	令和4年	60	359	345	144	68	113.3%
	令和5年	60	354	334	138	68	113.3%

大学名	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
順天堂大学	令和3年	200	1,451	1,424	368	201	100.5%
医療看護学部 看護学科	令和4年	220	1,974	1,901	446	212	96.4%
	令和5年	220	2,146	2,102	482	221	100.5%
淑徳大学 看護栄養学部 看護学科	令和3年	100	426	395	142	105	105.0%
	令和4年	100	301	279	162	109	109.0%
	令和5年	100	402	377	208	106	106.0%
東京医療保健大学	令和3年	100	661	609	270	112	112.0%
千葉看護学部 看護学科	令和4年	100	645	590	249	110	110.0%
	令和5年	100	452	480	203	136	136.0%
国際医療福祉大学	令和3年	100	948	921	216	108	108.0%
成田看護学部 看護学科	令和4年	100	1,080	1,056	215	108	108.0%
	令和5年	100	830	816	191	102	102.0%
4大学の 令和5年の合計		520	3,830	3,775	1,084	565	108.7%

※ホームページ掲載による

ただし淑徳大学については非公表のため学校推薦型選抜（指定校）は含まず

**東邦大学
「健康科学部 看護学科」
入学定員増に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】**

**令和6年3月
株式会社 進研アド**

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

高校生
対象

調査概要

1. 調査目的

2025年4月入学定員増予定の東邦大学「健康科学部 看護学科」の構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査	
		調査①	調査②
調査対象		入学実績のある近隣高校在籍者 (高校2年生)	オープンキャンパス等イベント 参加者 (高校2年生)
調査エリア		茨城県、埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県	— (オープンキャンパス等イベント にて参加者に直接配布)
調査方法		高校留め置き調査	オープンキャンパス等イベント にて配布・回収
調査 対象数	依頼数	20,075名(205校)	—
	有効 回収数	13,070名(173校) 有効回収率:65.1%	14名
調査時期		2023年9月5日(火)～ 2023年10月24日(火) 2023年12月1日(金)～ 2024年1月12日(金)	2023年11月11日(土)～ 2023年12月15日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド	

3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・学年 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・東邦大学「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度 ・東邦大学「健康科学部 看護学科」への受験意向 ・東邦大学「健康科学部 看護学科」への入学意向 ・アンケート回答の有無

高校生
対象

調査概要

4. 調査協力校

回答高校数 173校

有効回収数 13,070名

高校名	有効回収数	高校名	有効回収数	高校名	有効回収数
茨城県立日立第二高等学校	101	千葉県立成田国際高等学校	79	流通経済大学付属柏高等学校	9
茨城県立水戸第三高等学校	14	千葉県立佐原高等学校	260	西武台千葉高等学校	13
茨城県立水戸商業高等学校	4	千葉県立佐原白楊高等学校	154	東京学館船橋高等学校	79
茨城県立勝田高等学校	96	千葉県立銚子高等学校	143	翔凜高等学校	11
茨城県立麻生高等学校	6	千葉県立匝瑳高等学校	178	東京都立上野高等学校	23
茨城県立藤代高等学校	74	千葉県立東金高等学校	18	東京都立江戸川高等学校	17
明秀学園日立高等学校	38	千葉県立長生高等学校	73	東京都立片倉高等学校	3
水戸啓明高等学校	12	千葉県立茂原高等学校	35	東京都立小岩高等学校	36
土浦日本大学高等学校	23	千葉県立大多喜高等学校	10	東京都立田園調布高等学校	16
東洋大学附属牛久高等学校	36	千葉県立安房高等学校	212	東京都立豊島高等学校	26
江戸川学園取手高等学校	56	千葉県立木更津高等学校	74	東京都立日本橋高等学校	181
常総学院高等学校	47	千葉県立木更津東高等学校	10	東京都立深川高等学校	16
水戸葵陵高等学校	28	千葉県立君津高等学校	247	東京都立文京高等学校	5
土浦日本大学中等教育学校	10	千葉県立袖ヶ浦高等学校	30	東京都立本所高等学校	142
筑波大学附属坂戸高等学校	153	習志野市立習志野高等学校	59	東京都立三田高等学校	17
埼玉県立川口高等学校	23	千葉市立千葉高等学校	39	東京都立向丘高等学校	7
埼玉県立春日部女子高等学校	36	銚子市立銚子高等学校	108	東京都立小平南高等学校	9
埼玉県立越ヶ谷高等学校	28	千葉県立磯辺高等学校	113	東京都立晴海総合高等学校	30
埼玉県立秩父高等学校	14	千葉県立市川東高等学校	79	神田学園高等学校	71
埼玉県立草加高等学校	106	千葉県立佐倉西高等学校	120	共立女子高等学校	96
埼玉県立朝霞高等学校	28	千葉県立津田沼高等学校	11	錦城学園高等学校	19
埼玉県立越谷南高等学校	20	千葉県立柏陵高等学校	29	東京家政学院高等学校	76
埼玉県立杉戸高等学校	94	千葉県立船橋芝山高等学校	280	東洋高等学校	12
埼玉県立浦和北高等学校	16	千葉県立松戸六実高等学校	22	二松學舎大学附属高等学校	18
埼玉県立大宮南高等学校	10	千葉県立八千代東高等学校	13	山脇学園高等学校	85
叡明高等学校	128	千葉県立成田北高等学校	53	國學院高等学校	3
山村学園高等学校	86	千葉県立柏井高等学校	15	富士見丘高等学校	112
正智深谷高等学校	39	千葉県立柏中央高等学校	116	跡見学園高等学校	170
大宮開成高等学校	12	千葉県立千葉西高等学校	278	郁文館高等学校	38
本庄東高等学校	48	千葉県立幕張総合高等学校	69	京華高等学校	106
星野高等学校(共学部)	29	敬愛大学八日市場高等学校	18	京華女子高等学校	103
浦和ルーテル学院高等学校	5	昭和学院高等学校	30	駒込高等学校	9
埼玉栄高等学校	152	千葉敬愛高等学校	76	東洋女子高等学校	29
春日部共栄高等学校	427	千葉経済大学附属高等学校	496	文京学院大学女子高等学校	158
花咲徳栄高等学校	15	和洋国府台女子高等学校	52	上野学園高等学校	26
東京農業大学第三高等学校	161	千葉英和高等学校	190	女子聖学院高等学校	24
栄北高等学校	53	日出学園高等学校	146	サレジアン国際学園高等学校	66
千葉県立千葉女子高等学校	36	千葉明德高等学校	47	東京成徳大学高等学校	121
千葉県立千葉南高等学校	236	千葉商科大学附属高等学校	465	中村高等学校	16
千葉県立千葉北高等学校	12	国府台女子学院高等部	141	足立学園高等学校	233
千葉県立若松高等学校	210	東邦大学付属東邦高等学校	226	修徳高等学校	9
千葉県立八千代高等学校	152	敬愛学園高等学校	132	香蘭女学校高等科	149
千葉県立薬園台高等学校	7	専修大学松戸高等学校	105	品川女子学院高等部	89
千葉県立船橋東高等学校	46	日本体育大学柏高等学校	31	朋優学院高等学校	8
千葉県立船橋啓明高等学校	7	日本大学習志野高等学校	387	立正大学付属立正高等学校	57
千葉県立鎌ヶ谷高等学校	73	千葉日本大学第一高等学校	7	多摩大学目黒高等学校	2
千葉県立国府台高等学校	2	二松學舎大学附属柏高等学校	105	昭和女子大学附属昭和高等学校	189
千葉県立国分高等学校	16	中央学院高等学校	27	新渡戸文化高等学校高等部	13
千葉県立松戸高等学校	11	拓殖大学紅陵高等学校	135	宝仙学園高等学校	25
千葉県立小金高等学校	36	八千代松陰高等学校	73	文化学園大学杉並高等学校	9
千葉県立東葛飾高等学校	37	東京学館高等学校	130	淑徳巣鴨高等学校	117
千葉県立柏高等学校	71	植草学園大学附属高等学校	143	淑徳高等学校	8
千葉県立柏南高等学校	76	千葉聖心高等学校	4	大東文化大学第一高等学校	78
千葉県立流山おおたかの森高等学校	15	芝浦工業大学柏高等学校	17	帝京高等学校	72
千葉県立我孫子高等学校	16	東京学館浦安高等学校	120	富士見高等学校	6
千葉県立印旛明誠高等学校	20	市原中央高等学校	230	東京純心女子高等学校	8
千葉県立佐倉高等学校	37	光英VERITAS高等学校	48	関東学院高等学校	34
千葉県立四街道高等学校	105	秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高等学校	9		

入学意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体(13,084名)

高校生
対象

回答者の属性

回答者の属性

※本調査は、東邦大学「健康科学部 看護学科」に対する需要を確認するための調査として設計。以下2種類の調査を実施して、合計13,084名から有効な回答を得た。

①高校留め置き調査

②オープンキャンパス等イベント参加者調査

※各調査とも、重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「本アンケートに回答するのは2回目以降である」と回答した人は集計から除外している。そのため、①高校留め置き調査、②オープンキャンパス等イベント参加者調査で回答した高校生の中に回答者の重複はない。

- 調査対象者別の回答者数は、①高校留め置き調査が13,070名、②オープンキャンパス等イベント参加者調査が14名である。回答者全体に占める割合は、①高校留め置き調査が99.9%、②オープンキャンパス等イベント参加者調査が0.1%である。
- 回答者の性別は「男性」が43.0%、「女性」が54.5%である。
- 回答者の学年は「2年生」が100.0%である。
- 回答者の高校種別は「国立」が1.2%、「公立」が40.9%、「私立」が57.9%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、東邦大学「健康科学部 看護学科」習志野キャンパスの所在地である「千葉県」が60.1%を占め、最も多い。次いで「東京都」が22.6%、「埼玉県」が12.9%と続く。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が50.2%で最も多い。次いで「文系クラス(文系コース)」が26.8%、「コース選択はない」が13.5%と続く。

高校生
対象

回答者の属性

■調査対象

	標本数	留め置き調査	参加者 イベント キャンパス等
上段:% 下段:件数(名)			
全体	13,084	99.9 13,070	0.1 14

■性別

	標本数	男性	女性	回答しない	無回答
上段:% 下段:件数(名)					
全体	13,084	43.0 5,625	54.5 7,137	2.0 258	0.5 64

■学年

	標本数	1年生	2年生	3年生	無回答
上段:% 下段:件数(名)					
全体	13,084	0.0 0	100.0 13,084	0.0 0	0.0 0

■高校種別

	標本数	国立	公立	私立	無回答
上段:% 下段:件数(名)					
全体	13,084	1.2 153	40.9 5,352	57.9 7,576	0.0 3

高校生
対象

回答者の属性

■高校所在地

	標本数	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	長野県	無回答
上段: % 下段: 件数(名)								
全体	13,084	4.2 545	12.9 1,683	60.1 7,858	22.6 2,959	0.3 34	0.0 1	0.0 4

■所属クラス

	標本数	文系クラス (文系コース)	理系クラス (理系コース)	コース選択はない	その他	無回答
上段: % 下段: 件数(名)						
全体	13,084	26.8 3,502	50.2 6,564	13.5 1,768	6.0 785	3.6 465

高校生
対象

高校卒業後の希望進路

高校卒業後の希望進路

- 回答者のうち、今後「大学」に進学することを検討・希望している人は89.9%。
次いで、「専門学校」に進学が13.4%、「専門職大学」に進学が4.1%と続く。「短期大学」に進学は3.4%、「専門職短期大学」が0.8%である。
- 高校卒業後の希望進路として「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの進学希望を複数回答で聴取した。
その結果、東邦大学の該当する「私立」への進学を希望する人は80.7%、「国立」が34.4%、「公立」が22.9%であった。

■高校卒業後の進路

Q1. 卒業後の進路をどのように考えていますか。(複数選択可)
現在検討している進路すべてに○をつけてください。

	標本数	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
上段: %		89.9	3.4	4.1	0.8	13.4	3.2	1.2	0.5
下段: 件数(名)		11,763	443	542	105	1,755	414	155	69
全体	13,084								

※「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した11,977名を抽出

■希望する大学等の設置者

Q2. Q1で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」を選択した方に質問です。
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(複数選択可)
現在検討している(希望している)設置者すべてに○をつけてください。

	標本数	私立	国立	公立	無回答
上段: %		80.7	34.4	22.9	0.5
下段: 件数(名)		9,668	4,120	2,738	61
全体	11,977				

高校生
対象

興味のある学問分野

興味のある学問分野

- 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「その他」を除き「工学(機械工学・電子通信工学など)」が20.1%で最も高い。次いで、「理学(数学・物理学・化学など)」が19.2%、「社会科学(法学・商学・社会学など)」が18.8%と続く。
- 「健康科学部 看護学科」の学びと関連する学問分野への関心は、「看護学(保健看護学含む)」が15.8%である。
- 回答者のうち、私立大学進学希望者に限定すると、興味のある学問分野は「その他」を除き「社会科学(法学・商学・社会学など)」が22.0%で最も高い。次いで、「工学(機械工学・電子通信工学など)」が19.8%、「理学(数学・物理学・化学など)」が19.1%と続く。
- また、私立大学進学希望者の「健康科学部 看護学科」の学びと関連する学問分野への関心は、「看護学(保健看護学含む)」が15.4%である。

<私立大学進学希望者>

- ① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q2で「私立」への進学を希望。

高校生
対象

興味のある学問分野

■興味のある学問分野

Q3. ここからは**全員**にお聞きします。

高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。(複数選択可)

以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。

※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

	標本数	看護学 (保健看護学含む)	医学	歯学	薬学	哲学 人文学 など	社会科学 (法学・商学・ 社会学など)	理学 (数学・物理学・ 化学など)
上段: % 下段: 件数(名)								
全体	13,084	15.8 2,065	7.7 1,005	2.6 342	9.6 1,251	13.5 1,767	18.8 2,458	19.2 2,515
上段: % 下段: 件数(名)								
全体	13,084	20.1 2,630	7.0 917	5.5 714	25.1 3,285	6.0 784	0.6 72	

<私立大学進学希望者ベース>

	標本数	看護学 (保健看護学含む)	医学	歯学	薬学	哲学 人文学 など	社会科学 (法学・商学・ 社会学など)	理学 (数学・物理学・ 化学など)
上段: % 下段: 件数(名)								
私立大学 進学希望者	9,506	15.4 1,467	6.9 654	2.4 224	10.4 991	15.7 1,491	22.0 2,093	19.1 1,817
上段: % 下段: 件数(名)								
私立大学 進学希望者	9,506	19.8 1,886	6.9 655	5.5 527	24.2 2,302	5.5 527	0.1 9	

※%の母数は、私立大学進学希望者(9,506名)

高校生
対象

東邦大学「健康科学部 看護学科」への 受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
東邦大学「健康科学部 看護学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q2で「私立」への進学を希望。
- ③ Q3で、「健康科学部 看護学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
(看護学(保健看護学含む)に興味あり)

東邦大学「健康科学部 看護学科」への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者(健康科学部 看護学科のターゲット層該当者)は、1,467名である。
- ターゲット層該当者の、「健康科学部 看護学科」への受験意向、入学意向をみると、
 - ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は65名
 - ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は29名
 - ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は18名
 上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、112名

■東邦大学「健康科学部 看護学科」への受験・入学意向

- Q5. 東邦大学「健康科学部 看護学科」の受験を希望しますか。
次より1つ選択してください。(1つにQ)
- Q6. Q5で「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した方に質問です。
東邦大学「健康科学部 看護学科」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
次より1つ選択してください。(1つにQ)

		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の 他の志望校が 不合格の場合に 入学する	入学しない
上段：％ 下段：件数(名)				
受験 意 向	第一志望	0.5 65	0.0 4	0.0 1
	第二志望	0.2 29	0.5 65	0.0 0
	第三志望以降	0.1 18	2.6 345	0.1 11
	受験意向あり・合計	0.8 112	3.1 414	0.1 12
	受験しない		7.0 910	

※%の母数は、回答者全体(13,084名)

高校生
対象

東邦大学「健康科学部 看護学科」の 特色に対する魅力度

東邦大学「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度

【健康科学部 看護学科 ターゲット層】

下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 1,467名 (回答者全体の11.2%)

- ① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q2で「私立」への進学を希望。
- ③ Q3で、「健康科学部 看護学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
(看護学(保健看護学含む)に興味あり)



- ターゲット層における「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度(※)を見ると、最も高いのは「C. 高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践」(95.6%)。次いで「D. 確かな実習指導計画のもと進められる付属病院での教育の実践」(95.4%)、「B. チーム医療・多職種連携など、学部を超えた共通教育の実践」「E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実」(いずれも94.9%)と続く。
- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(第一志望者)における「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度(※)を見ると、最も高いのは「C. 高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践」「D. 確かな実習指導計画のもと進められる付属病院での教育の実践」「E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実」(いずれも98.5%)である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

高校生
対象

東邦大学「健康科学部 看護学科」の 特色に対する魅力度

■東邦大学「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度

Q4. 東邦大学「健康科学部 看護学科」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる口枠1つに○)

特色A. 4年間を通して段階的に成長できるトランスレーショナル教育の実践

特色B. チーム医療・多職種連携など、学部を超えた共通教育の実践

特色C. 高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践

特色D. 確かな実習指導計画のもと進められる付属病院での教育の実践

特色E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実

上段:% 下段:件数(名)	標本数	特色A	特色B	特色C	特色D	特色E
ターゲット層	1,467	92.3 1,354	94.9 1,392	95.6 1,403	95.4 1,400	94.9 1,392
第一志望者	65	95.4 62	96.9 63	98.5 64	98.5 64	98.5 64

※第一志望者:

ターゲット層(大学進学希望×私立×関連学問分野興味あり)該当者のうち、
東邦大学「健康科学部 看護学科」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人

卷末資料 調査票・呈示資料



高校生
対象

依頼状

学校長 殿

2023年9月

東邦大学

「東邦大学 健康科学部 看護学科」
に関するアンケート実施ご協力をお願い

拝啓 初秋の候、貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本学に対しご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたびは、2025年（令和7年）4月に入学定員を増やすことを予定しております「健康科学部 看護学科」に関するアンケート実施のご協力をお願いにつきまして、ご了解くださり、誠にありがとうございます。貴校のご協力を受け、「健康科学部 看護学科」の内容をより一層充実させてまいりたいと存じます。

つきましては、今回お送りさせていただきましたアンケートを通じて、貴校の生徒の皆様からの率直なご意見やご要望などをお聞かせいただければ幸いです。

ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴校のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

※アンケートの実施に関しましては、別紙の『アンケート実施要領』をご参照ください。

また、集計業務の関係上、アンケートの返送先が本学ではなく、別途物流センターの「東邦大学 アンケート係」となります。

■本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事部 担当：井上

〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1

メール：somu.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話：047-472-9199（代表）

*お電話の受付時間：月～金（祝日を除く）9:00～17:00

高校生
対象

依頼状

2023年9月

進路指導ご担当者 殿

東邦大学

「東邦大学 健康科学部 看護学科」
に関するアンケート実施ご協力のお願い

拝啓 初秋の候、貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本学に対しご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたびは、2025年（令和7年）4月に入学定員を増やすことを予定しております「健康科学部 看護学科」に関するアンケート実施のご協力のお願いにつきまして、ご了解くださり、誠にありがとうございます。貴校のご協力を受け、「健康科学部 看護学科」の内容をより一層充実させてまいりたいと存じます。

つきましては、今回お送りさせていただきましたアンケートを通じて、貴校の生徒の皆様からの率直なご意見やご要望などをお聞かせいただければ幸いです。

ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴校のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

※ ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。

※ アンケートの実施に関しましては、別紙の『アンケート実施要領』をご参照ください。また、集計業務の関係上、アンケートの返送先が本学ではなく、別途物流センターの「東邦大学 アンケート係」となります。

※ ご回答いただいたアンケート用紙は同封の返信用宅配便封筒（料金着払い伝票貼付済み）に入れて、**2023年10月13日（金）必着**でご返送くださいますようお願いいたします。

（大変お手数ではございますが、宅配業者への集荷依頼は貴校にてご連絡いただきますようお願いいたします。）

■ 本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事部 担当：井上

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

メール：somu.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話：047-472-9199（代表）

*お電話の受付時間：月～金（祝日を除く）9:00～17:00

高校生
対象

依頼状

進路指導ご担当者 殿

アンケート実施要領

1. 今回の送付物

【送付物】

- 「東邦大学 健康科学部 看護学科」に関するアンケート実施ご協力をお願い（学校長殿、進路指導ご担当者殿宛て1部ずつ）
- アンケート実施要領（本状）
- アンケート用紙／健康科学部 看護学科の説明資料
- 返信用宅配便封筒（料金着払い伝票貼付済み）

封入には細心の注意を払っておりますが、万一、部数の不足などがございましたら、

東邦大学習志野学事部 井上（TEL：047-472-9199）まで、ご連絡ください。

また、実施に際してご不明な点がございました場合も、上記までご連絡くださいますようお願いいたします。

2. アンケート調査の目的

東邦大学では、2025年（令和7年）4月に「健康科学部 看護学科」の入学定員を増やすことを構想しています。「健康科学部 看護学科」の内容をより一層充実したものとするため、アンケートを通じて、高校生の皆様からご意見・ご要望をいただき、参考資料とさせていただきます。

3. アンケート対象者

以下の方を対象にアンケートを実施していただきますよう、お願いいたします。

高校2年生

4. アンケートの実施方法

アンケートにご協力いただく生徒の皆様へ「アンケート用紙」および「健康科学部 看護学科の説明資料」をお配りいただき、「アンケート用紙」については**ご回答・ご回収**いただきますよう、お願いいたします。また、以下の点について生徒の皆様にご説明ください。

- ・ アンケートの回答前に、**回答は最初の頁から順番に進めて、途中でとばしたりせず必ず最後の頁まで回答するよう**、ご説明ください。
（アンケートの回答に要する時間は10分～15分程度です。）
- ・ **健康科学部 看護学科の説明資料は回収不要です。**ぜひ生徒の皆様にお読みいただければ幸甚です。

5. アンケートの回収と返送方法

回答済みのアンケートは、「**返信用宅配便封筒（料金着払い伝票貼付済み）**」に封入してお送りください。（大変お手数ではございますが、**宅配業者（クロネコヤマト）への集荷依頼は貴校にてご連絡**いただきますようお願いいたします。）

6. 回収締切日

締切日：**2023年10月13日（金）**

上記締切日**必着**で、アンケートを実施され次第ご返送ください。

恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

高校生
対象

依頼状(追加配布)

2023年12月

学校長 殿

東邦大学

「東邦大学 健康科学部 看護学科」
に関するアンケート実施ご協力のお願い

拝啓 初冬の候、貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本学に対しご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたびは、2025年(令和7年)4月に入学定員を増やすことを予定しております「健康科学部 看護学科」に関するアンケート実施のご協力のお願いにつきまして、ご了解くださり、誠にありがとうございます。貴校のご協力を受け、「健康科学部 看護学科」の内容をより一層充実させてまいりたいと存じます。

つきましては、今回お送りさせていただきましたアンケートを通じて、貴校の生徒の皆様からの率直なご意見やご要望などをお聞かせいただければ幸いです。

ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴校のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

※アンケートの実施に関しましては、別紙の『アンケート実施要領』をご参照ください。

また、集計業務の関係上、アンケートの返送先が本学ではなく、別途物流センターの「東邦大学 アンケート係」となります。

■本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事部 担当：井上

〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1

メール：somu.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話：047-472-9199 (代表)

*お電話の受付時間：月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

高校生
対象

依頼状(追加配布)

2023年12月

進路指導ご担当者 殿

東邦大学

「東邦大学 健康科学部 看護学科」
に関するアンケート実施ご協力のお願い

拝啓 初冬の候、貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本学に対しご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたびは、2025年(令和7年)4月に入学定員を増やすことを予定しております「健康科学部 看護学科」に関するアンケート実施のご協力のお願いにつきまして、ご了解くださり、誠にありがとうございます。貴校のご協力を受け、「健康科学部 看護学科」の内容をより一層充実させてまいりたいと存じます。

つきましては、今回お送りさせていただきましたアンケートを通じて、貴校の生徒の皆様からの率直なご意見やご要望などをお聞かせいただければ幸いです。

ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴校のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

※ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。

※アンケートの実施に関しましては、別紙の『アンケート実施要領』をご参照ください。また、集計業務の関係上、アンケートの返送先が本学ではなく、別途物流センターの「東邦大学 アンケート係」となります。

※ご回答いただいたアンケート用紙は同封の返信用宅配便封筒(料金着払い伝票貼付済み)に入れて、**2023年12月27日(水)必着**でご返送くださいますようお願いいたします。

(大変お手数ではございますが、宅配業者への集荷依頼は貴校にてご連絡いただきますようお願いいたします。)

■本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事部 担当：井上

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

メール：somu.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話：047-472-9199 (代表)

*お電話の受付時間：月～金(祝日を除く)9:00～17:00

高校生
対象

依頼状(追加配布)

進路指導ご担当者 殿

アンケート実施要領

1. 今回の送付物

【送付物】

- 「東邦大学 健康科学部 看護学科」に関するアンケート実施ご協力をお願い（学校長殿、進路指導ご担当者殿宛て1部ずつ）
- アンケート実施要領（本状）
- アンケート用紙／健康科学部 看護学科の説明資料
- 返信用宅配便封筒（料金着払い伝票貼付済み）

封入には細心の注意を払っておりますが、万一、部数の不足などがございましたら、

東邦大学習志野学事部 井上 (TEL: 047-472-9199) まで、ご連絡ください。

また、実施に際してご不明な点がございました場合も、上記までご連絡くださいますようお願いいたします。

2. アンケート調査の目的

東邦大学では、2025年（令和7年）4月に「健康科学部 看護学科」の入学定員を増やすことを構想しています。「健康科学部 看護学科」の内容をより一層充実したものとするため、アンケートを通じて、高校生の皆様からご意見・ご要望をいただき、参考資料とさせていただきます。

3. アンケート対象者

以下の方を対象にアンケートを実施していただきますよう、お願いいたします。

高校2年生

4. アンケートの実施方法

アンケートにご協力いただく生徒の皆様へ「アンケート用紙」および「健康科学部 看護学科の説明資料」をお配りいただき、「アンケート用紙」については**ご回答・ご回収**いただきますよう、お願いいたします。また、以下の点について生徒の皆様にご説明ください。

- ・ アンケートの回答前に、**回答は最初の頁から順番に進めて、途中でとばしたりせず必ず最後の頁まで回答するよう**、ご説明ください。
(アンケートの回答に要する時間は10分～15分程度です。)
- ・ **健康科学部 看護学科の説明資料は回収不要です。**ぜひ生徒の皆様にお読みいただければ幸いです。

5. アンケートの回収と返送方法

回答済みのアンケートは、「**返信用宅配便封筒（料金着払い伝票貼付済み）**」に封入してお送りください。(大変お手数ではございますが、**宅配業者（クロネコヤマト）への集荷依頼は貴校にてご連絡**いただきますようお願いいたします。)

6. 回収締切日

締切日：**2023年12月27日（水）**

上記締切日**必着**で、アンケートを実施され次第ご返送ください。

恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

高校生
対象

調査票

◆東邦大学「健康科学部 看護学科」についてお聞きします。

東邦大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2025年(令和7年)4月に、
「健康科学部 看護学科」の入学定員を増やすことを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

- Q4. 東邦大学「健康科学部 看護学科」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる□枠1つに○)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例. ○○の充実	→	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A. 4年間を通して段階的に成長できるトランスレーショナル教育の実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B. チーム医療・多職種連携など、学部を超えた共通教育の実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C. 高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D. 確かな実習指導計画のもと進められる付属病院での教育の実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q5. 東邦大学「健康科学部 看護学科」の受験を希望しますか。
次より1つ選択してください。(1つに○)

第一志望として受験する 受験しない
 第二志望として受験する
 第三志望以降として受験する

- Q6. Q5で「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した方に質問です。
東邦大学「健康科学部 看護学科」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
次より1つ選択してください。(1つに○)

入学する 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 入学しない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

高校生
対象

調査票(追加配布)

◆東邦大学「健康科学部 看護学科」についてお聞きします。

東邦大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2025年(令和7年)4月に、
「健康科学部 看護学科」の入学定員を増やすことを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

- Q4. 東邦大学「健康科学部 看護学科」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる□枠1つに○)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例. ○○の充実	→	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A. 4年間を通して段階的に成長できるトランスレーショナル教育の実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B. チーム医療・多職種連携など、学部を超えた共通教育の実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C. 高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D. 確かな実習指導計画のもと進められる付属病院での教育の実践	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q5. 東邦大学「健康科学部 看護学科」の受験を希望しますか。
次より1つ選択してください。(1つに○)

第一志望として受験する 受験しない
 第二志望として受験する
 第三志望以降として受験する

- Q6. Q5で「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した方に質問です。
東邦大学「健康科学部 看護学科」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
次より1つ選択してください。(1つに○)

入学する 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 入学しない

- Q7. 最後に全員にお聞きします。
あなたは今年の9月以降に、本アンケートと同じ、東邦大学 健康科学部 看護学科に関するアンケートに
回答したことがありますか。

今回初めて回答した 本アンケートに回答するのは2回目以降である

※他大学のアンケートは「本アンケート」に該当しません。
「東邦大学 健康科学部 看護学科」に関するアンケートに
回答するのが2回目以降の方のみ○を付けてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

東邦大学
「健康科学部 看護学科」
入学定員増に関するニーズ調査
結果報告書
【病院・団体対象調査】

令和5年12月
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

病院・団体
対象

調査概要

1. 調査目的

2025年4月入学定員増予定の東邦大学「健康科学部 看護学科」の構想に関して、病院・団体からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

		病院・団体対象調査
調査対象		病院・団体の採用担当者
調査エリア		千葉県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	517病院・団体
	回収数(回収率)	141病院・団体(27.3%)
調査時期		2023年9月4日(月)～2023年10月24日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

病院・団体対象調査
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事採用への関与度 ・ 本社所在地 ・ 種類 ・ 従業員数(正規社員・職員) ・ 正規社員・職員の平均採用人数 ・ 本年度の採用予定数 ・ 採用したい学問分野 ・ 東邦大学「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度 ・ 東邦大学「健康科学部 看護学科」の社会的必要性 ・ 東邦大学「健康科学部 看護学科」卒業生に対する採用意向 ・ 東邦大学「健康科学部 看護学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

採用意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答病院・団体全体(141病院・団体)

病院・団体
対象

回答病院・団体(回答者)の属性、 採用状況等

回答病院・団体(回答者)の属性

※本調査は、東邦大学「健康科学部 看護学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。東邦大学の卒業生就職先として想定される病院・団体の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、141病院・団体から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は50.4%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が36.2%であり、採用や選考に関わっている人事担当者から意見を聴取できていると考えられる。
- 回答病院・団体の本社(本部)所在地は、東邦大学「健康科学部 看護学科」習志野キャンパスの所在地である「千葉県」が83.0%で最も多い。次いで「東京都」が14.2%、「埼玉県」が1.4%と続く。
- 回答病院・団体の種類としては「病院」が53.2%で最も多い。次いで「訪問看護ステーション」が44.7%、「診療所・クリニック」が1.4%と続く。
- 回答病院・団体の従業員数(正規社員・職員)は、「50名未満」「100名～500名未満」がいずれも36.9%と最も多く、次いで「500名～1,000名未満」が11.3%と続く。100名以上の比較的規模が大きい病院・団体が半数以上を占める。

回答病院・団体の採用状況(過去3か年平均)／ 本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答病院・団体の平均的な正規社員・職員の採用人数は「1名～5名未満」が31.2%と最も多く、次いで「10名～20名未満」が16.3%、「5名～10名未満」「100名以上」がいずれも11.3%と続く。毎年正規社員・職員を採用している病院・団体がほとんどである。
- 回答病院・団体の本年度の採用予定数は、「増やす」が52.5%と最も多く、次いで「昨年度並み」が34.8%である。回答病院・団体の多くで昨年以上の採用が予定されている模様である。
- 回答病院・団体の採用したい学問分野を複数回答で聞いたところ、「健康科学部 看護学科」の学びと関連する「看護学(保健看護学含む)」が94.3%で最も高い。次いで「薬学」が29.1%、「医学」が24.8%と続く。

病院・団体
対象

回答病院・団体(回答者)の属性、 採用状況等

■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数 (病院・団体)	標 本 数	かあ採 かり用 わ、の つ選決 て考裁 いに権 る が	かな採 かい用 わがの つ、決 て選裁 い考権 るには	提意か採 供見か用 すをわ時 る収らに 立集ずは 場・、直 に 情接 ある 報や	無 回 答
全体	141	50.4 71	36.2 51	10.6 15	2.8 4

■本社(本部)所在地

Q2. 貴院・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

上段:% 下段:件数 (病院・団体)	標 本 数	埼 玉 県	千 葉 県	東 京 都	愛 知 県	福 岡 県	無 回 答
全体	141	1.4 2	83.0 117	14.2 20	0.7 1	0.7 1	0.0 0

■種類

Q3. 貴院・貴団体について、種類をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数 (病院・団体)	標 本 数	病 院	ク 診 療 所 ツ ク	ス 訪 問 看 護 シ ョ ン	保 保 健 セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全体	141	53.2 75	1.4 2	44.7 63	0.0 0	0.7 1	0.0 0

病院・団体
対象

回答病院・団体(回答者)の属性、 採用状況等

■従業員数(正規社員・職員)

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規社員・職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	5 0 名 未 満	1 5 0 0 名 未 満	5 1 0 0 名 未 満	未 満 1 5 0 0 名	5 1 0 0 名 未 満	5 0 0 0 名 未 満	無 回 答
上段:% 下段:件数 (病院・団体)								
全体	141	36.9 52	5.0 7	36.9 52	11.3 16	5.0 7	3.5 5	1.4 2

■正規社員・職員の平均採用人数

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	0 名	5 1 名 未 満	1 5 0 名 未 満	2 1 0 名 未 満	3 2 0 名 未 満	5 3 0 名 未 満	1 5 0 名 未 満	1 0 0 名 未 満	無 回 答
上段:% 下段:件数 (病院・団体)										
全体	141	2.1 3	31.2 44	11.3 16	16.3 23	10.6 15	8.5 12	6.4 9	11.3 16	2.1 3

■本年度の採用予定数

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	増 や す	昨 年 度 並 み	減 ら す	未 定	無 回 答
上段:% 下段:件数 (病院・団体)						
全体	141	52.5 74	34.8 49	0.7 1	12.1 17	0.0 0

病院・団体
対象

採用したい学問分野

■採用したい学問分野

Q7. 貴院・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

上段：％ 下段：件数 (病院・団体)	標本数	看護学（保健看護学含む）	医学	歯学	薬学	哲学など） 人文科学（文学・史学・	社会科学（法学・商学・	理学（数学・物理学・ 化学など）
全体	141	94.3 133	24.8 35	5.0 7	29.1 41	2.1 3	5.0 7	3.5 5

上段：％ 下段：件数 (病院・団体)	標本数	工学（機械工学・ 電子通信工学など）	農学（農学・林学・ 水産学など）	家政（家政学・食物学・ 被服学など）	その他	学んだ学問分野には こだわらない	無回答
全体	141	4.3 6	0.0 0	3.5 5	6.4 9	3.5 5	2.1 3

病院・団体
対象

東邦大学「健康科学部 看護学科」の 特色に対する魅力度

東邦大学「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度

- 「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度(※)は、5つの項目すべてで8割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. チーム医療・多職種連携など、学部を超えた共通教育の実践」で97.9%である。次いで、「E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実」が92.9%、「A. 4年間を通して段階的に成長できるトランスレーショナル教育の実践」が92.2%と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した病院・団体の合計値

■東邦大学「健康科学部 看護学科」の特色に対する魅力度

Q8. 東邦大学「健康科学部 看護学科」には、以下のような特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

特色A. 4年間を通して段階的に成長できるトランスレーショナル教育の実践

特色B. チーム医療・多職種連携など、学部を超えた共通教育の実践

特色C. 高い国家試験合格率が物語る手厚く丁寧なサポートの実践

特色D. 確かな実習指導計画のもと進められる附属病院での教育の実践

特色E. 入学から卒業(キャリア教育・就職対策)までの多様な支援体制の充実

	標 本 数	魅 と も を 感 じ る	魅 あ る 程 度 を 感 じ る	魅 あ ま り を 感 じ な い	魅 ま た た く を 感 じ な い	魅 力 度 (※)	無 回 答
上段:% 下段:件数 (病院・団体)							
特色A	141	31.2 44	61.0 86	5.0 7	0.7 1	92.2 130	2.1 3
特色B	141	62.4 88	35.5 50	0.7 1	0.0 0	97.9 138	1.4 2
特色C	141	44.7 63	42.6 60	10.6 15	0.7 1	87.2 123	1.4 2
特色D	141	41.8 59	44.0 62	12.1 17	0.7 1	85.8 121	1.4 2
特色E	141	44.7 63	48.2 68	5.7 8	0.0 0	92.9 131	1.4 2

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した病院・団体の合計値

※魅力度は、件数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

病院・団体
対象

東邦大学「健康科学部 看護学科」の 社会的必要性／採用意向／採用想定人数

東邦大学「健康科学部 看護学科」の社会的必要性

- ・「健康科学部 看護学科」について「必要だと思う」と回答した病院・団体は97.9% (138病院・団体)であり、多くの病院・団体がこれからの社会にとって必要な学部・学科と捉えていることがうかがえる。

東邦大学「健康科学部 看護学科」卒業生の採用意向／ 毎年の採用想定人数

- ・「健康科学部 看護学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した病院・団体は90.8% (128病院・団体)であり、予定している入学定員80名を上回る数の採用意向病院・団体がみられた。
- ・「健康科学部 看護学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した病院・団体へ、「健康科学部 看護学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**316名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。
このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

病院・団体
対象

東邦大学「健康科学部 看護学科」の 社会的必要性/採用意向/採用想定人数

■東邦大学「健康科学部 看護学科」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、東邦大学「健康科学部 看護学科」は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。
(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数 (病院・団体)	標本数	必要だと思 う	必要だと思 わない	無回答
全体	141	97.9 138	0.0 0	2.1 3

■東邦大学「健康科学部 看護学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、東邦大学「健康科学部 看護学科」を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数 (病院・団体)	標本数	採用したいと思 う	採用したいと思 わない	無回答
全体	141	90.8 128	6.4 9	2.8 4



「採用したいと思う」と答えた128病院・団体のみ抽出

■東邦大学「健康科学部 看護学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q11.Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、東邦大学「健康科学部 看護学科」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計	
		%	33.6%	25.8%	17.2%	3.1%	11.7%		3.9%
全体	128	病院・団体数	43	33	22	4	15	5	122
		名	43	66	66	16	75	50	

(お示年間の採
用院採用
想定人数
・・計)

⇒

※%の母数は、「健康科学部 看護学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した病院・団体
(128病院・団体)

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

卷末資料 調査票・呈示資料



病院・団体
対象

依頼状

2023年9月

人事採用ご担当者様

東邦大学

「東邦大学 健康科学部 看護学科に関するアンケート」ご協力をお願い

拝啓 初秋の候、貴院・貴団体におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本学に対し、格別なるご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東邦大学では、社会の発展に寄与する優秀な人材の育成・輩出や、教育内容の充実につながる大学改革の実現をめざし、「健康科学部 看護学科」の入学定員増を計画しております。

この「健康科学部 看護学科」の教育内容をより充実したものにするため、人事採用ご担当者様からご意見をお伺いしたいと考えております。つきましては、貴院・貴団体のご担当者様にもご協力いただきたく、略儀ながら書面にてご依頼申し上げます次第です。

貴院・貴団体におかれましては、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、同封しております学部概要の説明資料をご高覧の上、アンケートにご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケートの結果は、上記の目的で統計資料としてのみ活用いたしますので、貴院・貴団体およびご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

末筆ながら、貴院・貴団体のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

1. ご記入いただく内容は、ご回答になる方ご自身のお考えで結構です。また、回答はすべて統計的に処理いたしますので、率直なご意見をご記入ください。
2. ご記入がお済みになりましたら、アンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。
2023年10月13日（金）までにご投函いただければ幸いです。
3. 集計業務の関係上、アンケートの返送先が本学ではなく、別途物流センターの「東邦大学 アンケート係」となります。

■本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事部 担当：桑垣

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

メール：somu.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話：047-472-9199（代表）

*お電話の受付時間：月～金（祝日を除く）9:00～17:00

病院・団体
対象

調査票

東邦大学「健康科学部 看護学科」に関するアンケート

東邦大学では2025年(令和7年)4月より、「健康科学部 看護学科」の入学定員増を構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートと同封した資料に記載されている「健康科学部 看護学科」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴院・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴院・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴院・貴団体について、種類をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|--------|
| 1. 病院 | 3. 訪問看護ステーション | 5. その他 |
| 2. 診療所・クリニック | 4. 保健所・保健センター | |

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規社員・職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名 | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満 | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上 |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 | |

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

裏面へ続く→

千葉県内における看護系大学一覧

開設年次	主設体置	大学名	定員	大学HPのURL
1975	国立	千葉大学看護学部看護学科	80名	https://www.n.chiba-u.jp/index.html
2009	公立	千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科	80名	https://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/index.html
2004	私立	順天堂大学医療看護学部看護学科	220名	https://www.juntendo.ac.jp/academics/faculty/nurs/
2007	私立	淑徳大学看護栄養学部看護学科	100名	www.shukutoku.ac.jp/academics/kangoeyou/kango/
2008	私立	三育学院大学看護学部看護学科	50名	https://www.saniku.ac.jp/
2011	私立	了徳寺大学健康科学部看護学科	100名	https://www.ryotokuji-u.ac.jp/
2012	私立	城西国際大学看護学部看護学科	100名	https://www.jiu.ac.jp/nursing/
2012	私立	亀田医療大学看護学部看護学科	80名	https://www.kameda.ac.jp/
2013	私立	帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科	135名	https://www.thu.ac.jp/univ/comm_health/nu_index
2014	私立	千葉科学大学看護学部看護学科	90名	https://www.cis.ac.jp/
2014	私立	聖徳大学看護学部看護学科	80名	https://www.seitoku-u.ac.jp/
2016	私立	国際医療福祉大学成田看護学部看護学科	100名	https://narita.iuhw.ac.jp/gakubu/ns/
2017	私立	東邦大学健康科学部看護学科	60名	https://www.toho-u.ac.jp/
2017	私立	東京情報大学看護学部看護学科	100名	https://www.tuis.ac.jp/department/nursing/
2017	私立	秀明大学看護学部看護学科	80名	https://www.shumei-u.ac.jp/undergraduate/nurse
2018	私立	東都大学幕張ヒューマンケア学部看護学科	120名	https://www.tohto.ac.jp/
2018	私立	和洋女子大学看護学部看護学科	100名	https://www.wayo.ac.jp/academics/nursing/nurse
2018	私立	東京医療保健大学千葉看護学部看護学科	100名	https://www.thcu.ac.jp/faculty/chiba/
2021	私立	医療創生大学国際看護学部看護学科	80名	https://kn.isu.ac.jp/

中央値 100

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	千葉県	30,831人	4.9%
2	東京都	79,430人	12.6%
3	茨城県	15,674人	2.5%
4	埼玉県	35,173人	5.6%
5	栃木県	9,224人	1.5%
	全 体	632,902人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	千葉県	102.29	104.54	103.87
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	保健系学部(大学)	99.97	99.13	96.79
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：東邦大学健康科学部看護学科

別紙2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		受験者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		合格者数	0人	3人	4人	2人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		受験者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		合格者数	0人	3人	4人	2人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	3人	4人	2人	4人	3人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
延べ人数		志願者数	35人	37人	46人	35人	46人	40人
		受験者数	35人	37人	46人	34人	45人	39人
		合格者数	25人	24人	30人	29人	30人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	35人	37人	46人	35人	46人	40人
		受験者数	35人	37人	46人	34人	45人	39人
		合格者数	25人	24人	30人	29人	30人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		25人	24人	30人	29人	30人	28人	
一般選抜		募集人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	395人	496人	443人	322人	299人	391人
		受験者数	393人	491人	438人	309人	280人	382人
		合格者数	123人	113人	128人	113人	104人	116人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
	実人数	志願者数	395人	384人	365人	261人	244人	330人
		受験者数	393人	379人	360人	251人	229人	322人
		合格者数	123人	113人	128人	113人	104人	116人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
	入学者数	39人	38人	34人	37人	34人	36人	
	共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!
延べ人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数						#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
延べ人数		志願者数	430人	539人	498人	359人	354人	436人
		受験者数	428人	534人	493人	345人	334人	427人
		合格者数	148人	140人	162人	144人	138人	146人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
実人数		志願者数	430人	427人	420人	298人	299人	375人
		受験者数	428人	422人	415人	287人	283人	367人
		合格者数	148人	140人	162人	144人	138人	146人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
入学者数		64人	65人	68人	68人	68人	67人	

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.07	1.08	1.13	1.13	1.13	1.11
歩留率	0.43	0.46	0.42	0.47	0.49	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 特になし

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：東邦大学健康科学部 夏のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	178人	330人	①取組概要 R4年度入試(R3開催)OCはリアルタイム配信(学部・入試説明、病院・キャリア紹介、学内ツアー、グループ座談会等)：2日間開催(8/7.8)。 R5年度入試(R4開催)OCは予約定員制により対面開催(学部・入試説明、病院・キャリア紹介、学内ツアー、体験授業、体験演習等)：2日間開催(8/6.7)。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者見込み350名×受験対象46.4%×入学率20.9%=34名を確保できる。
うち受験対象者数(b)	178人	153人	
うち受験者数(c)	42人	58人	
うち入学者数(d)	24人	32人	
(受験率 c/b)	23.6%	37.9%	
(入学率 d/b)	13.5%	20.9%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：東邦大学健康科学部 平日・土曜・春のキャンパス見学会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	134人	165人	①取組概要 R4年度入試(R3開催)見学会は対面開催(学部・入試説明、学内ツアー、個別相談)：5日間(6/12、7/17、8/28、9/18、10/9)。 R5年度入試(R4開催)見学会は対面開催(学部・入試説明、学内ツアー、個別相談)：5日間(6/18、7/16、8/23、8/27、9/17、10/8)。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者見込み165名×受験対象74.5%×入学率22.0%=27名を確保できる。
うち受験対象者数(b)	130人	123人	
うち受験者数(c)	45人	45人	
うち入学者数(d)	32人	27人	
(受験率 c/b)	34.6%	36.6%	
(入学率 d/b)	24.6%	22.0%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：東邦大学健康科学部の小論文対策講座

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	49人	66人	①取組概要 R4年度入試(R3開催)小論文対策講座は対面開催：1日間(7/17)。 R5年度入試(R4開催)小論文対策講座は対面開催：1日間(7/16)。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者見込み70名×受験対象100%×入学率19.7%=14名を確保できる。
うち受験対象者数(b)	49人	66人	
うち受験者数(c)	17人	23人	
うち入学者数(d)	12人	13人	
(受験率 c/b)	34.7%	34.8%	
(入学率 d/b)	24.5%	19.7%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	タカマツ ケン 高 松 研 <平成30年7月>		医学博士		東邦大学 学長 (平30.7)

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次）健康科学部 看護学科

1. 申請書に記載された内容からは、正確な教育研究実施組織の編制状況が確認できないため、以下の点を踏まえつつ、書類間の不整合を改め、教育研究実施組織の編制計画を明確に説明するとともに、収容定員増加前と比較して、同等以上の教育研究実施組織が担保されている計画であることを具体的に説明すること。（健康科学部看護学科）（是正事項）

・・・・・・・・・・P2

2. 「学則変更の趣旨等を記載した書類（本文）」p. 5の「(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について」において、「入学定員および収容定員を増加した後も、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を提供することができるため、施設・設備の変更は行わない」と説明しているものの、どのようにして同等の環境を担保する計画なのか判然としない。このため、収容定員増加前と比較して、施設・設備を変更せずに、どのようにして同等以上の教育研究環境を担保する計画なのか、具体的かつ詳細に説明すること。（健康科学部看護学科）（是正事項）

・・・・・・・・・・P4

(是正事項1) 健康科学部 看護学科

申請書に記載された内容からは、正確な教育研究実施組織の編制状況が確認できないため、以下の点を踏まえつつ、書類間の不整合を改め、教育研究実施組織の編制計画を明確に説明するとともに、収容定員増加前と比較して、同等以上の教育研究実施組織が担保されている計画であることを具体的に説明すること。(健康科学部看護学科)

(1)「学則変更の趣旨等を記載した書類(本文)」p. 5の「(ウ) 教員組織の変更内容について」において、収容定員増加後は「専任教員を2名増員し28名の専任教員および助手3名の31名で看護教育を行う予定」と説明しているが、「専任教員」の定義が不明確であることに加えて、「基本計画書」では、基幹教員15名、助手4名配置する計画であると記載されており、説明に不整合が生じているように見受けられる。

(2)「学生の確保の見通し等を記載した書類(本文)」p. 7の「(2) 競合校との比較分析」では、「教員30名に対し・・・入学定員数を80名にしてもS/T比は10.7」と説明しており、上記(1)で指摘した教員数の説明との間に不整合が生じている。

(対応)

教育研究実施組織の編制状況について、基幹教員数と専任教員数が混在しており、専任教員の定義が本学において規程等で明確に規定されていないことから、本申請書では基幹教員数で統一し修正を行う。

また、人数について、何年度の人数なのか記載されておらず、教員数の説明との間に不整合が生じているため、年度を明確にし、不要な表現は削除する。

(新旧対照表) 学則変更の趣旨等を記載した書類(本文)(5ページ)

新	旧
健康科学部看護学科では、質の高い教育を担保するため、 <u>令和5年度は本務教員26名(基幹教員15名、基幹教員以外の教員11名)で教育を行っている。令和7年4月1日学則変更により収容定員を320名とした後には、本務教員28名(基幹教員22名、基幹教員以外の教員6名)で教育を行う予定である。教員1人あたりの学生数(S/T比)は11.4人で、専門分野における細やかな教育・指導を実施し、更なる教育の質を担保することができる</u> と考える。学生の履修状況および教育活動状況について、毎月開催する健康科学部教授会において点検評価し、教員の配置や今後の教員組織編成などを見直し、より一層の充実を図る。	健康科学部看護学科では、質の高い教育を担保するため、現在は専任教員26名で看護教育を行っている。学則変更により収容定員を320名とした後には、専任教員を2名増員し28名の専任教員および助手3名の31名で看護教育を行う予定である。 学則変更により収容定員を320名とした後でも、助手を含めた教員ひとりあたりの学生数(S/T比)は10.3人と専門分野における細やかな教育・指導を実施し、更なる看護教育の質の担保を保障する。教員組織に関しては、毎月開催する健康科学部教授会において、教員の配置や今後の教員組織編成に係る取り組みなどを協議し、より一層の充実を図る。

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類(本文)(7ページ)

新	旧
健康科学部看護学科の <u>教員1人あたりの学生数(S/T比)は令和5年度においては、本務教員26名(基幹教員15名、基幹教員以外の教員11名)に対し9.2人と他の競合校よりも最も低く、令和7年度に収容定員を320名に増員しても本務教員28名(基幹教員22名、基幹教員以外の教員6名)に対しS/T比は11.4人</u> であり、引き続き学生に対し手厚い教育を提供できる。	健康科学部看護学科のS/T比(入学定員の4学年分として計算)は教員30名に対し8.0と他の競合校よりも1番低く、入学定員数を80名にしてもS/T比は10.7であり、引き続き学生に対し手厚い教育を提供できる。

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (資料) (23 ページ)

新				旧			
【資料 16】				【資料 16】			
競合校との教員1名当たりの学生数 (S/T) 比較				競合校との教員1名当たりの学生数 (S/T) 比較			
大学名	学部教員数	収容定員	S/T	大学名	学部教員数	入学定員×4学年	S/T
東邦大学	26名	240名	9.2	東邦大学	30名 (助手含)	240名 (266名)	8.0(8.87)
順天堂大学	69名	880名	12.8	順天堂大学	69名	880名	12.8
淑徳大学	27名	400名 (425名)	14.8(15.7)	淑徳大学	27名	400名 (425名)	14.8(15.7)
東京医療保健大学	35名 (助手含)	400名	11.4	東京医療保健大学	35名 (助手含)	400名	11.4
国際医療福祉大学	29名	400名	13.8	国際医療福祉大学	29名	400名	13.8
()内は令和5年度 HP上のデータ				()内は令和5年度 HP上のデータ			

(是正事項 2) 健康科学部 看護学科

「学則変更の趣旨等を記載した書類 (本文)」 p. 5 の「(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について」において、「入学定員および収容定員を増加した後も、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を提供することができるため、施設・設備の変更は行わない」と説明しているものの、どのようにして同等の環境を担保する計画なのか判然としない。このため、収容定員増加前と比較して、施設・設備を変更せずに、どのようにして同等以上の教育研究環境を担保する計画なのか、具体的かつ詳細に説明すること。(健康科学部看護学科)

(対応)

現状の健康科学部看護学科では、入学定員 60 名に対し、健康科学部棟 1 階の講義室の他、習志野キャンパスの共用施設である薬学部棟および理学部棟の講義室も適宜使用している。

共用施設の講義室は、100 名以上収容可能であることから、施設等の変更は行わない予定である。

看護専門科目の演習については、現状使用している健康科学部棟 2 階の演習室を引き続き使用する。演習室の既存ベッド数は健康科学部看護学科設置時から 24 台あり、入学定員を 80 名に増員しても『看護師等養成所の運営に関する指導要領』の条件にある「学生 4 人に 1 台以上」を満たしている。また看護実習モデル人形に関しても、設置時成人型看護実習モデル人形 2 台およびフィジカルアセスメントモデル 2 台、多職種連携ハイブリッドシミュレータ (SCENARIO) 2 台を用意し演習を行っていたが、令和元年にフィジカルアセスメントモデル 1 台、令和 3 年に多職種連携ハイブリッドシミュレータ (SCENARIO) 1 台を追加購入し計 8 台あるため、定員 80 名に対応できる。看護実習モデル人形は、『看護師等養成所の運営に関する指導要領』上の「学生 10 人に 1 台」を満たしており、増員前と変わらず教育研究環境は提供できる。さらに、令和 4 年にデブリーフィング&データ管理システム Skills Album を購入し、実際に演習を行っているシミュレーションルームと他の演習室および講義室を連携するなど、看護実践力育成のための ICT 学修環境の整備もできていることから、増員後も同等の環境を担保することができる。

講義室・演習室・研究室とは別に学生指導のスペースが設定されており、学生各自が進めた先行調査研究や文献調査、研究計画や研究進行状況に基づく指導ができるようになっている。また、メディアセンター (図書館) について、国内外の専門図書や学術雑誌、学内外からアクセス可能な電子図書/ジャーナル/データベースなどを整備しており、定員増に十分対応できるスペースとともに ICT 環境を整えている。

(新旧対照表) 学則変更の趣旨等を記載した書類 (本文) (6 ページ)

新	旧
<p>健康科学部看護学科では、入学定員および収容定員を増加した後も、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を提供する。</p> <p>健康科学部看護学科の講義については、健康科学部棟 1 階の講義室と習志野キャンパスの共用施設である薬学部棟および理学部棟の講義室を適宜使用している。これらの講義室は 100 人以上を収容可能であり一学年の定員を 80 名に増員しても十分対応できる。</p> <p>看護専門科目の演習については、健康科学部棟 2 階の演習室を使用する。演習室のベッドは既に健康科学部看護学科設置時 24 台あり、ベッド 1 台に学生 3~4 人で使用できるため、『看護師等養成所の運営に関する指導要領』の条件にある「学生 4 人に 1 台以上」を満たしている。また看護実習モデル人形に関しても、設置時成人型看護実習モデル人形 2 台およびフィジカルアセスメントモデル 2 台、多職種連携ハイブリッドシミュレータ (SCENARIO) 2 台を用意し演習を行っていたが、令和元年にフィジカルアセスメントモデル 1 台、令和 3 年に多職</p>	<p>健康科学部看護学科では、入学定員および収容定員を増加した後も、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を提供することができるため、施設・設備の変更は行わない。</p>

種連携ハイブリッドシミュレータ (SCENARIO) 1 台を追加購入し計 8 台あるため、定員 80 名に対応できる。看護実習モデル人形は、『看護師等養成所の運営に関する指導要領』上の「学生 10 人に 1 台」を満たしており、増員前と変わらず教育研究環境は提供できる。さらに、令和 4 年にデブリーフィング&データ管理システム Skills Album を購入し、実際に演習を行っているシミュレーションルームと他の演習室および講義室を連携するなど、看護実践力育成のための ICT 学修環境を整備しており、定員増に十分対応できる。

教員研究室は健康科学部棟 3 階に設置され、教員用スペースに加えて学生指導のスペースが設定されており、学生各自が進めた先行調査研究や文献調査、研究計画や研究進行状況に基づく指導などをここで行っている。また、メディアセンター (図書館) について、国内外の専門図書や学術雑誌、学内外からアクセス可能な電子図書/ジャーナル/データベースなどを整備しており、定員増に十分対応できるスペースとともに ICT 環境を整えている。